

ペルー国  
北部地域給水・衛生事業組織強化  
プロジェクト  
中間レビュー調査  
報告書

平成 24 年 2 月  
(2012 年)

独立行政法人 国際協力機構  
地球環境部

環境
JR
12-026



ペルー国  
北部地域給水・衛生事業組織強化  
プロジェクト  
中間レビュー調査  
報告書

平成 24 年 2 月  
(2012 年)

独立行政法人 国際協力機構  
地球環境部



## 序 文

ペルーの給水状況は、比較的上水道の整備が進んでいる首都リマ等の都市部では給水率が89% (2007年) となっている一方、地方部では65%に留まっており、都市部に比べて著しく低い状況にあります。また、地方部ではトイレ等の衛生施設の整備率も低くなっています。この状況に対し、ペルー政府はこれまで施設整備を優先的に実施してきましたが、州政府、区役所、水・衛生委員会の能力強化に関する支援は十分に行われてこなかったため、給水・衛生施設の計画的な建設や修繕の実施や、運営・維持管理組織への支援体制に大きな課題を抱えていました。

この状況を改善するため、ペルー政府は、特に給水率の低い北部のピウラ州及びランバイエケ州を対象に、給水・衛生事業実施に係る関連機関の能力向上を図るための技術協力の実施を日本政府に要請し、これを受けて独立行政法人国際協力機構（JICA）は、2008年3月及び6月の二度に亘り、プログラム/プロジェクト形成調査団を派遣しました。同調査の結果を受けて、2009年2月4日に両政府間で討議議事録（R/D）の署名が取り交わされ、2009年6月より本プロジェクトが開始されました。

今般 JICA は、これまでの活動実績を整理し、現時点までのプロジェクト進捗状況についてレビューするために、国際協力専門員山本敬子を日本側の総括とし、ペルー住宅建設衛生省（MVCS）、ランバイエケ州政府そしてピウラ州政府との共同作業により、中間レビュー調査を2011年6月20日から同年7月8日にかけて実施しました。同調査団での協議内容は合同評価報告書に纏められ、7月8日、合同評価報告書を添付した協議議事録（M/M）をペルー側と署名交換しました。

本報告書は、同調査団の調査結果を取り纏めたものであり、今後の本プロジェクトの推進に寄与することを願うものです。

終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成24年2月

独立行政法人 国際協力機構  
地球環境部  
部長 江島 真也



# 調査対象地図



Map No. 3023 Rev. 3 UNITED NATIONS  
May 2004

Department of Peacekeeping Operations  
Cartographic Section

## 現地写真 (その1)



ランバイエケ州 DRVS との協議



ランバイエケ州パイロットプロジェクトサイト水源



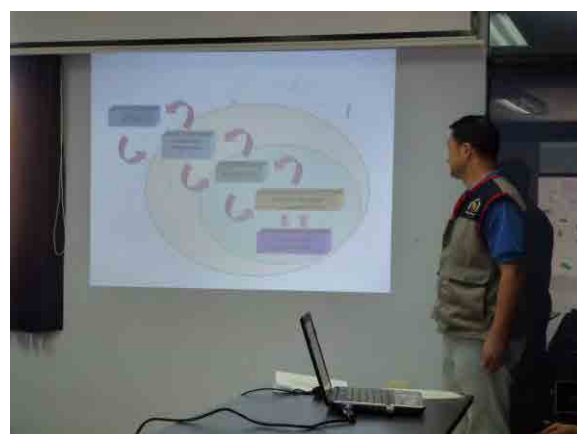
パイロットプロジェクトサイト  
(エル・エスピナル沈澱池)



パイロットプロジェクトサイト  
(エル・エスピナル配水池)



合同評価報告書(案)の協議  
(於ランバイエケ州 DRVS)



専門家によるプレゼンテーション



## 現地写真 (その2)



ランバイエケ州 DREVS によるプレゼンテーション



ピウラ州 DRVS によるプレゼンテーション



COSUDE との協議



JCC 協議風景



ミニッツ署名



署名後の記念撮影

# 目 次

序 文	
位 置 図	
現地写真	
略 語 表	
中間レビュー調査結果要約表	
	ページ
第 1 章 中間レビュー調査の概要.....	1-1
1-1 調査の経緯と目的.....	1-1
1-2 中間レビューの目的.....	1-1
1-3 調査団の構成.....	1-2
1-4 調査日程.....	1-3
1-5 中間レビューの方法.....	1-4
第 2 章 プロジェクトの実績と実施プロセス.....	2-1
2-1 投入実績.....	2-1
2-1-1 日本側の投入.....	2-1
2-1-2 ペルー側の投入.....	2-2
2-2 活動実績.....	2-2
2-3 アウトプットの達成状況.....	2-5
2-4 プロジェクト目標の達成状況.....	2-8
2-5 実施プロセス.....	2-9
第 3 章 評価 5 項目による評価結果.....	3-1
3-1 妥当性.....	3-1
3-2 有効性.....	3-2
3-3 効率性.....	3-3
3-4 インパクト.....	3-4
3-5 自立発展性.....	3-5
第 4 章 PDM の修正.....	4-1
第 5 章 結論.....	5-1
第 6 章 提言及び教訓.....	6-1
6-1 提言.....	6-1
6-2 教訓.....	6-3

付属資料

1. PDM
2. 合同評価報告書
3. 主要面談者リスト
4. 活動実績・投入実績
5. 評価グリッド

## 略 語 表

	英語 (西語)	日本語
COSUDE	Swiss Agency for Development and Cooperation (Agencia Suiza para el Desarrollo y la Cooperación)	スイス開発協力庁
DESA	Executive Authority of Environmental Health (Dirección Ejecutiva Salud Ambiental)	保健執行局
DIRESA	Regional Health Authority (Dirección Regional de Salud)	州政府保健局
DRE	Regional Education Authority (Dirección Regional de Educación)	州政府教育局
DRVS	Regional Housing and Sanitation Authority (Dirección Regional de Vivienda y Saneamiento)	州政府住宅建設衛生局
JASS	Sanitation Service Management Committee (Junta Administradora de Servicios de Saneamiento)	水・衛生委員会
JCC	Joint Coordinating Committee	合同調整委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人 国際協力機構
MINDES	Ministry of Women and Social Development (Ministerio de la Mujer y Desarrollo Social)	女性社会開発省
MVCS	Ministry of Housing, Construction and Sanitation (Ministerio de Vivienda, Construcción y Saneamiento)	住宅建設衛生省
ODA	Official Development Assistance	政府開発援助
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・ マトリックス
PO	Plan of Operation	活動計画
R/D	Record of Discussion	実施協議議事録
WG	Working Group	ワーキング・グループ

## 中間レビュー調査結果要約表

<b>1. 案件の概要</b>	
国名：ペルー共和国	案件名：北部地域給水・衛生事業組織強化プロジェクト
分野課題：水資源・防災—地方給水	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：地球環境部	協力金額（評価時点）：400,000 千円
協力期間	(R/D): 2009 年 6 月～2013 年 3 月 相手国実施機関：住宅建設衛生省、ランバイエケ州政府、ピウラ州政府 日本側協力機関：
<b>1-1 協力の背景と概要</b>	
<p>ペルーにおける「安全な水にアクセスできる人口」は全国で 83%（2007 年ユニセフ子ども白書による 2004 年の数値。以下同様）であり、中南米各国平均 91%や隣国エクアドル 94%、ボリビア 85%と比較して低い状況である。首都リマ等の都市部では、比較的上水道の整備が進んでおり、給水率は 89%であるが、地方部の給水率は 65%であり、都市部に比べて著しく低い。また、地方部ではトイレ等の衛生施設の整備率も低くなっている。</p> <p>これまでペルー政府は、貧困対策の一環として、給水・衛生事業を重視しており、2006 年に水供給及び衛生対策の推進のために国家衛生計画（Plan Nacional de Saneamiento）（2006-2015）を策定し、『万人に水を』の標語のもと同計画を実施してきた。国家衛生計画では上下水道の施設改善と拡張を行い、2015 年までに安全な水や下水道施設へアクセスできない住民の数を半数に減らすことを目標とし、水道公社のサービスを受けていない農村・小都市部においては行政機関による給水・衛生事業の推進を図っている。具体的には、中央政府として住宅建設衛生省が所掌し、地方部では政策機関として州政府、執行機関として区役所と水・衛生委員会（JASS）が位置付けられており、それぞれ給水・衛生サービス及び給水施設運営維持管理・衛生啓発を実施している。</p> <p>一方、ペルー政府は給水・衛生状況の改善のため、これまでは施設整備を優先的に実施しており、各ドナーもその要請に応える形で支援を行ってきた。これらの支援の多くは、住宅建設衛生省に対する政策的支援・資金的支援や都市部の給水施設整備に関する支援が中心であった。農村・小都市に対する支援も行われているものの、都市部と同様に施設整備に関する支援が中心であり、州政府、区役所、水・衛生委員会の能力強化に関する支援は十分に行われてこなかった。</p> <p>本技術協力プロジェクトは、ペルーにおいて給水率の低い北部のピウラ州及びランバイエケ州を対象に、給水・衛生事業実施に係る関連機関の能力向上を図るため、2009 年 2 月 4 日の R/D 署名を経て、2009 年 6 月から開始された。</p>	
<b>1-2 協力内容</b>	
<p>(1) 上位目標：ピウラ州・ランバイエケ州の農村・小都市における給水・衛生状態が改善する</p> <p>(2) プロジェクト目標：ピウラ州・ランバイエケ州において、農村・小都市の給水・衛生事業実施能力が向上する</p> <p>(3) アウトプット</p> <p>1. ピウラ州・ランバイエケ州の農村・小都市における給水・衛生事業実施能力及び課題が確認される</p>	

2. ピウラ州・ランバイエケ州政府の給水施設の整備（建設・大規模修繕）に関する能力が強化される
3. パイロット事業の対象区役所及び対象水・衛生委員会の給水施設運営維持管理及び衛生啓発に関する能力が強化される
4. ピウラ州・ランバイエケ州において、運営維持管理及び衛生啓発に関するマニュアルの内容が区役所及び水・衛生委員会に普及される体制が整備される

### 1-3 投入実績（評価時点）

日本側：

専門家派遣：総括/運営・維持管理計画（給水計画含）、副総括/給水計画 1/地下水開発 1、給水計画 2/地下水開発 2、給水計画 3/地下水開発 3、衛生啓発計画、浄水施設維持管理、合計 6 名（40.20MM）（2011 年 4 月末まで）

ローカルコンサルタント：水質調査で備上

機材供与：供与機材合計 64,390 米ドル相当及び、専門家携行機材合計 841,040 円相当（約 9,312 米ドル）

現地再委託：パイロット事業の給水施設整備 3 件

プロジェクト現地経費：合計 47,580,255 円（2011 年 3 月まで）

相手国側：

#### 【住宅建設衛生省】

カウンターパート配置：プロジェクトディレクター 2 名

カウンターパートの移動手段：合計 S/. 35,557 ヌエボソルの出張経費（2011 年 5 月まで）

その他：給水施設の整備工事に関するマニュアル作成のコンサルタント備上（S/. 138,323 ヌエボソル）

#### 【ランバイエケ州・ピウラ州政府の給水・衛生担当部署による投入】

施設：両州 DRVS 内に家具付きのプロジェクトオフィスを配備

カウンターパート配置：ランバイエケ州 DRVS 職員 8 人、ピウラ州 DRVS 職員 11 人

カウンターパートの移動手段：ランバイエケ州合計 S/. 7,555 ヌエボソル、ピウラ州合計 S/. 6,370 ヌエボソルの移動経費（2011 年 4 月まで）

必要経費：ランバイエケ州合計 S/. 74,546 ヌエボソル、ピウラ州政府合計 S/. 302,371 ヌエボソル（2011 年 4 月まで）

## 2. 評価調査団の概要

調査者	(担当分野：氏名 職位)		
	団長/上下水道計画	：山本 敬子	JICA 地球環境部 国際協力専門員
	評価企画	：井上 啓	JICA 地球環境部 水資源・防災グループ 防災第二課 職員
	評価分析	：大橋 由紀	合同会社 適材適所 コンサルタント
	通訳	：樋口 安紀	財団法人 日本国際協力センター 西語通訳
-----			

	(ペルー側評価委員) Mr. Juan Sanchez Lazo : Public Works Coordinator of Rural Sanitation Operative Unit of Water for All Program, MVCS Mr. Olinda Martínez : Investment Project Specialist of Program and Investment Office, MVCS Mr. Carlos Saire Pillco : Project Specialist for Plans and Programs Division/ Sub Directorate of National Directorate of Sanitation, MVCS	
調査期間	2011年6月19日～2011年7月11日	評価の種類：中間レビュー
<b>3. 評価結果の概要</b>		
<b>3-1 実績の確認</b>		
<b>(1) アウトプットの達成状況</b>		
<b><u>アウトプット 1: ピウラ州・ランバイエケ州の農村・小都市における給水・衛生事業実施能力及び課題が確認される</u></b>		
ランバイエケ州の20村落、ピウラ州の28村落、合計48村落を対象としたベースライン調査が実施された。この48村落に対する給水施設の現状調査を実施したほか、給水施設の運営維持管理など給水・衛生に関する現状のヒアリング調査やアンケート調査を実施した。調査の結果は各州でインベントリとして取りまとめられている。		
<b><u>アウトプット 2: ピウラ州・ランバイエケ州政府の給水施設の整備（建設・大規模修繕）に関する能力が強化される</u></b>		
給水施設整備（建設・大規模修繕）に関するマニュアルはコンサルタントを2011年5月に備上し、2011年8月に完成する予定である。給水施設整備（建設・大規模修繕）に関する活動はワーキング・グループ1（WG1）のカウンターパート（各州3名）が主に担当しており、給水施設の安定的な運転を確保する計画の立案・設計、計画から施設の建設を実施する技術力、入札等により建設業者等を外注選定するノウハウ、施工監理する能力等について、パイロット事業の実施を通じたOJTにより能力強化が行われている。施設整備のパイロット事業は6ヶ所（各州3ヶ所）で実施される計画であったが、技術職員の不足（ピウラ州）、候補地の他プログラムとの重複（ランバイエケ州）などから、事業数は減少した。		
<b><u>アウトプット 3: パイロット事業の対象区役所及び対象水・衛生委員会の給水施設運営維持管理及び衛生啓発に関する能力が強化される</u></b>		
給水施設運営維持管理及び衛生啓発に関するマニュアルは、各州のワーキング・グループ2及び3が（WG2）のカウンターパートにより作成され、ドラフトが完成した。衛生啓発については、より多くの経験を持つ各州の保健局、教育局等との協力体制としてマルチセクター・チームを設置し、それらのアクターの知見を活用している。マニュアルのドラフトはパイロット事業で活用し、第3年次には見直しが行われる予定である。更に、衛生啓発では、JASSの役員や区役所に向けたマニュアルが2011年8月を目処に作成される計画である。運営維持管理では、1) 施設の運営維持管理（ハード面）、2) 給水施設の経営（ソフト面）の2種類の研修を実施している。1) については、パイロット事業の施設整備が完了したサイト（ランバイエケ州のエル・エスピナル及びウメダデス）でOJTに		

よる研修が開始されている。2) の給水施設の経営（ソフト面）については、能力強化は OJT と座学によって実施されており、ランバイエケ州のエル・エスピナルとウメダデス、ピウラ州のサン・ホルへとマラカシで開始されている。研修には区役所の職員や JASS の役員が参加している。衛生啓発については、ランバイエケ州のエル・エスピナルとウメダデス、ピウラ州のサン・ホルへとマラカシの 4 つのサイトで衛生啓発の OJT による研修が実施されている。研修の参加者は他のコンポーネントと同じ区役所の職員や JASS の役員である。

#### **アウトプット 4： ピウラ州・ランバイエケ州において、運営維持管理及び衛生啓発に関するマニュアルの内容が区役所及び水・衛生委員会に普及される体制が整備される**

アウトプット 4 については、マニュアルの作成やパイロット事業に関する活動が完了した後に、プロジェクト期間の最終年次に関連する活動が計画されている。よって、中間レビュー時点では進捗はまだ見られていない。

#### **(2) プロジェクト目標達成状況**

現時点までに施設整備が実施された給水施設の数は、ランバイエケ州のエル・エスピナルとウメダデス、ピウラ州のサン・ホルへの 3 件である。ピウラ州ではマラカシの施設建設のための入札図書の準備を進めており、2011 年 8 月には建設工事が開始される予定である。給水施設の運営維持管理及び衛生啓発のパイロット事業を実施している区役所及び JASS の数は 4 件であり、上述の 4 村落である。計画ではコンポーネント 2 及び 3 を実施するサイトの数は、最終的には 10 件となる予定である。

### **3-2 評価結果の要約**

#### **(1) 妥当性**

本プロジェクトは、ペルーのニーズや優先度、日本の支援戦略、課題に貢献する手段としての適切性の点からの妥当性は高い。一方、両州において州政府内での DRVS の役割や責任が明確になっておらず、関連する州内の他部署との関係性が適切に構築されていないことが指摘される。また、他ドナーが給水事業の能力強化のモデルを、ランバイエケ・ピウラ州でも普及する計画があることが判明し、本プロジェクトの活動との調整が必要となっている。

#### **(2) 有効性**

現時点までの活動と DRVS のカウンターパートの能力強化の進捗を考慮すると、有効性は中程度であると判断される。対象区役所や JASS の能力強化の状況は、各パイロット事業サイトにより異なっており、各地の状況や活動の進捗状況の影響があることから、最終的な達成見込みは現時点で予測が困難である。一方、プロジェクト目標の達成度をより客観的に測るためには、現行の PDM (Ver.0) で示す指標を再検討する必要がある。

#### **(3) 効率性**

両州のプロジェクトチームは限られた条件の中で効率的な活動の実施に努めており、それぞれのコンポーネントにおいてある程度の進捗が確認されている。しかし、活動の遅れ、人的投入の不足（ピウラ州）、政権交代（州及び対象区）などの問題から、プロジェクト前半の効率性は十分ではなかった。

#### **(4) インパクト**



上位目標の達成見込み及び波及効果の点から、インパクトに関する分析は時期尚早であった。

### (5) 自立発展性

ランバイエケ・ピウラの両州において、現在州政府の組織再編が行われている。両州とも DRVS の位置づけに変化があり、州内での役割や機能に何らかの変化が生じる可能性がある。プロジェクトの自立発展性は、この再編の結果に大きく左右される。

### 3-3 効果発現に貢献した要因

- JASS 役員、区役所職員などのパイロット事業の関係者から概して良好な参加・協力が得られたこと。
- 衛生啓発については、マルチセクター・チームの設置を通し、他セクターからの協力が得られていること。
- 施設整備においては、州政府のインフラ部から施工監理等で協力を得たこと。
- いくつかのパイロット事業の対象区役所では、JASS の事務所建設や衛生施設整備など、プロジェクトに含まれていない部分を独自の予算で補う努力が窺えること。

### 3-4 問題点及び問題を惹起した要因

- ピウラ州の人材不足（専門職員の不足、カウンターパート配置の遅れ、人材の交代）。
- 州政府のプロジェクト活動に対する予算の配置が十分でないため、パイロット事業サイトへの交通手段、カウンターパートの日当、文房具などの備品等が不足していること。
- 2011 年 1 月の州政府の政権交代以降、両州とも州政府におけるプロジェクトへの認識・協力が十分に醸成されておらず、オーナーシップに改善の余地があること。
- ピウラ州では雨季にパイロット事業サイトへの道路アクセスに問題が生じたこと。
- 2011 年 1 月に区レベルでも政権交代で職員の交代が生じたこと。
- ランバイエケ州のエル・エスピナルやピウラ州のサン・ホルヘで JASS の役員の交代が生じたこと。
- スイス開発援助庁（COSUDE）の給水モデル事業をランバイエケ・ピウラの両州で普及させる計画があり、本プロジェクトと活動を調整する必要性が生じていること。

### 3-5 結論

プロジェクト期間前半では、関係者の尽力により様々な活動が実施され、アウトプット 1、2、3 においてある程度の成果を発現してきた。最も顕著な成果はプロジェクト活動を通じたカウンターパートのキャパシティ・ディベロプメントに見られる。妥当性は、ニーズ、優先度、手段としての適切性の点から引き続き高いが、他ドナーとの調整について現時点で課題が生じている。現時点までの有効性は、DRVS のカウンターパート、対象区役所職員や JASS の役員のキャパシティ・ディベロプメントの進捗に鑑みて、中程度であると判断される。しかし、いくつかの活動の遅れ、人材の不足（ピウラ州）、政府の政権交代（州及び区）などの課題があり、本プロジェクトの効率性は十分ではなかったと考えられる。インパクトについては、上位目標の達成見込み及び波及効果の点から、分析は時期尚早であった。また、DRVS の位置付けや役割・機能に変化があり、何らかの影響が生じるであろうことから、ランバイエケ・ピウラ両州の組織再編の結果が自立発展性に大きく影響を及ぼすと言え

る。さらに、住宅建設衛生省によるドナー調整が求められている。以上のような結果に基づき、中間レビューチームはプロジェクト期間後半に必要なアクションについて、以下のような提言を作成した。

### 3-6 提言

- (1) 両州政府は、プロジェクトの持続性を考慮し、現在の C/P を継続して配置し、DRVS に十分な人員を配置すること。
- (2) 両州政府は、DRVS を強化することによって、水・衛生分野の実施体制を高めること。
- (3) 住宅建設衛生省は、プロジェクトの成果を最大限に発現できるよう、重複を避け、ドナー調整を行うこと。
- (4) 住宅建設衛生省はプロジェクトで得られた成果や教訓を評価し、村落部における給水・衛生に関する基準や国家マスタープランに反映させること。
- (5) プロジェクトのアウトプット達成において区役所のインボルブメントは不可欠であることから、DRVS は水・衛生担当の配置を促進し、区の活動への参加を促進すること。
- (6) プロジェクトは、JASS の健全な運営のために、パイロット事業サイトにおいて水道メーターの設置を促進すること。
- (7) JASS の運営維持管理能力の継続のためには、区役所に JASS の恒常的な研修の実施体制を確立すること。
- (8) プロジェクトが作成したマニュアルに基づき、州と区役所との連絡・協力体制を実践を通じて強化すること。
- (9) DRVS は、プロジェクトを通して得た知識の持続性を高めるために、情報・ノウハウの組織への蓄積を強化して活用すること。
- (10) プロジェクトは、今後他州に於いて本プロジェクトのモデルを普及する際には、日本の他のスキームとの連携を念頭に置くこと。
- (11) JICA はカウンターパートの本邦／第三国研修を実施すること。
- (12) 現在の PDM (Ver.0) は、現状に即した PDM に修正されるべきである。現時点での修正点については、中間レビュー調査団による提案を基に、両州の DRVS 局長及び各ワーキング・グループのリーダーとの協議の下、PDM (Ver.1) 案として取り纏められた。同修正案は JCC の場において関係者で合意し、後半のプロジェクト活動は PDM (Ver.1) に基づき進められることが望ましい。

### 3-7 教訓

- (1) プロジェクトデザイン時には、「実施ありき」ではなく、C/P 機関の組織体制、実施能力について詳細に亘って調査することが肝要である
- (2) 給水と衛生の一体的な実施が望ましい。

以上

# 第1章 中間レビュー調査の概要

## 1-1 調査の経緯と目的

ペルー国は南米太平洋岸に位置する人口 3,000 万人（2011 年推定、ペルー統計情報庁）、面積 129 万km<sup>2</sup>、一人当たり GNI 5,196 ドル（2010 年、世銀）の国である。ペルーにおける「安全な水にアクセスできる人口」は、全国で 83%（2007 年ユニセフ子ども白書による 2004 年の数値。以下同様）であり、中南米各国平均 91%や隣国エクアドル 94%、ボリビア 85%と比較して低い状況である。ペルーの給水状況は、首都リマ等の都市部では、比較的上水道の整備が進んでおり、給水率は 89%となっている一方、地方部における給水率は 65%であり、都市部に比べて著しく低い。また、地方部ではトイレ等の衛生施設の整備率も低くなっている。

ペルー政府は、貧困対策の一環として給水・衛生事業を重視しており、水・衛生セクターを担う住宅建設衛生省（MVCS）は、2006 年に水供給及び衛生対策の推進のために国家衛生計画（Plan Nacional de Saneamiento）（2006-2015）を策定し、「万人に水を」プログラム（Programa Agua para Todos）を打ち出している。同プログラムの下、2015 年までに安全な水や下水道施設にアクセスできない住民の数を半数に減らすことを目標として、上下水道の施設改善と拡張等の施設整備を優先的に実施してきた。これまでの努力により、給水・衛生施設のハード面は整備されつつあるが、地方村落部における給水サービスの主要アクターである、州政府、区役所、水・衛生委員会の能力強化に関する支援が十分では無かった。このため、水・衛生委員会の脆弱な運営・維持管理体制、州政府－区役所－水・衛生委員会の連携不足、故障した給水施設の放置、不十分な料金徴収など、地方村落部の給水・衛生状況には多くの課題が見られた。

係る状況を踏まえ、MVCS はペルーにおいて給水率の低い北部のピウラ州及びランバイエケ州を対象に、給水・衛生事業実施に係る関連機関の能力向上を図るため、本技術協力プロジェクトを我が国に要請し、2009 年 2 月 4 日の R/D 署名を経て 2009 年 6 月から技術協力を開始した。2011 年 4 月を以て、プロジェクト期間の半分が経過したことから、プロジェクトの投入実績、活動実績、計画達成度等をレビューするために、本調査団の派遣が決定された。

## 1-2 中間レビューの目的

中間レビューの目的は以下の通り。

- (1) 2009 年 6 月からプロジェクトが開始され、2011 年 4 月をもってプロジェクト期間の半分が経過するため、プロジェクトの投入実績、活動実績、計画達成度等をレビューする。
- (2) 評価 5 項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性）の観点からレビューを行い、プロジェクトの実施に影響を及ぼしている促進要因、阻害要因を確認する。
- (3) 以上の結果を踏まえて、プロジェクト実施上の課題を抽出し、対応策について検討する。また、プロジェクト目標や成果の達成に向けた後半の活動について関係者と協議を行う。
- (4) 必要に応じて、活動、指標、投入等のプロジェクトデザインの見直しを行う。
- (5) 中間レビュー報告書を取り纏める。

### 1-3 調査団の構成

No.	氏名	担当分野	所属	期間 (arr. – dep.)
1	山本敬子	団長/上下水道計画	JICA 地球環境部 国際協力専門員	2011/6/26-7/11 (2011/6/27-7/9)
2	井上 啓	評価企画	JICA 地球環境部 水資源・防災グループ 防災第二課	2011/6/26-7/11 (2011/6/27-7/9)
3	大橋由紀	評価分析	合同会社適材適所	2011/6/19-7/11 (2011/6/20-7/9)
4	樋口安紀	通訳	財団法人 日本国際協力センター	2011/6/26-7/11 (2011/6/27-7/9)

1-4 調査日程

			JICA	Consultant
			Leader (Ms. Yamamoto) Evaluation Planning (Mr. Inoue) Interpreter(Ms. Higuchi)	Evaluation and Data Analysis (Ms. Ohashi)
1	19-Jun	sun	/	Narita → Houston
2	20-Jun	mon		Huston → Lima
3	21-Jun	tue		Lima (11.20) → Piura (13.00) Meeting with Experts Meeting with WG 1
4	22-Jun	wed		Meeting with Experts Meeting with Working Group 2 Meeting with Working Group 3
5	23-Jun	thu		Site Visit - San Jorge Interview with JASS, users and a PIC of Frias District Office
6	24-Jun	fri		Site Visit - Malacasi (AM) Interview with JASS and users. Visit Salitral District Office
7	25-Jun	sat		Piura (9.10) → Lima (10.40) (LA) Data Analysis
8	26-Jun	sun	NARITA (15.55) → Houston (13.50) (CO006) Houston (15.50) → Lima (22.25) (CO6975)	Data Analysis
9	27-Jun	mon	Internal Meeting Meeting with Counterpart of MVCS, Members of Joint Evaluation Team (11:00) Courtesy Call to MVCS (14:30-16:00) Lima(20.10) → Lambayeque(21.35) (LA2278)	
10	28-Jun	tue	Meeting with DRVS (10:30AM) Meeting with Regional Government (17.00)	Meeting with DRVS (9:00) Meeting with Regional Government (11:00) Meeting with Working Group 1 (14:30)
11	29-Jun	wed	Site Visit (Whole day) - El Espinal Interview with JASS and users. Visit Oyotun District Office Lambayeque → Piura (PM)	Site Visit (Whole day) - El Espinal Interview with JASS and users. Visit Oyotun District Office
12	30-Jun	thu	Meeting with Regional Government (8.00AM) Meeting with DRVS (9:00AM) Piura(18.30) → Lima (20.00) (LA2309)	Meeting with Working Group 2 (9:00) Meeting with Working Group 3 (14:30)
13	1-Jul	fri	Meeting with JICA (9:00AM) Meeting with COSUDE (11.00) Meeting with MVCS (15:00PM) Lima (20.00) → Lambayeque (21.35) (LA2278)	Site Visit (Whole day) - Humedades Interview with JASS and users. Visit Salas District Office
14	2-Jul	sat	Data Analysis & Drafting of the mid-term review report	
15	3-Jul	sun	Data Analysis & Drafting of the mid-term review report	
16	4-Jul	mon	Data Analysis & Drafting of the mid-term review report <b>Internal Meeting</b> <b>Meeting with DRVS (Piura &amp; Lambayeque)</b>	
17	5-Jul	tue	<b>Meeting with DRVS (Piura &amp; Lambayeque)</b> <b>Regional Level Steering Committee (CRD)(14:00PM-16:10PM)</b> Lambayeque(18.25) → Lima(19.40) (LA2277)	
18	6-Jul	wed	Meeting with JICA (9.00) Report to EOJ(10.00)	
19	7-Jul	thu	<b>Meeting with MVCS</b>	
20	8-Jul	fri	<b>Joint Coordinating Committee (CCC)(10:00AM-12:00PM)</b> Lima(22:30) → (CO1591)	
21	9-Jul	sat	→ NewYork(07.27)	
22	10-Jul	sun	NewYork(11.05) → (CO1591)	
23	11-Jul	mon	→ NARITA(13.55)	

### 1-5 中間レビューの方法

本中間レビューは、JICA 事業評価ガイドライン（改訂版）に沿って、以下のとおり実施する。また、中間レビュー結果についてはミニッツにまとめ、ペルー側と調査団の間で署名することにより、確認を行う。

- (1) 中間レビューの対象期間は、プロジェクトが開始された 2009 年 6 月から 2011 年 5 月までとし、その間に実施された投入や活動を調査し、これに基づいて全体を評価する。
- (2) プロジェクトの実績（プロジェクト目標、アウトプットの達成度、投入実績等）や実施プロセスを含むプロジェクト情報を整理し、実施状況の把握・分析を行う。
- (3) データの収集方法は、2011 年 6 月の時点で所属しているカウンターパートに対する聞き取り、給水委員会等裨益団体や住民からの聞き取り、プロジェクトの進捗報告及び既存資料からの情報収集、専門家その他関係者からの聞き取り等とする。
- (4) 事前に入選を依頼し、ペルー側からも合同中間レビューメンバーを選出し、共同で中間レビューを行う。可能な限り、プロジェクト外の中立的な第三者も合同レビューメンバーに含めるよう働きかける。
- (5) 評価 5 項目の内、妥当性と効率性を阻害要因・貢献要因とともに重点的にみる。各項目について具体的な設問を設定し、必要なデータや情報源、データ収集方法等を検討し、中間レビューの調査計画表である「評価グリッド（中間レビューグリッド）」を作成する。
- (6) 現地調査（プロジェクトサイト視察、関係資料取り纏め、関係者からの聞き取り等）を行い、評価グリッドに基づき、各分野のレビュー・分析とともにプロジェクトの総合的な中間レビューを行い、合同中間レビュー報告書（英文・西文）を作成する。
- (7) 合同中間レビュー報告書（英文・西文）の内容についてペルー側と合意した後、合同調整委員会もしくは合同評価委員会の場において、結果報告を行う。
- (8) 帰国後、報告会を開催し、中間レビュー報告書（和文）を作成する。

#### 検証の視点

項目	視点
実績の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（プロジェクト側、先方政府側）投入は計画どおりか（計画値との比較）</li> <li>・アウトプットは計画どおり産出されているか（目標値との比較）</li> <li>・プロジェクト目標の達成の見込みはあるか（目標値との比較）</li> </ul>
実施プロセスの検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動は計画どおりに実施されているか</li> <li>・技術移転の方法に問題はないか</li> <li>・プロジェクトのマネジメント体制（モニタリングの仕組み、意思決定過程、JICA 本部・在外事務所の機能、プロジェクト内のコミュニケーションの仕組みなど）に問題はないか</li> <li>・実施機関やC/Pのプロジェクトに対する認識は高いか</li> <li>・適切なC/Pが配置されているか</li> <li>・ターゲットグループや関係組織のプロジェクトへの参加度合いやプロジェクトに対する認識は高いか</li> <li>・その他、プロジェクトの実施過程で生じている問題はあるか。その原因は何か</li> </ul>

評価 5 項目の視点

項 目	視 点
妥当性	プロジェクトの目指している効果（プロジェクト目標や上位目標）が、中間レビューを実施する時点において妥当か（受益者のニーズに合致しているか、問題や課題の解決策として適切か、相手国と日本側の政策との整合性はあるか、プロジェクトの戦略・アプローチは妥当か等）。前提条件等に変更はないか。
有効性 （予測）	プロジェクトの成果とプロジェクト目標との因果関係があるか。 プロジェクト目標の達成の見込みはあるか。 プロジェクト目標の達成を阻害する要因はあるか。 成果からプロジェクト目標につながる外部条件は、現時点においても正しいか。 外部条件が満たされる可能性は高いか。
効率性	成果の達成度は適切か（実績と目標値との比較）。 成果達成を阻害した要因はあるか。 成果を算出するために十分な活動であったか。 成果を算出するために十分な投入であったか。 過不足ない量・質の投入がタイミング良く実施されたか。 プロジェクトのコストと効果の関係に着目し、資源が有効に活用されているか（あるいは、されるか）。
インパクト （予測）	上位目標とプロジェクト目標は乖離していないか。 プロジェクト実施によりもたらされる、より長期的・間接的効果や波及効果は何か（予期していなかった正・負の効果・影響を含む）。 上位目標はプロジェクトの効果として発現が見込まれるか。 上位目標の達成により、相手国の開発計画へのインパクトは見込めるか。 マイナスの影響はあるか。それを取り除くための方策は何か。
自立発展性 （見込み）	援助が終了しても、プロジェクトで発現した効果が持続する見込みがあるか。 関連法制度は整備されているか。整備される予定か。 協力終了後も効果を上げていく活動を実施するに足る組織能力はあるか（人材配置、意思決定プロセスなど）。 実施機関のプロジェクトに対するオーナーシップは十分に確保されているか。 経常経費を含む予算の確保は行われているか。 技術移転の内容や手法は受容されつつあるか。 資機材の維持管理は適切に行われているか。 普及・展開のメカニズムがプロジェクトに取り込まれているか。そのメカニズムを維持できる可能性はどの程度あるか。 自立発展性を阻害するその他の要因はあるか。





## 第2章 プロジェクトの実績と実施プロセス

### 2-1 投入実績

#### 2-1-1 日本側の投入

日本側の各項目の投入実績は、以下に示す通りである。また、詳細は付属資料4. 活動実績・投入実績に示す。

##### (1) 専門家

2011年4月までの専門家の投入実績は以下の通りであった。

担当分野	人数	合計 (人/月)
総括/運営・維持管理計画 (給水計画含)	1	9.50
副総括/給水計画 1/地下水開発 1	1	7.00
給水計画 2/地下水開発 2	1	7.36
給水計画 3/地下水開発 3	1	9.00
衛生啓発計画	1	7.34
浄水施設維持管理	1	- <sup>1</sup>
合計	6	40.20

##### (2) ローカルコンサルタント

パイロット事業サイトの水質調査のため、ランバイエケ州ではペドロ・ルイス・ガジョ大学、ピウラ州ではピウラ大学をローカルコンサルタントとして備上した。

##### (3) 機材

4WD 車両、コンピューター、コピー機、プリンターなど合計 64,390 米ドル相当の機材が現地で調達され、ランバイエケ・ピウラの両州に供与された。また、プロジェクター、ポータブル電気伝導率計、ミリオンロープ水位計、ハンディ GPS、濁度計など合計 841,040 円相当 (約 9,312 米ドル<sup>2</sup>) が専門家の携行機材として各州に供与された。

##### (4) 研修受入

中間レビュー時点までに、カウンターパートに対する本邦・第三国研修は実施されていない。

##### (5) 現地再委託

中間レビュー時点までに、パイロット事業3件の給水施設整備において、ランバイエケ・ピウラの各州で1社ずつの建設業者と現地再委託契約を結んだ。

##### (6) その他のスキーム

現時点までに、本プロジェクトと直接関連する日本の他スキームによる協力は、対象両州において実施されていない。

<sup>1</sup> 2011年6月から配置予定。

<sup>2</sup> 購入年月の JICA 統制レートにより換算。

## (7) 現地経費

2011年3月までに、合計47,580,255円の現地経費が支出された。

### 2-1-2 ペルー側の投入

以下のペルー側からの投入が行われた。各投入実績の詳細は添付資料4. 活動実績・投入実績に示す通りである。

#### 【住宅建設衛生省による投入】

##### (1) 必要人材の配置

プロジェクトの活動レベルに直接携わる人材としては、「万人に水を」プログラムの専門職員2名が、プロジェクトのコーディネーターとして配置されている。

##### (2) カウンターパートの移動手段

2011年5月までに、プロジェクト活動に関する出張経費として合計S/. 35,557ヌエボソルが支出された。

##### (3) その他

住宅建設衛生省では、給水施設の整備工事に関するマニュアルの作成をコンサルタントに依頼しており、そのためにS/. 138,323ヌエボソルを支出している。

#### 【ランバイエケ州・ピウラ州政府の給水・衛生担当部署による投入】

##### (1) プロジェクトオフィス

ランバイエケ・ピウラ両州の州政府住宅建設衛生局（DRVS）内に、家具付きのプロジェクトオフィスが提供されている。

##### (2) カウンターパート人材

プロジェクトの活動実施レベルに携わる人材として、中間レビュー時点ではランバイエケ州DRVSに8人、ピウラ州DRVSに11人のカウンターパートが配置されている。なお、パイロットプロジェクトについては、コンポーネント毎にワーキンググループ（WG）が形成されている。

##### (3) カウンターパートの移動手段

2011年4月までに、カウンターパートのプロジェクト活動に係る移動経費として、ランバイエケ州では合計S/. 7,555ヌエボソル、ピウラ州では合計S/. 6,370ヌエボソルが支出された。

##### (4) パイロット事業実施やその他のプロジェクト活動に必要な資金

2011年4月までに、プロジェクト活動の経費として、ランバイエケ州政府では合計S/. 74,546ヌエボソル、ピウラ州政府ではS/. 302,371ヌエボソルを支出した。これらの州政府からの支出は文房具やオフィス用品、活動のための移動手段、活動のための資材などの必要コストが含まれる。

## 2-2 活動実績

本プロジェクトのパイロット事業は3つのコンポーネントから成っている。各コンポーネントと、パイロット事業サイトの数（計画及び実績）は下表1に示す通りである。

表 1：パイロット事業のコンポーネントと事業数

コンポーネント	対象州	事業サイト数（計画）	事業サイト数 （中間レビュー時点までの実績）
コンポーネント 1: 給水施設整備	ランバイエケ州	3	建設完了 2 件＋活動停止 1 件
	ピウラ州	3	建設完了 1 件＋業者調達準備中 1 件＋中止 1 件
コンポーネント 2: 運営維持管理	ランバイエケ州	5	実施中 2 件＋活動中止 1 件＋サイト選定済 2 件
	ピウラ州	5	部分的に実施中 2 件＋サイト選定済 2 件＋ サイト選定中 1 件
コンポーネント 3: 衛生啓発	ランバイエケ州	5	実施中 2 件＋活動中止 1 件＋サイト選定済 2 件
	ピウラ州	5	実施中 2 件＋サイト選定済 2 件＋ サイト選定中 1 件

注：各コンポーネントは同じサイトで実施されるが、コンポーネント 1 は含まれないサイトがある。

ベースライン調査及びコンポーネント 1、2 の活動は以下の理由から遅れが生じ、中間レビュー時点では当初計画と比較すると全体で 3 ヶ月程度の遅れが認められた。

- ピウラ州では、プロジェクト開始当初プロジェクト活動を実施するために十分な技術職員が DRVS に配置されていなかった。
- ピウラ州では、カウンターパートとして配置された DRVS の人材は契約職員であり、安定した雇用契約ではないため、プロジェクト期間中に複数のカウンターパートの交代が生じた。
- 両州共に、プロジェクト活動に必要な移動手段が十分に提供されていない。特に第一年次のベースライン調査実施中は移動手段の不足が顕著であった。
- 2011 年 1 月には、地方政府（対象両州政府ならびにパイロット事業対象 4 区中 3 区）の政権交代が生じ、プロジェクトに係わる人材にも交代が生じた。
- ピウラ州では、雨期の豪雨によりパイロット事業サイトであるサン・ホルヘへの道路がアクセス困難となった。

コンポーネント 3 については、コンポーネント 1 や 2 と関連の強い活動については一部遅れが見られるが、概ね計画どおりに実施されている。また、水・衛生委員会（JASS）の役員の交代が現時点までの対象サイト 4 件中 2 件（エル・エスピナル及びサンホルヘ）で生じており、既に実施した研修を再度実施する必要が生じた。

パイロット事業の進捗状況は下表 2 に示す通りである。新たにコンポーネント 2 及び 3 の対象サイトの選定が最近行われ（一部まだ選定中）、対象サイトを管轄する区役所と DRVS の間の協定が締結され次第、パイロット事業の活動が開始される予定である。

表 2：パイロット事業進捗状況

サイト	所轄区役所	コンポーネント毎の進捗状況 (2011年6月現在)		
<b>ランバイエケ州</b>				
1	エル・エスピナル	オヨトゥン	1	● 施設整備は完了し、2011年3月から給水を開始した。
			2	● 運営維持管理（ハード面）の研修及びモニタリングを実施中。 ● 運営維持管理（ソフト面）の研修及びモニタリングを実施中。 ● 2011年5月から新しい水道料金の導入を開始。
			3	● 住民に対し衛生に係る習慣の改善のためのワークショップを実施済み。
2	ウメダデス	サラス	1	● 施設整備は完了し、2010年11月から給水を開始した。
			2	● 運営維持管理（ハード面）の研修及びモニタリングを実施中。 ● 運営維持管理（ソフト面）の研修及びモニタリングを実施中。 ● 2011年1月から新しい水道料金の導入を開始。
			3	● 住民に対し衛生に係る習慣の改善のためのワークショップを実施済み。
3	ラ・ラマダ	サラス	1	● 技術図書作成を中断（同地域で区役所が別の事業を計画しているため）
			2	● 未実施
			3	● 未実施
4	ククリ	チョンゴヤペ	2	● 未実施
			3	● 未実施
5	ビジャ・エル・ミラグロ	エテン	2	● 未実施
			3	● 未実施
<b>ピウラ州</b>				
1	サンホルヘ	フリアス	1	● 最近施設整備が完了し、テスト運転中。
			2	● 運営維持管理（ハード面）の研修は未実施。 ● 運営維持管理（ソフト面）の研修は開始していたが、2011年5月に JASS の役員の交代が生じた。
			3	● 住民に対し衛生に係る習慣の改善のためのワークショップを実施済み。 ● モニタリング活動（各家庭を訪問）を3度実施。 ● 2011年5月に JASS の役員の交代が生じた。
2	マラカシ	サリトラル	1	● 工事請負業者の選定のための入札図書を作成中。
			2	● 運営維持管理（ソフト面）の関連フォーマットの紹介が行われた。 ● 水道料金の設定やその他の活動は施設整備完了後に開始される予定。
			3	● 住民に対し衛生に係る習慣の改善のためのワークショップを実施済み。 ● モニタリング活動（各家庭を訪問）を3度実施。
3	マカカラ	ラ・ウアカ	2	● 未実施
			3	● 未実施
4	クンビビラ	カタカオス	2	● 未実施
			3	● 未実施
5	---	---	2	サイト選定中
			3	

## 2-3 アウトプットの達成状況

各アウトプットの指標に基づく達成状況は、以下に示す通りである。

---

アウトプット 1：ピウラ州・ランバイエケ州の農村・小都市における給水・衛生事業実施能力及び課題が確認される

---

指標：

- 1-1 両州の農村・小都市の給水・衛生状況のベースライン
  - 1-2 両州の農村・小都市の施設及び維持管理状況に関するインベントリ
  - 1-3 水・衛生委員会に対するヒアリングの実施
- 

### (1) 指標 1-1：両州の農村・小都市の給水・衛生状況のベースライン

ランバイエケ州の 20 村落、ピウラ州の 28 村落、合計 48 村落を対象としたベースライン調査が実施された。対象の村落は、給水に関する既存の課題や問題に基づき各州の DRVS が選定した。プロジェクトではこの 48 村落に対する給水施設の現状調査を実施したほか、給水施設の運営維持管理など給水・衛生に関する現状についてヒアリング調査やアンケート調査を実施した。

### (2) 指標 1-2：両州の農村・小都市の施設及び維持管理状況に関するインベントリ

上述のベースライン調査の結果は、各州でインベントリとして取りまとめられている。

### (3) 指標 1-3：水・衛生委員会に対するヒアリングの実施

上述の通り、ベースライン調査の一環としてヒアリング調査が実施された。ヒアリングの対象は、水・衛生委員会や住民であった。

---

アウトプット 2：ピウラ州・ランバイエケ州政府の給水施設の整備（建設・大規模修繕）に関する能力が強化される

---

指標：

- 2-1 給水施設整備（建設・大規模修繕）に関するマニュアル
  - 2-2 研修を受けた州政府職員の数
  - 2-3 6 農村・小都市でのパイロット事業の実施
- 

### (1) 指標 2-1：給水施設整備（建設・大規模修繕）に関するマニュアル

住宅建設衛生省は、給水施設整備に関するマニュアルの作成のためにコンサルタントを 2011 年 5 月に備上し、2011 年 8 月にはマニュアルが完成する予定である。内容については両州の DRVS と協議を進めており、2011 年 7 月には作成したマニュアルをレビューするために、両州 DRVS とワークショップを実施する予定である。当初、本マニュアルの作成については住宅建設衛生省と DRVS のどちらが作成するかで議論が生じたが、2010 年 8 月に協議の結果、R/D に示されている通り住宅建設衛生省がマニュアル作成を担当することが確認された。

### (2) 指標 2-2：研修を受けた州政府職員の数

給水施設整備（建設・大規模修繕）に関する活動は、コンポーネント 1 としてワーキング・グループ 1 (WG1) が主に担当している。両州の WG1 には、中間レビュー時点でカウンターパートが 3 人ずつ配置されている。これらのカウンターパートに対しては、パイロット事業において以下の内容に

つき OJT で技術移転が行われている。

- 給水施設の安定的な運転を確保する計画の立案・設計（プロフィール及び技術図書）
- 計画から施設の建設を実施する技術力
- 入札等により建設業者等を外注選定するノウハウ
- 施工管理する能力、等

プロジェクト開始前は、ピウラ州の DRVS は組織としてプロフィールや技術図書を作成したことがなく、給水施設の建設・整備を行うのは初めての経験であった。そのため、当初、施設建設の専門性を持つ職員を擁しておらず、新規に職員を契約したり、州政府のインフラ部から出向を受け入れたりする必要があった。ランバイエケ州の DRVS では、プロフィールや技術図書の作成の経験はあったものの、給水施設の建設を実施した経験はなかった。

### (3) 指標 2-3：6 農村・小都市でのパイロット事業の実施

コンポーネント 1 のパイロット事業は、各州 3 サイトずつ計 6 サイトで実施される計画であったが、以下の状況が生じたことから、現状では事業数は減少している。

- ピウラ州：技術図書の作成や建設の実施に必要な技術職員が十分に配置されなかったため、実施計画どおりに 2 年次の終了までに 3 件の施設整備を完了することが困難であると判断された。よって、2011 年 1 月に施設整備のパイロット事業は 2 件に減らされた。
- ランバイエケ州：本プロジェクトのクライテリアによって選出された 3 サイトの中で、ラ・ラマダでは同時に「万人に水を」プログラムによる事業の候補地となっていることが判明した。本プロジェクトの事業対象とするためには、他の事業の候補から除く必要があり、区役所に調整を依頼していたが、ラ・ラマダは現状でも「万人に水を」プログラムの候補地とされているため、施設整備のための活動は停止されている。

---

アウトプット 3：パイロット事業の対象区役所及び対象水・衛生委員会の給水施設運営維持管理及び衛生啓発に関する能力が強化される

---

指標：

- 3-1 給水施設運営維持管理及び衛生啓発に関するマニュアル
  - 3-2 研修を受けた区役所職員及び水・衛生委員会の人数
  - 3-3 10 農村・小都市でのパイロット事業の実施
- 

### (1) 指標 3-1：給水施設運営維持管理及び衛生啓発に関するマニュアル

#### 給水施設運営維持管理（コンポーネント 2）：

各州のワーキング・グループ 2 (WG2) のカウンターパートによりマニュアルのドラフトが作成された。それらのドラフトは、ピウラ州の WG2 が中心となって取りまとめ、一冊のマニュアルを作成する予定である。当初、DRVS のスタッフ用と、区役所職員や JASS 役員用の 2 種類のマニュアルが必要であると考えられていたが、両方の内容に大きな違いがないと判断され、1 冊のマニュアルに統合し、章毎に各アクターの役割や責任を記載することになった。本マニュアルは、給水施設の運営維持管理の日常業務に従事する JASS の活動について、大部分を割いている。

### 衛生啓発<sup>3</sup>（コンポーネント3）：

衛生啓発の活動には、両州のワーキング・グループ3（WG3）のカウンターパートが従事している。このコンポーネントでは、衛生啓発においてより多くの経験を持つ州政府保健局（DIRESA）、保健執行局（DESA）、州政府教育局（DRE）、女性社会開発省（MINDES）（ピウラ州のみ）との協力体制としてマルチセクター・チームを設置している。受益者に対するマニュアルの作成では、マルチセクター・チームの協力を得て、今までの経験や既存のマニュアルが活用された。また、住宅建設衛生省の本プロジェクトのコーディネーターが自身の専門に基づいてアドバイスを提供するなど作成に協力した。両州で既にドラフトが作成されており、ランバイエケ州のWG3が取りまとめて一冊のマニュアルとして完成させる予定である。内容は、水や衛生に関して共通する基本的な情報を含めつつも、各州の状況に適した内容となっている。ドラフトはコミュニティでのワークショップの際に既に活用されており、第3年次に見直しを行う予定である。また、今後は2011年8月までを目処に、JASSの役員や区役所に向けたマニュアルを作成する計画である。

### (2) 指標 3-2：研修を受けた区役所職員及び水・衛生委員会の人数

#### 給水施設運営維持管理（コンポーネント2）：

運営維持管理の研修では、1) 施設の運営維持管理（ハード面）、2) 給水施設の経営（ソフト面）の2種類を実施している。専門家の指導の下、区役所職員やJASS役員への研修は、1) についてはWG1が、2) についてはWG2が担当している。

1) については、パイロット事業の施設整備が完了したサイト（ランバイエケ州のエル・エスピナル及びウメダデス）でOJTによる研修が開始されている。OJTには施設のオペレーターに加えて、通常5-6名で構成されるJASSの役員数名が参加している。現在までの研修の内容は、施設建設工事終了後のJASSの役割と活動、給水施設の運営（塩素の注入、残留塩素のモニタリング、施設の点検）などである。研修内容の詳細は合同評価報告書の添付資料3：活動実績・投入実績に示す通りである。

2) の給水施設の経営（ソフト面）については、能力強化はOJTと座学によって実施されており、ランバイエケ州のエル・エスピナルとウメダデス、ピウラ州のサン・ホルへとマラカシで開始されている。研修には区役所の職員やJASSの役員が参加している。研修の内容は、水道経営全般、JASSの設立、JASSの定款等法規関連の検討、村落住民に対する説明、水道料金<sup>4</sup>の設定、JASSとユーザーの契約補助などが含まれる。

### 衛生啓発（コンポーネント3）：

ランバイエケ州のエル・エスピナルとウメダデス、ピウラ州のサン・ホルへとマラカシの4つのサイトで衛生啓発のOJTによる研修が実施されている。研修の参加者は他のコンポーネントと同じく区役所の職員やJASSの役員である。現在までの研修の内容は、衛生啓発全般、マニュアルの作成、住民対象ワークショップの実施に向けた検討、ワークショップの実施、モニタリングなどである。

<sup>3</sup> 本プロジェクトでの衛生啓発の内容としては、安全な水、給水サービス、節水、水の汚染、汚染された水が原因となる疾病、塩素処理、水道料金の支払い、適切な衛生習慣、排泄物の処理、清掃、固形廃棄物の処理、排水の処理、等に関する概念や習慣が含まれる。

<sup>4</sup> 本プロジェクトで「水道料金」は「Tariff」という用語が一般的に使われており、給水システムの運営維持管理、施設の交換（下水施設のコストを含む場合もある）などのコストが含まれる。一方、住宅建設衛生省の定義では「Tariff」は都市部で上下水道企業体（EPS）が管理している水道サービスの料金システムの下で使われる用語であり、農村部では「Tariff」という用語は当てはまらないとの指摘があった。

コンポーネント 2 及び 3 については、2011 年 1 月に政権交代があった区役所の職員の参加がまだ十分に強化されていないことから、今後重点的に取り組む必要がある。また、JASS についても、ランバイエケ州では JASS の役員の参加は会長と会計に限られていることもあり、強化が求められている。その他、水質のモニタリングを行っている保健所の職員など、地域の関係者が OJT に参加しているケースもあり、地域のリソースを十分に活用した取り組みが今後必要となっている。

### (3) 指標 3-3 : 10 農村・小都市でのパイロット事業の実施

上述の通り、現時点までにパイロット事業は 4 つの村落（ランバイエケ州のエル・エスピナルとウメダデス、ピウラ州のサン・ホルへとマラカシ）で実施されている。

---

アウトプット 4 : ピウラ州・ランバイエケ州において、運営維持管理及び衛生啓発に関するマニュアルの内容が区役所及び水・衛生委員会に普及される体制が整備される

---

指標 :

- 4-1 区役所に対する研修の実施数
  - 4-2 水・衛生委員会に対する研修計画の策定
  - 4-3 セミナーの実施
- 

アウトプット 4 については、マニュアルの作成やパイロット事業に関する活動が完了した後、プロジェクト期間の最終年次に活動が計画されている。よって、中間レビュー時点では進捗はまだ見られていない。

## 2-4 プロジェクト目標の達成状況

プロジェクト目標の指標に基づく達成状況は、以下に示す通りである。

---

プロジェクト目標 : ピウラ州・ランバイエケ州において、農村・小都市の給水・衛生事業実施能力が向上する

---

指標 :

- 1. 整備・改善がされた給水施設の数
  - 2. 給水施設の運営維持管理及び衛生啓発の実施能力が改善した区役所、水・衛生委員会の数
- 

### (1) 指標 1 : 整備・改善がされた給水施設の数

現時点までに施設整備が実施された給水施設の数は、ランバイエケ州のエル・エスピナルとウメダデス、ピウラ州のサン・ホルへの 3 件である。更に、ピウラ州のマラカシでは施設建設のための入札図書の準備を進めており、2011 年 8 月には建設工事が開始される予定である。

### (2) 指標 2 : 給水施設の運営維持管理及び衛生啓発の実施能力が改善した区役所、水・衛生委員会の数

コンポーネント 2 及び 3 のパイロット事業を実施している区役所及び JASS の数は 4 件であり、これらは指標 1 に記したサイトと同じ村落である。計画ではコンポーネント 2 及び 3 を実施するサイトの数は、最終的には 10 件となる予定である。



## 2-5 実施プロセス

### (1) プロジェクトの管理・実施体制

合同調整委員会（JCC）は2010年3月に一度、州レベルの運営委員会は2010年2月と10月に2度開催され、プロジェクトの進捗状況の報告、実施計画やその他の課題についての協議が行われた。これらの公式な会合の他に、住宅建設衛生省のカウンターパートが両州を定期的に訪問し、プロジェクト活動のモニタリングを行っている。

プロジェクト関係者のコミュニケーションは、活動実施レベルでは概して良好である。但し、ピウラ州では、プロジェクトの全体マネジメントのために各コンポーネントの担当者間での情報共有体制を強化することが課題であったが、最近になり、各コンポーネント代表者による週一度のミーティングが開催されるようになったことで、改善されてきている。

ランバイエケ・ピウラ両州の州政府との関係については、2011年1月の政権交代後、プロジェクト活動に必要な経費の潤滑な執行や人材の配置に関する支援、給水事業に関する他の部署との連携の面で、十分に調整が行われていないことが課題である。一方で、個別の活動レベルでは、衛生啓発におけるマルチセクター・チームとの連携や、施設整備の施工監理における州インフラ部の協力などが行われている。

### (2) カウンターパートの配置

ピウラ州では、プロジェクト開始当初、プロジェクト活動に必要な専門職員が DRVS に十分に配置されておらず、短期間の契約や州政府の他の部署からの出向で補われた。また、殆どのカウンターパートは正規職員ではなく、安定した雇用条件にないことから人材の交代が多く生じた。一方、ランバイエケ州では全てのカウンターパートが DRVS の正規職員である。

### (3) 区役所や対象村落の参加

区役所や対象村落の参加は概して得られているが、パイロット事業を実施してきた対象4区役所の内、3区役所で政権交代によりプロジェクトに係わる人材の交代が生じた。また、2ヶ所の JASS（ランバイエケ州のエル・エスピナルとピウラ州のサン・ホルヘ）で役員の交代が生じ、今まで実施してきた研修を新たな役員に対して再度繰り返す必要が生じた。また、いくつかのパイロット事業サイトでは、役員の参加が会長と会計のみに限定されているケースもある。住民の参加は適度に得られているが、プロジェクトが導入している新しい料金制度やマネジメント方法について住民の理解を十分に得ることは時間のかかる作業であり、継続して支援を行う体制作りが必要となっている。

### (4) PDMに基づくプロジェクト管理

プロジェクト開始から現時点までに、PDMの改定は行われていない。PDMに基づいたプロジェクト管理を適切に実施するためには、記載内容の関係者間での理解の統一、表現の明確化、指標の具体化、用語の統一などの点から、現状に合わせて修正する必要が生じている。



## 第3章 評価 5 項目による評価結果

### 3-1 妥当性

以下に示すように、本プロジェクトはペルーのニーズや優先度、日本の対ペルー支援戦略、課題に貢献する手段としての適切性の点からの妥当性は高い。一方、開始当初から、両州において州レベルでの DRVS の役割や責任が明確になっておらず、関連する州内の部署との関係性が適切に構築されていないことが指摘される。また、他ドナーが給水事業の能力強化のモデルを、ランバイエケ・ピウラ州でも普及させる計画があることが判明しており、本プロジェクトの活動との重複が生じる可能性がある。

#### (1) ペルー社会のニーズ、政府の優先度

国家衛生計画（2006-2015 年）は、給水サービスの普及、給水・衛生セクターの管理・マネジメントの近代化、持続性・サービスの質の向上、給水サービスのプロバイダーにおける採算の確保等を目指しており、現在でも効力のある国家計画である。本プロジェクトの内容は、この国家計画が目指すものと合致しており、整合性が高い。また、給水の改善はランバイエケ・ピウラ両州の開発計画（ランバイエケ州開発計画 2011-2021 年、ピウラ州開発計画 2007-2021 年）においても優先度の高い課題の一つとして扱われている。

#### (2) 日本の対ペルー支援戦略

現行の JICA のペルー共和国国別援助実施方針（2009 年 4 月）では、「貧困削減・格差是正」の重点分野の下で優先的に取り組むべき課題として、給水・衛生の改善を挙げており、本プロジェクトは「水プログラム」のコンポーネントの一つと捉えられている。

#### (3) 手段としての適切性

本プロジェクトは、地方村落部の給水・衛生に関する課題を解決するために、給水施設の整備、運営維持管理の改善、衛生啓発を組み合わせた 3 つのコンポーネントに取り組んでいる。このような取り組みは、地方村落部の給水における課題、特に適切な水道料金と維持管理により「施設を管理する」という概念に乏しい農村の問題に貢献するアプローチとして、プロジェクト関係者は適切であると認識している。

また、ペルーでは地方村落部において、水道メーターの設置や使用量に基づいた水道料金の導入を実施することは新しい取り組みであり、国の政策としてはまだ議論されている状況にある。しかし、ランバイエケ・ピウラ両州のカウンターパートは、現時点までのパイロット事業での経験に鑑みて適切な方法であると考えている。今後、給水サービスの持続性を高める取り組みとして本プロジェクトのパイロット事業を中央レベルでも十分に分析し、政策・戦略に取り込んでいくことが望まれる。

一方、本プロジェクトは DRVS を農村の給水・衛生の改善に従事する中心的な機関であると考え、その技術能力の改善に取り組むものであるが、当初から両州において州レベルでの DRVS の役割や責任が明確になっておらず、関連する州内の他部署との関係性も適切に構築されていなかった。また、プロジェクトの 3 つのコンポーネントにおいて主要な役割を果たすために十分な人的・資金的資源が配置されていなかったことも指摘される。

#### (4) 他の給水・衛生事業との連携・デマケーション

州レベルでは、州政府のインフラ部が給水施設整備の大部分を担っている。また、ピウラ州では州政府の社会開発部の下に「万人に水を」プログラムの州政府負担部分（施設建設や JASS に対する運営維持管理の研修を含む）の実施機能があり、州政府の資金不足のため活動は滞っているものの、北部国境給水プログラムの専門職員が給水に係る事業を担当している。これらの機能はプロジェクト開始前から DRVS の機能と平行して存在しており、現在州政府は組織再編を実施している最中である。

国家レベルでは、農村の給水・衛生に関する様々なプロジェクトやプログラムが実施されている。MVCS は、給水施設の整備と JASS 等の利用者の運営組織の能力強化のコンポーネントを持つ「万人に水を」プログラムを実施しており、ランバイエケ・ピウラを含む各州で中央のコンサルタントが直接活動を実施している。ルクセンブルグ、スペイン、米州開発銀行等のドナーの支援により、類似した事業が国内の様々な州で実施されている。そのような事業の一つとして、スイス開発協力庁（COSUDE）がカハマルカ州・クスコ州で実施していた給水事業があるが、そのモデルをランバイエケ・ピウラ州でも普及させる計画があることが中間レビューの時点で判明しており、本プロジェクトの活動との重複が生じる可能性がある。現在、重複を回避すべく、調整が行われている。

### 3-2 有効性

現時点までの活動と DRVS のカウンターパート、対象区役所や JASS の能力強化の進捗を考慮すると、有効性は中程度であると判断される。

#### (1) プロジェクト目標の達成見込み

アウトプット 1、2、3 の現時点までの達成状況を考慮すると、本プロジェクトの 3 つのコンポーネントにおいて、農村コミュニティでの給水・衛生事業の実施に係る両州 DRVS の能力は、強化されてきている。しかし、区役所や JASS の能力強化については、その地域の状況や活動の進捗状況が各パイロット事業サイトによって異なっているため、最終的な達成見込みは現時点では予測が困難である。一方、プロジェクト目標の達成度をより客観的に測るためには、現行の PDM（Ver.0）の指標を再検討する必要がある。

#### (2) プロジェクト目標とアウトプットの因果関係

上述のように、ある程度アウトプットの達成が確認されているものの、アウトプットの達成の結果としてのプロジェクト目標の達成度を測定するためには、4 つのアウトプットの達成によりプロジェクト終了時にどのような状態になることを目指しているのかを明確にし、指標を再検討する必要がある。

プロジェクト目標達成のための外部条件に関し、「関係組織間で良好な関係が維持される」については、妥当性で述べたとおり、関連する州内の他部署との関係性が明確になっていないことが指摘される。給水事業の運営維持管理の改善に取り組む DRVS やプロジェクト活動は、州政府の中で十分に認識されておらず、政府内の関連部署から必要な支援を受けているとは言い難い。今後、州政府や他部署との関係は組織再編により整理され、運営維持管理の体制が強化されていくことが期待される。その他の外部条件では、「農村・小都市の活発な参加（給水施設設置含む）」

はアウトプット達成のための外部条件であると考えられる。また、「指摘された問題点が改善される」や「状況把握が持続される」については、プロジェクト目標達成のための外部条件として明確ではないため、再検討が必要である。

### 3-3 効率性

両州のプロジェクト関係者は、限られた条件の中で効率的な活動の実施に努めており、それぞれのコンポーネントにおいてある程度の進捗が確認されている。しかし、活動の遅れ、人的投入の不足（ピウラ州）、政権交代（州及び区）などの問題から、プロジェクト前半の効率性は十分ではなかった。

#### (1) アウトプットの達成状況

現状の指標では、特にアウトプット 2 及び 3 において、達成度を判断することは困難であるが、現時点でのアウトプット 1、2、3 の達成状況は以下の通り判断される。これらの達成度をより客観的に判断するために、指標の改定が必要となっている。また、これらの達成状況は、ピウラ州の場合では人材の不足と交替の影響が大きく、今後プロジェクト期間内に人材の交替が更に発生すると達成度に更に大きく影響することが懸念される。

#### アウトプット 1:

アウトプット 1 はアウトプット 2 や 3 の活動を開始するための準備として実施する活動を示しており、アウトプット 1 の活動はプロジェクトの初期に両州で実施された。農村における給水・衛生の状況や、給水・衛生に関する事業の実施能力、課題を確認するためのプロジェクト活動は全て完了している。

#### アウトプット 2:

両州の WG1 のカウンターパートは、プロフィールの作成から完工まで給水施設整備の各種実務に取り組んだ。土木・建築の専門職員である両州のカウンターパートは、給水施設の種類や地理的な条件などによって学ぶべきことは多いが、パイロット事業を通じて良い経験を得たと考えている。

#### アウトプット 3:

区役所の職員については、パイロット事業に対して協力的であるが、現時点までの職員の能力強化の達成度は区によって異なっている。この違いは、各区のプロジェクト活動への参加度の違いから生じており、以下のような理由からまだ参加が限られている区役所がある。

- 2011 年 1 月に区でも政権交代が生じ、現在までの 4 対象区中 3 区でパイロット事業の担当職員が交代となった。
- いくつかの区では、人的・資金的リソースが限られていることから、給水・衛生の担当職員が配置されていなかったり、担当職員が他の業務と兼務していたりしている。

プロジェクトの後半では区役所との活動は活発化され、参加を促進し、能力強化を行っていく予定である。

JASS の役員については、主にプロジェクト活動の進捗の違いから能力強化の達成度が異なっている。コンポーネント 2 については、エル・エスピナルとウメダデスで活動が進んでおり、新し

水道料金の導入を含めた日常の給水が既に開始されている<sup>5</sup>。サン・ホルヘでは、現在は運営維持管理の研修中である。いずれの場合も、新たな活動が開始されたばかりであり、中間レビューの聞き取り調査では役員からは、特に塩素処理のことなど、まだ様々な点で心配が聞かれたことから、現状ではまだモニタリングと支援が重要となっている。コンポーネント3については、マラカシでは JASS の役員や関係者による家庭訪問によるモニタリング活動が既に始まっている。その他の対象村落では、能力やイニシアティブの強化に今後取り組む予定である。

アウトプット3では、区役所や JASS の能力強化を直接的な目標としているが、区役所や JASS に必要な指導を行うための州レベルのカウンターパートの能力強化が同時に重要となっている。コンポーネント2については、ランバイエケ州では2ヶ所のサイトで研修が進んでおり、カウンターパートは必要なフォーマットの準備や JASS 役員への研修を経験した。ピウラ州では、まだ実施中ではあるが、同様に JASS や区役所に対する運営維持管理の指導能力を強化しつつある。両州とも、残りのプロジェクト期間に計画されている残りのパイロット事業の活動を通じて、終了時までには十分な指導能力を強化できると考えられている。

コンポーネント3については、現時点までは活動は概ね計画どおりに進捗しており、州レベルでの他のセクターとの協力関係が構築されている。WG3 のカウンターパートは、コミュニティに対するマニュアルの作成やワークショップの実施の経験を得た。プロジェクト後半では、既存のサイトでのモニタリングが継続・強化される一方で、JASS や区役所に対する衛生啓発活動のマニュアルを作成し、また各州で3ヶ所ずつの新たなサイトで活動が開始される予定である。

## (2) 投入のタイミング、質、量

ペルー側の投入については、既に述べてきた通り、人的・資金的リソースに不足があり、特にピウラ州での専門職員のカウンターパートが不足していたことや、両州に必要な経費が十分に用意されていないことが問題であった。

日本側の投入については、関係者から以下の点が指摘されている。

- プロジェクトの一年次は、ベースライン調査で交通手段が必要であったが、まだ車輛が供与されていなかった。
- 日本或いは第三国でのカウンターパート研修がまだ実施されていない。

## 3-4 インパクト

上位目標の達成見込みや波及効果の点から、インパクトに関する分析は時期尚早であった。

### (1) 上位目標の達成見込み及びプロジェクト目標との因果関係

プロジェクトの中間時点であり、プロジェクト目標の能力強化の達成目標となる指標がまだ具体化されていないことや、外部条件の整理が必要であることから、上位目標の達成見込みの判断

<sup>5</sup> 両パイロット事業サイトでの水道料金の徴収に関する現状は次の通り。1)エル・エスピナル：2011年5月から新料金システムに基づく料金請求が開始され、2011年6月時点では利用者の半数が料金を支払った。まだ新しいシステムの導入プロセスにあり、支払期日についてまだ十分に利用者に理解されていないことが指摘されている（2ヶ月の滞納でサービスが停止されることを、2ヶ月に一度の支払いと理解している住民がいる）。2)ウメダデス：2011年3月から新しい料金システムが開始された。59世帯中、現在までに支払いの滞りによるサービス停止が4世帯であったが、いずれも支払いがありサービスが再開されている。

は時期尚早であった。

衛生状況の改善については、ペルーでは「衛生」の概念に給水と更にトイレ（下水処理）を含めて捉えられる考え方が一般的になっている。一方、本プロジェクトでは、衛生啓発に取り組んでいるが、下水やトイレなどの衛生施設の整備のコンポーネントは含まれていない。この点では、衛生施設の整備も本プロジェクトの活動に含めた方が、本プロジェクトのインパクトも増大させることができるのではないか、とのコメントがプロジェクト関係者から寄せられた。

## (2) プロジェクトの間接効果

農村コミュニティでの給水の改善は、結果として健康状態の改善、生活の改善など様々な正のインパクトがあるが、エル・エスピナルやウメダデスでは水を運ぶための時間や費用の削減、水のアクセス（給水時間）の改善などが生じていることが JASS や利用者のコメントとして聞かれた。

### 3-5 自立発展性

ランバイエケ・ピウラ両州において、現在州政府の組織再編が行われている。両州とも DRVS の位置づけに変化があり、州内での役割や機能に何らかの変化が生じる可能性がある。プロジェクトの自立発展性は、この再編の結果に大きく左右されると言える。

#### (1) 政策・制度面

給水の改善は、ペルーでは中央でも地方でも政府の優先課題であり、給水の改善に関する政策的なサポートは継続することが予想される。しかし、現状では住宅建設衛生省や州政府がそのような優先課題の解決に向けて、どのように給水改善のための実施体制を強化していくかについては、まだ具体的に示されていない。

#### (2) 組織・財政面

州政府は、より効率的な体制構築のために組織再編の最中である。中間レビューの時点では、両州とも再編後の体制は発表されておらず、最終的な体制が公表されるにはもう暫く掛かる模様である。両州共に、DRVS がプロジェクトの 3 つのコンポーネントを通して得た経験を広く活用していくためには、組織の人的・資金的リソースを強化していく必要がある。また、この組織再編により、給水・衛生改善を担う組織・部署の役割・機能・権限がより明確になることが期待されている。

区役所については、給水施設の運営維持管理や衛生啓発等、主にソフト面について JASS を指導することが期待されているが、区役所の人員体制や資金的制約を考慮した場合、物理的に難しい<sup>6</sup>状況にある。しかしながら、区役所によっては、JASS の事務所建設や下水処理施設建設等に対して区の資金の投入を検討し、JASS へのハード面の支援を行うことによって DRVS による給水・衛生状況の改善に向けた取り組みと協調している例もある。夫々の区役所が実施可能なことに取り組み、且つ DRVS と協調することによって、更なる効果を上げることが期待される。

JASS の運営については、また新システムの導入プロセスにある。本プロジェクトは、給水システムの持続性を確保するために、残りの期間を通じ、JASS の健全な運営を更に促進していく予定

<sup>6</sup> 例えばランバイエケ州には 38 の区役所があり、それに対し JASS 等の水道管理組織は約 1,300 存在している。

である。

### (3) 技術面

カウンターパートの交代や人材不足により、現在までプロジェクトが実施してきたキャパシティ・ディベロップメントの進捗や、プロジェクト活動を通じて DRVS が取得した技術・知識・経験の持続性に大きな影響が出ている。DRVS の技術的な自立発展性を確保するためには、個人レベルのみならず、組織レベルで経験を蓄積するための方法を検討する必要がある。

パイロット事業においては、多くの JASS では役員が 2 年毎に交代することや、区役所に十分なリソースがないことを考慮し、人材の交替が生じても技術や知識が当該 JASS で維持・活用されるための方法を残りのプロジェクト期間で検討していく必要がある。



## 第4章 PDM の修正

既述の通り、現行の PDM は現状に合わせた修正が必要である。本中間レビューでは、ペルー側評価メンバー、専門家、カウンターパート代表者との協議の結果、以下のような修正案を作成した。なお、西語版については、使用している用語の統一や修正も行った。

PDM ver.0	修正案	修正理由
<b>プロジェクトの要約</b>		
<b>【プロジェクト目標】</b> ピウラ州・ランバイエケ州において、農村・小都市の給水・衛生事業実施能力が向上する	ピウラ州・ランバイエケ州において、農村・小都市*の給水・衛生事業実施能力が向上する (注* 本プロジェクトでは、「小都市」はコミュニティ・ベースの給水サービス、もしくは区役所が直接給水サービスを提供している小都市のみを対象とする。)	住宅建設衛生省の「小都市」の概念では、小都市は民間の給水事業者が給水サービスを提供していると定義しているが、実際はコミュニティ・ベースの給水事業や区役所直営の事業も存在していることから、本プロジェクトの対象となる「小都市」を明記した。
<b>【アウトプット2】</b> ピウラ州・ランバイエケ州政府の給水施設の整備（建設・大規模修繕）に関する能力が強化される	ピウラ州・ランバイエケ州の DRVS の、農村・小都市における給水施設の整備、維持管理、給水・衛生サービスの指導に関する能力が強化される	州政府の中でも本プロジェクトは DRVS の能力強化を実施していることから、DRVS と明記した。また、本プロジェクトの能力強化は給水施設の整備のみが対象ではないため、対象となる維持管理、給水・衛生サービスの指導についても明記した。
<b>指標</b>		
<b>【上位目標】</b> 1. 適切な給水施設が存在する農村・小都市の数 2. 給水・衛生施設が適切に維持管理されている農村・小都市の数	1. 質・量共に適切な飲料水の給水サービスが存在する農村・小都市の数が増える（今後更に具体化すること） 2. 水を介する疾病の罹患率が減少する	本プロジェクトの活動内容（特に給水サービスの運営維持管理の改善と衛生啓発）のインパクトとなる指標を検討したが、中間レビュー中の時間の制約により、具体化できなかった。今後、州政府の開発計画の目標との整合性や入手可能なデータに鑑みて具体化する必要がある。
<b>【プロジェクト目標】</b> 1. 整備・改善がされた給水施設の数 2. 給水施設の運営維持管理及び衛生啓発の実施能力が改善した区役所、水・衛生委員会の数	1. DRVS が州内の 25%の区役所に対し、プロジェクトで作成したマニュアルに基づいた指導を続ける 2. 少なくとも 10 箇所のパイロット事業対象の JASS が適切な料金システムで改善された給水サービスを提供する	本プロジェクトの達成目標を明確化、数値化した。
<b>【アウトプット1】</b> 1-1 両州の農村・小都市の給水・衛生状況のベースライン 1-2 両州の農村・小都市の施設及び維持管理状況に関するインベントリ 1-3 水・衛生委員会に対するヒアリングの実施	1-1 両州の農村・小都市の給水・衛生状況のベースライン調査の結果が取りまとめられる 1-2 給水施設のインベントリが作成される	本アウトプットは活動がそのままアウトプットになっているが、より活動の結果を示す指標に変更した。
<b>【アウトプット2】</b> 2-1 給水施設整備（建設・大規模修繕）	2-1 施設整備の準備（SNIP、技術設計）	DRVS の各コンポーネントにおける能

に関するマニュアル 2-2 研修を受けた州政府職員の数 2-3 6 農村・小都市でのパイロット事業の実施	図書の作成)、業者入札、施工管理、竣工検査までが4パイロット事業サイトにおいて実施される。 2-2 運営維持管理のマニュアルに基づいて10箇所のパイロット事業が実施される。 2-3 衛生啓発のマニュアルに基づいて10箇所のパイロット事業が実施される。	力強化を測る指標を検討し、データ入手が可能な現実的な指標として、左記が提案された。
【アウトプット3】 3-1 給水施設運営維持管理及び衛生啓発に関するマニュアル 3-2 研修を受けた区役所職員及び水・衛生委員会の数 3-3 10農村・小都市でのパイロット事業の実施	3-1 給水施設運営維持管理マニュアルに基づいてJASSの施設運営維持管理の月例報告が区役所に提出される。 3-2 給水施設運営維持管理マニュアルに基づいてパイロット地区の区役所がJASS/水委員会を指導する回数が増える。 3-3 衛生啓発の結果、衛生的生活習慣が身についた住民の割合が増加する。	JASSと区役所の能力強化を測る指標を検討し、データ入手が可能な現実的な指標として、左記が提案された。
【アウトプット4】 4-1 区役所に対する研修の実施数 4-2 水・衛生委員会に対する研修計画の策定 4-3 セミナーの実施	4-1 パイロット対象区役所の内60%がパイロットJASS以外のJASS/水委員会にマニュアルに基づいた指導を行う。 4-2 70%のパイロット対象以外の区役所に対して運営維持管理及び衛生啓発の研修が実施される。 4-3 研修を受けたパイロット対象以外の区役所の内、70%の区役所がJASS/水委員会に対する研修計画を作成する。	今後実施されるアウトプット4の目標値として、左記が提案された。
<b>入手手段</b>		
【上位目標】 MVCSの指標、地方政府、地方自治体	1. 州政府レポート 2. 保健省レポート	指標の修正案に合わせた入手手段を提案した。但し、指標の具体化に合わせて再検討が必要。
【プロジェクト目標】 パイロット事業の評価(プロジェクト記録、現地調査、ヒアリング)	1-1 DRVSの半期及び年間報告書 1-2 DRVSと区役所間の協力協定書 1-3 区役所のモニタリング報告書 1-4 プロジェクト記録	指標の修正案に合わせた入手手段を提案した。
【アウトプット1】 1-1 ベースライン結果 1-2 イベントリ結果 1-3 ヒアリング結果	1-1 第一年次のプロジェクト報告書 1-2 第一年次のプロジェクト報告書	指標の修正案に合わせた入手手段を提案した。
【アウトプット2】 2-1 プロジェクト記録 2-2 研修実施記録 2-3 モニタリング記録	2-1 プロジェクト記録 2-2 プロジェクト記録 2-3 プロジェクト記録	指標の修正案に合わせた入手手段を提案した。
【アウトプット3】 3-1 プロジェクト記録 3-2 研修実施記録 3-3 モニタリング記録	3-1 JASSの月例報告書 3-2 区役所のモニタリング報告書 3-3 衛生啓発モニタリング記録	指標の修正案に合わせた入手手段を提案した。
【アウトプット4】 4-1 研修実施記録	4-1 プロジェクト記録	指標の修正案に合わせた入手手段を

4-2 プロジェクト記録 4-3 セミナー実施記録	4-2 研修記録 4-3 区役所の研修計画	提案した。
<b>外部条件</b>		
<b>【上位目標達成の外部条件】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>州レベルの政策が変化しない</li> <li>「北部地域給水衛生サブプログラム」の他のコンポーネントが実施される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「万人に水を」プロジェクトが継続する</li> <li>州政府の給水・衛生整備の予算が増加する</li> <li>区役所の給水・衛生分野の予算が増加し、人材が確保される</li> <li>州レベルの政策が変化しない</li> </ul>	上位目標達成に必要な事業実施予算について、外部条件に加えた。また JICA の「北部地域給水衛生サブプログラム」は現在存在しないため削除した。
<b>【プロジェクト目標達成の外部条件】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係組織間で良好な関係が維持される</li> <li>「農村」・「小都市」の活発な参加（給水施設設置含む）</li> <li>指摘された問題点が改善される</li> <li>状況把握が持続される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然災害が起こらない</li> </ul>	現行 PDM の上 2 つの外部条件は、アウトプット達成レベルの外部条件と判断した。また下 2 つは不明確であるため削除した。プロジェクト目標の外部条件として自然災害を加えた。
<b>【アウトプット達成の外部条件】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>両州で給水・衛生改善に必要な予算が配分される</li> <li>プロジェクト活動に必要な情報が遅滞なく入手できる</li> <li>プロジェクト活動のためのロジスティックス（交通手段）が準備される</li> <li>事業を進めるにあたってペルー内の法的手続きが遅滞なく実施される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係組織間で良好な関係が維持される</li> <li>「農村」・「小都市」の活発な参加（給水施設設置含む）</li> <li>事業を進めるにあたってペルー内の法的手続きが遅滞なく実施される</li> <li>他ドナーの活動が変わらない</li> </ul>	プロジェクト期間中の州政府の予算の配分、情報入手、ロジスティックスは内部要因と理解し、削除した。他ドナーが本プロジェクトと類似した活動を新たに開始することによる本プロジェクトへの負の影響に鑑み、外部条件を追加した。
<b>前提条件</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>カウンターパートが適切に配置される</li> <li>地方自治体・州政府・MVCSの政策・分掌が変わらない</li> <li>他ドナーの活動が変わらない</li> <li>治安が悪化しない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>治安が悪化しない</li> </ul>	カウンターパートの配置は不足があったものの活動が開始されており、地方自治体・州政府・MVCS の政策・分掌の変化は将来的な外部条件であるため、削除した。他ドナーの活動の変化はアウトプット達成の外部条件と判断した。
<b>活動</b>		
2-3 パイロット事業として給水施設の整備（建設・大規模修繕）を行う農村・小都市の候補を 6 箇所程度選定する 2-4 州政府がパイロット事業対象 6 農村・小都市において、新規建設計画の作成、大規模修繕必要箇所把握のための調査、大規模修繕計画の策定、それらの設計、仕様書作成及び施工のための許認可手続きを実施する 2-5 州政府がパイロット事業対象 6 農村・小都市において、民間業者等を活用し、給水施設の建設・大規模修繕を実施する	2-3 パイロット事業として給水施設の整備（建設・大規模修繕）を行う農村・小都市の候補を 4 箇所程度選定する 2-4 州政府がパイロット事業対象 4 農村・小都市において、新規建設計画の作成、大規模修繕必要箇所把握のための調査、大規模修繕計画の策定、それらの設計、仕様書作成及び施工のための許認可手続きを実施する 2-5 州政府がパイロット事業対象 4 農村・小都市において、民間業者等を活用し、給水施設の建設・大規模修繕を実施する	プロジェクトの現状に合わせて、給水施設整備のパイロット事業は 6 箇所から 4 箇所程度に修正した。
3-1 パイロット事業として区役所及び水・衛生委員会が実施する給水施設運営維持管理及び衛生啓発を行う農村・小都市を 10 箇所程度	2-8 パイロット事業として区役所及び水・衛生委員会が実施する給水施設運営維持管理及び衛生啓発を行う農村・小都市を 10 箇所程度	アウトプット 2 の修正に合わせて、アウトプット 3 の活動に含まれていた活動をアウトプット 2 の活動として移動させた。

<p>選定する（上記 2-3 で選定された 6 農村・小都市を含む）</p> <p>3-2 州政府がパイロット事業対象の区役所と協力し、区役所及び水・衛生委員会が実施する給水施設運営維持管理（区役所及び水・衛生委員会の体制整備、運営維持管理計画作成、料金設定、料金徴収、小規模修理、スペアパーツ入手方法）及び衛生啓発に関するマニュアル案を作成する</p> <p>3-3 州政府がパイロット事業対象農村・小都市の給水・衛生事業を管理する区役所及び水・衛生委員会に対して、給水施設運営維持管理及び衛生啓発に関する研修を行う</p>	<p>選定する（上記 2-3 で選定された 4 農村・小都市を含む）</p> <p>2-9 州政府がパイロット事業対象の区役所と協力し、区役所及び水・衛生委員会が実施する給水施設運営維持管理（区役所及び水・衛生委員会の体制整備、運営維持管理計画作成、料金設定、料金徴収、小規模修理、スペアパーツ入手方法）及び衛生啓発に関するマニュアル案を作成する</p> <p>2-10 州政府がパイロット事業対象農村・小都市の給水・衛生事業を管理する区役所及び水・衛生委員会に対して、給水施設運営維持管理及び衛生啓発に関する研修を行う</p>	<p>上記と同様に、施設整備の 6 農村・小都市は 4 に変更した。</p>
<p><b>投入</b></p>		
<p>6. 他のスキーム：ボランティア（維持管理・農村・小都市の生計向上に係る協力）、フォローアップ（無償の井戸掘削関連機材）、草の根無償など</p>	<p>6. 現地経費</p>	<p>現行 PDM の他のスキームは約束されたものではなく、また本プロジェクトの投入ではないため削除した。また、実際に投入されている現地経費が記載されていなかったため、記載した。</p>
<p><b>枠外</b></p>		
<p>対象地域： ペルー</p>	<p>対象地域： ランバイエケ州・ピウラ州</p>	<p>現状に合わせて修正した。</p>
<p>ターゲットグループ： MVCS、ピウラ州、ランバイエケ州、パイロットプロジェクト事業関連自治体</p>	<p>実施機関： MVCS、ランバイエケ州政府、ピウラ州政府</p> <p>ターゲットグループ： ランバイエケ州政府の DRVS、ピウラ州政府の DRVS、パイロットプロジェクト対象区役所・JASS/水委員会・住民</p>	<p>現状に合わせて修正した。</p>
<p>プロジェクト期間：2009-2013 年 (4) 年</p>	<p>プロジェクト期間：2009 年 6 月-2013 年 3 月</p>	<p>具体的に記載した。</p>

## 第5章 結論

プロジェクト期間前半では、関係者の尽力により様々な活動が実施され、アウトプット1、2、3においてある程度の成果を発現してきた。最も顕著な成果はプロジェクト活動を通じたカウンターパートのキャパシティ・ディベロプメントに見られる。妥当性は、ニーズ、優先度、手段としての適切性の点から引き続き高いが、他ドナーとの調整について現時点で課題が生じている。現時点までの有効性は、DRVSのカウンターパート、対象区役所職員やJASSの役員のキャパシティ・ディベロプメントの進捗に鑑みて、中程度であると判断される。しかし、いくつかの活動の遅れ、人材の不足（ピウラ州）、政府の政権交代（州及び区）などの課題があり、本プロジェクトの効率性は十分ではなかったと考えられる。インパクトについては、上位目標の達成見込み及び波及効果の点から、分析は時期尚早であった。また、DRVSの位置付けや役割・機能に変化があり、何らかの影響が生じるであろうことから、ランバイエケ・ピウラ両州の組織再編の結果が自立発展性に大きく影響を及ぼすと言える。さらに、住宅建設衛生省によるドナー調整が求められている。以上のような結果に基づき、中間レビューチームはプロジェクト期間後半に必要なアクションについて、次章のとおり提言を取り纏めた。



## 第6章 提言及び教訓

### 6-1 提言

提言については、以下の12項目が挙げられた。以下、項目毎にその背景や内容を記す。

- (1) 両州政府は、プロジェクトの持続性を考慮し、現在のC/Pを継続して配置し、DRVSに十分な人員を配置すること。

既述の通り、特にピウラ州ではDRVS職員の殆どが短期間の契約職員や州政府の他部署からの出向であり、安定して現在の職務を遂行し続けるかが懸念される。また、両州ともに州政府の組織改編が予定されており、水・衛生を担う州政府内の部局が変更となる可能性もある。このため、組織改編が行われたとしても、水・衛生を担う部局に現在のC/Pが継続して配置され、また適切な人員が配置されることが、プロジェクトの成果の発現に極めて重要となる。

- (2) 両州政府は、DRVSを強化することによって、水・衛生分野の実施体制を高めること。

上記(1)とも関連し、両州政府の組織改編が予定されている。両州ともに水・衛生分野は重点分野であるとしており、現在不足している人員や予算措置を含む組織体制の強化を図り、本プロジェクトの実施体制を強化することが求められる。

- (3) 住宅建設衛生省は、プロジェクトの成果を最大限に発現できるよう、重複を避け、ドナー調整を行うこと。

中間レビュー直前に、COSUDEが両州を対象に給水・衛生分野の協力を開始しようとしていることが判明し、活動内容・C/Pとも本プロジェクトとの重複が懸念されていた。また、両州のDRVSは、現時点でも人員不足が問題となっており、COSUDEがセミナー等を開催することによってDRVSの人員が割かれてしまうと、本プロジェクトの活動にも支障を来す虞がある。このため、調査団は、MVCSの衛生局(DNS)局長、両州DRVS局長に対して、ドナー調整は受益国側の責任で行って欲しいと要請し、その結果、両ドナーの重複を避け、本プロジェクトの活動や成果に負の影響が出ないように、MVCSがJICAとCOSUDEとの調整を行うことを確認した。また、調査団はCOSUDEとも協議し、本プロジェクトの活動内容を変更しないことを前提に、①両者の重複を避けること、②より効果を挙げられるよう双方が協力すること、③可能な限り早期に双方で合意すること、④州政府への透明性を保つこと、の4点について合意した(2011年7月8日に4者ミニッツ<sup>7</sup>に署名)。複数ドナーによる活動の重複やC/Pの取り合いを避け、各ドナーの投入を調整することによって本プロジェクトの効果をより発現させるために、本提言を行うこととした。

- (4) 住宅建設衛生省はプロジェクトで得られた成果や教訓を評価し、村落部における給水・衛生に関する基準や国家マスタープランに反映させること。

水・衛生分野を担うMVCSが本プロジェクトの成果や教訓を評価し、その結果を国家基準や国家マスタープランにおいて標準化することで、本プロジェクトの成果の面的展開を図ることを目的として本提言を行うこととした。

<sup>7</sup> ①中間レビュー調査団長、②COSUDEペルー事務所長、③MVCS国家衛生局長、④JICAペルー事務所員、の4者。

- (5) プロジェクトのアウトプット達成において区役所のインボルブメントは不可欠であることから、DRVSは水・衛生担当の配置を促進し、区の活動への参加を促進すること。

本プロジェクトの課題の一つとして、中央政府—州政府—区役所—JASSの縦の連携が十分に行われていないことが挙げられる。水・衛生セクターの改善のためには、JASSの運営・維持管理能力の強化が重要であることを区役所は十分には認識しておらず、JASSへの支援は十分ではない。区役所の認識を変え、本来業務としてJASSへの支援に取り組めるようにするために、DRVSの水・衛生担当職員を追加配置し、DRVSと区役所との連携を深め、区役所の本プロジェクトへのより積極的な参加を促す必要があるため、提言とした。

- (6) プロジェクトは、JASSの健全な運営のために、パイロット事業サイトにおいて水道メーターの設置を促進すること。

JASSが水道料金を適切に徴収し、安定的に運営していくためには、従量制の水道料金体系を導入する必要がある。また、従量制は、節水意識の高まりに繋がり、限られた水資源の有効活用という観点からも有効であるため、パイロットプロジェクトサイトにおいて水道メーターの設置の促進を提言とした。

- (7) JASSの運営維持管理能力の継続のためには、区役所にJASSの恒常的な研修の実施体制を確立すること。

パイロットプロジェクトのサイトでは、本プロジェクトの活動を通じてJASSの運営・維持管理能力が強化されつつあるが、それ以外の数多くのJASSの人材育成は喫緊の課題である。本プロジェクトの成果の波及のためにも、区役所が管轄のJASSに対して人材育成支援を継続的に行う必要があるため、研修実施体制の構築を提言することとした。

- (8) プロジェクトが作成したマニュアルに基づき、州と区役所との連絡・協力体制を実践を通じて強化すること。

既述の通り、関係者間の連携強化が必須である。プロジェクトで作成されたマニュアルを全面的に活用し、反復実践を通じて連絡・連携体制の強化を図る必要があるため、これを提言とした。

- (9) DRVSは、プロジェクトを通して得た知識の持続性を高めるために、情報・ノウハウの組織への蓄積を強化して活用すること。

本調査において、DRVS職員の雇用の不安定さが指摘されており、職員が異動或いは退職した場合その人の知見がDRVSに残らず、これまでの協力の成果が持続しなくなることが懸念されている。組織としての知見・経験など財産の蓄積が重要であるため、これを提言とした。

- (10) プロジェクトは、今後他州に於いて本プロジェクトのモデルを普及する際には、日本の他のスキームとの連携を念頭に置くこと。

円借款によるアマゾン地域での給水・衛生施設整備事業が予定されているが、当該地域には水道事業体(EPS)が存在せず、今後JASSを立ちあげてJASSによる給水施設の運営・維持管理を行っていく必要がある。その際には、本プロジェクトの経験を活用することが期待されるため、MVCSが本プロジェクトと円借款事業とを意識的に連携させるように提言とした。

- (11) JICAはカウンターパートの本邦／第三国研修を実施すること。

村落給水の具体的な技術・運営維持管理体制についての研修は、日本国内では現在では実例に



乏しく、実施は難しいとされていたため、これまで本邦研修は実施されてこなかった。しかしながら、日本の簡易水道の運営・維持管理技術や経営手法からは、ペルーの村落給水に活用しうる知見もあると考えられるため、本邦研修の実施を提言することとした。

- (12) 現在の PDM (Ver.0) は、現状に即した PDM に修正されるべきである。現時点での修正点については、中間レビュー調査団による提案を基に、両州の DRVS 局長及び各ワーキング・グループのリーダーとの協議の下、PDM (Ver.1) 案として取り纏められた。同修正案は JCC の場において関係者で合意し、後半のプロジェクト活動は PDM (Ver.1) に基づき進められることが望ましい。

プロジェクト活動の現状に合わせ、PDM の変更と合意手法について提言することとした。詳しくは、第 4 章を参照されたい。

## 6-2 教訓

- (1) プロジェクトデザイン時には、「実施ありき」ではなく、C/P 機関の組織体制、実施能力について詳細に亘って調査することが肝要である

ペルーの公的機関では、一般的に正規職員を減らし、契約職員を増加させていることや、近年の地方分権化政策を受けて州政府内の組織改革の動きが活発化していることが、本プロジェクトの開始後に判明した。プロジェクトデザイン時には、相手国政府の公的機関に対する戦略や方針、更には選挙前後での公的機関の変化の度合い等について十分に把握し、プロジェクトのフィージビリティとサステナビリティを的確に判断する必要がある。また、プロジェクトを開始する場合には、不安定要素をどのように軽減するか、具体的な対処方針も併せて調べておくべきであろう。

- (2) 給水と衛生の一体的な実施が望ましい。

本プロジェクトでは、給水については、パイロットプロジェクトサイトにおいて、実際に給水施設の建設を行い、そのうえで JASS の運営・維持管理能力の向上に向けた協力を行っている一方、衛生については啓発活動をプロジェクトの主要な活動として位置付けてはいるものの、衛生施設の建設まではスコープに含めていない。このため、本中間レビュー時に、両州 DRVS より給水と衛生の一体的な実施、即ち衛生施設の建設についての要望が出された。

ペルーだけでなく、他の途上国においても給水と衛生は一体として扱われており、ドナーのセクター会合でも「水・衛生セクター」として議論が進められている。日本は、これまで村落衛生施設の建設に係る経験は少ないが、途上国のニーズを踏まえて、今後一体的な実施について検討していく必要がある。



## 付属資料

1. PDM
2. 合同評価報告書
3. 主要面談者リスト
4. 活動実績・投入実績
5. 評価グリッド



付属資料 1 PDM ver. 1

プロジェクト名: ベルギー国「北部地域給水・衛生事業組織強化プロジェクト」

対象地域: ベルギー国フランダース州・ビュッラ州

ターゲットグループ: フランダース州政府の DRVS、ビュッラ州政府の DRVS、パイロットプロジェクト対象区役所・JASS/水委員会・住民

Ver. 1 (2011年 X 月 XX 日)

実施機関: MVCS、フランダース州政府、ビュッラ州政府

プロジェクト期間: 2009年6月-2013年3月

プロジェクトの要約(準備調査団案)	指 標	入手手段	外部条件
<p>&lt;上位目標&gt;                      ビュッラ州・フランダース州の農村・小都市における給水・衛生状態が改善する</p>	<p>1. 量・質共に適切な飲料水の給水サービスが存在する農村・小都市の数が増える (今後更に具体化すること)</p> <p>2. 水を介する疾病の罹患率が減少する</p>	<p>1. 州政府レポート                      2. 保健省レポート</p>	<p>「万人に水を」プロジェクトが継続する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>州政府の給水・衛生整備の予算が増加する</li> <li>区役所の給水・衛生分野の予算が増加し、人材が確保される</li> <li>州レベルの政策が変化しない</li> </ul>
<p>&lt;プロジェクト目標&gt;                      ビュッラ州・フランダース州において、農村・小都市の給水・衛生事業実施能力が向上する</p>	<p>1. VSが州内の25%の区役所に対し、プロジェクトで作成したマニュアルに基づいた指導を続ける</p> <p>2. 少なくとも10箇所のパイロット事業対象のJASSが適切な料金システムで改善された給水サービスを提供する</p>	<p>1-1 DRVSの半期及び年間報告書                      1-2 DRVSと区役所間の協力協定書                      2-1 区役所のモニタリング報告書                      2-2 プロジェクト記録</p>	<p>1-1 第一次のプロジェクト報告書                      1-2 第一次のプロジェクト報告書                      2-1 プロジェクト記録                      2-2 プロジェクト記録                      2-3 プロジェクト記録                      3-1 JASSの月例報告書                      3-2 区役所のモニタリング報告書                      3-3 衛生啓発モニタリング記録                      4-1 プロジェクト記録                      4-2 研修記録                      4-3 区役所の研修計画</p>
<p>&lt;成果&gt;                      1. ビュッラ州・フランダース州の農村・小都市における給水・衛生事業実施能力及び課題が確認される</p> <p>2. ビュッラ州・フランダース州の DRVS の農村・小都市における給水施設の整備、給水・衛生サービスの指導に関する能力が強化される</p> <p>3. パイロット事業の対象区役所及び対象水・衛生委員会の給水施設運営維持管理及び衛生啓発に関する能力が強化される</p> <p>4. ビュッラ州・フランダース州において、運営維持管理及び衛生啓発に関するマニュアルの内容が区役所及び水・衛生委員会に普及される体制が整備される</p>	<p>1-1 両州の農村・小都市の給水・衛生状況のベースライン調査の結果がとりまとめられる</p> <p>1-2 両州の農村・小都市の施設及び維持管理状況に関するイベントが作成される</p> <p>2-1 施設整備の準備(SNIP、技術設計図書の作成)、業者入札、施工管理、竣工検査までが4パイロット事業サイトにおいて実施される</p> <p>2-2 運営維持管理のマニュアルに基づいて10箇所のパイロット事業が実施される</p> <p>2-3 衛生啓発のマニュアルに基づいて10箇所のパイロット事業が実施される</p> <p>3-1 給水施設運営維持管理マニュアルに基づいて JASS の施設運営維持管理の月例報告が区役所に提出される</p> <p>3-2 給水施設運営維持管理マニュアルに基づいてパイロット地区の区役所が JASS/水委員会を指導する回数が増える</p> <p>3-3 衛生啓発の結果、衛生的生活習慣が身についた住民の割合が増加する</p> <p>4-1 パイロット対象区役所の内60%がパイロット JASS 以外の JASS/水委員会にマニュアルに基づいた指導を行う</p> <p>4-2 70%のパイロット対象以外の区役所に対して運営維持管理及び衛生啓発の研修が実施される</p> <p>4-3 研修を受けたパイロット対象以外の区役所の内、70%の区役所が JASS/水委員会に対する研修計画を作成する</p>	<p>1-1 第一次のプロジェクト報告書                      1-2 第一次のプロジェクト報告書                      2-1 プロジェクト記録                      2-2 プロジェクト記録                      2-3 プロジェクト記録                      3-1 JASSの月例報告書                      3-2 区役所のモニタリング報告書                      3-3 衛生啓発モニタリング記録                      4-1 プロジェクト記録                      4-2 研修記録                      4-3 区役所の研修計画</p>	<p>自然災害が起こらない</p>

<活動>	<投入>	
<p>1-1 両州の農村・小都市における給水・衛生に関するベースライン調査を実施する</p> <p>1-2 州政府の給水施設整備(建設及び大規模修繕)及び区役所への指導体制、活動状況、新規建設計画、大規模修繕に関する調査実施・能力、それに関する計画、設計の実績・能力、仕様書作成実績、許認可手続きの実績を調査する</p> <p>1-3 住宅建設衛生省の給水・衛生事業に関する州政府への指導体制、活動状況、予算配布状況、能力を調査する</p> <p>1-4 以上の結果に基づき、両州における給水・衛生事業実施に関する課題を確認する</p> <p>1-5 これら結果に基づき、必要に応じてPDMを修正する</p> <p>2-1 住宅建設衛生省が州政府と協力し、州政府が実施する給水施設整備(建設・大規模修繕)に関するマニュアル案を作成する</p> <p>2-2 住宅建設衛生省が州政府に対して給水施設整備(建設・大規模修繕)に関する研修を計画・実施する</p> <p>2-3 パイロット事業として給水施設の整備(建設・大規模修繕)を行う農村・小都市の候補を4箇所程度選定する</p> <p>2-4 州政府がパイロット事業対象4農村・小都市において、新規建設計画の作成、大規模修繕必要箇所把握のための調査、大規模修繕計画の策定、それらの設計、仕様書作成及び施工のための許認可手続きを実施する</p> <p>2-5 州政府がパイロット事業対象4農村・小都市において、民間業者等を活用し、給水施設の建設・大規模修繕を実施する</p> <p>2-6 住宅建設衛生省は、州政府が実施する2-4、2-5のパイロット事業の活動について、モニタリングを行う</p> <p>2-7 パイロット事業の結果を受けて、給水施設整備に関するマニュアルを改訂する</p> <p>2-8 パイロット事業として区役所及び水・衛生委員会が実施する給水施設運営維持管理及び衛生啓発を行う農村・小都市を10箇所程度選定する(上記2-3で選定された6農村・小都市を含む)</p> <p>2-9 州政府がパイロット事業対象の区役所と協力し、区役所及び水・衛生委員会が実施する給水施設運営維持管理(区役所及び水・衛生委員会の体制整備、運営維持管理計画作成、料金徴収、料金徴収、小規模修理、スベアパーツ入手法)及び衛生啓発に関するマニュアル案を作成する</p> <p>2-10 州政府がパイロット事業対象農村・小都市の給水・衛生事業を管理する区役所及び水・衛生委員会に対して、給水施設運営維持管理及び衛生啓発に関する研修を行う</p> <p>3-1 パイロット事業対象農村・小都市の区役所及び水・衛生委員会が、体制整備、運営維持管理計画の作成、衛生活動、料金設定、設定した料金の徴収、管理を行う</p> <p>3-2 パイロット事業対象農村・小都市の区役所及び水・衛生委員会が、州政府と協力し、スベアパーツを購入し、小規模な修理を行う</p> <p>3-3 州政府や住宅建設衛生省は、3-3~3-5の活動についてモニタリングする</p> <p>3-4 パイロット事業の結果を受けて、運営維持管理及び衛生啓発に関するマニュアル案を改定する</p> <p>4-1 パイロット事業対象区役所は、運営維持管理及び衛生啓発に関するマニュアルを活用し、管轄する全水・衛生委員会に対し、給水施設維持管理及び衛生啓発に関する研修を行う</p> <p>4-2 州政府は、運営維持管理及び衛生啓発に関するマニュアルを活用し、全区役所に対して給水施設運営維持管理及び衛生啓発に関する研修を行う</p> <p>4-3 両州の全区役所は、管轄する全水・衛生委員会に対する、給水施設維持管理及び衛生啓発に関する研修計画を作成する</p> <p>4-4 ピウラ州・ランバイエケ州は、他州にプロジェクトの成果を共有するセミナーを開催する</p>	<p><b>日本国側:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門家</li> <li>2. ローカルコンサルタント</li> <li>3. 機材:車両等</li> <li>4. 研修受入:年間数人程度</li> <li>5. 現地再委託 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 調査業務:2州</li> <li>● パイロット事業5箇所×2州程度</li> </ul> </li> <li>6. 現地経費</li> </ol> <p><b>ペルー 国側:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 住宅建設衛生省 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 必要人員の配置 住宅建設衛生省側のプロジェクトコーディネーター1名</li> <li>● カウンターパートの移動手段</li> </ul> </li> <li>2. ピウラ州・ランバイエケ州政府の給水・衛生担当部署 <ul style="list-style-type: none"> <li>● プロジェクトオフィスの確保、家具・文房具類の供与</li> <li>● 本技術協力プロジェクト専任のコーディネーターの配置(各州:最低3名)</li> <li>● 必要人員の配置:専門性を備えた技師の配置</li> <li>● カウンターパートの移動手段</li> <li>● パイロット事業実施に必要な資金</li> </ul> </li> </ol>	<p>関係組織間で良好な関係が維持される</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「農村」・「小都市」の活発な参加(給水施設設置含む)</li> <li>● 事業を進めるにあたってペルー内の法的手続きが遅滞なく実施される</li> <li>● 他ドナーの活動が変わらない</li> </ul> <p>&lt;前提条件&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 治安が悪化しない</li> </ul>

1 本プロジェクトでは、「小都市」はコミュニティ・ベースの給水サービス、もしくは区役所が直接給水サービスを提供している小都市のみを対象とする。

MINUTES OF MEETING BETWEEN  
JICA MID-TERM REVIEW TEAM  
AND  
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF PERU  
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION  
FOR  
THE PROJECT FOR THE PROJECT FOR INSTITUTIONAL REINFORCEMENT OF  
WATER SUPPLY AND SANITATION IN NORTH AREA OF PERU

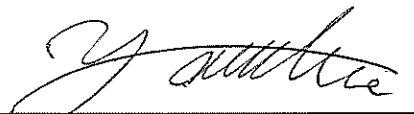
The Japanese Mid-Term Review Team (hereinafter referred to as “the Team”) organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) visited the Republic of Peru from June 20th to July 8th, 2011. The Team has carried out intensive study and analysis of the activities and achievement of the Project for Institutional Reinforcement of Water Supply and Sanitation in North Area of Peru (hereinafter referred to as “the Project”), and prepared the Joint Mid-Term Review Report (hereinafter referred to as “the Report”) attached hereto, and presented it to the Joint Coordinating Committee held on 8<sup>th</sup> July, 2011.

After discussions on the major issues pointed out in the Report, the Peruvian side and the Japanese side (hereinafter referred to as “both sides”) agreed on the matters to in the Report.

Apart from review of the project, the both sides discussed critical issues which concerned the project continuity. The result of the discussion was described in attached document 1.

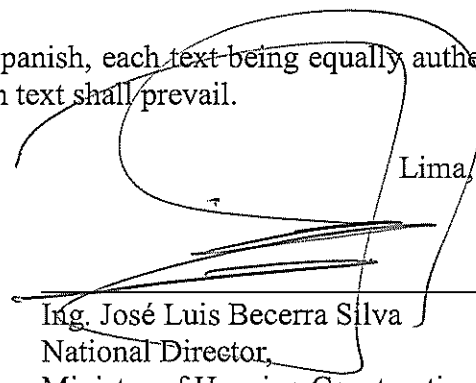
These texts were done in both English and Spanish, each text being equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

Lima, July 8, 2011



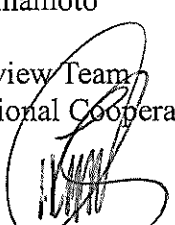
---

Ing. Keiko Yamamoto  
Leader  
Mid-Term Review Team  
Japan International Cooperation Agency



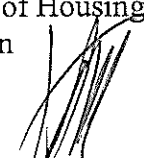
---

Ing. José Luis Becerra Silva  
National Director,  
Ministry of Housing Construction and  
Sanitation



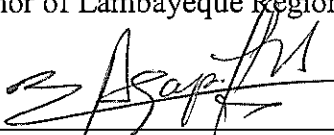
---

Ing. Humberto Acuña Peralta  
Governor of Lambayeque Region



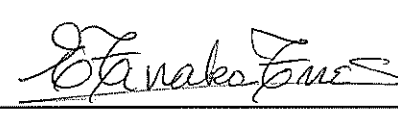
---

Lic. Javier Atkins Lerggios  
Governor of Piura Region



---

Ing. Félix Agapito Acosta  
Director,  
Program on Agua para Todos,  
Ministry of Housing Construction and  
Sanitation



---

Eco. Elena Tanaka Torres  
General Director,  
General Office of Planning Budget,  
Ministry of Housing Construction and  
Sanitation

## Recommendations

The recommendations made by the Team are as follows;

### (1) Assignment of DRVS' s Staff

Each Regional Government of Piura and Lambayeque should take necessary measures to secure the allocation of existing counterpart personnel, and assign sufficient professional personnel in DRVS, considering the sustainability of project activities.

### (2) Implementation structure of Regional Governments

Each Regional Government should enhance their implementation structure of water supply and sanitation services, by strengthening DRVS.

### (3) Donor Coordination

In order to maximize the achievement of the Project, MVCS should coordinate international donors' assistance, avoiding duplications.

### (4) Outputs and Lessons Learned of the Project

MVCS should apply the Outputs and Lessons learned to the revision of regulation and national master plan, which are related to the water supply and sanitation.

### (5) Involvement of District Municipalities

Since the involvement of District Municipalities is essential for the achievement of Output of the Project, it is necessary for DRVSs to encourage District Municipalities further to assign staff in charge of water supply and sanitation, and enhance their active involvement in the Project.

### (6) Installations of Water Meter at Pilot Project Sites

It is essential for the Project to promote installation of water meters at each household in the pilot project sites for sound management of JASSs.

### (7) Sustainability of JASSs

In order to make JASS' activities sustainable, it is recommendable to establish a constant training system for JASSs in the management, operation and maintenance of water supply system.

### (8) Communication and Collaboration between Regional Governments and District Municipalities

It is expected to strengthen communications and collaboration system between Regional governments and District Municipalities through practical use of manuals prepared by the Project.

### (9) Accumulation of Information and Know-How

It is recommendable that DRVS strengthens their knowledge management system to accumulate information and know-how in the organization, and utilizes them as the organization, in order to secure the sustainability of skills and know-hows gained through the Project.

### (10) Coordination with Japan' s Other Cooperation Schemes

It is expected that the Project consider the coordination with Japan's other cooperation schemes when they disseminate PRISAS Model in other regions.

### (11) Training in Japan or Third Countries

It is recommendable to conduct training programs in Japan or third country for counterpart personnel of the Project.



(12) Revision of PDM


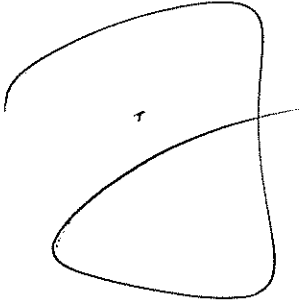




The PDM (ver.0) should be revised in accordance with current situations of the Project. The points of revision as of this moment were proposed by the Midterm Review Team, in order to discuss with Directors and Group Leaders of WGs in each Region. As a result of discussion, the Draft PDM (Ver.1) is attached in Appendix 7. It is recommendable to agree on the new PDM (Ver.1) among the stakeholders, and implement the rest of Project activities based on the new PDM.

Comments from Peruvian side:

- (1) Regarding the recommendation (12) about logical framework, the MVCS requested that it should be reviewed in the Regional Steering Committee and passed on to the Joint Coordinating Committee to be approved.

Attached Document:

1. Critical Issues
2. Joint Mid-Term Review Report (English and Spanish)

## Critical Issues

JICA Mid-Term Review Team expressed strong concern about (1) institutional restructuring of Regional Governments, especially effects on institutional structure of DRVSSs in both Regional Government of Lambayeque and Piura, and (2) COSUDE's project planned to commence in both Lambayeque and Piura States.

In response to the statement made by the Team, the Peruvian side committed following things;

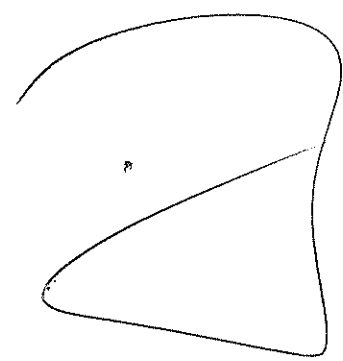
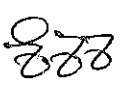
### (1) Institutional Restructuring of DRVSSs

Since the both Regional Governments publicly stated that the Water Supply and Sanitation is the most important and high-prioritized issues in their Regions and DRVSSs are the organizations which implement the development and improvement of Water Supply and Sanitation in rural area, the capacity of DRVSSs must be strengthened. Regarding the JICA PRISAS Project, each Regional Governments committed to secure sufficient number of professional counterpart personnel by increasing the number of new staff, and to increase the budget for the Project activities.

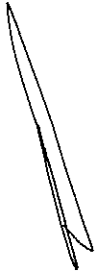
### (2) Coordination between COSUDE's Project and PRISAS

Regarding the COSUDE project to be done in eight (8) regions including Lambayeque and Piura Region, MVCS committed to coordinate with COSUDE and JICA in order to avoid duplication between those two projects so that COSUDE Project would not give negative influence/impact to the activities and result of JICA PRISAS Project.

END



**Joint Mid-Term Review Report**  
**on the Project for**  
**Institutional Reinforcement of Water Supply and Sanitation**  
**in North Area of Peru in the Republic of Peru**



8th of July, 2011

Handwritten initials or signature, consisting of a circular mark and a stylized 'P'.

Handwritten initials or signature, appearing as a stylized 'P' with a horizontal line.

A large, stylized handwritten signature, possibly 'P. S.', with a horizontal line across the middle.

## List of Abbreviation and Acronyms Used

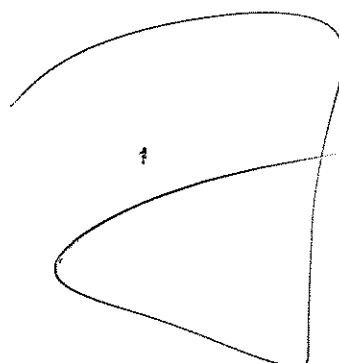
	In English	In Spanish (for abbreviations originated from Spanish words)
COSUDE	Swiss Agency for Development and Cooperation	Agencia Suiza para el Desarrollo y la Cooperación
DESA	Executive Authority of Environmental Health	Dirección Ejecutiva Salud Ambiental
DIGESA	Regional Environmental Health Authority	Dirección General de Salud Ambiental
DIRESA	Regional Health Authority	Dirección Regional de Salud
DRE	Regional Education Authority	Dirección Regional de Educación
DRVS	Regional Housing and Sanitation Authority	Dirección Regional de Vivienda y Saneamiento
JASS	Sanitation Service Management Committee	Junta Administradora de Servicios de Saneamiento
JCC	Joint Coordinating Committee	
JICA	Japan International Cooperation Agency	
MINDES	Ministry of Women and Social Development	Ministerio de la Mujer y Desarrollo Social
MVCS	Ministry of Housing, Construction and Sanitation	Ministerio de Vivienda, Construcción y Saneamiento
ODA	Official Development Assistance	
OJT	On the Job Training	
PAPT	"Agua para Todoa (Water for all)" Program	Programa Agua para Todos
PDM	Project Design Matrix	
PO	Plan of Operation	
PRISAS	Project for Institutional Reinforcement of Water Supply and Sanitation in North Area of Peru	Proyecto de Reforzamiento Institucional del Suministro de Agua y Saneamiento en la Zona Norte del Perú
R/D	Record of Discussion	
WG	Working Group	



*Handwritten initials*

*Handwritten initials*

*Handwritten initials*



*Handwritten mark*


## Table of Contents

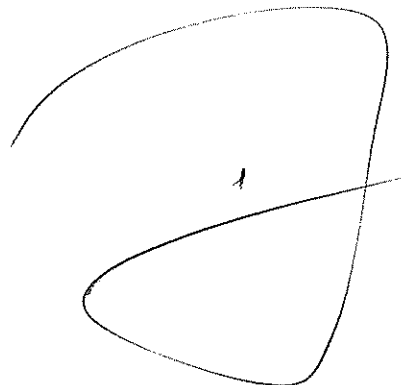
List of Abbreviation and Acronyms Used.....	2
Table of Contents.....	3
1. Introduction .....	4
1-1 Purpose of the Review.....	4
1-2 Member of the Review Team .....	4
1-3 Schedule of the Review .....	5
1-4 Methodology of the Review .....	5
2. Outline of the Project.....	7
2-1 Background .....	7
2-2 Summary of the Project.....	7
2-3 Administration of the Project.....	8
3. Achievement of the Project.....	10
3-1 Actual Input .....	10
3-2 Accomplishment of Activities .....	12
3-3 Achievement of Outputs .....	14
3-4 Prospect of Achieving the Project Purpose.....	19
3-5 Prospect of Achieving the Overall Goal.....	20
3-6 Project Implementation Process .....	20
4. Evaluation by Five Criteria.....	22
4-1 Relevance .....	22
4-2 Effectiveness .....	23
4-3 Efficiency .....	24
4-4 Impact.....	26
4-5 Sustainability .....	27
5. Conclusion .....	28
6. Recommendations and Lessons Learned .....	28

- Appendices -

1. Project Design Matrix (PDM)
2. Plan of Operation (PO)
3. Inputs by the Japanese side
4. Inputs by the Peruvian side
5. List of Training
6. Evaluation Grid
7. Revision of PDM
8. Schedule of the Midterm Review








## 1. Introduction

“Project for Institutional Reinforcement of Water Supply and Sanitation in North Area of Peru” (hereinafter referred as “the Project”)<sup>1</sup> is a bilateral technical cooperation project between Japanese Government through Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred as JICA) and Peruvian Government through Ministry of Housing, Construction and Sanitation (hereinafter referred as MVCS). The Project started in June 2009 with the duration of 4 years. As the half of the project period had passed, the Midterm Review was carried out jointly by the Midterm Review Team consisted of the representatives from both governments, in accordance with the Evaluation Guideline of JICA.

### 1-1 Purpose of the Review

The purposes of the Midterm Review are;

- (1) to review the current status of the Project based on inputs, outputs, project purpose and to identify the problems to be solved;
- (2) to evaluate the Project in accordance with the five evaluation criteria, namely, relevance, effectiveness, efficiency, impact, and sustainability;
- (3) to consider the necessary actions to be taken and make recommendations for the Project.

### 1-2 Member of the Review Team

#### 1-2-1 Peruvian Side

Mr. Juan Sanchez Lazo	Public Works Coordinator of Rural Sanitation Operative Unit of Water for All Program, MVCS
Mr. Olinda Martínez	Investment Project Specialist of Program and Investment Office, MVCS
Mr. Carlos Saire Pillco	Project Specialist for Plans and Programs Division/ Sub Directorate of National Directorate of Sanitation, MVCS

#### 1-2-2 Japanese Side

Ms. Keiko Yamamoto	Leader/Waterworks & Sewerage Planning/ Senior Advisor, JICA
Mr. Hiromu Inoue	Evaluation Planning/Deputy Director, Disaster Management Division 2, Water Resources and Disaster Management Group, Global Environment Dept. JICA
Ms. Yuki Ohashi	Evaluation & Data Analysis/ Consultant Tekizaitekisho LLC

<sup>1</sup> In this report, it is also sometimes referred as PRISAS (abbreviation of the project name in Spanish) in order to differentiate with other project.

### 1-3 Schedule of the Review

Series of meetings and discussions with Peruvian governmental authorities, organizations involved in the execution of the Project, and the project team, were held from June 20th to July 8th.

### 1-4 Methodology of the Review

The Project was reviewed based on the Project Design Matrix (hereinafter referred to as "PDM") of the Project, which is a summary table describing the outline of the Project. The actual PDM of the Project is PDM version 0<sup>2</sup>.

The following steps were taken in this Review.

#### (1) Verification of Project Performance

The degree of Project achievements, such as inputs, activities, outputs, and project purpose, were assessed with reference to Objectively Verifiable Indicators stated in the PDM version 0. To carry out this, various methods were applied including questionnaire, interviews, site observation, and discussion with relevant stakeholders.

#### (2) Examination of Project Implementation Process

The process of the project implementation was assessed from the various aspects (the details are shown in Appendix 6: Evaluation Grid).

#### (3) Review by Five Evaluation Criteria

The following five evaluation criteria were applied to analyze the Project as a whole.

Relevance            Relevance of the Project was considered from a viewpoint of the validity of the Project Purpose and Overall Goal in connection with the development policy of the Government of Peru and the needs of beneficiaries of the Project.

Effectiveness:      Effectiveness whether the Project has actually benefited the target group and whether the Project is effective. It also assesses whether the Project Purpose is being achieved as expected and whether that is in the result of the Project's

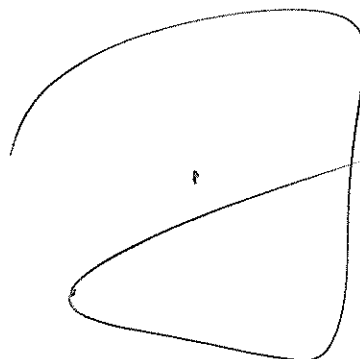
<sup>2</sup> Although the contents of current PDM (version 0) has not been revised so far, due to some errors of Spanish descriptions in the Spanish version of PDM version 0, only those descriptive errors have been corrected by the project team. In this report, the corrected version (PDM 0e) was used.

Outputs.

- Efficiency:** Efficiency verifies whether the Project was efficient in terms of effective use of resources. The relationship between Inputs and Outputs is reviewed. In essence, Efficiency examines whether the input cost is appropriate for the degree of achievement on the Outputs and the Project Purpose.
- Impact:** Impact examines direct effects extended by the project in the long run and indirect effects. The analysis also includes the positive and negative impacts that were not expected when the Project was planned.
- Sustainability:** Sustainability of the Project is focused on institutional, financial and technical aspects by examining the current extent to what the achievement of the Project is sustained or expanded.

**(4) Recommendations**

The Review Team made the recommendations based on the results of review.





## 2. Outline of the Project

### 2-1 Background

The national average rate of access to potable water in Peru is 83% (UNICEF 2007). While the coverage rate of water supply is higher in urban area, as shown in the rate of capital cities such as Lima (89%), it is low in rural area of the country (65%). The access to safe sanitation facilities in rural area is also lower, comparing to urban area.

The Peruvian Government has been placing emphasis particularly on water and sanitation project as a countermeasure against poverty, and formulated "National Plan of Sanitation (2006 – 2015)," which aims to halve the number of population without access to potable water and sanitation by 2015 by means of the extension and the improvement of water supply and sewerage facilities. The current regime commits to implement the plan under the motto "Water for All".

The Peruvian Government has been prioritizing the construction of water and sanitation facilities, due to the insufficiency of implementation capacities in regional governments, municipalities, and water and sanitation committees. The issues observed include; a weak capacity of regional governments to arrange the installation of water supply facilities, and a weak capacity of municipalities as well as water and sanitation committees in management, operation and maintenance of the water supply facilities.

Thus, this technical cooperation project was formulated to reinforce the capacity of organizations concerned in the implementation of water supply and sanitation projects in the regions of Piura and Lambayeque, where the rate of access to potable water is low. The project plan was approved and the Record of Discussion (R/D) of the Project was signed on February 4th, 2009. Then, the Project was commenced in June 2009.

### 2-2 Summary of the Project

The outline of the project described in the PDM0 is as follows: <sup>3</sup>

#### (1) Overall Goal

Improve the situation of water supply and sanitation of the rural communities and small cities of the regions of Piura and Lambayeque.

#### (2) Project Purpose

Improve the capacity of carry out water supply and sanitation projects of the rural communities and small cities of the regions of Piura and Lambayeque.

#### (3) Outputs

<sup>3</sup> There is no English version of PDM prepared. The summary of the Project is sited from the "Narrative Summary" of the PDM written in the R/D (English version).

- 1) The water supply and sanitation situation of the rural communities and small cities of the regions of Piura and Lambayeque, their capacity to carry out water supply and sanitation projects and its tasks is verified.
- 2) The capacity of the regional governments of Piura and Lambayeque over the arrangement of the water supply installations (construction and large scale reparation) is strengthened.
- 3) The capacity of the municipalities and the water and sanitation committees, object of the pilot projects over administration, operation, maintenance and management of the water supply installations, as well as over the awareness about the sanitation, is strengthened.
- 4) The content of the handbook over the administration, operation, maintenance and management of the water supply installations, as well as over the awareness about the sanitation, is diffused to the municipalities and the water and sanitation committees of the regions of Piura and Lambayeque.

### 2-3 Administration of the Project

The Project is managed by the following personnel<sup>1</sup>.

#### 1) Project Director

“Agua para Todos” (Water for All) Program (PAPT) (Executive Director)

#### 2) Administrative Project Manager

- Administrator Manager of PAPT of the Central Government
- Regional Manager of Social Development and Territorial Settlements of the Regional Government of Piura
- Regional Manager of Social Development of the Regional Government of Lambayeque

#### 3) Technical Project Manager

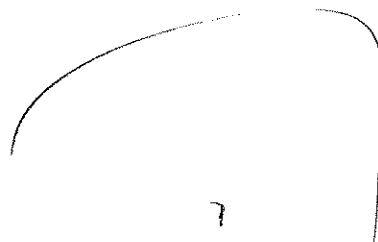
- Engineering Director of PAPT of the Central Government
- Regional Director of Housing and Sanitation of the Regional Government of Piura
- Coordinator of North Frontier Project of the Regional Government of Piura
- Regional Director of Housing and Sanitation of the Regional Government of Lambayeque

#### 4) Technical counterpart personnel

- Personnel assigned by the Director of PAPT of the Central Government
- Personnel assigned by the Regional Director of Housing and Sanitation of the Regional Government of Piura
- Personnel assigned by the North Frontier Project of the Regional Government of Piura

<sup>1</sup> This is refereed from R/D of the Project

- Personnel assigned by the Regional Director of Housing and Sanitation of the Regional Government of Lambayeque

A handwritten signature consisting of a large, stylized letter 'A' above a smaller, cursive letter 'P'.A handwritten signature inside a circle, with the number '9006' written below it.A large, stylized handwritten signature that forms a wide, shallow arch.A small, stylized handwritten signature.

### 3. Achievement of the Project

#### 3-1 Actual Input

##### 3-1-1 Input from the Japanese side

Following input has been provided so far by the Japanese side. The details of each input are shown in Appendix 3: Inputs by the Japanese side.

##### (1) Experts

The following experts are allocated as of the end of April 2011.

Fields of expertise	Number of experts	Total MM
Leader/operation and maintenance planning (including water supply planning)	1	9.50
Sub-leader/water supply planning 1/ground water development 1	1	7.00
Water supply planning 2/ground water development 2	1	7.36
Water supply planning 3/ground water development 3	1	9.00
Sanitation promotion planning	1	7.34
Maintenance of Water Treatment plant	1	- <sup>5</sup>
Total	6	40.20

##### (2) Local Consultant

The Project has made contract with Pedro Ruiz Gallo University in Lambayeque and Piura University in Piura, as local consultants for water quality inspection of the pilot projects' sites.

##### (3) Equipment and materials

So far, the equipment; including 4WD vehicles, computers, photocopiers and printers, was purchased in Peru and provided for each Region, which is worth a total of 64,390.00 US dollars. In addition, some equipment including a projector, potable conductivity meters, water level measures, GPS, and turbidity meters, which is worth 841,040 Japanese Yen (approximately 9,312 US dollars<sup>6</sup>), was brought from Japan and has been utilized for the project activities.

##### (4) Counterpart training in Japan and/or third countries

Any counterpart training in Japan and/or third countries has not been realized yet.

##### (5) Local Sub-contract

In the implementation of pilot projects, the Project made contract with 2 private firms so far for the rehabilitation of 2 water supply facilities in Lambayeque and 1 facility in Piura.

<sup>5</sup> It is planned to be assigned from June 2011.  
<sup>6</sup> Converted to US dollars using JICA's fixed rate for the month of each expense.

(6) Other schemes

There is no other scheme of Japanese Cooperation which is directly related to the Project done in the target Regions.

(7) Local Cost of the Project

As of March 2011, a total of 47,580,255 Japanese Yen was spent for project activities.

**3-1-2 Input from the Peruvian side**

Following input has been provided so far by the Peruvian side. The details of each input are shown in Appendix 4: Inputs by the Peruvian side.

**[Input from MVCS]**

(1) Allocation of counterpart personnel

At the operational level, 2 professional specialists of PAPT are assigned as coordinators of the Project.

(2) Means of transportation for the counterpart personnel

As of May 2011, a total of S/. 35,557 Nuevos Soles has been disbursed for the trips necessary of its counterpart personnel for the project activities.

(3) Others

MVCS has budgeted S/. 138,323 Nuevos Soles for a contract for the preparation of a manual in the construction and implementation of water supply facilities.

**[Input from Water Supply and Sanitation Sector of Regional Government of Piura and Lambayeque]**

(1) Allocation of project office, furniture, and stationeries

The Project Offices with furniture are allocated in both Regional Housing and Sanitation Authority (DRVS) in Piura and Lambayeque.

(2) Allocation of counterpart personnel

At the operational level, 8 staff members from DRVS of Lambayeque and 11 staff members from DRVS of Piura are allocated as counterpart personnel to the Project at the moment of the Midterm Review.

(3) Means of transportation for the counterpart personnel

As of April 2011, a total of S/. 7,555 Nuevos Soles in Lambayeque, and a total of S/. 6,370 Nuevos Soles in Piura have been spent for the trips of counterpart personnel of each region in the project activities.

(4) Necessary resources for the implementation of pilot projects and other activities

As of April 2011, the Regional Government of Lambayeque spent S/. 74,546 Nuevos Soles in total, and the Regional Government of Piura spent S/. 302,371 Nuevos Soles in total for the implementation of the Project. The costs borne by both Regions have been used for the necessary costs for the project activities, such as stationeries and office equipments, vehicles and transportation, and materials for activities, etc.

**3-2 Accomplishment of Activities**

The pilot projects of PRISAS consist of 3 components as described below, and the planned number of pilot project sites and the actual number are also shown in the following table.

Table: Components and number of sites for the Pilot Projects

Component of Pilot Project	Target Region	Number of sites (planned)	Number of sites (actual)
Component 1: Construction and rehabilitation (large-scale reparation) of water supply facilities	Lambayeque	3	2 construction completed + 1 suspended
	Piura	3	1 construction recently completed +1 under preparation for bidding + 1 cancelled
Component 2: Management, operation and maintenance of the water supply facilities	Lambayeque	5	2 under implementation + 1 suspended + 2 newly selected
	Piura	5	2 partly under implementation + 2 newly selected + 1 to be selected
Component 3: Awareness raising in sanitation	Lambayeque	5	2 under implementation + 1 suspended + 2 newly selected
	Piura	5	2 under implementation + 2 newly selected + 1 to be selected

Note: All components are implemented in the same sites, except that some of the sites do not have component 1.

The baseline survey and the implementation of Component 1 and 2 have been delayed due to the following reasons, and the schedule as a whole has been delayed for about 3 months at the moment of Midterm Review, comparing to the original plan.

- In Piura, at the beginning of the Project, sufficient technical professionals were not been assigned in DRVS to realize project activities.
- In Piura, the counterpart personnel assigned to the Project were not secured their positions

in DRVS and many of them were changed during the project period up to now.

- In both Regions, sufficient transportation was not provided to the project activities, especially in the first year of the Project during the implementation of baseline survey.
- Changes of local governments (in both Regions and 3 out of 4 district municipalities) in January 2011 resulted in changes of personnel involved in the Project.
- In Piura, road to access to pilot project site in San Jorge was damaged during rainy season.

The Component 3 has been progressed as planned in general, although there was certain influence of delays in some activities of Component 1 and 2 which closely interrelated to the activities of Component 3. Also, changes of administrators of Sanitation Service Management Committee (JASS) (2 out of 4 JASS: El Espinal y San Jorge) during the implementation of project activities have affected somehow its activities as well.

The actual progress of pilot projects is as shown in the following table. Those pilot project sites for Component 2 and 3, which have been newly selected (and has been in selection process) will start project activities as soon as they sign the agreement between respective district municipalities and the DRVS.

Table: Progress of the Pilot Projects

Pilot project site		District Municipality	Progress in each component of the pilot project (as of June 2011)	
<b>Lambayeque</b>				
1	El Espinal	Oyotún	1	• Completed the construction, and in operation since March 2011.
			2	• Training and monitoring on the operation and maintenance of water supply facilities in progress. • Training and monitoring on the management of water supply in progress. • New tariff system has started from May 2011.
			3	• Implemented workshops to improve sanitation related practices for community people.
2	Humedades	Salas	1	• Completed the construction, and in operation since November 2010.
			2	• Training and monitoring on the operation and maintenance of water supply facilities in progress. • Training and monitoring on the management of water supply in progress. • New tariff system has started from January 2011.
			3	• Implemented workshops to improve sanitation related practices for community people.
3	La Ramada	Salas	1	• Preparation of technical profile has been suspended (Because the municipality has elaborated other project in the same sites).
			2	• Not implemented yet
			3	• Not implemented yet
4	Cuculí	Chongoyape	2	• Not implemented yet
			3	• Not implemented yet
5	Villa El Milagro	Eten	2	• Not implemented yet
			3	• Not implemented yet
<b>Piura</b>				

1	San Jorge	Frías	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>Recently completed the construction, and in the process of completion test.</li> </ul>
			2	<ul style="list-style-type: none"> <li>Training on the operation and maintenance of water supply facilities has not implemented yet.</li> <li>Although training on management of water supply had been started, the administrative members of JASS were recently changed in May 2011.</li> </ul>
			3	<ul style="list-style-type: none"> <li>Implemented workshops to improve sanitation related practices for community people (approx. 120 people).</li> <li>Monitoring (visiting houses) has been done for 3 times.</li> <li>Administrative members of JASS were recently changed in May 2011.</li> </ul>
2	Malacasi	Salitral	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>Preparing the documents for bidding to select contractors.</li> </ul>
			2	<ul style="list-style-type: none"> <li>Formats for management were introduced.</li> <li>Setting of water tariff and rest of activities will be introduced after the completion of the construction.</li> </ul>
			3	<ul style="list-style-type: none"> <li>Implemented the workshops to improve sanitation related practices for community people (approx. 200 people)</li> <li>Monitoring (visiting houses) has been done for 3 times.</li> </ul>
3	Macacará	La Huaca	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>Not implemented yet</li> </ul>
			3	<ul style="list-style-type: none"> <li>Not implemented yet</li> </ul>
4	Cumbibira	Catacaos	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>Not implemented yet.</li> </ul>
			3	<ul style="list-style-type: none"> <li>Not implemented yet</li> </ul>
5	---	---	2	In the process of selection.
			3	

The rest of activities will be implemented in accordance with the Plan of Operation (PO) attached in Appendix 2, which has been revised in March 2011.

### 3-3 Achievement of Outputs

The achievement so far of each Output on the basis of their indicators<sup>7</sup> has been identified as followings.

Output 1: The water supply and sanitation situation of the rural communities and small cities of the regions of Piura and Lambayeque, their capacity to carry out water supply and sanitation projects and its tasks is verified.

Indicators:

- 1.1 Baseline of the situations in water supply and sanitation of rural communities and small cities in both regions.
- 1.2 Inventories related to the situations of water supply facilities and their management and maintenance in rural communities and small cities in both regions.
- 1.3 Implementation of interview to JASSS/ water committees.

(1) Indicator 1.1: Baseline of the situations in water supply and sanitation of rural communities and small cities in both regions.

The baseline survey was carried out targeting 20 communities in Lambayeque and 28

<sup>7</sup> The English descriptions of Outputs are sited from Record of Discussion signed in February 2009, and indicators are provisionally translated in English from Japanese PDM ver.0.



communities in Piura, in total 48 communities. These communities were selected by DRVS of each Region, considering the issues and problems existed in water supply in the areas. In these 48 communities, the Project conducted the investigation in actual situation of water supply facilities, and the interview and questionnaire survey in water supply and sanitation, including actual situation of operation and maintenance.

(2) Indicator 1.2: Inventories related to the situations of water supply facilities and their management and maintenance in rural communities and small cities in both regions.

The results of the above mentioned baseline studies with 48 communities were compiled in each region as the inventories.

(3) Indicator 1.3: Implementation of interview to JASSS/water committees.

As it is described above, the interview was carried out as a part of baseline survey. The interview was conducted with water/sanitation committees as well as community people in general.

Output 2: The capacity of the regional governments of Piura and Lambayeque over the arrangement of the water supply installations (construction and large scale reparation) is strengthened.

Indicators:

- 2.1 Manuals related to the installation (construction and large-scale reparation) of water supply facilities.
- 2.2 Number of staff of regional government who received training.
- 2.3 Implementation of pilot projects in 6 rural communities and small cities.

(1) Indicator 2.1: Manuals related to the installation (construction and large-scale reparation) of water supply facilities.

MVCS has contracted a consultant in May 2011 to realize this activity, and it will be completed by August 2011. The contents have been discussed with DRVS in both target regions, and a workshop will be carried out with both DRVS in July 2011 to review the prepared manual. Although it was not clear at beginning where responsibility lies between MVCS and DRVS in both target regions in terms of the preparation of this Manual, after discussion it was decided in August 2010 that MVCS does take in charge of it in accordance with the R/D.

(2) Indicator 2.2: Number of staff of regional government who received training.

The activities related to the construction and rehabilitation (large-scale reparation) of water supply facilities (Component 1) have been carried out mainly by the counterpart personnel of the Working Group 1 (WG1). There are 3 members in the WG1 in each DRVS in Piura and Lambayeque at the moment of Midterm Review. The technical transfer from Japanese experts to the counterpart

personnel has been taken place through OJT for the implementation of pilot projects, mainly in the following contents.

- Preparation and design of a plan (profile and technical documents) which secures a efficient operation of construction.
- Technical capacity to realize the construction of water supply facilities from planning stage.
- Selection of contractors and other service providers through bidding etc.
- Construction management, etc.

DRVS in Piura, as an institution, had no experiences in the preparation of profiles and technical documents, nor in the construction and rehabilitation of water supply facilities before the Project. Therefore, they did not have personnel with such specialties, and had to newly contract personnel with such specialties and find some personnel of the Regional Management of Infrastructure to have them temporary allocated in DRVS in order to carry out this Component 1. DRVS in Lambayeque had experiences in preparation of profiles and technical documents, but they had never engaged in the construction process of water supply facilities.

(3) Indicator 2.3: Implementation of pilot projects in 6 rural communities and small cities.

The pilot projects of the Component 1 were planned to be implemented in 6 sites (3 in each region) in the original design of the Project. However, the actual number of pilot projects has been reduced, due to the following situations caused during the implementation of project.

- Piura: It was difficult to complete 3 construction works by the end of second year as determined in the original plan, mainly because of the insufficiency of technical staff necessary for the preparation of technical documents and construction work. Therefore, in January 2011, it was decided to work only with 2 pilot projects.
- Lambayeque: It was identified that one of 3 pilot project sites which were selected based on the criteria determined by the Project, La Ramada had been also listed in the project of "Agua para Todos". Although it was necessary to be deleted from the list of any other project/programme in order to be eligible for the pilot project of PRISAS, La Ramada is still listed for "Agua para Todos" at the moment. Therefore, the activities for the preparation of construction in La Ramada have been suspended.

Output 3: The capacity of the municipalities and the water and sanitation committees, object of the pilot projects over administration, operation, maintenance and management of the water supply installations, as well as over the awareness about the sanitation, is strengthened.

Indicators:

- 3.1 Manuals related to management, operation and maintenance of water supply facilities and the awareness raising in sanitation.
- 3.2 Number of staff of municipalities and JASSS/water committees who received training.
- 3.3 Implementation of pilot projects in 10 rural communities and small cities.

(1) Indicator 3.1: Manuals related to management, operation and maintenance of water supply facilities and the awareness raising in sanitation.

**Management, operation and maintenance of water supply systems (Component 2):**

The draft of the Manuals have been prepared by counterpart personnel of Working Group 2 (WG2) in both Lambayeque and Piura, and WG2 of Piura will take main role in the compilation of both drafts into a single manual. Although it was considered that the 2 types manuals would be necessary, one is for the use of DRVS, and the other is for District Municipalities and JASSs, since it was found that the contents would be mostly same for both types, it was decided that they prepare only single type of manual which contains the roles and functions of each actors in each chapter. The main contents of the Manual are activities of JASS which takes in charge of OJTs in the administration, operation, maintenance and management of water supply.

**Awareness raising in sanitation<sup>8</sup> (Component 3) :**

The counterpart personnel of Working Group 3 (WG3) in each region have been working in this component. In this component, WG3 has established a channel of collaboration, "Multi-Sector Team", with Regional Health Authority (DIRESA), Executive Authority of Environmental Health (DESA), Regional Education Authority (DRE) and the Ministry of Women and Social Development (MINDES) (only in Piura), who have more experiences in the awareness raising in sanitation. The preparation of the Manuals for beneficiaries has been carried out drawing on their experiences and existing manuals, getting their active collaboration. Also, a coordinator of the Project in MVCS has given advices based on his/her expertise. The drafts have been prepared by each region, and WG3 of Lambayeque will compile the 2 drafts into one Manual. The draft manuals are unique in their regional characteristics, although both of them contain same basic information on water and sanitation. The draft manuals have been already used in the workshops at communities, and they will be revised later in the third year of the Project. In addition, a draft of Manual for JASSs and District Municipalities will be prepared by August 2011.

(2) Indicator 3.2: Number of staff of municipalities and members of JASSS/water committees who

<sup>8</sup> The contents of awareness raising in sanitation in this Project include: ideas in potable water, water supply service, saving water, contamination of water, diseases caused by use of contaminated water, chlorine treatment, habit of paying water tariff, adequate hygiene practices, treatment of excrement, cleaning, management of solid waste, treatment discharged water, etc.

received training.

**Management, operation and maintenance of water supply facilities (Component 2):**

The training in this component has 2 different part; 1) operation and maintenance of facilities, and 2) management of water supply system. The strengthening of capacities of District Municipalities and JASSs in 1) is undertaken by the WG1, and 2) is in charge of WG2, under the guidance of Japanese experts.

Regarding the 1), so far On the Job Training (OJT) has started in the pilot projects sites where the construction of water supply facilities has been completed, i.e. El Espinal and Humedades in Lambayeque. In addition to an operator of the facilities, some of the administrative members of JASS, which normally consists of 5-6 members, participate in each OJT. The contents of training up to the moment include; roles and activities of JASS after the completion of construction work, and operation of water supply facility (injection of chlorine, monitoring of chlorine residual, and checkup of facilities) (for more detail, refer to Appendix 5 “List of Training”).

Regarding 2) management of water supply system, the capacity development has been implemented through OJT and class room training. The training has started in El Espinal and Humedades in Lambayeque, and San Jorge and Malacasi in Piura. The participants of the training are personnel of District Municipality and the administrative members of JASS. The contents of training so far include; water supply management in general, establishment of JASS, constitution of JASS, explaining the new management to community people, setting of new tariff<sup>9</sup>, and making contract with water users.

**Awareness raising in sanitation (Component 3):**

The OJT in this component has been realized in 4 pilot project sites, namely El Espinal and Humedades in Lambayeque and San Jorge and Malacasi in Piura. The participants of the training are personnel of district municipalities and the administrative members of JASS, as same as the other components. The contents of training so far include; awareness raising in sanitation in general, preparation of manuals, preparation for awareness raising workshop, realization of awareness raising workshop, and monitoring.

In both Component 2 and 3, the participation of personnel of each district municipality has not been strengthened yet so far in some communities where their local government has changed in January 2011. Also, the participation of administrative members of JASS is limited only to the President and Treasurer in some cases in Lambayeque. In addition, other related personnel, such as a staff member of health center who monitors water quality, also have been participating in some

<sup>9</sup> In this Project, “Tariff” refers costs for administration, operation, maintenance, and replacement for water supply system (including cost for sewerage in some sites).

OJTs.

(3) Indicator 3.3: Implementation of pilot projects in 10 rural communities and small cities.

As described above, so far the pilot projects are currently under implementation in 4 sites (El Espinal and Humedades in Lambareque, San Jorge and Malacasí in Piura).

Output 4: The content of the handbook over the administration, operation, maintenance and management of the water supply installations, as well as over the awareness about the sanitation, is diffused to the municipalities and the water and sanitation committees of the regions of Piura and Lambayeque.

Indicators:

- 4.1 Number of the implementation of training to the Municipalities.
- 4.2 Preparation of training plan for JASSs/water committees.
- 4.3 Implementation of seminars.

Regarding the Output 4, the activities are planned to be implemented in the final year of the project period, after completing the preparation of manuals and activities of pilot projects. Therefore, there is no progress identified at the moment of Midterm Review.

### 3-4 Prospect of Achieving the Project Purpose

The achievement so far of the Project Purpose on the basis of indicators<sup>10</sup> has been identified as followings.

Project Purpose: Improve the capacity of carry out water supply and sanitation projects of the rural communities and small cities of the regions of Piura and Lambayeque.

Indicators:

1. Number of improved water facilities
2. Number of Municipalities and water/sanitation committees which improved their capacities in the management and maintenance of water/sanitation facilities, as well as the awareness raising in sanitation.

(1) Indicator 1: Number of improved water facilities

So far the construction of water supply facilities is implemented in 3 sites, namely El Espinal and Humedades in Lambayeque and San Jorge in Piura. Also, the WG1 of Piura has been preparing the tender specification for Malacasí, to be able to start the construction from August 2011.

(2) Indicator 2: Number of District Municipalities and water/sanitation committees which improved

<sup>10</sup> The English description of Project Purpose is sited from Record of Discussion signed in February 2009, and indicators are provisionally translated in English from Japanese PDM ver.0.

their capacities in the management and maintenance of water/sanitation facilities, as well as the awareness raising in sanitation.

The number of district municipalities and JASSs which have been implemented pilot projects of the Component 2 and 3 is same 4 sites, as described above as the pilot project sites for Component 1. According to the original plan, the total number of pilot project in the Component 2 and 3 will be 10 in total by the end of project period.

### 3-5 Prospect of Achieving the Overall Goal

Regarding the Overall Goal, the current situations on each indicator<sup>11</sup> are as described below.

Overall Goal: Improve the situation of water supply and sanitation of the rural communities and small cities of the regions of Piura and Lambayeque.

Indicators:

1. Number of rural communities and small cities which have adequate water supply and sanitation facilities.
2. Number of rural communities and small cities which maintain and manage water and sanitation facilities appropriately.

- (1) Indicator 1: Number of rural communities and small cities which have adequate water supply and sanitation facilities.

There is no definition of “adequate water and sanitation facilities” clarified in the PDM. However, in terms of water supply, 530 (44%) out of 1,214 communities (population under 2,000), and 12 (80%) out of 15 small cities (population from 2,001 to 30,000) have water supply in Lambayeque, and 915 (36%) out of 2,548 communities and 94 (67%) out of 140 small cities have water supply in Piura, according to the results of investigation realized by DIGESA in 2006. There is no more recent information available at the moment.

- (2) Indicator 2: Number of rural communities and small cities which maintain and manage water and sanitation facilities appropriately.

For this indicator also, it is not clear how to judge the appropriateness of the maintenance and management of water and sanitation facilities.

### 3-6 Project Implementation Process

- (1) Management and operation of the Project

Joint Coordinating Committee (JCC) has held once in March 2010, and Regional-level Steering

<sup>11</sup> The English description of Overall Goal is sited from Record of Discussion signed in February 2009, and indicators are provisionally translated in English from Japanese PDM ver.0.

Committee has been realized twice. in February 2010 and October 2010, in order to report progress of the project activities and discuss operation plan and other related issues. Apart from these official occasions, the counterpart personnel of MVCS visits both target regions periodically to monitor the project activities.

The communication among the actors involved in the Project is good in general at the operation level, although in Piura there is a room for improvement in the information sharing among each component in order to manage the Project as a whole. It has improved by setting weekly meeting among the different components at counterpart personnel level.

In both Piura and Lambayeque, the coordination with Regional Government to support securing the smooth execution of necessary costs for project activities and assigning of human resources, as well as to collaborate with other departments and sections of regional government in the water supply projects, has not been sufficiently established after the change of regional governments in January 2011, except to the collaboration of Multi-Sector Team in Component 3 and Department of Infrastructure for the execution of construction in Component 1.

(2) Allocation of counterpart personnel

In Piura, at the beginning of the Project, there was no sufficient professional human resource necessary to implement project activities in DRVS, and they were temporary employed or assigned from other department of regional government. Also, since for most of counterpart personnel their positions are not permanent and secured, the changes of personnel have been frequently happened (for the detail of allocation of counterpart, refer to Appendix 4: Inputs by the Peruvian side). Meanwhile in Lambayeque, all counterpart personnel allocated to the Project are permanent employees of DRVS.

(3) Participation of district municipalities and communities

The participation of district municipalities and communities has been generally sufficient so far. However, there was a change of government in 3 district municipalities out of 4 in pilot projects, and some personnel involved in the Project were changed. Also the administrative members of JASSs in 2 pilot projects (El Espinal in Lambayeque and San Jorge in Piura) were changed, which requires implementing the training again for new members. Also, in some pilot sites the participation of the administrative members is still limited only to the President and Treasurer. Although the participation of communities are moderate, it has been a time consuming process for all the actors involved at community level to raise their awareness to get them understand the new tariff and other related changes of management system introduced by the Project.

(4) Project Management based on the PDM

The PDM has not been revised so far. It is necessary to revise some contents based on the actual

situations, in order to manage the Project in accordance with the PDM.

#### 4. Evaluation by Five Criteria

##### 4-1 Relevance

The Project is high in relevance in terms of needs and priority of Peru, Japanese assistance strategies, as well as suitability as means to contribute to the needs as described below.

##### (1) Needs of Peruvian society and priority for Peruvian Government

The National Sanitation Plan 2006-2015 (Plan Nacional de Saneamiento 2006-2015), which aims at the expansion of service coverage, modernization of administration and management in water supply and sanitation sector, improvement in sustainability and quality of services, and achievement of economical feasibility of service providers, is a valid national plan at the moment, and the Project is highly relevant to this plan. Also, the improvement of water supply is one of the most prioritized issues in the Regional Plan for both Piura and Lambayeque Regions (Plan de Desarrollo Regional Concertado de Lambayeque 2011-2021, and Plan de Desarrollo Regional Concertado de Piura 2007-2021).

##### (2) Japanese Official Development Assistance (ODA) policy

According to the latest assistance policy of JICA, "Country Assistance Policy: Peru" prepared in April 2009, the improvement of water supply and sanitation is considered as one of the prioritized themes under the strategic field of "alleviation of poverty and reduction of disparity". The Project PRISAS is allocated as one of the component in Water Program of JICA's assistance in Peru.

##### (3) Suitability as means

The Project has been working in 3 components to solve the issues related to rural water supply and sanitation, combining the construction of water supply facilities and the improvement of management and operation of water supply facilities, as well as the awareness raising in sanitation. It is considered quite appropriate by actors involved in the Project, to contribute to the existing issues in rural water supply, especially where community people merely have an idea of "management of facilities" which implies proper water tariff system and maintenance.

Also, the application of water meters and water tariff based on amount of consumption in the rural communities is a new trial in Peru, and it is considered being adequate by counterpart personnel both in Lambayeque and Piura, based on their experiences in the pilot projects up to the moment.

On the other hand, although the Project is designed to improve technical capacities of DRVS which was considered as a core organization to improve rural water supply and sanitation, at the beginning of the Project their roles and responsibility in these issues were not clearly defined at



regional level in both regions, and the relationship with other related department and/or divisions was not adequately established. Also, sufficient human and financial resources were not allocated to assume main roles in the 3 Components of the Project.

(4) Collaboration and demarcation with other water supply and sanitation projects

At regional level, Regional Management (Gerencia) of Infrastructure executes most of construction works of water supply facilities which are financed by the regional government. Also, in Piura some professionals of Northern Frontier Program under Regional Management of Social Development manage regional counterpart portions of “Agua para Todos” Program implemented in the region, which include construction of facilities and training of JASS in the management, operation and maintenance, although the lack of financial resource does not allow them to proceed their activities. These functions exist parallel to the project activities in DRVS, even since before the Project, and it is under the process of re-structuring.

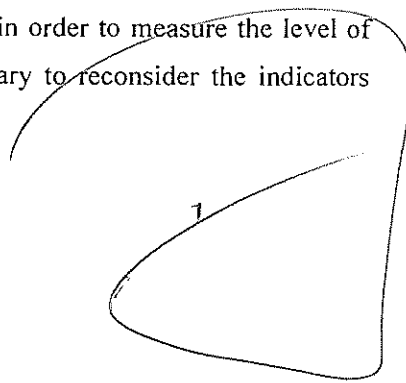
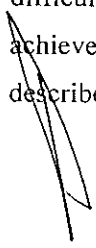
At national level, there are different projects and programs related to water supply and sanitation in rural communities. MVCS implements “Agua para Todos” Program, which consists of components of construction or rehabilitation of water supply facilities and capacity development of water users’ committee such as JASS, directly in rural communities, including Lambayeque and Piura. There are other similar projects financed by different donors such as Luxemburg, Spain and IDB in other regions in Peru. One of such Project is implemented by Swiss Agency for Development and Cooperation (Agencia Suiza para el Desarrollo y la Cooperación: COSUDE). COSUDE has a plan to disseminate their capacity development model to Lambayeque and Piura, and it may overlap with activities of PRISAS.

**4-2 Effectiveness**

There is moderate effectiveness of the Project so far, considering the actual progress of activities and capacity development in the counterpart personnel of DRVS.

(1) Prospect of achieving the Project Purpose

The DRVS in both regions has been strengthening their capacities in the implementation of water supply and sanitation projects in rural communities in the aspects of 3 components introduced by the Project, considering the progress of achievement in Output 1, 2, and 3 (as described in the “4-3 Efficiency”). However, so far the level of achievement in capacity development for the District Municipalities and JASSs differs depending on their situation and progress of activities, and it is difficult to foresee the level of final achievement yet. Meanwhile, in order to measure the level of achievement of the Project Purpose more objectively, it is necessary to reconsider the indicators described in the actual PDM version 0.



(2) Causal relationship between the Outputs and the Project Purpose

Although some achievement has been observed as mentioned above, in order to measure the level of achievement of the Project Purpose as a result of achieving the Outputs, it is necessary to reconsider the indicators, defining what it should be like after the capacity is improved by the end of project period by achieving the 4 Outputs.

Regarding the important assumptions to achieve the Project Purpose, there is a room for improvement in the relationship of the Project with regional governments, to be fully recognized and supported as a function of regional government to improve rural water supply. As to the other assumptions, "Active participation of target communities and small cities (including the installation of water facilities)", it is more appropriate to consider it as an assumption to achieve Outputs, and also "Issues pointed out are improved" and "Continue identifying the actual situations" are not clear as important assumption to achieve Project Purpose.

**4-3 Efficiency**

The Project Teams in both Regions have been making efforts to implement project activities efficiently under their limited conditions, and achieving certain progress in each component of the pilot projects. However, due to some issues including delays in some activities, insufficiency of human resources (in Piura), as well as changes of Governments (Regions and District Municipalities), the efficiency of the Project was not satisfactory in the first half of the project period.

(1) Level of achievement of the Outputs

Although it is difficult to know the level of achievement with the actual indicators of outputs which do not interpret the level of achievement in especially Output 2 and 3, the current situations of achievement in Output 1, 2 and 3 were identified as followings. These achievements have been largely affected by the insufficiency and changes of human resource in the case of Piura, and will be affected further if current counterpart personnel are changed during the project period.

Output 1:

This Output represents the preparative activities to start activities related to the Output 2 and 3, and therefore the activities of Output 1 were realized at the beginning of the Project in both Regions. All activities to verify the water supply and sanitation situation of the rural communities, as well as their capacity to carry out water supply and sanitation projects and its tasks were realized, as described in the "3-3. Achievement of Outputs".

Output 2:

The counterpart personnel of WG1 of both Regions carried out a series of practical works for

the construction of water supply facilities. from the preparation of profiles up to the completion. The counterpart personnel in both Regions, who are professionals in Engineering or Architecture, consider that they gained good experiences through the pilot projects, although there are more different skills and knowledge to learn depending on the types of water supply systems and geographical characteristics of sites.

Output 3:

Regarding the personnel of District Municipalities, although they are collaborative to the pilot project, the level of achievement in their capacity development so far differs in both Component 2 and 3 depending on the Municipalities. The main reason of the difference is in their participation and involvement in the project activities. In some municipalities their participation is still limited, mainly due to the following situations;

- Due to the change of administration in January 2011, the staff members in charge of the pilot project were changed in some municipalities (3 out of 4 pilot sites).
- In some municipalities, due to the limitation of human and financial resources, staff in charge of water and sanitation has not been assigned, or the staff member concurrently has other tasks in the municipalities.

Since the activities with District Municipalities will be developed further in the rest of project period, the Project will continue working with them to strengthen their involvement and develop their capacity.

As to the administrative members of JASS, their level of achievement in capacity development in both Component 2 and 3 differs mainly because of the difference in the progress of activities. In the Component 2, the training has been in progress in El Espinal and Humedades, and they have been already working on their daily operation, including the new tariff system<sup>12</sup>. In the case of San Jorge, it is under the training process for operation and maintenance at the moment. In any cases, the monitoring and assistance are important since various concerns about operation and maintenance were mentioned by members of JASS in the interview of the Midterm Review, especially about chlorination. In the Component 3, Malacasi has already started house by house monitoring activities with each member of JASS and other actors concerned. But in other sites, the Project will continue working to strengthen their capacity and initiatives in this theme.

In this Output, although it directly refers capacity development of District Municipalities and

<sup>12</sup> Actual situation of the collection of water tariff in each pilot site is as followings: 1) in El Espinal, billing based on the new tariff was started in May 2011, and half of the users have paid as of June 2011. It is still in the process of introduction of new system, and considered that the due for the payment is not clearly understood by users (some of them think it every month, and some of them think every 2 months). 2) in Humedades, billing based on the new tariff was started in March 2011. Out of 59 households, water supply was suspended in 4 households so far, due to the delay in payment, but in all the cases the service was restarted after the payment.

JASSs, it is also important to strengthen capacities of counterpart personnel at regional level so that they can provide orientations necessary to District Municipalities and JASSs. Regarding the Component 2, in Lambayeque training has been in progress in 2 pilot sites and the counterpart personnel have prepared the format necessary and experienced the process of capacity development of JASSs. In Piura, although it is still in process, they also have been developing their own capacity to orient JASSs and District Municipalities in this theme. In both Regions they think that they can build enough capacity by the end of the project period, through the activities with additional pilot sites in the rest of project period.

As to the Component 3, most of activities have been implemented as planned so far, and collaborative relationship with other actors at regional level has been developed. The counterpart personnel of WG3 have gained experiences in the preparation of manuals for communities and implementation of workshops. In the latter half of the project period, a manual for JASSs and district municipalities will be prepared, and pilot projects in 3 additional sites will be started, while the monitoring activities are continued and strengthened.

#### (2) Timing, quality and quantity of the Inputs

In terms of the input by Peruvian side, as mentioned in the other section, the quantity of human and financial resources has not been sufficient, especially in professional personnel as technical counterpart of the Project in Piura and budget necessary for the project activities in both Regions.

As to the input provided by Japanese side, the following issues were pointed out by actors involved in the Project.

- The vehicles were not provided in the first year of the Project, when transportation was largely necessary for baseline survey.
- The counterpart training in Japan or third country has not been realized yet.

#### 4-4 Impact

It is considered too early to analyze the Impact both in the aspects of prospect of achieving the Overall Goal and multiple effects of the Project.

##### (1) Prospect of achieving the Overall Goal and Causal Relationship between the Project Purpose and the Overall Goal

Since it is still at midterm of project period and the attainment goals of Project Purpose are not clearly defined by the indicators yet, it is considered to be too early to analyze the possibility of achieving the Overall Goal.

In terms of the improvement of sanitation situation, the idea of "sanitation" is broadly interpreted in Peru, including water supply as well as sewerage, while the Project has been working only for the awareness raising and does not have a component to work on the sanitation facilities

such as sewerage and toilets. In this sense, the installation of sanitation facility will not be treated as the indicator to measure the impact of the Project.

(2) Multiplied effects of the Project

As the improvement of water supply in rural communities can result in various positive impacts such as better health conditions and improved quality of life, in El Espinal and Humedades some of such comments, including the reduction of time and cost to fetch water, better access (hours) to water, better quality of supplied water, etc. were heard in the interview with JASS and users.

#### 4-5 Sustainability

In both Regions of Piura and Lambayeque, the Regional Governments have been undertaking its re-structuring of organizational structure at the moment. In both cases the positioning of DRVS will be changed and it will cause certain effects in its role and function in respective Regions. The sustainability of the Project is largely depending on the results of this re-structuring.

(1) Policy and institutional aspects

As the improvement of water supply is one of the highest priority issues at any levels of government in Peru, the political support in this sector will be continued without doubt. However, at the moment it is not clear how MVCS and Regional Governments strengthen the implementation structure to put such prioritized issue into practice.

(2) Organizational and financial aspects

The Regional Governments have been in the process of re-structuring to establish more efficient administration structure. At the moment of the Midterm Review, the decision has not been announced officially by both Governments, and it takes more time to see the results. In any cases, it is necessary for DRVS to strengthen their organizational capacity (including human and financial resources) to extend the experiences gained through this Project in all 3 Components. Also its roles and functions in the implementation of activities in the improvement of water supply and sanitation should be determined more clearly.

As to the District Municipalities, which are expected to orient JASS in the management, operation and maintenance of water supply facilities and awareness raising in sanitation, they have been in a serious problem in terms of human and financial resources, comparing to the number of existing small cities and communities in each Municipality. Meanwhile, the District Municipalities have been making efforts to access their own financial resource to cover some necessities, such as an office for JASS, some part of water system which is not included in the pilot project, and sanitation facilities.

Regarding the management of JASS, it has recently started and it is still in the process of introducing new system. The Project will make further effort to promote their sound management to guarantee the sustainability of water supply system.

(3) Technical aspects

So far changes of counterpart personnel and insufficiency of human resources have affected largely the achievement of capacity development and the sustainability of skills, knowledge and experiences gained through the project activities. It is necessary for DRVS to find measures to accumulated experiences not only at individual level but also at institutional level to secure the sustainability.

Also at pilot projects, since the administrative members of most of JASS are changed every 2 years and District Municipalities are suffering insufficiency of resources, some measures to maintain skills and knowledge even after changes of personnel should be taken into account in the rest of project period.

## 5. Conclusion

The Project has implemented various activities and produced Output 1, 2 and 3 to some extent, owing to the efforts made by each stakeholder involved in the project activities. The major achievement so far is found in the capacity development of counterpart personnel through the implementation of pilot projects. The Relevance of the Project remains high in needs, priority and some aspects of suitability as means, although the issue regarding the donor coordination is a matter of concern at this moment. There is moderate effectiveness in the Project so far, considering the actual progress of activities and capacity development in the counterpart personnel of DRVS. However, due to some issues including delays in some activities, insufficiency of human resources (in Piura), as well as changes of Governments (Regions and District Municipalities), it is considered that the efficiency of the Project was not satisfactory in the first half of the project period. In terms of the Impact, it is considered too early to analyze it both in the aspects of prospect of achieving the Overall Goal and multiple effects of the Project. The Sustainability of the Project is largely depending on the results of currently undergoing re-structuring in both Regional Government of Piura and Lambayeque, since in both cases the positioning of DRVS will be changed and it will cause certain effects in its role and function in respective Regions. In addition, the donor coordination of MVCS is necessary. Based on these results of the Review, the Midterm Review Team made following recommendations, in order to give shape to the actions necessary for the latter half of the project period.

## 6. Recommendations

- (1) Each Regional Government of Piura and Lambayeque should take necessary measures to secure

the allocation of existing counterpart personnel, and assign sufficient professional personnel in DRVS, considering the sustainability of project activities.

- (2) Each Regional Government should enhance their implementation structure of water supply and sanitation services, by strengthening DRVS.
- (3) In order to maximize the achievement of the Project, MVCS should coordinate international donors' assistance, avoiding duplications.
- (4) MVCS should evaluate the outputs and lessons learned obtained from the Project to consider its application to the revision of regulations and national plan which are related to the water supply and sanitation in rural area.
- (5) Since the involvement of District Municipalities is essential for the achievement of Output of the Project, it is necessary for DRVSs to encourage District Municipalities further to assign staff in charge of water supply and sanitation, and enhance their active involvement in the Project.
- (6) It is essential for the Project to promote installation of water meters at each household in the pilot project sites for sound management of JASSs.
- (7) In order to make JASS' activities sustainable, it is recommendable to establish a constant training system for JASSs in the management, operation and maintenance of water supply system.
- (8) It is expected to strengthen communications and collaboration system between Regional governments and District Municipalities through practical use of manuals prepared by the Project.
- (9) It is recommendable that DRVS strengthens their knowledge management system to accumulate information and know-how in the organization, and utilizes them as the organization, in order to secure the sustainability of skills and know-hows gained through the Project.
- (10) It is expected that the Project consider the coordination with Japan's other cooperation schemes when they disseminate PRISAS Model in other regions.
- (11) It is recommendable to conduct training programs in Japan or third country for counterpart personnel of the Project.

(12)The PDM (ver.0) should be revised in accordance with current situations of the Project. The points of revision as of this moment were proposed by the Midterm Review Team, in order to discuss with Directors and group leaders of WGs in each region. As a result of discussion, the Draft PDM (ver.1) is attached in Appendix 7. It is recommendable to agree on the new PDM (ver.1) among the stakeholders, and implement the rest of project activities based on the new PDM.



## Appendix 1: Project Design Matrix ( PDM version 0E)

(Due to the descriptive errors in the original version of PDM0, the Midterm Review Team prepared this version OE for the use of the Review only. The contents were not changed but only some descriptions were corrected in this version.)

**Nombre del Proyecto:** "Proyecto de Reforzamiento Institucional del Suministro de Agua y Saneamiento en la Zona Norte del Perú"

**Ver. 0 E**

**Zona objeto:** Perú. **Grupo meta:** MVCS, Región Piura, Región Lambayeque, Gobiernos Locales vinculados a los Proyectos Piloto **Período del Proyecto:** 2009 - 2013 (4 años)

Resumen narrativo del Proyecto	Indicadores	Medios de obtención	Condiciones externas
<p><b>&lt;Meta Superior&gt;</b> Mejora el estado del suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Cantidad de localidades rurales y pequeñas ciudades con instalaciones de agua y saneamiento apropiadas.</li> <li>2. Cantidad de localidades rurales y pequeñas ciudades donde se mantienen y se conservan apropiadamente las instalaciones de agua y saneamiento.</li> </ol>	Índices de MVCS, Gobiernos Regionales y Gobiernos Locales.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• No se deteriora la situación política.</li> <li>• Continúa el "Programa Agua para Todos".</li> </ul>
<p><b>&lt;Meta del Proyecto&gt;</b> Mejora la capacidad de las entidades vinculadas al suministro de agua y saneamiento, para ejecutar las operaciones de abastecimiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Cantidad de instalaciones de suministro de agua implementadas y mejoradas.</li> <li>2. Cantidad de Municipalidades, JASS y Comités de Agua donde se haya mejorado la capacidad de ejecución de la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua, y de la sensibilización.</li> </ol>	Evaluación de los Proyectos Piloto (informes de proyectos, estudios en el sitio y entrevistas)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• No varían las políticas a nivel regional.</li> <li>• Se ejecutan los demás componentes del "Sub Programa de Suministro de Agua y Saneamiento de la Zona Norte".</li> </ul>
<p><b>&lt;Resultados&gt;</b> 1. Se verifican la capacidad de ejecución y los temas por resolver respecto a las operaciones de suministro de agua y saneamiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 Estudio de línea de base sobre el estado del suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades de ambas regiones.</li> <li>1-2 Inventario relativo al estado de mantenimiento de las instalaciones de las localidades rurales y pequeñas ciudades de ambas regiones.</li> <li>1-3 Entrevistas a las JASS y Comités de Agua.</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 Resultados de estudio de línea de base.</li> <li>1-2 Resultados de inventarios.</li> <li>1-3 Resultados de entrevistas.</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Se mantiene una buena relación entre los organismos relacionados.</li> <li>• Hay participación activa de las "localidades rurales" y "pequeñas ciudades" (incluyendo las obras e instalaciones de suministro de agua).</li> </ul>
<p>2. Se fortalece la capacidad relativa a la implementación de obras de suministro de agua (construcción y reparación a gran escala) de los Gobiernos Regionales de Piura y Lambayeque.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>2-1 Manual de implementación (construcción y reparación a gran escala) de las instalaciones de suministro de agua.</li> <li>2-2 Cantidad de personal del Gobierno Regional que recibe la capacitación.</li> <li>2-3 Ejecución de Proyectos Piloto en 6 localidades rurales y pequeñas ciudades.</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>2-1 Informe del Proyecto.</li> <li>2-2 Informe de capacitaciones realizadas.</li> <li>2-3 Informe de monitoreo.</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Se corrigen los problemas identificados.</li> <li>• Hay fluida información para conocer las situaciones.</li> </ul>
<p>3. Se fortalece la capacidad relativa a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y a la sensibilización sobre saneamiento de las Municipalidades y JASS (Junta Administradora de Servicios de Saneamiento) y Comités de Agua objeto de los Proyectos Piloto.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>3-1 Manual relativo a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua, y a la sensibilización.</li> <li>3-2 Cantidad de personal municipal, de las JASS y Comités de Agua que recibe la capacitación.</li> <li>3-3 Ejecución de Proyectos Piloto en 10 localidades rurales y pequeñas ciudades.</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>3-1 Informe del Proyecto.</li> <li>3-2 Informe de capacitaciones realizadas.</li> <li>3-3 Informe de monitoreo.</li> </ol>	
<p>4. Se consolida el sistema organizativo para difundir entre las Municipalidades, JASS y Comités de Agua el contenido de los manuales relacionados a la administración, operación y mantenimiento, y a la sensibilización sobre saneamiento en las Regiones de Piura y Lambayeque.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>4-1 Cantidad de capacitaciones ejecutadas para las Municipalidades.</li> <li>4-2 Formulación del plan de capacitación de las JASS y Comités de Agua.</li> <li>4-3 Ejecución de seminarios.</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>4-1 Informe de capacitaciones realizadas.</li> <li>4-2 Informe del Proyecto.</li> <li>4-3 Informe de seminarios.</li> </ol>	

<Actividades>	<Aportes>	
<p>1-1 Estudio de línea de base relativo al suministro de agua y saneamiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades de ambas regiones.</p> <p>1-2 Estudio de los trabajos ejecutados y capacidades de los Gobiernos Regionales sobre: la implementación de obras de suministro de agua (construcción y reparación a gran escala), sistema de asesoramiento a las Municipalidades, actividades realizadas, plan de nuevas obras, estudio/plan/diseño de reparaciones a gran escala, elaboración de especificaciones y trámite de permisos y autorizaciones.</p> <p>1-3 Estudio del sistema de asesoramiento del MVCS a los Gobiernos Regionales sobre operaciones de suministro de agua y saneamiento, estado de las actividades, asignación de presupuestos y capacidades.</p> <p>1-4 Verificación de los temas relacionados con la ejecución de operaciones de suministro de agua y saneamiento en ambas regiones en base a los resultados arriba mencionados.</p> <p>1-5 Modificación de la Matriz de Diseño del Proyecto (PDM), si fuera necesario, basado en los resultados.</p> <p>2-1 El MVCS, en cooperación con los Gobiernos Regionales, elabora el borrador del manual de implementación de obras de suministro de agua (construcción y reparación a gran escala) que ejecutan los Gobiernos Regionales.</p> <p>2-2 El MVCS planifica y ejecuta capacitaciones dirigidas a los Gobiernos Regionales sobre la implementación de obras de suministro de agua (construcción y reparación a gran escala).</p> <p>2-3 Selección de alrededor de 6 sitios como sitio candidato a Proyecto Piloto en las localidades rurales y pequeñas ciudades para implementar las obras de suministro de agua (construcción y reparación a gran escala).</p> <p>2-4 Ejecución por los Gobiernos Regionales de: elaboración del plan de nuevas construcciones, estudio para identificar los lugares que requieran reparaciones de gran escala, formulación del plan de reparación a gran escala, preparación de diseños, elaboración de especificaciones y ejecución de trámites para la autorización de obras en las 6 localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de los Proyectos Piloto.</p> <p>2-5 Ejecución por los Gobiernos Regionales de la construcción y reparación a gran escala de las instalaciones de suministro de agua, utilizando las empresas privadas en las 6 localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de los Proyectos Piloto.</p> <p>2-6 Realización del monitoreo por parte del MCVS de las actividades de los Proyectos Piloto de 2-4 y 2-5 ejecutadas por los Gobiernos Regionales.</p> <p>2-7 Revisión del manual relativo a la implementación de obras de suministro de agua, considerando los resultados de los Proyectos Piloto.</p> <p>3-1 Selección de alrededor de 10 sitios de las localidades rurales y pequeñas ciudades donde las Municipalidades, JASS y Comités de Agua realizan los Proyectos Piloto para la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua, así como para la sensibilización sobre saneamiento. (Incluyendo las 6 localidades rurales y ciudades pequeñas seleccionadas en 2-3).</p> <p>3-2 Los Gobiernos Regionales, en colaboración con las Municipalidades de las localidades objeto de los Proyectos Piloto, elaboran el borrador de los manuales relativos a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua (consolidación organizativa de las Municipalidades, JASS y Comités de Agua, elaboración del plan de administración, operación y mantenimiento, establecimiento y cobranza de tarifas, reparaciones de pequeña escala y método de obtención de los</p>	<p><b>Parte Japonesa</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Expertos.</li> <li>2. Consultores locales.</li> <li>3. Equipos y materiales: Vehículos.</li> <li>4. Envío de becarios: algunos becarios por año.</li> <li>5. Contratación local <ul style="list-style-type: none"> <li>• Estudio: en 2 Regiones.</li> <li>• Alrededor de 5 sitios de Proyecto Piloto en cada región.</li> </ul> </li> <li>6. Otros esquemas: Voluntarios (cooperación relacionada con el mantenimiento y la mejora del nivel de vida en las localidades rurales y pequeñas ciudades), seguimiento (equipos relacionados con la excavación de pozos donados por la cooperación financiera no reembolsable) y cooperación de asistencia a proyectos comunitarios, etc.</li> </ol> <p><b>Parte Peruana</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Ministerio de Vivienda, Construcción y Saneamiento (MCVS) <ul style="list-style-type: none"> <li>• Asignación del personal necesario: 1 Coordinador del Proyecto.</li> <li>• Medios de desplazamiento de la contraparte.</li> </ul> </li> <li>2. Direcciones a cargo del suministro de agua y saneamiento del Gobierno Regional de Piura y de Lambayeque. <ul style="list-style-type: none"> <li>• Aseguramiento de la oficina del Proyecto, así como el suministro de muebles y materiales de oficina.</li> <li>• Asignación de coordinadores con dedicación completa al Proyecto (mínimo 3 personas por cada Gobierno Regional).</li> <li>• Asignación del personal necesario: ingenieros especializados.</li> <li>• Medios de transporte para la contraparte.</li> <li>• Recursos financieros necesarios para la ejecución de los Proyectos Piloto.</li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Se asigna el presupuesto necesario para mejorar el suministro de agua y saneamiento en ambas regiones.</li> <li>• Es posible obtener sin demora las informaciones necesarias para las actividades del Proyecto.</li> <li>• Se dispone de la logística (medios de transporte) para las actividades del Proyecto.</li> <li>• Se ejecutan sin demora los trámites legales en el Perú para la implementación de las operaciones.</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>&lt;Premisas&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Designar apropiadamente los miembros de la contraparte.</li> <li>• Se mantiene la misma política y funciones de los Gobiernos Locales, Regionales y el MVCS.</li> <li>• No cambiar las actividades de las demás entidades donantes.</li> <li>• No se deteriora la seguridad.</li> </ul>

<p>repuestos) y a la sensibilización sobre saneamiento que realizan las Municipalidades, JASS y Comités de Agua.</p> <p>3-3 Los Gobiernos Regionales ejecutan las capacitaciones relacionadas con la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua, así como la sensibilización sobre saneamiento a las Municipalidades, JASS y Comité de Agua que administran las operaciones de suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de los Proyectos Piloto.</p> <p>3-4 Ejecución por las Municipalidades, JASS y Comité de Agua de las localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de los Proyectos Piloto, de consolidación de la organización, elaboración del plan de administración, operación y mantenimiento, actividades de sensibilización, así como el establecimiento, cobranza y administración de tarifas.</p> <p>3-5 Las Municipalidades, JASS y Comités de Agua de las localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de los Proyectos Piloto adquieren los repuestos y realizan reparaciones de pequeña escala, en cooperación con los Gobiernos Regionales.</p> <p>3-6 Los Gobiernos Regionales y el MVCS realizan el monitoreo de las actividades de 3-3 y 3-5.</p> <p>3-7 Se revisa el borrador del manual de administración, operación y mantenimiento y el de la sensibilización de saneamiento, en base a los resultados de los Proyectos Piloto.</p> <p>4-1 Las Municipalidades objeto de los Proyectos Piloto realizan las capacitaciones relativas a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y a la sensibilización, dirigidas a todas las JASS y Comités de Agua de su jurisdicción, utilizando los manuales respectivos.</p> <p>4-2 Los Gobiernos Regionales realizan las capacitaciones relativas a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y a la sensibilización, de todas las Municipalidades, utilizando los manuales respectivos.</p> <p>4-3 Todas las Municipalidades de ambas regiones elaboran los planes de capacitación relativos a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y a la sensibilización, de todas las JASS y Comités de Agua de su jurisdicción.</p> <p>4-4 Los Gobiernos Regionales de Piura y Lambayeque celebran seminarios para compartir los resultados del Proyecto con otras regiones.</p>		
---	--	--







**Appendix 3: Input by the Japanese Side**  
(1) Experts

Position Title	Name	Fourth Year (FY2012)																																				Man/Month																																																					
		Second Year (FY2010)												Third Year (FY2011)												Fourth Year (FY2012)												1st Year		2nd Year		3rd Year		4th Year		Total																																													
		Second Year												Third Year												Fourth Year												Field	Home	Field	Home	Field	Home	Field	Home	Field	Home	Field	Home																																										
o Leader/Planning of Operation and Maintenance (including Planning of Water Supply) Source/Leaver/Planning of Water	Kenichiro Sugiya	Plan	50	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	5.00	7.83	4.67	0.00	17.50																																																		
		Actual	(1.67)			(2.00)	(2.00)	(2.00)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	(1.33)	0.00	0.00	0.00	0.00	9.50																																																
o Supply/Planning of Groundwater Development1	Yusuke Oshika	Plan	105	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	3.50	3.50	0.00	0.00	7.00																																																			
		Actual	(3.50)			(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	(3.50)	0.00	0.00	0.00	0.00	7.00																																														
o Supply/Planning of Groundwater Development2	Masao Uematsu	Plan	30	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	3.33	8.00	7.50	0.00	18.83																																																		
		Actual	(1.00)			(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	0.00	0.00	0.00	0.00	7.36																																													
o Planning of Water Supply/Planning of Groundwater Development3	Ruben Erlain Sansuy	Plan	30	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	3.00	9.00	0.00	0.00	12.00																																																		
		Actual	(1.00)			(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	0.00	0.00	0.00	0.00	9.00																																													
Planning of Sanitation awareness	Shigeru Sugawara	Plan	50	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	3.67	6.33	3.50	0.00	13.50																																																		
		Actual	(1.67)			(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	0.00	0.00	0.00	0.00	7.34																																													
Operation and Maintenance of Water Treatment Facilities	Shunsaku Matsuo	Plan	50	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	0.00	3.00	2.00	0.00	5.00																																																		
		Actual	(1.67)			(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	(1.67)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																													
		Plan																																					18.50			Total of Field Survey		Plan	18.50	Actual	18.50																																					37.66	21.70			17.67	0.00	73.83	40.20

(2) Equipment Procured for the Project

1) Provision of Equipment for the Regional Governments of Lambayeque and Piura

Equipment	Qty	Use	Placement	Procurement Place	Unit Price	Amount	Delivery Date
1 Computer	2	For office works at the local office	DRVS of both Regions	Local procurement by the contractor	814.86 US\$	1,629.72 US\$	1st fiscal year / Aug. 2009
2 Copy Machine	2	For office works at the local office	DRVS of both Regions	Local procurement by the contractor	520.31 US\$	1,040.62 US\$	1st fiscal year / Aug. 2009
3 Network Printer	2	For office works at the local office	DRVS of both Regions	Local procurement by the contractor	320.00 US\$	640.00 US\$	1st fiscal year / Aug. 2009
4 Vehicles	2	For project activities	DRVS of both Regions	Local procurement by JICA	30,540.00 US\$	61,080.00 US\$	1st fiscal year / Mar. 2010
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							

2) Equipment Accompanied by Expert Dispatch for the Regional Governments of Lambayeque and Piura

Equipment	Qty	Use	Placement	Procurement Place	Unit Price	Amount	Delivery Date
1 Projector	1	For presentations	Lambayeque Region DRVS	Domestic procurement by the contractor	90,000 ¥	90,000 ¥	1st fiscal year / Aug. 2009
2 Portable Electric Conductivity - pH meter	2	For baseline survey (water source survey)	DRVS of both Regions	Domestic procurement by the contractor	129,500 ¥	259,000 ¥	1st fiscal year / Aug. 2009
3 Rope water level meter	2	For baseline survey (water source survey)	DRVS of both Regions	Domestic procurement by the contractor	54,500 ¥	109,000 ¥	1st fiscal year / Aug. 2009
4 Handy GPS	2	For baseline survey (positioning)	DRVS of both Regions	Domestic procurement by the contractor	25,520 ¥	51,040 ¥	1st fiscal year / Aug. 2009
5 Turbiditymeter	2	For Sanitation Awareness Pilot Project (water analyses)	DRVS of both Regions	Domestic procurement by the contractor	166,000 ¥	332,000 ¥	2nd fiscal year / Oct. 2010
6							
7							
8							



(3) Local Sub-contract

Contractor		Content of contract	Date of Contract	Contract Amount
1	Contract with local consultant Water Quality Tests (Lambayeque)	Pedro Luiz Callo University	11 Mar. 2011	US\$ 1,924,00- (¥157,249) JICA Exchange Rate
		Water quality tests at the 2 projected sites (El Espinal and Humedades) (Parameters) Odor, Iron, Manganese, Nitrate, Nitrite, COD, Ammonia (Number of samples) El Espinal: 7, Humedades: 6 ※ Because of the intermittent strikes by staff and others of the Pero Luiz Callo University, as of the beginning of May the tests have not been completed.		
2	Contract with local consultant Water Quality Tests (Piura)	Piura University	15 Mar. 2011	US\$ 1,785,90- (¥145,962) JICA Exchange Rate
		Water quality tests at the 2 projected sites (Malacasi and San Jorge) (Parameters) Odor, Iron, Manganese, Nitrate, Nitrite, COD, Ammonia (Number of Samples) Malacasi: 7, San Jorge: 8→7 (The number of Samples was changed into 7 from 8 because of schedule of construction of facilities) 2 Water Supply System Improvement Pilot Project (El Espinal and Humedades) 1) El Espinal El Espinal is a village located in a mountain area distant 70km east from the Regional Capital Chiclayo, with a population of around 460 habitants. The domestic water used in the village is a water collected upstream of the Zana river that flows in the north part of the village. Existing facilities as intake, sedimentation pond and filters has been constructed; however, at the survey time, those facilities were not functioning and the water collected from the river was served to the part of the village households through a pipeline without any kind of treatment. It was decided, in this Pilot Project, to improve the existing water supply facilities and connect all households to the distribution main, which actually were not connected. Actually, there is no water meters installed. [Main Works] • Construction and/or rehabilitation of the intake facility, sedimentation pond, gravel filter, slow sand filter, decompression chamber. • Rehabilitation of the conduction main, protection of the tank, installation for the chlorination facility, rehabilitation of the distribution main. • Installation of the household connection (39 households), installation of water meters (127 households) 2) Humedades Humedades is located in a flat area with an altitude of 110m to 120m, distant around 55km east-northeast from the Regional Capital Chiclayo. The population of the village is around 320 habitants. There is irrigation well (90m depth) with a yield of 40 l/s in the outskirts of the village and the pumped groundwater is actually used by the population as domestic water. There is an elevated tank beside of the well, which is not connected to the well and to the distribution main. An improvement plan was drafted once, however, due to the change of mayor, the plan was frustrated and the tank was leaved without make use of it. In this Pilot Project, it was decided to install a ground tank beside the irrigation well to send the water to the elevated tank and also improve the distribution main to the households. The works includes improvement of the existing elevated tank, installation of the connection pipe to the distribution main and installation of the water meter. [Main Works] • Construction of the pump house • Improvement of the elevated tank, connection to the distribution main, partial installation of new distribution pipes. • Installation of household connection and water meters (59 household)		
3	Construction Cost Pilot Project (Lambayeque Region)	Teknometal Contratistas Generales SAC	6 Oct. 2010	US\$ 185,361.92- (¥15,509,232) JICA exchange rate

4	<p>Construction Cost/Pilot Project(Piura Region)</p>	<p>TRONCOS Construcciones S.R.L.</p>	<p>1 Water Supply System Improvement Pilot Project (San Jorge) 1) San Jorge is distant around 80km east-northeast of the Regional Capital Piura in a mountain area with altitude of 1,300m to 1,400m. The project target area includes 2 surrounding villages and the total population is around 1,160 inhabitants. The water supplied to the area is collected from superficial water located 3km upstream of the village. Facilities as sedimentation pond, filter facilities, etc. has been constructed, however, those facilities are completely not functioning. Consequently, the water is supplied to the population without any treatment. In this Pilot Project, the improvement of those existing facilities, household connections and water meter installation will be carried out. [Main Works]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Construction of intake weir, sedimentation pond</li> <li>▪ Rehabilitation of the conduction main, slow sand filter</li> <li>▪ Construction of a tank and rehabilitation of the distribution main (partially new installation)</li> <li>▪ household connection and installation of water meters (223 households)</li> </ul>	<p>15 Dec. 2010</p> <p>US\$ 138,425,18-(¥11,649,863)JICA exchange rate</p>
---	--	--	--	--

**(4) Local Cost of the Project**

(Unit : Yen)

Items	1st Year	2nd Year (As of Mar. 2011)	Total
(3) General and Administrative Expenses(Excluding Training)	12,957,000	12,183,000	25,140,000
1) Salaries	8,317,252	7,551,593	15,868,845
2) Machine Maintenance	0	0	0
3) Consumable Supplies	17,133	240,557	257,690
4) Travels	1,539,550	1,638,764	3,178,314
5) Communications and transportation	0	0	0
6) Preparation of relevant materials	1,130,230	599,241	1,729,471
7) Property Rental	1,953,543	1,467,581	3,421,124
8) Electricity, Water and Gas	0	0	0
9) Development and Maintenance of Human Resources	0	0	0
10) Property Management	0	0	0
11) Local Training	0	685,643	685,643
12) Local Activity	0	0	0
13) Local Outsourcing	0	0	0
14) Miscellaneous Items	0	0	0
(4) Purchase of Equipment Funded	315,000	0	315,000
(5) Transportation of Equipment Funded	0	0	0
(6) Purchase of Portable Equipment	509,000	332,000	841,000
(7) Transportation of Portable Equipment	0	0	0
(8) Purchase of Other Equipment	0	0	0
(9) Transportation of Other Equipment	0	0	0
(12) Contracting Local Consultants	0	200,971	200,971
(13) Contracting Local NGOs	0	0	0
(14) Construction	0	21,083,284	21,083,284
(15) Conference	0	0	0
<b>V. Total</b>	<b>13,781,000</b>	<b>33,799,255</b>	<b>47,580,255</b>

## Appendix 4: Inputs by the Peruvian Side

### (1) Counterpart Personnel

#### 1) Ministry of Housing, Construction and Sanitation

No.	Name	Position (in Organisation)	Position (in Project)	Assignment Period for the Project
PAPT 1	Ing. Félix Agapito Acosta	Executive Director	Chairman of CDR	2009.6~
PAPT 2	Ing. Vanessa Vereau Ladd	Chief of Operation of Rural Sanitation Unit		2011.5~
PAPT 3	Ing. Juan Carlos Sánchez Lazo	Professional Specialist (Operation of Rural Sanitation)	Coordinator of PAPT (Incumbent)	2011.5~
PAPT 4	Ing. Mercedes Angelina Peña Niño	Professional Specialist (Operation of Rural Sanitation)	Coordinator of PAPT (Incumbent)	2011.5~
(Transfer)				
PAPT 5	(Ing. Flor Solano de Meza)	Professional Specialist (Operation of Urban Sanitation)	Coordinator of PAPT (Predecessor)	2009.6~2011.5
PAPT 6	(Ing. Bertha Giraldo Fernández)	Professional Specialist (Operation of Urban Sanitation)	Coordinator of PAPT (Predecessor)	2009.6~2011.5

#### 2) Regional Government of Lambayeque

No.	Name	Position (in Organisation)	Position (in Project)	Assignment Period for the Project
R.G. of L. 1	Dr. Víctor Torres Anaya	General Manager of Social Development Dept.	Member of CDR	2011.1~
L - DRVS 1	Ing. Victor Eloy de la Cruz Rojas	Director		2010.8~
L - DRVS 2	Ing. Nepton David Ruiz Saavedra	DRVS Staff (N)	WG1(Líder)	2009.6~
L - DRVS 3	Arg. José López Gálvez	DRVS Staff (N)	WG1	2009.6~
L - DRVS 4	Ing. Lorenzo Mau Kuzan	DRVS Staff (N)	WG1	2011.3~
L - DRVS 5	Sr. Sandor Lenin Martínez Jiménez	DRVS Staff (N)	WG2(Líder)	2009.6~
L - DRVS 6	Arg. Teodoro Custodio Diez	DRVS Staff (N)	WG2	2009.6~
L - DRVS 7	Arg. Yony Paredes Ángeles	DRVS Staff (N)	WG3(Líder), Coordinator on DRVS	2009.6~
L - DRVS 8	Arg. Fabio Mendoza Yarasca	DRVS Staff (N)	WG3	2009.6~
(Resignee)				
R.G. of L. 1	Dr. Luiz Castañeda Ponce	General Manager of Social Development Dept.	Member of CDR	2009.6~2010.12
L - DRVS 1	Ing. Raúl Cieza Vásquez	Director		2009.6~2010.8
L - DRVS 2	Ing. Giuliana Díaz Reyes	UF	WG1	2009.6~2010.12
L - DRVS 3	Eco. Hugo Flores Oliva	UF	WG1	2009.6~2010.12
L - DRVS 4	Ing. Harold López Osorio	UF	WG1	2009.6~2010.12

3) Regional Government of Piura

No.	Name	Position (in Organisation)	Position (in Project)	Assignment Period for the Project
R.G. of P 1	Econ. Verónica Luy Delgado	General Manager of Social Development Dept.	Member of CDR	2011.1~
P - DRVS 1	Arq. Elba del Carmen Merino de Lama	Director	Directora (DRVS)	2009.6~
P - DRVS 2	Ing. Richar Ronald ROMERO Rodrí	DRVS Staff (L)	WG1	2010.10~
P - DRVS 3	Ing. Juan GARCÍA Montalvo	Temporary Transfer from the Regional Government	WG1(Líder), Coordinator in DRVS	2009.10~
P - DRVS 4	Sr. Eloy HUACCHILLO Chuquirima	DRVS Staff (N)	WG1	2009.6~
P - DRVS 5	Sr. Agustín AGUIRRE Siluptú	DRVS Staff (N)	WG2(Líder)	2009.6~
P - DRVS 6	Lic. Patricia SAAVEDRA Córdova	DRVS Staff (L)	WG2	2010.4~12, 2011.2~
P - DRVS 7	Econ. Elba ZAPATA Panta	DRVS Staff (L)	WG2	2009.12~
P - DRVS 8	Sra. Ángela CALLE de Córdova	DRVS Staff (N)	WG2	2009.6~
P - DRVS 9	Lic. Aída PALACIOS Lazo	DRVS Staff (L)	WG3(Líder)	2010.1~7, 2011.4~
P - DRVS 10	Ing. Jesús BALBÍN Archi	DRVS Staff (L)	WG3	2011.3~
P - DRVS 11	Sr. Wilfredo RUJEL Mogollón	DRVS Staff (L)	WG3	2009.6~
(Resignee)				
R.G. of P 1	Dr. Luiz Alberto Ortiz Granda	General Manager of Social Development Dept.	Member of CDR	2009.6~2010.12
P - DRVS 1	Arq. Melissa CORREA Girón	DRVS Staff (C)	WG1	2009.6~2010.12
P - DRVS 2	Ing. Roberto AGUIRRE Sánchez	DRVS Staff (C)	WG1	2009.6~2010.12
P - DRVS 3	Sra. Karla M. CRUZ Ordínola de López	DRVS Staff (C)	WG2	2009.6~2010.12
P - DRVS 4	Sr. Carlos W. AQUINO Silva	DRVS Staff (C)	WG2	2009.6~2010.12
P - DRVS 5	Cruz Henry ROSILLO Gonzáles	DRVS Staff (L)	WG2	2009.6~2010.12
P - DRVS 6	Sra. Shirley LOMBARDI Lizano	DRVS Staff (C)	WG3	2009.6~2010.12

(Remarks) N --- Full time Employee, C --- Yearly contract employee, L --- Monthly contract employee

**(2) Expenditure (economic support) from the Peruvian Side, for PRISAS Updated May 2011**

MINISTRY OF HOUSING Planning and Budget Office(OUPP) - International Cooperation Unit	Commissioner	Number of Visits	Year (s)	Air Fare	Airport Tax	Accommodation	Food Items	Other Items (City Transportation etc)	TOTAL (Soles)
Water for All (PAPT), Rural Sanitation Operating Unit (UOSR)	Lic. Ricardo Gálvez	5	2008-2010	6,750	150	770	840	630	9,140
Water for All (PAPT), Rural Sanitation Operating Unit (UOSR)	Ing° Flor Solano	6	2008-2011	8,100	180	2355	2250	630	13,515
Water for All (PAPT), Rural Sanitation Operating Unit (UOSR)	Lic. Bertha Giraldo	4	2009-2011	5,400	120	1570	1500	420	9,010
Water for All (PAPT), Rural Sanitation Operating Unit (UOSR)	Ing° Juan Carlos Sanchez Lazo	1	2011	1,350	30	250	250	66	1,946
Water for All (PAPT), Rural Sanitation Operating Unit (UOSR)	Lic. Mercedes Pe ña Niño	1	2011	1,350	30	250	250	66	1,946
									35,557

\* In this fiscal year, PAPT has already budgeted S.138,323 for the completion of the "Implementation Manual Water Facility - PRISAS -"

\*\*\* The manual is being prepared by the consultant "GEA GROUP", they have submitted its second progress report so far

**(3) Cost of Project Born by Regional Government of Lambayeque**

(IN NUEVOS SOLES)

State : LAMBAYEQUE Regional Government  
 Executive Unit : REGIONAL GOVERNMENT HEADQUARTERS LAMBAYEQUE  
 Regional Directorate of Housing and Sanitation - Lambayeque

1.2.3 GOODS AND SERVICES		Jul /Dec 2009	Financial Year 2010	Jan /Apr 2011
Specific Expenditure		20,490	41,161	12,895
<b>1.2.3.1</b>	<b>PURCHASE OF GOODS</b>	<b>9,624</b>	<b>14,250</b>	<b>10,990</b>
<b>1.2.3.1.1</b>	<b>FOOD &amp; DRINKS</b>	<b>250</b>	<b>700</b>	<b>-</b>
<b>1.2.3.1.1.1</b>	<b>FOOD &amp; DRINKS</b>	<b>250</b>	<b>700</b>	<b>-</b>
1. 2.3.1.1.1.1	HUMAN FOOD & DRINKING WATER	250	700	-
<b>1.2.3.1.2</b>	<b>CLOTHING &amp; TEXTILES</b>	<b>-</b>	<b>750</b>	<b>-</b>
<b>1.2.3.1.2.1</b>	<b>CLOTHES, FOOTWEARS AND ACCESSORIES, TEXTILES AND LEATHER MATERIALS</b>	<b>-</b>	<b>750</b>	<b>-</b>
1. 2.3.1.2.1.1	CLOTHES, ACCESSORIES AND CLOTHING MISCELLANEOUS	-	750	-
<b>1.2.3.1.3</b>	<b>FUELS, LUBRICANTS AND RELATED ITEMS</b>	<b>820</b>	<b>5,040</b>	<b>3,620</b>
<b>1.2.3.1.3.1</b>	<b>FUELS, LUBRICANTS AND RELATED ITEMS</b>	<b>820</b>	<b>5,040</b>	<b>3,620</b>
1. 2.3.1.3.1.1	FUELS	680	4,560	3,200
1. 2.3.1.3.1.3	LUBRICANTS, OILS AND RELATED ITEMS	140	480	420
<b>1.2.3.1.5</b>	<b>MATERIALS AND SUPPLIES</b>	<b>800</b>	<b>1,500</b>	<b>170</b>
<b>1.2.3.1.5.1</b>	<b>OFFICE SUPPLIES</b>	<b>600</b>	<b>1,200</b>	<b>120</b>
1. 2.3.1.5.1.1	OFFICE PARTS AND ACCESSORIES	220	450	-
1. 2.3.1.5.1.2	GENERAL STATIONERY SUPPLIES AND OFFICE MATERIALS	380	750	120
<b>1.2.3.1.5.3</b>	<b>TOILETRIES, CLEANING SUPPLIES AND KITCHEN WEARS</b>	<b>200</b>	<b>300</b>	<b>50</b>
1. 2.3.1.5.3.1	TOILETRIES, CLEANING SUPPLIES	200	300	50
<b>1.2.3.1.6</b>	<b>REPLACEMENT PARTS AND ACCESSORIES</b>	<b>3,254</b>	<b>4,760</b>	<b>3,600</b>
<b>1.2.3.1.6.1</b>	<b>REPLACEMENT PARTS AND ACCESSORIES</b>	<b>3,254</b>	<b>4,760</b>	<b>3,600</b>
1. 2.3.1.6.1.1	VEHICLE MAINTENANCE	204	4,200	3,600
1. 2.3.1.6.1.3	CONSTRUCTION AND EQUIPMENT	3,050	560	-
<b>1.2.3.1.99</b>	<b>PURCHASE OF OTHER GOODS</b>	<b>4,500</b>	<b>1,500</b>	<b>3,600</b>
<b>1.2.3.1.99.1</b>	<b>PURCHASE OF OTHER GOODS</b>	<b>4,500</b>	<b>1,500</b>	<b>3,600</b>
1. 2.3.1.99.1.99	OTHER GOODS	4,500	1,500	3,600
<b>1.2.3.2</b>	<b>SERVICE CONTRACTS</b>	<b>10,866</b>	<b>26,911</b>	<b>1,905</b>
<b>1.2.3.2.1</b>	<b>TRAVEL EXPENSES</b>	<b>2,880</b>	<b>3,250</b>	<b>1,425</b>
<b>1.2.3.2.1.2</b>	<b>DOMESTIC TRAVELS</b>	<b>2,880</b>	<b>3,250</b>	<b>1,425</b>
1. 2.3.2.1.2.1	TICKETS AND TRANSPORTATION EXPENSES	700	650	-
1. 2.3.2.1.2.2	PER DIEM AND ALLOWANCES FOR SERVICE COMMISSION	2,000	2,200	1,370
1. 2.3.2.1.2.99	OTHER EXPENSES	180	400	55
<b>1.2.3.2.2</b>	<b>BASIC SERVICES, COMMUNICATIONS, ADVERTISING AND DIFFUSION SERVICES</b>	<b>1,950</b>	<b>2,870</b>	<b>220</b>
<b>1.2.3.2.2.1</b>	<b>ELECTRICITY, WATER AND GAS SERVICES</b>	<b>725</b>	<b>1,070</b>	<b>-</b>
1. 2.3.2.2.1.1	ELECTRICITY SUPPLIES SERVICES	590	820	-
1. 2.3.2.2.1.2	WATER AND WASTE SERVICES	135	250	-
<b>1.2.3.2.2.2</b>	<b>TELEPHONE AND INTERNET SERVICES</b>	<b>625</b>	<b>850</b>	<b>-</b>
1. 2.3.2.2.2.2	FIXED TELEPHONE SERVICES	625	850	-
<b>1.2.3.2.2.3</b>	<b>COURIER, TELECOMMUNICATIONS AND OTHER RELATED SERVICES</b>	<b>300</b>	<b>600</b>	<b>220</b>
1. 2.3.2.2.3.1	POST AND COURIER SERVICE	300	600	220
<b>1.2.3.2.2.4</b>	<b>PI. PRINTING, DISTRIBUTION AND CORPORATE ADVERTISING SERVICES</b>	<b>300</b>	<b>350</b>	<b>-</b>
1. 2.3.2.2.4.3	CORPORATE IMAGE SERVICES	300	350	-
1. 2.3.2.2.4.4	PRINTING, BINDING AND PLASTER SERVICES	-	-	-
<b>1.2.3.2.6</b>	<b>ADMINISTRATIVE, FINANCIAL AND INSURANCE SERVICES</b>	<b>-</b>	<b>5,791</b>	<b>260</b>
<b>1.2.3.2.6.3</b>	<b>INSURANCE</b>	<b>-</b>	<b>5,791</b>	<b>260</b>
1. 2.3.2.6.3.1	SOAT	-	260	260
1. 2.3.2.6.3.2	CAR INSURANCE	-	5,531	-
<b>1.2.3.2.7</b>	<b>PERSONAL AND TECHNICAL SERVICES</b>	<b>6,036</b>	<b>15,000</b>	<b>-</b>
<b>1.2.3.2.7.2</b>	<b>CONSULTING SERVICES, AND OTHER RELATED SERVICES CONDUCTE</b>	<b>6,036</b>	<b>15,000</b>	<b>-</b>
<b>1.2.3.2.7.2</b>	<b>INDIVIDUAL EXPERTS</b>	<b>6,036</b>	<b>15,000</b>	<b>-</b>
1. 2.3.2.7.2.4	INVESTMENT FOR PERFIL	1,836	7,000	-
1. 2.3.2.7.11.99	OTHER SERVICES	4,200	8,000	-

**(4) Cost of Project Born by Regional Government of Piura**

(IN NUEVOS SOLES)

State : PIURA Regional Government

Executive Unit : Regional Government Headquarters PIURA

Regional Directorate of Housing and Sanitation - Piura

1.2.3 GOODS AND SERVICES		Jul /Dec 2009	Financial Year 2010	Jan /Apr 2011
Specific Expenditure		42,730	190,254	69,387
1.2.3.1	<b>PURCHASE OF GOODS</b>	3,225	12,583	2,653
1.2.3.1.1	<b>FOOD &amp; DRINKS</b>	646	2,571	303
1.2.3.1.1.1	<b>FOOD &amp; DRINKS</b>	646	2,571	303
1.2.3.1.1.1.1	HUMAN FOOD & DRINKING WATER	646	2,571	303
1.2.3.1.2	<b>CLOTHING &amp; TEXTILES</b>	-	-	-
1.2.3.1.2.1	<b>CLOTHES, FOOTWEARS AND ACCESSORIES, TEXTILES AND LEATHER MATERIALS</b>	-	-	-
1.2.3.1.2.1.1	CLOTHES, ACCESSORIES AND CLOTHING MISCELLANEOUS	-	-	-
1.2.3.1.2.1.3	FOOTWEARS	-	-	-
1.2.3.1.3	<b>FUELS, LUBRICANTS AND RELATED ITEMS</b>	135	4,086	2,218
1.2.3.1.3.1	<b>FUELS, LUBRICANTS AND RELATED ITEMS</b>	135	4,086	2,218
1.2.3.1.3.1.1	FUELS	135	4,086	2,218
1.2.3.1.3.1.3	LUBRICANTS, OILS AND RELATED ITEMS	-	-	-
1.2.3.1.5	<b>MATERIALS AND SUPPLIES</b>	380	4,700	-
1.2.3.1.5.1	<b>OFFICE SUPPLIES</b>	32	4,433	-
1.2.3.1.5.1.1	PARTS AND ACCESSORIES	-	-	-
1.2.3.1.5.1.2	GENERAL STATIONERY SUPPLIES AND OFFICE MATERIALS	32	4,433	-
1.2.3.1.5.3	<b>TOILETRIES, CLEANING SUPPLIES AND KITCHEN WEAR</b>	348	266	-
1.2.3.1.5.3.1	TOILETRIES, CLEANING SUPPLIES	348	266	-
1.2.3.1.6	<b>PARTS AND ACCESSORIES</b>	56	1,226	133
1.2.3.1.6.1	<b>PARTS AND ACCESSORIES</b>	56	1,226	133
1.2.3.1.6.1.1	VEHICLE MAINTENANCE	-	72	133
1.2.3.1.6.1.3	CONSTRUCTION RELATED MATERIALS AND MACHINES	-	-	-
1.2.3.1.6.1.99	PURCHASE OF OTHER GOODS	56	1,154	-
1.2.3.1.99	<b>PURCHASE OF OTHER GOODS</b>	2,008	-	-
1.2.3.1.99.1	<b>PURCHASE OF OTHER GOODS</b>	2,008	-	-
1.2.3.1.99.1.99	OTHER GOODS	2,008	-	-
1.2.3.2	<b>SERVICE CONTRACTS</b>	39,506	177,671	66,734
1.2.3.2.1	<b>TRAVEL EXPENSES</b>	1,536	3,126	1,709
1.2.3.2.1.2	<b>DOMESTIC TRAVELS</b>	1,536	3,126	1,709
1.2.3.2.1.2.1	TICKETS AND TRANSPORTATION EXPENSES	-	278	177
1.2.3.2.1.2.2	PER DIEM AND ALLOWANCES FOR SERVICE COMMISSION	1,536	1,725	1,532
1.2.3.2.1.2.99	OTHER EXPENSES	-	1,122	-
1.2.3.2.2	<b>BASIC SERVICES, COMMUNICATIONS AND PUBLIC RELATIONS</b>	851	4,714	1,263
1.2.3.2.2.1	<b>ELECTRICITY, WATER AND GAS SERVICES</b>	40	661	563
1.2.3.2.2.1.1	ELECTRICITY SUPPLIES SERVICES	40	402	117
1.2.3.2.2.1.2	WATER AND WASTE SERVICES	-	259	447
1.2.3.2.2.2	<b>TELEPHONE AND INTERNET SERVICES</b>	396	2,214	699
1.2.3.2.2.2.1	MOBILE TELEPHONE SERVICES	-	-	226
1.2.3.2.2.2.2	FIXED TELEPHONE SERVICES	-	663	-
1.2.3.2.2.2.2	INTERNET SERVICES	396	1,552	473
1.2.3.2.2.3	<b>COURIER SERVICES, TELECOMMUNICATIONS AND OTHER RELATED SERVICES</b>	50	-	-
1.2.3.2.2.3.1	POST AND COURIER SERVICE	50	-	-
1.2.3.2.2.4	<b>PI, PRINTING, DISTRIBUTION AND CORPORATE ADVERTISEMENT</b>	365	1,839	-
1.2.3.2.2.4.4	PRINTING, BINDING AND PLASTER SERVICES	365	1,839	-
1.2.3.2.3	<b>CLEANING, SECURITY AND SURVEILLANCE SERVICES</b>	12,000	18,000	-
1.2.3.2.3.1	<b>CLEANING, SECURITY AND SURVEILLANCE SERVICES</b>	12,000	18,000	-
1.2.3.2.3.1.2	SAFETY AND SECURITY SERVICES	12,000	18,000	-
1.2.3.2.4	<b>MAINTENANCE AND REPAIR SERVICES</b>	4,092	357	340
1.2.3.2.4.1	<b>MAINTENANCE AND REPAIR SERVICES</b>	4,092	357	340
1.2.3.2.4.1.1	BUILDING, OFFICES, AND STRUCTURES	3,464	-	-
1.2.3.2.4.1.3	VEHICLES	-	290	340
1.2.3.2.4.1.5	MACHINES AND EQUIPMENTS	27	67	-
1.2.3.2.4.1.99	GOODS AND OTHER ASSETS	400	-	-
1.2.3.2.5	<b>FURNITURE AND PROPERTY RENTALS</b>	525	580	1,525
1.2.3.2.5.1	<b>FURNITURE AND PROPERTY RENTALS</b>	525	580	1,525
1.2.3.2.5.1.1	BUILDING AND STRUCTURES	525	-	1,525
1.2.3.2.5.1.2	VEHICLES	-	580	-
1.2.3.2.6	<b>ADMINISTRATIVE, FINANCIAL AND INSURANCE SERVICES</b>	-	9,533	7,328
1.2.3.2.6.3	<b>INSURANCE</b>	-	9,533	7,328
1.2.3.2.6.1.2	ATTONEY FEES	-	298	-
1.2.3.2.6.3.2	VEHICLE INSURANCE	-	8,921	7,048
1.2.3.2.6.3.3	SOAT	-	315	280.00
1.2.3.2.7	<b>PERSONAL AND TECHNICAL SERVICES</b>	20,502	141,361	54,569.40
1.2.3.2.7.2	<b>CONSULTING SERVICES AND OTHER RELATED SERVICES CONDUCTE</b>	20,502	141,361	54,569.40
1.2.3.2.7.2.2	INDIVIDUAL EXPERTS	20,502	141,361	54,569.40
1.2.3.2.7.2.2	CONSULTING SERVICES	3,550	9,863	-
1.2.3.2.7.2.99	OTHER SIMILAR SERVICES	3,000	-	-
1.2.3.2.7.3.1	SERVICES CONDUCTED BY LEGAL ENTITIES	8,840	-	-
1.2.3.2.7.11.99	MISCELLANEOUS SERVICES	5,112	131,499	54,569

Note: The Security and Safety Service is being considered under the heading of 2.3.2.7.11.99 costs, because they are waiting for the result of vendor selection proc



## Appendix 5: List of Training

### (1) Output 2: Capacity development for water supply system improvement (construction / large scale repair)

#### [Lambayeque Region]

	Contents of Training	Training Procedures	Person in Charge of Guidance	Target	Number of Target Persons	Date of Implementation	Done, Ongoing, Undone
1	Elaboration of Perfil (collection of necessary data, acquisition method, elaboration of documents, others)	Lecture (through meeting)	JICA Expert	DRVS (WG1)	6	14 Jan. 2010 (1day) @DRVS (implemented)	Done
2	Elaboration of Perfil (confirmation of necessary studies to be carried out and determine the content of the works)	OJT	JICA Expert	DRVS (WG1)	4	21-22 Jan. 2010 (2days) @El Espinal, Humedades (implemented)	Done
3	Elaboration of Perfil (confirmation the contents of the Perfil in elaboration)	Lecture (through meeting)	JICA Expert	DRVS (WG1)	6	02 Mar. 2010 (1day) @DRVS (implemented)	Done
4	Elaboration of the technical documents (confirmation of the content, others)	Lecture (through meeting)	JICA Expert	DRVS (WG1)	4	28, 30 Jun 2010 (2days) @DRVS (implemented)	Done
5	General of the tendering procedure(execution methods, confirmation of necessary documents, schedule, elaboration of bidding documents)	Lecture (through meeting)	JICA Expert	DRVS (WG1)	6	01 Jul. 2010 (1day) @DRVS (implemented)	Done
6	Elaboration of the technical documents (confirmation of the content, others)	Lecture (through meeting)	JICA Expert	DRVS (WG1)	5	2010.08.06 (1 日) @DRVS (implemented)	Done
7	General of the tendering procedure(execution methods, confirmation of necessary documents, schedule, elaboration of bidding documents)	Lecture (through meeting)	JICA Expert	DRVS (WG1)	5	2010.08.17 (1 日) @DRVS (implemented)	Done
8	Implementation of tendering (implementation of tendering for the construction works for El Espinal and Humedes: a series of the procedure since designation of contractor to contract signing)	OJT	JICA Expert	DRVS (WG1)	5	2010.09.07~10.06 @DRVS (implemented)	Done
9	Construction supervision (Humedades – confirmation of the construction condition: grasp the problems and solution methods)	OJT	JICA Expert	DRVS (WG1)	3	21 Oct. 2010 (1day) @Humedades (implemented)	Done
10	Construction supervision (El Espinal – confirmation of the construction condition: grasp the problems and solution methods)	OJT	JICA Expert	DRVS (WG1)	3	22 Oct. 2010 (1day) @El Espinal (implemented)	Done
11	Construction supervision (completion inspection)	OJT	JICA Expert	DRVS (WG1) JASS	5	18 Jan. 2011 (1day) @Humedades (implemented)	Done
12	Construction supervision (completion inspection)	OJT	JICA Expert	DRVS (WG1) JASS	6	22 Jan. 2011 (1day) @El Espinal	Done

#### [Piura Region]

	Contents of Training	Training Procedures	Person in Charge of Guidance	Target	Number of Target Persons	Date of Implementation	Done, Ongoing, Undone
1	Elaboration of Perfil (confirmation of necessary studies to be carried out and determine the content of the works)	Lecture (through meeting)	JICA Expert	DRVS (WG1)	5	19 Jan. 2010 (1day) @DRVS (implemented)	Done
2	Elaboration of Perfil (confirmation of necessary studies to be carried out and determine the content of the works)	OJT (San Jorge, Malacasi)	JICA Expert	DRVS (WG1)	4	27-28 Jan. 2010 (2days) @San Jorge, Malacasi (implemented)	Done

3	Elaboration of Perfil (confirmation the contents of the Perfil in elaboration)	Lecture (through meeting)	JICA Expert	DRVS (WG1)	6	9 Mar. 2010 (1day) @DRVS (implemented)	Done
4	Elaboration of Perfil (confirmation the contents of the Perfil in elaboration)	Lecture (through meeting)	JICA Expert	DRVS (WG1)	4	24 Jun. 2010 (1day) @DRVS (implemented)	Done
5	Elaboration of Perfil (final confirmation before presentation)	Lecture (through meeting)	JICA Expert	DRVS (WG1)	4	9 Aug. 2010 (1day) @DRVS (implemented)	Done
6	General of the tendering procedure(execution methods, confirmation of necessary documents, schedule, elaboration of bidding documents)	Lecture (through meeting)	JICA Expert	DRVS (WG1)	4	12 Oct. 2010 (1day) @DRVS (implemented)	Done
7	Elaboration of technical documents (final confirmation before presentation)	Lecture (through meeting)	JICA Expert	DRVS (WG1)	3	21. Oct 2010 (1day) @DRVS (implemented)	Done
8	General of the tendering procedure(execution methods, confirmation of necessary documents, schedule, elaboration of bidding documents)	Lecture (through meeting)	JICA Expert	DRVS (WG1)	4	26 Oct. 2010 (1day) @DRVS (implemented)	Done
9	Implementation of tendering (implementation of tendering for the construction works for San Jorge: a series of the procedure since designation of contractor to contract signing)	OJT	JICA Expert	DRVS (WG1)	4	27 Oct. to 15 Dec. 2010 @DRVS (implemented)	Done
10	Construction supervision (San Jorge – confirmation of the construction condition: grasp the problems and solution methods)	OJT	JICA Expert	DRVS (WG1)	3	28 Dec. 2010 (1day) @San Jorge (implemented)	Done
11	Elaboration of technical document (confirmation of the content through site visit)	Practical	DRSV	Municipality of Salitral, JASS	3	1 Feb. 2011 (1day) @Malacasi (implemented)	Done
12	Construction supervision (completion inspection)	OJT	JICA Expert	DRVS (WG1) JASS	6	Middle Jun. 2011 @San Jorge (Planned)	Undone
13	General of the tendering procedure(execution methods, confirmation of necessary documents, schedule, elaboration of bidding documents)	Lecture (through meeting)	JICA Expert	DRVS (WG1)	4	Last days of Jun. 2011 @DRVS (Planned)	Undone

(2) Output 3: Capacity building for operation, maintenance and management of water supply system and over awareness about water supply & sanitation (Awareness of Water Supply & Sanitation)

[Lambayeque Region]

	Contents of Training	Training Procedures	Person in Charge of Guidance	Target	Number of Target Persons	Date of Implementation	Done, Ongoing, Undone
1	Workshop targeting JASS (about the role and activities of JASS after construction end)	Lecturer	DRVS (WG1,2,3)	JASS of El Espinal and Humedades, representative of Salas and Oyotun municipality	10	21 Jan. 2011 (1day) @DRVS (implemented)	Done
2	O&M of facility (operation of water supply system: chlorination)	OJT	JICA Expert , DRVS	JASS Salas health center	6	18 Mar. 2011 (1day) @Humedades (implemented)	Done
3	O&M of facility (operation of water supply system: chlorination)	OJT	JICA Expert , DRVS	JASS Oyotun health center	3	22 Mar. 2011 (1day) @El espinal (implemented)	Done
4	O&M of facility (operation of water supply system: chlorination, monitoring of residual chlorine, facility inspection)	OJT	JICA Expert , DRVS	JASS Humedades health center	4	17 May. 2011 (1day) @Humedades (implemented)	Done

5	O&M of facility (operation of water supply system: chlorination, monitoring of residual chlorine, inspection)	OJT	JICA Expert , DRVS	JASS El Espinal health center	4	19 May,2011 (1day) @El Espinal (implemented)	Done
6	O&M (operation of facility, inspection and maintenance, others)	OJT (including monitoring of operation condition of facility)	JICA Expert , DRVS	JASS	2~4	Jun. to Dec. 2011 (1day/month) @El Espinal (Planned)	Undone
7	O&M (operation of facility, inspection and maintenance, others)	OJT (including monitoring of operation condition of facility)	JICA Expert , DRVS	JASS	2~4	Jun. to Dec. 2011 (1day/month) @Humedades (Planned)	Undone

[Piura Region]

	Contents of Training	Training Procedures	Person in Charge of Guidance	Target	Number of Target Persons	Date of Implementation	Done, Ongoing, Undone
1	O&M (operation of facility, inspection and maintenance, others)	OJT (including monitoring of operation condition of facility)	JICA Expert, DRVS	JASS	2~4	Jun. to Dec. 2011 (1day/month) @San Jorge (Planned)	Undone
2	O&M (operation of facility, inspection and maintenance, others)	OJT (including monitoring of operation condition of facility)	JICA Expert, DRVS	JASS	2~4	Sep. to Dec. 2011 (1day/month) @Malacasi (Planned)	Undone

(3) Output 3 : Capacity building for operation, maintenance and management of water supply installations and over awareness about water supply & sanitation (Operation and Maintenance-Soft Component)

(DRVS WG2:DRVS Working Group 2 Operation and Maintenance)

[Lambayeque Region]

	Contents of training	Training Procedures	Person in charge	Target persons/ groups	Number of the targets	Date of the activities	Done/ongoing/ Undone
1	Management of Water Supply, Establishment of JASS	Lecture Style	DRVS WG2, Sugiya	For Salas District Municipality and Humedades JASS: Chief , Staff of Municipality 2, President, Vice-President, Accountant and Secretary	7	2010/7/1 District Municipality	Done
2	Management of Water Supply	Lecture Style	DRVS WG2, Sugiya	For Oyotun District Municipality and El Espinal JASS: Chief, Staff of Municipality 1, President, Accountant, Secretary and Assistant	6	2010/7/2 District Municipality	Done
3	Discussion of articles of JASS and other legislation	Lecture Style	DRVS WG2, Sugiya	For Salas District Municipality and Humedades JASS: Staff of Municipality 1, President, Vice-President, Accountant and Secretary	5	2010/7/12 District Municipality	Done
4	Discussion of articles of JASS and other legislation	Lecture Style	DRVS WG2, Sugiya	For Oyotun District Municipality and El Espinal JASS: Staff of Municipality 2, President, Accountant, Secretary and Assistant 2	7	2010/7/14 District Municipality	Done
5	Discussion of articles of JASS and other legislation, Project introduction for local residents	Lecture Style	DRVS WG2, Sugiya	For Umedades JASS: President, Accountant and Secretary	3	2010/8/3 Humedades	Done
6	Establishment of water tariff.	Lecture Style	DRVS WG2,	For Umedades JASS:	3	2010/9/28	Done

	Discussion of articles of JASS	Training Procedures	Person in charge	Target persons/ groups	Number of the targets	Date of the activities	Humedades
7	Establishment of water tariff, Discussion of articles of JASS	Lecture Style	Sugiya DRVS WG2, Sugiya	President, Accountant and Secretary For Oyotun District Municipality and El Espinal JASS: Staff of Municipality, President, Accountant, Secretary and Assistant	5	2010/10/1 District Municipality	Done
8	Establishment of water tariff, Assistance for contract process (between JASS and users)	Lecture Style and OJT	DRVS WG2, Sugiya	For El Espinal JASS: President, Accountant, Secretary and Assistant	5	2010/12/11 El Espinal	Done
9	Instruction of the routine work (Water charge collection, accounting report, etc.)	OJT	DRVS WG2, Sugiya	For Oyotun District Municipality and El Espinal JASS: Staff of Municipality, President, Accountant, Secretary and Assistant	6-7	2011/6~ District Municipality and El Espinal (Several Times)	Scheduled
10	Instruction of the routine work (Water charge collection, accounting report, etc.)	OJT	DRVS WG2, Sugiya	For Salas District Municipality and Humedades JASS: Staff of Municipality, President, Accountant and Secretary	6-7	2011/6~ District Municipality and Umedades (Several Times)	Scheduled
11	Establishment of monitoring structure of District Municipality	OJT	DRVS WG2, Sugiya	Oyotun District Municipality: Staff of Municipality, President, Accountant	2-3	2011/6~ District Municipality ( Several Times)	Scheduled
12	Establishment of monitoring structure of District Municipality	OJT	DRVS WG2, Sugiya	Salas District Municipality: Staff of Municipality, President, Accountant	2-3	2011/6~ District Municipality ( Several Times)	Scheduled

### [Piura Region]

	Contents of training	Training Procedures	Person in charge	Target persons/ groups	Number of the targets	Date of the activities	Done/ongoing/ Undone
1	Management of Water Supply	Lecture Style	DRVS WG2, Sugiya	For Frias District Municipality and San Jorge JASS: Chief, Staff of Municipality 1, President, Accountant and Secretary	5	2010/7/6 San Jorge	Done
2	Management of Water Supply	Lecture Style	DRVS WG2, Sugiya	For Saritral District Municipality and Malacasi JASS: Chief, Staff of Municipality 1, President, Secretary and Assistant	5	2010/7/2 District Municipality	Done
3	Discussion of articles of JASS and other legislation	Lecture Style	DRVS WG2, Sugiya	For Saritral District Municipality and Malacasi JASS: Chief, Staff of Municipality 2, President, Secretary and Assistant	6	2010/7/19 District Municipality	Done
4	Discussion of articles of JASS and other legislation	Lecture Style	DRVS WG2, Sugiya	For Frias District Municipality and San Jorge JASS: Staff of Municipality 2, President, Accountant, Secretary and Assistant 2	7	2010/7/20 San Jorge	Done
5	Discussion of articles of JASS and other legislation	Lecture Style	DRVS WG2, Sugiya	For San Jorge JASS: President, Accountant, Secretary and Assistant	4	2010/7/26 San Jorge	Done
6	Establishment of water tariff, Discussion of articles of JASS	Lecture Style	DRVS WG2, Sugiya	For Saritral District Municipality and Malacasi JASS: Staff of Municipality 1, President, Secretary, Accountant and Assistant	4	2010/10/4 District Municipality	Done
7	Establishment of water tariff, Discussion of articles of JASS	Lecture Style	DRVS WG2, Sugiya	For Malacasi JASS: President, Accountant, Secretary, Assistant 2 and Auditor	6	2010/12/17 Malacasi	Done
8	Establishment of water tariff, Assistance for contract process	OJT	DRVS WG2, Sugiya	For San Jorge JASS: Local Representative of Municipality, President, Accountant, Secretary, Assistant 2 and Auditor	7	2011/3/30 San Jorge	Done
9	Instruction of the routine work (Water charge collection, accounting report, etc.)	OJT	DRVS WG2, Sugiya	For Frias District Municipality and San Jorge JASS: Staff of Municipality, President, Accountant, Secretary and Assistant	6-7	2011/6~ District Municipality and San Jorge (Several Times)	Scheduled

Contents of training	Training Procedures	Person in charge	Target persons/ groups	Number of the targets	Date of the activities	Done/ongoing/Undone
10 Instruction of the routine work (Water charge collection, accounting report, etc.)	OJT	DRVS WG2, Sugiya	For Sarital District Municipality and Malacasi JASS: Staff of Municipality, President, Accountant and Secretary	6-7	2011/6~ District Municipality and Malacasi (Several Times)	Scheduled
11 Establishment of monitoring structure of District Municipality	OJT	DRVS WG2, Sugiya	Frias District Municipality: Staff of Municipality, President, Accountant	2-3	2011/6~ District Municipality ( Several Times)	Scheduled
12 Establishment of monitoring structure of District Municipality	OJT	DRVS WG2, Sugiya	Sarital District Municipality: Staff of Municipality, President, Accountant	2-3	2011/6~ District Municipality ( Several Times)	Scheduled

(4) Output 3: Capacity building for operation, maintenance and management of water supply installations and over awareness about water supply & sanitation (Awareness of Water Supply & Sanitation) [Lambayeque Region]

Contents of training	Training Procedures	Person in charge	Target persons/ groups	Number of the targets	Date of the activities	Done/ongoing/Undone
1 General articles on Sensibilization of Sanitation: Drafting Training Manual on Sensibilization of Sanitation	Lecture through meeting)	DRVS WG3, Expert	For Salas District Municipality, Humedades JASS: at Municipality: Chief, 3 Staff of Municipality, 2 City council member, President of JASS, JASS Accountant atHumedades: Teniente Gobernador, President of JASS, JASS Accounting charge, JASS Accounts charge, JASS Secretary	5	2010.8.10 at Salas District Municipality and at Humedades	Done
2 General articles on Sensibilization of Sanitation: Drafting Training Manual on Sensibilization of Sanitation	Lecture through meeting)	DRVS WG3, Expert	For Oyotun District Municipality, El Espinal JASS: At Municipality: Chief, City council member, President of JASS, JASS Accounting charge, JASS Secretary At El Espinal: Teniente Gobernador, Agente Municipal, President of JASS, JASS Accounting charge, JASS Secretary	7	2010.8.11 at Oyotun District Municipality and at El Espinal	Done
3 General articles on Sensibilization of Sanitation: Discussion on training workshop for the residents	Lecture through meeting)	DRVS WG3, Expert	For El Espinal JASS: President of JASS, others	2	2010.11.3 at El Espinal	Done
4 General articles on Sensibilization of Sanitation: Discussion on training workshop for the residents	Lecture through meeting)	DRVS WG3, Expert	For Salas District Municipality, Humedades JASS: Chief of Servicedivision, "Teniente Gobernadora", JASS Accounting charge	3	2010.11.4 at Salas District Municipality and at Humedades	Done
5 Water and Hygiene (including exercise of hand washing): Implementation of the training workshop for the residents	OJT	DRVS WG3, MST, Expert	For Salas District Municipality, Humedades JASS: Representative of Municipality, President of JASS, others	5	2010.11.20 (1 day) at Humedades	Done
6 Solid waste (including exercise of disinfection using chlorine): Implementation of the training workshop for the residents	OJT	DRVS WG3, MST, Expert	For Salas District Municipality, Humedades JASS: District assembly member (Representative of Municipality), President of JASS, others	5	2010.11.27 (1 day) at Humedades	Done
7 Water and Hygiene (including exercise of hand washing): Implementation of the training workshop for the residents	OJT	DRVS WG3, MST	For Oyotun District Municipality, El Espinal JASS: Representative of Municipality, President of JASS, others	4	2010.12.11 (1 day) at El Espinal	Done
8 Solid waste (including exercise of disinfection using chlorine): Implementation of the training workshop for the residents	OJT	DRVS WG3, MST	For Oyotun District Municipality, El Espinal JASS: President of JASS, others	4	2010.12.18 (1 day) at El Espinal	Done

9	General articles on Sensibilization of Sanitation; Preparation of monitoring for the residents (Toward activity by the initiative of JASS)	Lecture through meeting)	DRVS WG3, MST	For Salas District Municipality, Humedades JASS For Oyotun District Municipality, El Espinal JASS	2011.5 – 6 at each site (0.5 day)	Scheduled
10	General articles on Sensibilization of Sanitation; Implementation of monitoring for the residents	OJT	DRVS WG3, MST	For Salas District Municipality, Humedades JASS For Oyotun District Municipality, El Espinal JASS	2011.5 – , at each site 1 day / month	Scheduled
11	General articles on Sensibilization of Sanitation; Discussion on training workshop for the residents	Lecture through meeting)	DRVS WG3, MST	New project sites: Persons in charge of District Municipality & JASS member	2011.5 – 6 at each site (0.5 day)	Scheduled
12	General articles on Sensibilization of: Implementation of the training workshop for the residents	OJT	DRVS WG3, MST	New project sites: Persons in charge of District Municipality & JASS member	2011.6 – 8 at each site (2 days)	Scheduled
13	General articles on Sensibilization of Sanitation; Preparation of monitoring for the residents (Toward activity by the initiative of JASS)	Lecture through meeting)	DRVS WG3, MST	New project sites: Persons in charge of District Municipality & JASS member	2011.9 at each site (0.5 day)	Scheduled
14	General articles on Sensibilization of Sanitation; Implementation of monitoring for the residents	OJT	DRVS WG3, MST	New project sites: Persons in charge of District Municipality & JASS member	2011.9 - , at each site (1day/ month)	Scheduled

[Piura Region]

	Contents of training	Training Procedures	Person in charge	Target persons/ groups	Number of the targets	Date of the activities	Done/ongoing /Undone
1	General articles on Sensibilization of Sanitation; Drafting Training Manual on Sensibilization of Sanitation	Lecture through meeting)	DRVS WG3, Expert	For Salitral District Municipality, Malacasi JASS: Chief of Municipality, Technical Chief of Municipality, District assembly member, Chief of Malacasi, President of JASS	4	2010.8.3 at District Municipality	Done
2	General articles on Sensibilization of Sanitation; Drafting Training Manual on Sensibilization of Sanitation	Lecture through meeting)	DRVS WG3, Expert	For Frias District Municipality, San Jorge JASS: Chief of Municipality, Sanitation charge of Municipality, Chief of San Jorge, President of JASS, JASS Accounts charge, JASS Secretary	5	2010.8.5 at District Municipality	Done
3	General articles on Sensibilization of Sanitation; Discussion on training workshop for the residents	Lecture through meeting)	DRVS WG3	For Salitral District Municipality, Malacasi JASS: At District Municipality: Chief of Municipality At Malacasi: Chief of Malacasi, President of JASS	3	2010.11.15 at District Municipality, at Malacasi	Done
4	General articles on Sensibilization of Sanitation; Discussion on training workshop for the residents	Lecture through meeting)	DRVS WG3	For Frias District Municipality, San Jorge JASS: Chief of social service division of District Municipality, Project Coordinator of Municipality, Chief of San Jorge, President of JASS, JASS Accounts charge, JASS Secretary, Officer of JASS ("vocal"), Member of village assembly	8	2010.11.17 at San Jorge	Done
5	General articles on Sensibilization of Sanitation (including exercise of hand washing and disinfection using chlorine); Implementation of the training workshop for the residents	OJT	DRVS WG3, MST, Expert	For Salitral District Municipality, Malacasi JASS: Chief of Municipality, Chief of Malacasi , President of JASS, JASS Accounting charge, JASS Secretary, JASS Operator	6	2010.11.25 (1 day) at Malacasi	Done
6	General articles on Sensibilization of Sanitation (including exercise of hand washing and disinfection using chlorine); Implementation of the training workshop for the residents	OJT	DRVS WG3, MST	For Salitral District Municipality, Malacasi JASS: Chief of Municipality, Chief of Malacasi, President of JASS, JASS Accounting charge, JASS Secretary, JASS Operator	6	2010.11.26 (1 day) at Malacasi	Done

	Contents of training	Training Procedures	Person in charge	Target persons/ groups	Number of the targets	Date of the activities	Done/ongoing /Undone
7	General articles on Sensibilization of Sanitation (including exercise of hand washing and disinfection using chlorine): Implementation of the training workshop for the residents	OJT	DRVS WG3, MST, Expert	For Frias District Municipality, San Jorge JASS: Project Coordinator of Municipality, Chief of San Jorge, President of JASS, others	6	2010.12.1 (1 day) at San Jorge	Done
8	General articles on Sensibilization of Sanitation (including exercise of hand washing and disinfection using chlorine): Implementation of the training workshop for the residents	OJT	DRVS WG3, MST	For Frias District Municipality, San Jorge JASS: Project Coordinator of Municipality, Chief of San Jorge, President of JASS, others	5	2010.12.2 (1 day) at San Jorge	Done
9	General articles on Sensibilization of Sanitation; Preparation of monitoring for the residents (Toward activity by the initiative of JASS)	Lecture through meeting)	DRVS WG3< MST	For Salitral District Municipality, Malacasi JASS: Chief of Malacasi, President of JASS, Health Promotor	3	2010.12.13 (0.5 day) at Malacasi	Done
10	General articles on Sensibilization of Sanitation; Preparation of monitoring for the residents (Toward activity by the initiative of JASS)	Lecture through meeting)	DRVS WG3, MST	For Frias District Municipality, San Jorge JASS: Project charge of Municipality, Chief of San Jorge, Secretary of village office, Chief of Health Post, Nurse of Health Post, President of JASS, JASS Accounting charge, Accounts charge, Officer of JASS	9	2010.12.15 (0.5 day) at San Jorge	Done
11	General articles on Sensibilization of Sanitation: Implementation of the 1 <sup>st</sup> monitoring for the residents	OJT	DRVS WG3, MST	For Salitral District Municipality, Malacasi JASS: President of JASS, 2 Staff of Village office	3	2011.1.14 (0.5 day) at Malacasi	Done
12	General articles on Sensibilization of Sanitation: Implementation of small training workshop for the residents by JASS	OJT	DRVS WG3, MST	For Salitral District Municipality, Malacasi JASS: Chief of Malacasi, Member of District Assembly, Staff of District Health Post, President of JASS	4	2011.1.14 (0.5 day) at Malacasi	Done
13	General articles on Sensibilization of Sanitation: Implementation of the 1 <sup>st</sup> monitoring for the residents	OJT	DRVS WG3, MST	For Frias District Municipality, San Jorge JASS: Chief of San Jorge, Chief of Health Post, Health Promotor, Project charge of Municipality, 3 Staff of District Office	7	2011.1.21 (0.5 day) at San Jorge	Done
14	General articles on Sensibilization of Sanitation: Implementation of small training workshop for the residents by JASS	OJT	DRVS WG3, MST	For Frias District Municipality, San Jorge JASS: Chief of San Jorge, Chief of Health Post, Health Promotor, Project charge of Municipality, 3 staff of District Office, President of JASS	8	2011.1.21 (0.5 day) at San Jorge	Done
15	General articles on Sensibilization of Sanitation: Implementation of the 2 <sup>nd</sup> monitoring for the residents (including training workshop by the initiative of JASS)	OJT	DRVS WG3, MST	For Salitral District Municipality, Malacasi JASS: Deputy Chief of Municipality ("Teniente Alcalde"), 2 Member of District Assembly, Chief of Malacasi, President of JASS, JASS Vice President, JASS Secretary, 2 staff of Village Office	9	2011.3.7 (0.5 day) at Malacasi	Done
16	General articles on Sensibilization of Sanitation: Implementation of the 1 <sup>st</sup> small training workshop for the residents by District municipality, Community, JASS	OJT	DRVS WG3, MST, Expert	For Salitral District Municipality, Malacasi JASS: Deputy Chief of Municipality ("Teniente Alcalde"), 2 member of District Assembly, Chief of Malacasi, President of JASS, JASS Vice President, JASS Secretary, 2 staff of Village Office	9	2011.3.7 (0.5 day) at Malacasi	Done
17	General articles on Sensibilization of Sanitation: Implementation of the 2 <sup>nd</sup> monitoring for the residents (including training workshop by the initiative of JASS)	OJT	DRVS WG3, MST	For Frias District Municipality, San Jorge JASS: Project charge of Municipality, Chief of San Jorge, "Teniente Gobernador", Chief of village police station, Chief of Health Post, President of Farmer Community, President of JASS, JASS Accounting charge, JASS Secretary	9	2011.3.10 (0.5 day) at San Jorge	Done
18	General articles on Sensibilization of Sanitation: Implementation of the 1 <sup>st</sup> small training workshop for the residents by District municipality, Community, JASS	OJT	DRVS WG3, MST	For Frias District Municipality, San Jorge JASS: Project charge of Municipality, Chief of San Jorge, Teniente Gobernador, Chief of Health Post, President of JASS	5	2011.3.10 (0.5 day) at San Jorge	Done

	Contents of training	Training Procedures	Person in charge	Target persons/ groups	Number of the targets	Date of the activities	Done/ongoing /Undone
19	General articles on Sensibilization of Sanitation: Implementation of monitoring for the residents (including small training workshop for the residents by District Municipality, Community, JASS)	OJT	DRVS WG3, MST	For Salitral District Municipality, Malacasi JASS For Frias District Municipality, San Jorge JASS		2011.5 - , at each site 1 day / month	Scheduled
20	General articles on Sensibilization of Sanitation: Discussion on training workshop for the residents	Lecture style through meeting)	DRVS WG3, MST	New project sites: Persons in charge of District Municipality & JASS member		2011.5 – 6 at each site (0.5 day)	Scheduled
21	General articles on Sensibilization of Sanitation: Implementation of the training workshop for the residents	OJT	DRVS WG3, MST	New project sites: Persons in charge of District Municipality & JASS member		2011.6 – 8 at each site 2 days	Scheduled
22	General articles on Sensibilization of Sanitation: Preparation of monitoring for the residents (Toward activity by the initiative of JASS)	Lecture style through meeting)	DRVS WG3, MST	New project sites: Persons in charge of District Municipality & JASS member		2011.9 at each site (0.5 day)	Scheduled
23	General articles on Sensibilization of Sanitation: Implementation of monitoring for the residents (including small training workshop for the residents by District Municipality, Community, JASS)	OJT	DRVS WG3, MST	New project sites: Persons in charge of District Municipality & JASS member		2011.9 - , at each site 1 day/ month	Scheduled



## Appendix 6: Evaluation Grid

### 1. Verification of Performance

Evaluation Questions		Necessary Information and Data (Indicators)	Results of Investigation
Topics	Details		
Prospects to achieve Overall Goal	Improve the situation of water supply and sanitation of the rural communities and small cities of the regions of Piura and Lambayeque.	<p>1. Number of rural villages and small cities which have adequate water and sanitation facilities.</p> <p>2. Number of rural villages and small cities which maintain and manage water and sanitation facilities appropriately.</p>	<p>According to the results of investigation realized by DIGESA in 2006, 530 (44%) out of 1,214 villages (population under 2,000), and 12 (80%) out of 15 small cities have any types of water supply in Lambayeque, and 915 (36%) out of 2,548 villages and 94 (67%) out of 140 small cities have any types of water supply in Piura.</p> <p>There is no definition of “adequate water and sanitation facilities” clarified in the PDM, and also no comprehensive data and information available for both Piura and Lambayeque to know the actual situation of the water and sanitation facilities in rural villages and small cities.</p> <p>For this indicator, there is also no information available, and it is necessary to clarify how to judge the appropriateness of the maintenance and management of water and sanitation facilities.</p>
	Prospects to achieve Project Purpose	Improve the capacity of carry out water supply and sanitation projects of the rural communities and small cities of the regions of Piura and Lambayeque.	<p>1. Number of improved water facilities</p> <p>2. Number of Municipalities and water/sanitation committees which improved their capacities in the management and maintenance of water/sanitation facilities, as well as the awareness raising in sanitation.</p>
Achievement of Outputs	Output 1: The water supply and sanitation situation of the rural communities and small cities of the regions of Piura and Lambayeque, their capacity to carry out water supply and sanitation projects and its tasks is verified.	<p>1.1 Baseline of the situations in water supply and sanitation of rural villages and small cities in both regions.</p>	<p>The baseline survey was carried out targeting 20 villages in Lambayeque and 28 villages in Piura, in total 48 villages. These villages were selected by DRVS of each Region, considering the issues and problems existed in water supply in the areas. In these 48 villages, the Project conducted the investigation in actual situation of water supply facilities, interview in water supply and sanitation, and questionnaire in water supply and sanitation.</p> <p>In Lambayeque, a study on situations of water supply in all villages and cities in the Region was realized in 2007 with financial assistance of World Bank. The target sites of the baseline survey of the Project was selected based on the information existed from this study. Both in Lambayeque and Piura, there is a plan of implementing same kind of study targeting all villages and cities in the Regions.</p> <p>As to the site investigation, counterpart members and Japanese experts visited each communities and identified the current situations, and also realized interview with administrators of water facilities (such as JASS, district municipality, etc.)</p> <p>Interview sessions were carried out utilizing the community meetings. The counterpart personnel facilitated in the meetings, and explained the about the baseline survey activities.</p> <p>Questionnaire survey was realized in 43 questions taking a sample of 10% out of the total number of household. The National University of Pedro Ruiz Gallo which has enough experiences in socio-economic survey was contracted to implement the survey in Lambayeque, and National University of Piura was contracted in Piura.</p>
		<p>1.2 Inventories related to the situations of water supply facilities and their management and</p>	<p>The results of the above mentioned baseline studies with 48 villages were compiled in each region as the inventories.</p>

<p>Output 2: The capacity of the regional governments of Piura and Lambayeque over the arrangement of the water supply installations (construction and large scale reparation) is strengthened.</p>	<p>maintenance in rural villages and small cities in both regions. 1.3 Implementation of interview to the water/sanitation committees. 2.1 Manuals related to the installation (construction and large-scale reparation) of water supply facilities. 2.2 Number of staff of regional government who received training. 2.3 Implementation of pilot projects in 6 rural villages and small cities.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>As it is described in the indicator 1.1., the interview to the water/sanitation committees and village people was carried out during the baseline survey.</li> <li>Although it was not clear at the beginning where responsibility lies between MVCS and DRVS in both target regions in terms of the preparation of this Manual, after discussion it was decided in August 2010 that MVCS dose take in charge of it in accordance with the R/D. MVCS has contracted a consultant in May 2011 in order to prepare this Manual, and it will be completed by August 2011. The contents have been discussed with DRVS in both target regions, and a workshop will be carried out with both DRVS in July 2011 to review the contents.</li> <li>The activities related to the construction and rehabilitation (large-scale reparation) of water supply facilities (Component 1) have been carried out mainly by the counterpart personnel of the Working Group 1 (WG1). There are 3 members in the WG1 in each DRVS in Piura and Lambayeque at the moment of Midterm Review. The technical transfer from Japanese experts to the counterpart personnel has been taken place through the practical works for the implementation of pilot projects, mainly in the following contents. <ul style="list-style-type: none"> <li>Preparation and design of a plan (profile and technical documents) which secures a stable operation of construction.</li> <li>Technical capacity to realize the construction of water supply facilities from planning stage.</li> <li>Selection of constructors and other service providers through bidding etc.</li> <li>Construction management, etc.</li> </ul> </li> <li>DRVS in Piura, as an institution, had no experiences in the preparation of profiles and technical documents, nor in the construction and rehabilitation of water supply facilities before the Project. Therefore, they did not have personnel with such specialties, and had to newly contract personnel with such specialties and find some personnel of the Regional Management of Infrastructure to have them temporary allocated in DRVS in order to carry out this Component 1. DRVS in Lambayeque had experiences in preparation of profiles and technical documents, but they had never engaged in the construction process of water supply facilities.</li> <li>The pilot projects in the construction of water supply facilities were planned to be implemented in 6 sites (3 in each region) in the original design of the Project. However, the actual number of pilot projects has been reduced, due to the following situations caused during the implementation of project. <ul style="list-style-type: none"> <li>Piura: Due to the nonfulfillment of the agreement by the Regional Government of Piura, the number of technical staff necessary to implement 3 construction works of water supply facilities during the project period was insufficient. Therefore, in January 2011, it was decided to work only with 2 pilot projects.</li> <li>Lambayeque: It was identified that one of 3 pilot project sites which were selected based on the criteria determined by the Project, La Ramada has been also listed in the project of “<i>Agua para Todos</i>”. Although it was necessary to be deleted from the list of any other project/program in order to be eligible for the pilot project of PRISAS, La Ramada is still listed for “<i>Agua para Todos</i>” at the moment. Therefore, the activities for the preparation of construction in La Ramada have been suspended at the moment.</li> </ul> </li> </ul>
<p>Output 3: The capacity of the municipalities and the water and sanitation committees, object of the pilot projects over administration, operation, maintenance and management of the water supply installations, as well as over the awareness about the sanitation, is</p>	<p>3.1 Manuals related to the administration, operation, maintenance and management of water supply installations and the awareness raising in sanitation.</p>	<p><b>Administration, operation, maintenance and management of water supply installations (Component 2):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The draft of the Manuals have been prepared by counterpart personnel of Working Group 2 (WG2) in both Lambayeque and Piura, and WG2 of Piura will take main role in the compilation of both drafts into a single manual. Although it was considered that the 2 types manuals would be necessary, one is for the use of DRVS, and the other is for Municipalities and JASS, since it was found that the contents would be mostly same for both types, it was decided that they prepare only single type of manual which contains the roles and functions of each actors in each chapter. The main contents of the Manual is activities of JASS which takes in charge of practical works in the administration, operation, maintenance and management of water supply.</li> </ul> <p><b>Awareness raising in sanitation (Component 3):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The counterpart personnel of Working Group 3 (WG3) in each region have been working in this component. In this component, WG3 has established a channel of collaboration, “Multi-Sector Team”, with Regional Health Authority (DIRESA), Executive Authority of Environmental Health (DESA), Regional Education Authority (DRE) and Ministry of Women and Social Development (MINDES), who have more experiences in the awareness raising in sanitation. The preparation of the Manuals has been carried out drawing on their experiences and existed manuals, getting their active collaboration. Also, a coordinator of the Project in MVCS has given advices based</li> </ul>

	strengthened.	<p>on his/her expertise. The drafts have been prepared by each region, and WG3 of Lambayeque will compile the drafts into a single Manual. The draft manuals are unique in their regional characteristics, although both of them contain same basic information on water and sanitation. The draft manuals have been already used in the workshops at communities, and they will be revised later in the third year of the Project.</p>
<p>Input from</p>	<p>3.2 Number of staff of municipalities and members of water/sanitation committees who received training.</p>	<p><b>Administration, operation, maintenance and management of water supply installations (Component 2):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• The training in this component has 2 different part; 1) operation, maintenance and management of facilities, and 2) management of JASS for water supply. The strengthening of capacities of district municipalities and JASS in 1) is undertaken by the WG1, and 2) is in charge of WG2, under the guidance of Japanese experts.</li> <li>• Regarding the 1), so far the training has started in the pilot projects sites where the construction of water supply facilities has been completed, i.e. El Espinal and Humedades in Lambayeque. In addition to an operator of the facilities, some of the administrative members of JASS, which normally consists of 5-6 members, participate in each training session. The contents of training up to the moment include; roles and activities of JASS after the completion of construction work, and operation of water supply facility (injection of chlorine, monitoring of chlorine residual, and checkup of facilities) (for more detail, refer to Appendix 5 "List of Training").</li> <li>• Regarding to 2), the training has started in El Espinal and Humedades in Lambayeque, and San Jorge and Malacasi in Piura. The participants of the training are personnel of district municipalities and the administrative members of JASS. The contents of training so far include; water supply management in general, establishment of JASS, constitution of JASS, explaining the new management to village people, setting of new tariff, and making contract with water users.</li> </ul> <p><b>Awareness raising in sanitation (Component 3):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• The training in this component has been realized in 4 pilot project sites, namely El Espinal and Humedades in Lambayeque and San Jorge and Malacasi in Piura. The participants of the training are personnel of district municipalities and the administrative members of JASS, as same as the other components. The contents of training so far include; awareness raising in sanitation in general, preparation of manuals, preparation for awareness raising workshop, realization of awareness raising workshop, and monitoring.</li> <li>• In both Component 2 and 3, the participation of personnel of each district municipality has not been strengthened yet so far, in some villages where their local government has changed in January 2011. Also, the participation of administrative members of JASS is limited only to the President and Treasurer in some cases. In addition, other related personnel, such as a staff member of health center who monitors water quality, also have been participating in some sessions of the training.</li> <li>• As described above, so far the pilot projects are currently under implementation in 4 sites (El Espinal and Humedades in Lambayeque, San Jorge and Malacasi in Piura).</li> <li>• The activities are planned to be implemented in the last year of the project period, after completing the preparation of manuals and activities of pilot projects. Therefore, there is no progress identified at the moment of Midterm Review.</li> <li>• The activities are planned to be implemented in the last year of the project period, after completing the preparation of manuals and activities of pilot projects. Therefore, there is no progress identified at the moment of Midterm Review.</li> <li>• The activities are planned to be implemented in the last year of the project period, after completing the preparation of manuals and activities of pilot projects. Therefore, there is no progress identified at the moment of Midterm Review.</li> </ul>
<p>1. MVCS</p>	<p>Allocation of counterpart personnel:</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• At the operational level, 2 professional specialists of PAPT are assigned as coordinators of the Project.</li> </ul>

Peruvian side	1 project coordinator Means of transportation for the counterpart personnel	<ul style="list-style-type: none"> <li>A total of 35,557 soles has been disbursed for the trips necessary of its counterpart personnel (including the personnel of PAPT) for the project activities.</li> <li>The Project Offices with furniture are allocated in both DRVS in Piura and Lambayeque.</li> </ul>
	2. Divisions in charge of water supply and sanitation in the Regional Government of Piura and Lambayeque	<ul style="list-style-type: none"> <li>At the operational level, 8 staff members from DRVS of Lambayeque and 11 staff members from DRVS of Piura are allocated as counterpart personnel to the Project at the moment of the Midterm Review.</li> <li>Since DRVS has various tasks apart from the Project, the current counterpart personnel are not exclusively for the Project.</li> </ul>
Input from Japanese side	1. Experts	<ul style="list-style-type: none"> <li>A total of 7,555 soles in Lambayeque, and a total of 6,370 soles in Piura have been spent for the trips of counterpart personnel of each region in the project activities.</li> <li>As of April 2011, the Regional Government of Lambayeque spent 74,546 soles in total, and the Regional Government of Piura spent 302,371 soles in total for the implementation of the Project. The costs borne by both Regions have been used for the necessary costs for the project activities, such as stationeries and office equipments, vehicles and transportation, and materials for activities, etc.</li> </ul>
	2. Local Consultant	<ul style="list-style-type: none"> <li>The following experts are allocated as of the end of April 2011.</li> <li>Leader/operation and maintenance planning (including water supply planning), 12.83MM</li> <li>Sub-leader/water supply planning 1/ground water development 1, 7.00MM</li> <li>Water supply planning 2/ground water development 2, 11.33MM</li> <li>Water supply planning 3/ground water development 3, 12.00MM</li> <li>Sanitation promotion planning, 10.00MM</li> <li>Maintenance of Water Treatment plant, to be assigned from June 2011.</li> <li>The Project has made contract with Pedro Ruiz Gallo University in Lambayeque and Piura University in Piura, as local consultants for water quality inspection of the pilot projects' sites.</li> </ul>
	3. Equipment and materials	<ul style="list-style-type: none"> <li>So far, the equipment; including 4WD vehicles, computers, photocopyers and printers, was purchased in Peru and provided for each Region, which is worth a total of 64,390.00 US dollars. In addition, some equipment including a projector, potable conductivity meters, water level measures, GPS, and turbidity meters, which is worth 841,040 Japanese Yen (approximately 9,312 US dollars ), was brought from Japan and has been utilized for the project activities.</li> </ul>
	4. Counterpart training	<ul style="list-style-type: none"> <li>Any counterpart training in Japan and/or third countries has not been realized yet.</li> </ul>
	5. Local Sub-contract	<ul style="list-style-type: none"> <li>Investigations in 2 Regions were carried out by local consultants described above.</li> <li>In the implementation of pilot projects, the Project made contract with 2 private firms so far for the rehabilitation of 2 water supply facilities in Lambayeque and 1 facility in Piura.</li> </ul>
	6. Other schemes	<ul style="list-style-type: none"> <li>There is no other scheme of Japanese Cooperation which is directly related to the Project done in the target Regions.</li> </ul>

## 2. Implementation Process

Evaluation Questions		Results of Investigation
Topics	Necessary Information	

Progress of Activities	Are activities implemented as planned?	Period of realization, level of progress, performance, issues, etc.	<ul style="list-style-type: none"> <li>The baseline survey and the implementation of Component 1 and 2 have been delayed due to the following reasons, and the schedule as a whole has been delayed for about 3 months at the moment of Midterm Review, comparing to the original plan. <ul style="list-style-type: none"> <li>In Piura, sufficient professionals have not been assigned in DRVS to realize project activities.</li> <li>In Piura, the counterpart personnel assigned to the Project is not secured their positions in DRVS and many of them have been changed during the project period up to now.</li> <li>In both Regions, sufficient transportation was not provided to the project activities, especially in the first year of the Project during the implementation of baseline survey.</li> <li>Changes of local governments (in both Regions and 3 out of 4 district municipalities) in January 2011 resulted in changes of personnel involved in the Project.</li> <li>In Piura, some road to access to pilot project sites was damaged during rainy season.</li> </ul> </li> <li>The Component 3 has been progressed as planned in general, although delays in some activities of Component 1 and 2 which closely interrelated to the activities of Component 3 and changes of administrators of JASS (2 out of 4 JASS) during the implementation of project activities have affected somehow its activities as well.</li> <li>The rest of activities will be implemented in accordance to the Plan of Operation, which has been revised in March 2011.</li> <li>Joint Coordinating Committee (JCC) has held once in March 2010, and Regional-level Steering Committee has been realized twice, in February 2010 and October 2010, in order to report progress of the project activities and discuss operation plan and other related issues.</li> </ul>
Management and Operation Structure	Is the management system functioning adequately?	Means of decision making (Dose it include actors necessary? Is the timing adequate? etc.), system/flow to pass on the decisions.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Joint Coordinating Committee (JCC) has held once in March 2010, and Regional-level Steering Committee has been realized twice, in February 2010 and October 2010, in order to report progress of the project activities and discuss operation plan and other related issues.</li> </ul>
	Is communication among actors involved maintained sufficiently?	Means and frequency of information sharing/communication (records of meetings, such as CCC, reporting of progress, discussion related to the operation, etc.), amount of shared information.	<ul style="list-style-type: none"> <li>The communication among the actors involved in the Project is good in general at the operation level.</li> <li>In Piura there is a room for improvement in the information sharing among each component in order to manage the Project as a whole. It has improved by setting weekly meeting among the different components at counterpart personnel level.</li> <li>In Lambayeque, the communication among the project team is ad-hoc, but sufficient coordination has been maintained.</li> <li>There was no issue found in the communication with District Municipalities and JASSs at pilot project sites.</li> <li>In both Piura and Lambayeque, the coordination with Regional Government to support securing the smooth execution of necessary costs for project activities and assigning of human resources, as well as to collaborate with other departments and sections of regional government in the water supply projects, has not been sufficiently established after the change of regional governments in January 2011, except to the collaboration of Multi-Sector Team in Component 3 and Department of Infrastructure for the execution of construction in Component 1.</li> </ul>
	Is ownership of the implementing organizations and C/P personnel toward the Project sufficient?	Level of participation of implementing agency and C/P personnel, record of realized input, performance on the measures to be taken by Peruvian side.	<ul style="list-style-type: none"> <li>The level of participation of counterpart personnel at both regions has been sufficient to implement project activities.</li> <li>The involvement of Regional Government of both regions is not developed sufficiently so far, after the change of government in January 2011.</li> </ul>
	Is monitoring of project activities functioning adequately?	Means and frequency of monitoring Are the results of monitoring shared among the stakeholders and reflected in the future activities?	<ul style="list-style-type: none"> <li>The counterpart personnel of MVCS visits both target regions periodically to monitor the project activities.</li> </ul>
Technical Transfer	Are the goals, objectives, and methodologies of technical transfer clearly defined? Are there no problems in the method for technical transfer?	Goals, methods, progress, level of satisfaction and issues on the technical transfer to staff members of DRVS	<ul style="list-style-type: none"> <li>The technical transfer to the counterpart personnel of DRVS has been carried out though practical work of project activities for all 3 Components of the Project. There is no issue found in this method.</li> </ul>
	Are there no problems in the method for technical transfer?	Goals, methods, progress, level of satisfaction and issues on the technical transfer to staff members of target municipalities	<ul style="list-style-type: none"> <li>The technical transfer to the staff members of target municipalities has been carried out though practical work of pilot project activities at target communities. Although there is no issue found in this method, their participation in such activities is limited in some municipalities yet.</li> </ul>

		Goals, methods, progress, level of satisfaction and issues on the technical transfer to the members of JASS	<ul style="list-style-type: none"> <li>The technical transfer to the members of JASS has been carried out through practical work of pilot project activities at target communities. There is no issue found in this method.</li> <li>There is no issue found in the contribution of Japanese experts.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>The technical transfer to the members of JASS has been carried out through practical work of pilot project activities at target communities. There is no issue found in this method.</li> </ul>
Allocation of human resources	<p>Are Japanese experts adequate for the Project and working on the activities sufficiently?</p> <p>Are C/P members adequate for the Project and working on the activities sufficiently?</p>	<p>Adequacy of specialty of experts, means and frequency of participation in the project activities, division of roles among experts</p> <p>Adequacy of specialty and positions of C/P personnel, means and frequency of participation in the project activities</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>In Piura, at the beginning of the Project, there was no sufficient professional human resource necessary to implement project activities in DRVS, and they were temporary employed or assigned from other department of regional government.</li> <li>Since for most of counterpart personnel their positions are not permanent and secured in Piura, the changes of personnel have been frequently happened.</li> <li>In Lambayeque, all counterpart personnel allocated to the Project are permanent employees of DRVS.</li> <li>The participation of district municipalities and communities has been generally sufficient so far.</li> <li>There was a change of government in 3 district municipalities out of 4, and some personnel involved in the Project were changed.</li> <li>The administrative members of JASSs in 2 pilot projects (El Espinal in Lambayeque and San Jorge in Piura) were changed, which requires implementing the training again for new members.</li> <li>In some pilot sites the participation of the administrative members is still limited only to the President and Treasurer.</li> <li>Although the participation of communities are moderate, it has been a time consuming process for all the actors involved at community level to raise their awareness to get them understand the new tariff and other related changes of management system.</li> <li>In order to measure the level of achievement of the Project Purpose more objectively, it is necessary to reconsider the indicators described in the actual PDM version 0.</li> <li>It is difficult to know the level of achievement with the actual indicators of outputs which do not interpret the level of achievement in especially Output 2 and 3.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>In Piura, at the beginning of the Project, there was no sufficient professional human resource necessary to implement project activities in DRVS, and they were temporary employed or assigned from other department of regional government.</li> <li>Since for most of counterpart personnel their positions are not permanent and secured in Piura, the changes of personnel have been frequently happened.</li> <li>In Lambayeque, all counterpart personnel allocated to the Project are permanent employees of DRVS.</li> <li>The participation of district municipalities and communities has been generally sufficient so far.</li> <li>There was a change of government in 3 district municipalities out of 4, and some personnel involved in the Project were changed.</li> <li>The administrative members of JASSs in 2 pilot projects (El Espinal in Lambayeque and San Jorge in Piura) were changed, which requires implementing the training again for new members.</li> <li>In some pilot sites the participation of the administrative members is still limited only to the President and Treasurer.</li> <li>Although the participation of communities are moderate, it has been a time consuming process for all the actors involved at community level to raise their awareness to get them understand the new tariff and other related changes of management system.</li> <li>In order to measure the level of achievement of the Project Purpose more objectively, it is necessary to reconsider the indicators described in the actual PDM version 0.</li> <li>It is difficult to know the level of achievement with the actual indicators of outputs which do not interpret the level of achievement in especially Output 2 and 3.</li> </ul>
Participation and recognition of the target groups and related actors	<p>Are staff members of target municipalities, JASS and beneficiaries participating in the project activities sufficiently?</p>	<p>Means and frequency of participation in the project activities, record of participation</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>The participation of district municipalities and communities has been generally sufficient so far.</li> <li>There was a change of government in 3 district municipalities out of 4, and some personnel involved in the Project were changed.</li> <li>The administrative members of JASSs in 2 pilot projects (El Espinal in Lambayeque and San Jorge in Piura) were changed, which requires implementing the training again for new members.</li> <li>In some pilot sites the participation of the administrative members is still limited only to the President and Treasurer.</li> <li>Although the participation of communities are moderate, it has been a time consuming process for all the actors involved at community level to raise their awareness to get them understand the new tariff and other related changes of management system.</li> <li>In order to measure the level of achievement of the Project Purpose more objectively, it is necessary to reconsider the indicators described in the actual PDM version 0.</li> <li>It is difficult to know the level of achievement with the actual indicators of outputs which do not interpret the level of achievement in especially Output 2 and 3.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>The participation of district municipalities and communities has been generally sufficient so far.</li> <li>There was a change of government in 3 district municipalities out of 4, and some personnel involved in the Project were changed.</li> <li>The administrative members of JASSs in 2 pilot projects (El Espinal in Lambayeque and San Jorge in Piura) were changed, which requires implementing the training again for new members.</li> <li>In some pilot sites the participation of the administrative members is still limited only to the President and Treasurer.</li> <li>Although the participation of communities are moderate, it has been a time consuming process for all the actors involved at community level to raise their awareness to get them understand the new tariff and other related changes of management system.</li> <li>In order to measure the level of achievement of the Project Purpose more objectively, it is necessary to reconsider the indicators described in the actual PDM version 0.</li> <li>It is difficult to know the level of achievement with the actual indicators of outputs which do not interpret the level of achievement in especially Output 2 and 3.</li> </ul>
Revision of PDM	<p>Are the indicators adequate to indicate the level of achievements for the Project Purpose and Outputs?</p> <p>Have the contents of PDM reviewed adequately considering the original objectives and actual situations?</p>	<p>Meanings of indicators, attainment goals, logics, is there common understanding about the contents of PDM among stakeholders</p> <p>Adequacy of the contents of actual PDM</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>The PDM has not been revised so far. It is necessary to revise some contents based on the actual situations, in order to manage the Project in accordance with the PDM.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>The PDM has not been revised so far. It is necessary to revise some contents based on the actual situations, in order to manage the Project in accordance with the PDM.</li> </ul>
Other issues occurred during the implementation process and factors which influence the performance of the Project	<p>Changes in related organizations/institutions such as MVCS, Regional Governments, and Municipalities</p> <p>Are there any issues which occurred during the implementation till the Midterm Review? How dose the Project deal with such issues?</p>	<p>What kind of changes were occurred, what kind of influences are there, tendencies and prospects in the future</p> <p>Progress of activities, actual situations of the issues of the Project, actions taken to solve the issues, prospects in the second half of the project period</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>There was a change of government in 3 district municipalities out of 4 in pilot projects, and some personnel involved in the Project were changed.</li> <li>There was a change of both regional governments in January 2011, which resulted in changes of personnel involved in the Project.</li> <li>In MVCS, due to the change of operational manual of PAPT, the division in charge of the Project was changed from urban sanitation division to rural sanitation division. Therefore, the coordinators of the Project were changed.</li> <li>COSUDE has a plan to disseminate their capacity development model to Lambayeque and Piura, and it may overlap with activities of PRISAS.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>There was a change of government in 3 district municipalities out of 4 in pilot projects, and some personnel involved in the Project were changed.</li> <li>There was a change of both regional governments in January 2011, which resulted in changes of personnel involved in the Project.</li> <li>In MVCS, due to the change of operational manual of PAPT, the division in charge of the Project was changed from urban sanitation division to rural sanitation division. Therefore, the coordinators of the Project were changed.</li> <li>COSUDE has a plan to disseminate their capacity development model to Lambayeque and Piura, and it may overlap with activities of PRISAS.</li> </ul>

### 3. Evaluation by Five (5) Criteria

#### (1) Relevance

Evaluation Questions		Necessary Information	Results of Investigation
Topics	Details		
Needs	<p>Is the Project relevant with the needs of Peruvian society and target groups?</p> <p>Is there any change in the situation of "needs" identified in the ex-ante evaluation study?</p>	<p>Needs of target regions on the strengthening of capacities in administration, operation, and maintenance of water facilities and the improvement of sanitation. Actual situation of issues and problems related to the needs</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>The improvement of water supply is one of the most prioritized issues in the Regional Plan for both Piura and Lambayeque Regions (Plan de Desarrollo Regional Concertado de Lambayeque 2011-2021, and Plan de Desarrollo Regional Concertado de Piura 2007-2021).</li> </ul>
Priority	<p>Is the Project consistent with the development policy of the Peruvian Government?</p> <p>Is the Project consistent with the Japanese aid policy?</p>	<p>Priority in the actual national development plan of Peruvian Government, current trend in the water supply and sanitation sectors, consistency with the national action plan in water supply and sanitation</p> <p>Conformity with Country Assistance Program and JICA's Country Assistance Plan for Peru</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>The National Sanitation Plan 2006-2015 (Plan Nacional de Saneamiento 2006-2015), which aims at the expansion of service coverage, modernization of administration and management in water supply and sanitation sector, improvement in sustainability and quality of services, and achievement of economical feasibility of service providers, is a valid national plan at the moment, and the Project is highly relevant to this plan.</li> <li>According to the latest assistance policy of JICA, "Country Assistance Policy: Peru" prepared in April 2009, the improvement of water supply and sanitation is considered as one of the prioritized themes under the strategic field of "alleviation of poverty and reduction of disparity". The Project PRISAS is allocated as one of the component in Water Program of JICA's assistance in Peru.</li> <li>The Project has been working in an integrated approach to solve the issues related to rural water supply and sanitation, combining the 3 components. Actors involved in the Project consider it quite appropriate to contribute to the existing issues in rural water supply, especially where community people merely have an idea of "management of facilities", proper water tariff system and maintenance.</li> <li>The application of water meters and water tariff based on amount of consumption in the rural communities is a new trial in Peru, and it is considered being adequate by counterpart personnel both in Lambayeque and Piura, based on their experiences in the pilot projects.</li> <li>Although the Project is designed to improve technical capacities of DRVS which was considered as a core organization to improve rural water supply and sanitation, at the beginning of the Project their roles and responsibility in these issues were not clearly defined at regional level in both regions, and the relationship with other related department and/or divisions was not adequately established. Also, sufficient human and financial resources were not allocated to assume main roles in the 3 Components of the Project.</li> </ul>
Suitability as means	<p>Was the selection of target areas/groups of pilot projects adequate and sufficient?</p>	<p>Suitability of the contents/design/approaches of the Project, if there is any change in the initial plan (adequacy of the changes), results of verification of performance</p> <p>Actual situation of the participation of target groups, progress of activities, changes of plan, results of the verification of performance</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>The selection criteria were established for the selection, and the target communities for baseline survey and pilot project sites were selected based on the criteria.</li> </ul>
Others	<p>Is there any aspect of superiority in the Japanese technologies/ capacities to provide assistances in this theme?</p> <p>Are the collaboration and/or demarcation with other projects/programme of the</p>	<p>Experience and knowledge accumulated in the Japanese technologies/capacities, Japanese experience applicable to the target of the assistances</p> <p>Contents of related projects by the government, other donors, and JICA, relationships with</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JICA has been implementing projects for capacity development related to water and sanitation in various countries of the world, including South and Central American countries. Therefore, it is possible to execute assistance activities utilizing the experiences accumulated through such different projects.</li> <li>At regional level, Regional Management (Gerencia) of Infrastructure executes most of construction works of water supply facilities which are financed by the regional government. Also, in Piura some professionals of Northern Frontier Program under Regional Management of Social Development manage regional counterpart portions of "Agua para Todos" Program implemented in the region.</li> </ul>

	government, donors and other JICA's projects defined clearly? Is there any synergy effect of the collaboration?	such other projects, actual situation of collaboration with such projects	<p>which include construction of facilities and training of JASS in the management, operation and maintenance, although the lack of financial resource does not allow them to proceed their activities. These functions exist parallel to the project activities in DRVS, even since before the Project, and it is under the process of re-structuring.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>At national level, there are different projects and programs related to water supply and sanitation in rural communities. MVCS implements "Agua para Todos" Program, which consists of components of construction or rehabilitation of water supply facilities and capacity development of water users' committee such as JASS, directly in rural communities, including Lambayeque and Piura. There are other similar projects financed by different donors such as Luxembourg, Spain and IDB in other regions in Peru. One of such Project is implemented by COSUDE. COSUDE has a plan to disseminate their capacity development model to Lambayeque and Piura, and it may overlap with activities of PRISAS.</li> </ul>
--	---	---	---

**(2) Effectiveness**

Evaluation Questions		Necessary Information	Results of Investigation
Topics	Details		
Prospect of achieving the Project Purpose	<p>Dose the Project Purpose have good prospects of accomplishing by the end of project period?</p> <p>Are there any factors which contribute to the achievement of the Project Purpose?</p> <p>Are there any constraints in the achievement of the Project Purpose?</p> <p>Are there sufficient Outputs designed to achieve the Project Purpose?</p> <p>Are the Important Assumptions to achieve the Project Purpose still adequate? What kind of influences can be possibly seen?</p>	<p>Results of the verification of performance</p> <p>Results of the verification of performance, opinions of stakeholders</p> <p>Results of the verification of performance, opinions of stakeholders</p> <p>Results of the verification of performance</p> <p>If good relationship among related organizations/institutions has been maintained or not</p> <p>If the participation (including the installation of water facilities) of target "villagers" and "small cities" is active enough or not</p> <p>If the issues pointed out have been improved or not</p> <p>If the actual situations have been identified or not</p> <p>New important assumptions</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>The DRVS in both regions has been strengthening their capacities in the implementation of water supply and sanitation projects in rural communities in the aspects of 3 components introduced by the Project, considering the progress of achievement in Output 1, 2, and 3 (as described in the "4-3 Efficiency"). However, so far the level of achievement in capacity development for the District Municipalities and JASSs differs depending on their situation and progress of activities, and it is difficult to foresee the level of final achievement yet.</li> <li>In order to measure the level of achievement of the Project Purpose more objectively, it is necessary to reconsider the indicators described in the actual PDM version 0.</li> <li>Refer to the factors which contributed to the achievement of Outputs.</li> <li>Refer to the constraints in the achievement of Outputs.</li> <li>Although some achievement has been observed as mentioned above, in order to measure the level of achievement of the Project Purpose as a result of achieving the Outputs, it is necessary to reconsider the indicators, defining what it should be like after the capacity is improved by the end of project period by achieving the 4 Outputs.</li> <li>There is a room for improvement in the relationship of the Project with regional governments, to be fully recognized and supported as a function of regional governments to improve rural water supply.</li> <li>As to the other assumptions, "Active participation of target communities and small cities (including the installation of water facilities)", it is more appropriate to consider it as an assumption to achieve Outputs.</li> <li>"Issues pointed out are improved" and "Continue identifying the actual situations" are not clear as important assumption to achieve Project Purpose.</li> </ul>
Causality between the Outputs and the Project Purpose	<p>Are there any new important Assumptions to achieve the Project Purpose?</p>	<p>New important assumptions</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>"No natural disasters affecting the project outputs" should be an important assumption.</li> </ul>



### (3) Efficiency

Evaluation Questions		Necessary Information	Results of Investigation
Topics	Details		
Level of achievement of the Outputs	<p>Is the level of achievement of each Output satisfactory so far?</p>	<p>Results of the verification of performance</p>	<p>The achievements of Outputs have been largely affected by the insufficiency and changes of human resource in the case of Piura, and will be affected further if current counterpart personnel are changed during the project period.</p> <p><b>Output 1:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>This Output represents the preparative activities to start activities related to the Output 2 and 3, and therefore the activities of Output 1 were realized at the beginning of the Project in both Regions.</li> <li>All activities to verify the water supply and sanitation situation of the rural communities, as well as their capacity to carry out water supply and sanitation projects and its tasks were realized.</li> </ul> <p><b>Output 2:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The counterpart personnel of WG1 of both Regions carried out a series of practical works for the construction of water supply facilities, from the preparation of profiles up to the completion.</li> <li>The counterpart personnel in both Regions, who are professionals in Engineering or Architecture, consider that they gained good experiences through the pilot projects, although there are more different skills and knowledge to learn depending on the types of water supply systems and geographical characteristics of sites.</li> </ul> <p><b>Output 3:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Regarding the personnel of District Municipalities, although they are collaborative to the pilot project, the level of achievement in their capacity development so far differs in both Component 2 and 3 depending on the Municipalities. The main reason of the difference is in their participation and involvement in the project activities. In some municipalities their participation is still limited, mainly because; <ul style="list-style-type: none"> <li>Due to the change of administration in January 2011, the staff members in charge of the pilot project were changed in some municipalities (3 out of 4 pilot sites).</li> <li>In some municipalities, due to the limitation of human and financial resources, staff in charge of water and sanitation has not been assigned, or the staff member concurrently has other tasks in the municipalities.</li> </ul> </li> <li>Since the activities with District Municipalities will be developed further in the rest of project period, the Project will continue working with them to strengthen their involvement and develop their capacity.</li> <li>As to the administrative members of JASS, their level of achievement in capacity development in both Component 2 and 3 differs mainly because of the difference in the progress of activities. In the Component 2, the training has been in progress in El Espinal and Humedades, and they have been already working on their daily operation, including the new tariff system. In the case of San Jorge, it is under the training process for operation and maintenance at the moment. In any cases, the monitoring and assistance are important since various concerns about operation and maintenance were mentioned by members of JASS in the interview of the Midterm Review, especially about chlorination. In the Component 3, Malacasi has already started house by house monitoring activities with each member of JASS and other actors concerned. But in other sites, the Project will continue working to strengthen their capacity and initiatives.</li> <li>In the Output 3, it is also important to strengthen capacities of counterpart personnel at regional level so that they can provide orientations necessary to District Municipalities and JASSs. Regarding the Component 2, in Lambayeque training has been in progress in 2 pilot sites and the counterpart personnel have prepared the format necessary and experienced the process of capacity development of JASSs. In Piura, although it is still in process, they also have been development their own capacity to orient JASSs and District Municipalities in this theme. In both Regions they think that they can build enough capacity by the end of the project period, through the activities with additional pilot sites in the rest of project period.</li> <li>As to the Component 3, most of activities have been implemented as planned so far, and collaborative relationship with other actors at regional level has been developed. The counterpart personnel of WG3 have gained experiences in the preparation of manuals for communities and implementation of workshops. In the latter half of the project period, a manual for JASSs and district municipalities will be prepared, and pilot projects in 3 additional sites will be started, while the monitoring activities are continued and strengthened.</li> </ul>

	<p>Are there any factors which contributed to the achievement of Outputs?</p>	<p>Results of the verification of performance, opinions of stakeholders</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• In spite of the limitation in human and financial resources, members of counterpart personnel both in Piura and Lambayeque have devoted a lot of time to the project activities.</li> <li>• The administrative members of JASS in general are making effort to understand the new skills and knowledge introduced by the Project and to carry out their activities, assuming their responsibility.</li> <li>• In general, other actors involved at the pilot project sites, such as District Municipalities, Village Representatives (Alcalde de Centro Poblado), and Health Center, are also collaborative.</li> <li>• The members of Multi-Sector Team have been collaborative in the implementation of Component 3 in both regions.</li> <li>• Department of infrastructure in the Regional Government of Piura has been collaborating in the implementation of Component 1, in the supervision of construction and the provision of human resource and transportation to the project activities.</li> <li>• Efforts of District Municipalities to access their own financial resource to cover some necessities, such as an office for JASS, some part of water system which is not included in the pilot project, and sanitation facilities.</li> </ul>
	<p>Are there any constraints in the achievement of Outputs?</p>	<p>Results of the verification of performance, opinions of stakeholders</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The issues of human resources in Piura (lack of professional personnel, delays in employing personnel, and changes of personnel)</li> <li>• Insufficiency of budget of regional government for project activities in both Regions, including means of transportation to the pilot project sites, per diem of counterpart personnel, stationeries, etc.</li> <li>• Some delays caused by bureaucratic procedures of Regional Government in the application of necessary budget for project activities.</li> <li>• Damages of road to access to the pilot project sites during rainy season in Piura.</li> <li>• Changes of some personnel in charge of the pilot project at District Municipality level after the election.</li> <li>• Changes of members of JASS in El Espinal, Lambayeque and San Jorge, Piura.</li> <li>• Dissatisfaction of some community members about the water supply facilities constructed by the Project, in some portions of facilities which were not included in the Project (some part of water pipe, fence and cover of reservoir, etc, in San Jorge).</li> <li>• Necessary activities are included the plan of project activities.</li> <li>• The rest of activities will be implemented in accordance with the Plan of Operation (PO).</li> </ul>
<p>Causality between the activities and the Outputs</p>	<p>Are the activities sufficient for producing the Outputs of the Project? Are the Important Assumptions to achieve the Outputs still adequate? Is there any influence of the assumptions?</p>	<p>Results of the verification of performance and implementation process If the budget necessary for the improvement of water supply and sanitation is allocated in both regions or not. If the information necessary for the project activities is available without any delay or not. If the logistics (transportation) necessary for the project activities is provided or not. The legal procedures necessary in Peru for the implementation of the Project are realized without any delay or not. New important assumptions</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• In terms of the input by Peruvian side, as mentioned in the other section, the quantity of human and financial resources has not been sufficient, especially in professional personnel as technical counterpart of the Project in Piura and budget necessary for the project activities in both Regions.</li> <li>• Although there are some difficulties in gathering necessary information for the project activities, there is no specific influence of delays in obtaining information.</li> <li>• It was not clear among the project team members what this assumption implies.</li> <li>• Due to the insufficiency of budget of regional governments, some transportation necessary for the project activities was not provided or the provision was delayed.</li> <li>• There is no influence of any delays related to the legal procedures.</li> </ul>
<p>Timing, quality and quantity of the Inputs</p>	<p>Are there any new important Assumptions to achieve the Outputs? Are timing, quality and quantity of input adequate in order to carry out the activities as they are planned?</p>	<p>Results of input, performance and implementation process, influences in excess and deficiency of input and timing of provision.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• It is considered that “Good relationship among related organizations is maintained” and “Rural communities and small cities actively participate in project activities” are important assumptions at this level.</li> <li>• It is considered that “There is no change in other donor’s activities” can be an assumption at this level.</li> <li>• As to the input by Peruvian side, the quantity of human and financial resources has not been sufficient, especially in professional personnel as technical counterpart of the Project in Piura and budget necessary for the project activities in both Regions.</li> <li>• As to the input provided by Japanese side, the following issues were pointed out by actors involved in the Project. <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ The vehicles were not provided in the first year of the Project, when transportation was largely necessary for baseline survey.</li> <li>➢ The counterpart training in Japan or third country has not been realized yet.</li> </ul> </li> </ul>

#### (4) Impact

Evaluation Questions		Necessary Information	Results of Investigation
Topics	Details		
Prospect of achieving the Overall Goal	Will the Overall Goal be achieved as an effect of the Project?	Results of the verification of performance	<ul style="list-style-type: none"> <li>Since it is still at midterm of project period and the attainment goals of Project Purpose are not clearly defined by the indicators yet, it is considered to be too early to analyze the possibility of achieving the Overall Goal.</li> </ul>
	Will the indicators of Overall Goal be available at the moment of ex-post evaluation?	Possibility to obtain information/data of the defined indicators	<ul style="list-style-type: none"> <li>The indicators of Overall Goal also should be reconsidered to measure the achievement more clearly and objectively.</li> </ul>
	Is there any constraint in the achievement of the Overall Goal?	Possible constraints of the Overall Goal	<ul style="list-style-type: none"> <li>Financial and human resources necessary for the implementation of water and sanitation projects are limited.</li> <li>The implementation structure of Regional Governments is under re-structuring.</li> </ul>
Causality between the Project Purpose and the Overall Goal	Is there any deviation in the causality between the Overall Goal and the Project Purpose?	Results of the verification of performance	<ul style="list-style-type: none"> <li>In terms of the improvement of sanitation situation, the idea of "sanitation" is broadly interpreted in Peru, including water supply as well as sewerage, while the Project has been working only for the awareness raising and does not have a component to work on the sanitation facilities such as sewerage and toilets. In this sense, the installation of sanitation facility will not be treated as the indicator to measure the impact of the Project.</li> <li>There is no change of policies at regional level so far.</li> </ul>
	Are the Important Assumptions to achieve the Overall Goal adequate? Is there any influence of the assumptions?	If there is any change in the policies at regional level or not. If the other components of "Sub-programme of water supply and sanitation in northern region" are implemented or will be implemented.	<ul style="list-style-type: none"> <li>"Sub-program of water supply and sanitation in northern region" of JICA is not existed at this moment. It is necessary to consider a measure to collaborate with other schemes to supplement this sub-program.</li> </ul>
	Are there any important assumptions to achieve the Overall Goal?	New possible important assumptions	<ul style="list-style-type: none"> <li>"Agua para Todos Program continues" should be an assumption at this level.</li> <li>"Budget of Regional Governments in water and sanitation projects is increased." can be an assumption at this level.</li> <li>"Budget of District Municipalities in water and sanitation projects is increased and human resource is assigned." can be an assumption at this level.</li> </ul>
Multiplied effects	Are there any possible positive and negative impacts apart from the Overall Goal?	Effects on the establishment of policies/institutions/regulations	<ul style="list-style-type: none"> <li>As the improvement of water supply in rural communities can result in various positive impacts such as better health conditions and improved quality of life, in El Espinal and Humedades some of such comments, including the reduction of time and cost to fetch water, better access (hours) to water, better quality of supplied water, etc. were heard in the interview with JASS and users.</li> <li>There is no negative impact observed yet at the moment of Midterm Review.</li> </ul>
		Effects on the gender, human right, poverty, social and cultural issues etc.	
		Other effects on the target groups	

#### (5) Sustainability

Evaluation Questions		Necessary Information	Results of Investigation
Topics	Details		
Policy and institutional aspects	Will the governmental support in terms of policies continue after the Project?	Current trend of development plans and policies of national and regional governments related to	<ul style="list-style-type: none"> <li>As the improvement of water supply is one of the highest priority issues at any levels of government in Peru, the political support in this sector will be continued without doubt.</li> </ul>

	<p>water supply and sanitation.</p> <p>Situations of the establishment of laws and regulations necessary</p> <p>Are there any actions guaranteed to diffuse the manuals of the Project in the other areas?</p>	<p>Are the regulations and laws to apply the contents of manuals related to the installation, administration, operation and maintenance of water supply facilities and awareness raising in sanitation prepared?</p> <p>Does each related organization have sufficient organizational capacity to continue the Project's activities after the Project?</p>	<p>All contents of project activities were developed based on the existing laws and regulations.</p> <p>In both Regions of Pura and Lambayeque, the Regional Governments have been undertaking its re-structuring of organizational structure at the moment. In both cases the positioning of DRVS will be changed and it will cause certain effects in its role and function in respective Regions.</p> <p>At the moment it is not clear how MVCS and Regional Governments strengthen the implementation structure to strengthen the execution of water and sanitation related projects.</p>	
Organizational and financial aspects	<p>Organizational capacity of MVCS, regional governments, and target municipalities, such as allocation of human resources</p> <p>Policies and operational plans of MVCS, regional governments, and target municipalities in the project activities</p> <p>To what degree do the organizations involved in the project have a sense of ownership of the Project?</p> <p>To what degree is budget secured to continue activities? Is the expense increased due to the implementation of the Project?</p>	<p>Organizational capacity of MVCS, regional governments, and target municipalities, such as allocation of human resources</p> <p>The Regional Governments have been in the process of re-structuring to establish more efficient administration structure. At the moment of the Midterm Review, the decision has not been announced officially by both Governments, and it takes more time to see the results. In any cases, it is necessary for DRVS to strengthen their organizational capacity (including human and financial resources) to extend the experiences gained through this Project in all 3 Components. Also its roles and functions in the implementation of activities in the improvement of water supply and sanitation should be determined more clearly.</p> <p>As to the District Municipalities, which are expected to orient JASS in the management, operation and maintenance of water supply facilities and awareness raising in sanitation, they have been in a serious problem in terms of human and financial resources, comparing to the number of existing small cities and communities in each Municipality.</p> <p>The participation and contribution of DRVS in both regions have been sufficient, although the limitation of resources and capacities exists.</p> <p>The involvement of Regional Governments has not been sufficient, considering their support to the Project.</p>	<p>The budget of DRVS in both regions is 60,000 to 70,000 soles per year. Most of the budget is used for human resources and related costs, and costs for activities are quite limited.</p> <p>The target District Municipalities have been making efforts to access their own financial resource to cover some necessities, such as an office for JASS, some part of water system which is not included in the pilot project, and sanitation facilities.</p>	
Technical aspects	<p>Issues in technical level, social and conventional factors, and actual situations of utilization of skills</p> <p>Is a system/structure to diffuse technologies established?</p> <p>Are measures to maintain and update technologies considered?</p>	<p>Skills and knowledge introduced by the Project are accepted so far by counterpart personnel, district municipalities, and members of JASS.</p> <p>The activities to diffuse the project activities and contents of manuals prepared by the Project are planned in the final year of the project period.</p> <p>So far changes of counterpart personnel and insufficiency of human resources have affected largely the achievement of capacity development and the sustainability of skills, knowledge and experiences gained through the project activities. It is necessary for DRVS to find measures to accumulated experiences not only at individual level but also at institutional level to secure sustainability.</p> <p>Since the administrative members of most of JASS are changed every 2 years and District Municipalities are suffering insufficiency of resources, some measures to maintain skills and knowledge even after changes of personnel should be considered.</p> <p>There is no promoting and hindering factor identified.</p>	<p>Skills and knowledge introduced by the Project are accepted so far by counterpart personnel, district municipalities, and members of JASS.</p> <p>The activities to diffuse the project activities and contents of manuals prepared by the Project are planned in the final year of the project period.</p> <p>So far changes of counterpart personnel and insufficiency of human resources have affected largely the achievement of capacity development and the sustainability of skills, knowledge and experiences gained through the project activities. It is necessary for DRVS to find measures to accumulated experiences not only at individual level but also at institutional level to secure sustainability.</p> <p>Since the administrative members of most of JASS are changed every 2 years and District Municipalities are suffering insufficiency of resources, some measures to maintain skills and knowledge even after changes of personnel should be considered.</p> <p>There is no promoting and hindering factor identified.</p>	
Social, cultural, and environmental aspects	<p>Is there any possibility for the Project to hinder the sustainability of the activities due to the lack of consideration toward gender, poverty, vulnerable groups, and environment?</p>	<p>Factors to promote or hinder the sustainable effects of the Project</p>	<p>There is no promoting and hindering factor identified.</p>	

## Matriz de Diseño del Proyecto (PDM 1)

**Nombre del Proyecto:** "Proyecto de Reforzamiento Institucional del Suministro de Agua y Saneamiento en la Zona Norte del Perú"

**Zona objeto:** Región de Lambayeque y Región de Piura (Perú)

**Organización objeto:** MVCS, Gobierno Regional de Lambayeque y Gobierno Regional de Piura

**Grupo meta:** DRVS Lambayeque, DRVS Piura, Municipalidades Distritales, JASS/Comité de Agua y población objeto del Proyecto

**Período del Proyecto:** Junio de 2009 – Marzo de 2013

Resumen narrativo del Proyecto	Indicadores	Medios de obtención	Condiciones externas
<p><b>&lt;Meta Superior&gt;</b> Mejora el estado del suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.</p>	<p>1. Incrementa el número de localidades rurales y pequeñas ciudades que cuentan con el suministro de agua potable adecuado cuantitativa y cualitativamente (se especificará más adelante).</p> <p>2. Disminuye la morbilidad de enfermedades transmitidas por agua.</p>	<p>1. Informe del Gobierno Regional</p> <p>2. Informe del Ministerio de Salud.</p>	
<p><b>&lt;Meta del Proyecto&gt;</b> Mejora la capacidad para implementar el servicio de suministro de agua y saneamiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades<sup>1</sup> de las regiones de Piura y Lambayeque</p>	<p>1. Continúa el asesoramiento de la DRVS a 25% de las Municipalidades Distritales basado en los manuales elaborados por el Proyecto.</p> <p>2. Por lo menos las 10 JASS objeto de proyectos piloto ofrecen el servicio de suministro de agua mejorado con el sistema de tarifa adecuado.</p>	<p>1-1. Informe bimensual y anual de DRVS</p> <p>1-2 Convenio de cooperación mutua entre DRVS y Municipalidades Distritales</p> <p>2-1 Informe de monitoreo de las Municipalidades Distritales</p> <p>2-2 Informe del Proyecto.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Continúa el Programa de "Agua para Todos."</li> <li>• Aumenta el presupuesto para el suministro de agua y saneamiento de las Municipalidades Distritales.</li> <li>• Aumenta el presupuesto para el suministro de agua y saneamiento de las Municipalidades Distritales y se aseguran los recursos humanos.</li> <li>• No hay cambio en la política del Gobierno Regional.</li> </ul>
<p><b>&lt;Resultados&gt;</b></p> <p>1. Se verifican la capacidad de ejecución y los retos por resolver respecto al servicio de suministro de agua y saneamiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.</p>	<p>1-1 Se consolidan los resultados del Estudio de línea de base sobre el estado del suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades de ambas regiones.</p> <p>1-2 Se consolida el inventario de las instalaciones de suministro de agua.</p>	<p>1-1 Informe del Proyecto de primer año</p> <p>1-2 Informe del Proyecto de primer año</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• No hay desastres naturales.</li> </ul>
<p>2. Se fortalece la capacidad de DRVS de Piura y Lambayeque referente a la implementación de obras, el mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y al asesoramiento para el servicio de suministro de agua y saneamiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades.</p>	<p>2-1 Se ejecutan las obras desde la pre-inversión (elaboración de perfil y expedientes técnicos), licitación de contratistas, supervisión, hasta su recepción en las 4 localidades de Proyecto Piloto.</p> <p>2-2 Se ejecutan los Proyectos Pilotos en 10 localidades en base al manual de administración, operación y mantenimiento.</p> <p>2-3 Se ejecutan los 10 Proyectos Pilotos en base al manual de sensibilización en saneamiento.</p>	<p>2-1 Informe del Proyecto.</p> <p>2-2 Informe del Proyecto.</p> <p>2-3 Informe del Proyecto.</p>	
<p>3. Se fortalece la capacidad de administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y saneamiento en las Municipalidades Distritales y las JASS objeto al Proyecto</p>	<p>3-1 JASS presenta a la Municipalidad Distrital el informe mensual de administración, operación y mantenimiento de las instalaciones en base al manual de administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro</p>	<p>3-1 Informe mensual de JASS.</p> <p>3-2 Informe de monitoreo de Municipalidades Distritales.</p> <p>3-3 Informe de monitoreo de la sensibilización en</p>	

<sup>1</sup> Para efectos del Proyecto, "pequeñas ciudades" se refiere a aquellas con servicios administrados por organizaciones basadas en la comunidad o directamente por la municipalidad distrital.

Piloto.	de agua. 3-2 Las Municipalidades Distritales en las localidades del Proyecto Piloto incrementan la frecuencia de hacer asesoramiento a las JASS en base al manual de administración, operación y mantenimiento de las instalaciones. 3-3 Aumenta % de habitantes que llevan vida higiénica como consecuencia de las actividades de sensibilización.	saneamiento.	
4. Se consolida un sistema para difundir el contenido de los manuales de administración, operación y mantenimiento y de la sensibilización en saneamiento entre las Municipalidades Distritales y JASS / Comité de Agua que están fuera del área del Proyecto Piloto.	4-1. El 60% de las Municipalidades Distritales ubicadas en las áreas de Proyectos Piloto asesoran a las JASS / Comités de Agua que no son objeto de Proyecto Piloto, en base a los manuales. 4-2 Se ejecuta la capacitación sobre la administración, operación y mantenimiento del servicio de agua, así como sobre la sensibilización al 70% de las otras Municipalidades Distritales de la región de Lambayeque y Piura. 4-3 El 70% de las otras Municipalidades Distritales que han recibido la capacitación elaboran el plan de capacitación para las JASS /Comités de Agua.	4-1 Informe del Proyecto. 4-2 Informe de capacitaciones. 4-3 Plan de capacitación de Municipalidades Distritales.	
<b>&lt;Actividades&gt;</b>		<b>&lt;Aportes&gt;</b>	
1-1 Estudio de línea de base relativo al suministro de agua y saneamiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades de ambas regiones. 1-2 Estudio sobre los Gobiernos Regionales referente a: sistema de asesoramiento para la implementación de obras de suministro de agua, supervisión y asesoramiento a las Municipalidades Distritales, actividades realizadas, plan de nuevas obras, estudios realizados sobre la reparación, capacidad de ejecutar estudios, plan de estudio para la reparación, capacidad de diseñar, diseños ejecutados, especificaciones elaboradas y trámites de permisos y autorizaciones. 1-3 Estudio del sistema de asesoramiento del MVCS a los Gobiernos Regionales sobre operaciones de suministro de agua y saneamiento, estado de las actividades, asignación de presupuestos y capacidades. 1-4 Verificación de los temas relacionados con la ejecución de operaciones de suministro de agua y saneamiento en ambas regiones en base a los resultados arriba mencionados. 1-5 Modificación de la Matriz de Diseño del Proyecto (PDM), si fuera necesario, basado en los resultados. 2-1 El MVCS, en cooperación con los Gobiernos Regionales, elabora el borrador del manual de implementación de obras de suministro de agua que ejecutan los Gobiernos Regionales. 2-2 El MVCS planifica y ejecuta capacitaciones dirigidas a los Gobiernos Regionales sobre la implementación de obras de suministro de agua. 2-3 Selección de alrededor de 4 sitios como sitio candidato a Proyecto Piloto en las localidades rurales y pequeñas ciudades para implementar las obras de suministro de agua. 2-4 Ejecución por los Gobiernos Regionales en las 4 localidades rurales y pequeñas ciudades sujeto a los Proyectos Piloto las siguientes actividades: elaboración del plan de nuevas construcciones, estudio para identificar los lugares que requieran reparaciones, formulación del plan de reparación, preparación de diseños, elaboración de especificaciones y ejecución de trámites para la autorización de obras. 2-5 Ejecución por los Gobiernos Regionales de la implementación de obras	<b>Parte Japonesa</b> 1. Expertos. 2. Consultores locales. 3. Equipos y materiales: Vehículos. 4. Envío de becarios: algunos becarios por año. 5. Contratación local • Estudio: en 2 Regiones. • Alrededor de 5 sitios de Proyecto Piloto en cada región. 6. Gastos locales.  <b>Parte Peruana</b> 1. Ministerio de Vivienda, Construcción y Saneamiento (MCVS) • Asignación del personal necesario: 1 Coordinador del Proyecto. • Medios de desplazamiento de la contraparte. 2. Direcciones a cargo del suministro de agua y saneamiento del Gobierno Regional de Piura y de Lambayeque.  • Aseguramiento de la oficina del Proyecto, así como el suministro de muebles y materiales de oficina. • Asignación de coordinadores con dedicación completa al Proyecto (mínimo 3 personas por cada Gobierno Regional). • Asignación del personal necesario: ingenieros especializados. • Medios de transporte para la contraparte. • Recursos financieros necesarios para la ejecución de los Proyectos Piloto.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Se mantiene una buena relación entre los organismos relacionados.</li> <li>• Hay participación activa de las localidades rurales y pequeñas ciudades (incluyendo las obras e instalaciones de suministro de agua).</li> <li>• Se ejecutan sin demora los trámites legales en el Perú para la implementación de las operaciones.</li> <li>• Otros organismos donantes no cambian sus actividades.</li> </ul>	
		<b>&lt;Premisas&gt;</b>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• No se deteriora la seguridad.</li> </ul>	

<p>de suministro de agua, utilizando las empresas privadas en las 4 localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de los Proyectos Piloto.</p> <p>2-6 Realización del monitoreo por parte del MCVS de las actividades de los Proyectos Piloto de 2-4 y 2-5 ejecutadas por los Gobiernos Regionales.</p> <p>2-7 Revisión de manuales de implementación de obras de suministro de agua, considerando los resultados de los Proyectos Piloto.</p> <p>2-8 Selección de alrededor de 10 sitios de las localidades rurales y pequeñas ciudades donde las Municipalidades Distritales, JASS / Comités de Agua realizan los Proyectos Piloto para la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua, así como para la sensibilización sobre saneamiento. (Incluyendo las 4 localidades rurales y ciudades pequeñas seleccionadas en 2-3).</p> <p>2-9 Los Gobiernos Regionales, en colaboración con las Municipalidades Distritales de las localidades objeto de los Proyectos Piloto, elaboran el borrador de manuales para la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua (consolidación organizativa de las Municipalidades Distritales y JASS / Comités de Agua, elaboración del plan de administración, operación y mantenimiento, establecimiento y cobranza de tarifas, reparaciones de pequeña escala y método de obtención de los repuestos) y para la sensibilización en saneamiento que realizan las Municipalidades Distritales y JASS / Comités de Agua.</p> <p>2-10 Los Gobiernos Regionales ejecutan las capacitaciones relacionadas con la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua, así como la sensibilización sobre saneamiento a las Municipalidades Distritales y JASS / Comité de Agua que administran las operaciones de suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de los Proyectos Piloto.</p> <p>3-1 Ejecución por las Municipalidades Distritales y JASS / Comité de Agua de las localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de los Proyectos Piloto, de consolidación de la organización, elaboración del plan de administración, operación y mantenimiento, actividades de sensibilización, así como el establecimiento, cobranza y administración de tarifas.</p> <p>3-2 Las Municipalidades Distritales y JASS / Comités de Agua de las localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de los Proyectos Piloto adquieren los repuestos y realizan reparaciones de pequeña escala, en cooperación con los Gobiernos Regionales.</p> <p>3-3 Los Gobiernos Regionales y el MVCS realizan el monitoreo de las actividades de 3-1 y 3-2.</p> <p>3-4 Se revisa el borrador del manual de administración, operación y mantenimiento y el de la sensibilización en saneamiento, en base a los resultados de los Proyectos Piloto.</p>		
<p>4-1 Las Municipalidades Distritales objeto de los Proyectos Piloto realizan las capacitaciones relativas a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y a la sensibilización, dirigidas a todas las JASS / Comités de Agua de su jurisdicción, utilizando los manuales respectivos.</p> <p>4-2 Los Gobiernos Regionales realizan las capacitaciones relativas a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y a la sensibilización, de todas las Municipalidades Distritales, utilizando los manuales respectivos.</p> <p>4-3 Todas las Municipalidades Distritales de ambas regiones elaboran los planes de capacitación relativos a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y a la</p>		

<p>sensibilización, de todas las JASS y Comités de Agua de su jurisdicción.</p> <p>4-4 Los Gobiernos Regionales de Piura y Lambayeque celebran seminarios para compartir los resultados del Proyecto con otras regiones.</p>		
--	--	--



## Appendix 8: Schedule of the Midterm Review

			JICA	Consultant
			Leader (Ms. Yamamoto) Evaluation Planning (Mr. Inoue) Interpreter(Ms. Higuchi)	Evaluation and Data Analysis (Ms. Ohashi)
1	19-Jun	sun		Narita → Houston
2	20-Jun	mon		Huston → Lima
3	21-Jun	tue		Lima(11.20) → Piura (13.00) Meeting with Experts Meeting with WG1
4	22-Jun	wed		Meeting with Experts Meeting with Working Group 2 Meeting with Working Group 3
5	23-Jun	thu		Site Visit - San Jorge Interview with JASS, users and a PIC of Frias District Office
6	24-Jun	fri		Site Visit - Malacasi (AM) Interview with JASS and users. Visit Salitral District Office
7	25-Jun	sat		Piura (9.10) → Lima (10.40) (LA) Data Analysis
8	26-Jun	sun	NARITA(15.55) → Houston(13.50) (CO006) Houston(15.50) → Lima(22.25) (CO6975)	Data Analysis
9	27-Jun	mon	Internal Meeting Meeting with Counterpart of MVCS, Members of Joint Evaluation Team (11:00) Courtesy Call to MVCS(14:30-16:00) Lima(20.10) → Lambayeque(21.35) (LA2278)	
10	28-Jun	tue	Meeting with DRVS (10:30AM) Meeting with Regional Government (17.00)	Meeting with DRVS (9:00) Meeting with Regional Government (11:00) Meeting with Working Group 1 (14:30)
11	29-Jun	wed	Site Visit (Whole day) - El Espinal Interview with JASS and users. Visit Oyotun District Office Lambayeque → Piura(PM)	Site Visit (Whole day) - El Espinal Interview with JASS and users. Visit Oyotun District Office
12	30-Jun	thu	Meeting with Regional Government (8.00AM) Meeting with DRVS (9:00AM) Piura(18.30) → Lima (20.00)(LA2309)	Meeting with Working Group 2 (9:00) Meeting with Working Group 3 (14:30)
13	1-Jul	fri	Meeting with JICA (9:00AM) Meeting with COSUDE (11.00) Meeting with MVCS (15:00PM) Lima (20.00) → Lambayeque (21.35) (LA2278)	Site Visit (Whole day) - Humedades Interview with JASS and users. Visit Salas District Office
14	2-Jul	sat	Data Analysis & Drafting of the mid-term review report	
15	3-Jul	sun	Data Analysis & Drafting of the mid-term review report	
16	4-Jul	mon	Data Analysis & Drafting of the mid-term review report <b>Internal Meeting</b> <b>Meeting with DRVS (Piura &amp; Lambayeque)</b>	
17	5-Jul	tue	<b>Meeting with DRVS (Piura &amp; Lambayeque)</b> <b>Regional Level Steering Committee (CRD)(14:00PM-16:10PM)</b> Lambayeque(18.25) → Lima(19.40) (LA2277)	
18	6-Jul	wed	Meeting with JICA (9.00) Report to EOJ(10.00)	
19	7-Jul	thu	<b>Meeting with MVCS</b>	
20	8-Jul	fri	<b>Joint Coordinating Committee (CCC)(10:00AM-12:00PM)</b> Lima(22:30) → (CO1591)	
21	9-Jul	sat	→ New York(07.27) New York(11.05) → (CO1591)	
22	10-Jul	sun	→ NARITA(13.55)	

The meetings which need to be attended by Peruvian reviewer(s) are typed in bold.

**ATTACHED DOCUMENT 2**

**Joint Mid-Term Review Report**  
**on the Project for**  
**Institutional Reinforcement of Water Supply and Sanitation**  
**in North Area of Peru in the Republic of Peru**

8th of July, 2011

## List of Abbreviation and Acronyms Used

	In English	In Spanish (for abbreviations originated from Spanish words)
COSUDE	Swiss Agency for Development and Cooperation	Agencia Suiza para el Desarrollo y la Cooperación
DESA	Executive Authority of Environmental Health	Dirección Ejecutiva Salud Ambiental
DIGESA	Regional Environmental Health Authority	Dirección General de Salud Ambiental
DIRESA	Regional Health Authority	Dirección Regional de Salud
DRE	Regional Education Authority	Dirección Regional de Educacion
DRVS	Regional Housing and Sanitation Authority	Dirección Regional de Vivienda y Saneamiento
JASS	Sanitation Service Management Committee	Junta Administradora de Servicios de Saneamiento
JCC	Joint Coordinating Committee	
JICA	Japan International Cooperation Agency	
MINDES	Ministry of Women and Social Development	Ministerio de la Mujer y Desarrollo Social
MVCS	Ministry of Housing, Construction and Sanitation	Ministerio de Vivienda, Construcción y Saneamiento
ODA	Official Development Assistance	
OJT	On the Job Training	
PAPT	"Agua para Todoa (Water for all)" Program	Programa Agua para Todos
PDM	Project Design Matrix	
PO	Plan of Operation	
PRISAS	Project for Institutional Reinforcement of Water Supply and Sanitation in North Area of Peru	Proyecto de Reforzamiento Institucional del Suministro de Agua y Saneamiento en la Zona Norte del Perú
R/D	Record of Discussion	
WG	Working Group	

## Table of Contents

List of Abbreviation and Acronyms Used .....	2
Table of Contents .....	3
1. Introduction .....	4
1-1 Purpose of the Review .....	4
1-2 Member of the Review Team .....	4
1-3 Schedule of the Review .....	5
1-4 Methodology of the Review .....	5
2. Outline of the Project .....	7
2-1 Background .....	7
2-2 Summary of the Project .....	7
2-3 Administration of the Project .....	8
3. Achievement of the Project .....	10
3-1 Actual Input .....	10
3-2 Accomplishment of Activities .....	12
3-3 Achievement of Outputs .....	14
3-4 Prospect of Achieving the Project Purpose .....	19
3-5 Prospect of Achieving the Overall Goal .....	20
3-6 Project Implementation Process .....	20
4. Evaluation by Five Criteria .....	22
4-1 Relevance .....	22
4-2 Effectiveness .....	23
4-3 Efficiency .....	24
4-4 Impact .....	26
4-5 Sustainability .....	27
5. Conclusion .....	28
6. Recommendations and Lessons Learned .....	28

### - Appendices -

1. Project Design Matrix (PDM)
2. Plan of Operation (PO)
3. Inputs by the Japanese side
4. Inputs by the Peruvian side
5. List of Training
6. Evaluation Grid
7. Revision of PDM
8. Schedule of the Midterm Review

## 1. Introduction

“Project for Institutional Reinforcement of Water Supply and Sanitation in North Area of Peru” (hereinafter referred as “the Project”)<sup>1</sup> is a bilateral technical cooperation project between Japanese Government through Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred as JICA) and Peruvian Government through Ministry of Housing, Construction and Sanitation (hereinafter referred as MVCS). The Project started in June 2009 with the duration of 4 years. As the half of the project period had passed, the Midterm Review was carried out jointly by the Midterm Review Team consisted of the representatives from both governments, in accordance with the Evaluation Guideline of JICA.

### 1-1 Purpose of the Review

The purposes of the Midterm Review are;

- (1) to review the current status of the Project based on inputs, outputs, project purpose and to identify the problems to be solved;
- (2) to evaluate the Project in accordance with the five evaluation criteria, namely, relevance, effectiveness, efficiency, impact, and sustainability;
- (3) to consider the necessary actions to be taken and make recommendations for the Project.

### 1-2 Member of the Review Team

#### 1-2-1 Peruvian Side

Mr. Juan Sanchez Lazo	Public Works Coordinator of Rural Sanitation Operative Unit of Water for All Program, MVCS
Mr. Olinda Martínez	Investment Project Specialist of Program and Investment Office, MVCS
Mr. Carlos Saire Pillco	Project Specialist for Plans and Programs Division/ Sub Directorate of National Directorate of Sanitation, MVCS

#### 1-2-2 Japanese Side

Ms. Keiko Yamamoto	Leader/Waterworks & Sewerage Planning/ Senior Advisor, JICA
Mr. Hiromu Inoue	Evaluation Planning/Deputy Director, Disaster Management Division 2, Water Resources and Disaster Management Group, Global Environment Dept. JICA
Ms. Yuki Ohashi	Evaluation & Data Analysis/ Consultant Tekizaitekisho LLC

---

<sup>1</sup> In this report, it is also sometimes referred as PRISAS (abbreviation of the project name in Spanish) in order to differentiate with other project.

### **1-3 Schedule of the Review**

Series of meetings and discussions with Peruvian governmental authorities, organizations involved in the execution of the Project, and the project team, were held from June 20th to July 8th.

### **1-4 Methodology of the Review**

The Project was reviewed based on the Project Design Matrix (hereinafter referred to as “PDM”) of the Project, which is a summary table describing the outline of the Project. The actual PDM of the Project is PDM version 0<sup>2</sup>.

The following steps were taken in this Review.

#### **(1) Verification of Project Performance**

The degree of Project achievements, such as inputs, activities, outputs, and project purpose, were assessed with reference to Objectively Verifiable Indicators stated in the PDM version 0. To carry out this, various methods were applied including questionnaire, interviews, site observation, and discussion with relevant stakeholders.

#### **(2) Examination of Project Implementation Process**

The process of the project implementation was assessed from the various aspects (the details are shown in Appendix 6: Evaluation Grid).

#### **(3) Review by Five Evaluation Criteria**

The following five evaluation criteria were applied to analyze the Project as a whole.

Relevance	Relevance of the Project was considered from a viewpoint of the validity of the Project Purpose and Overall Goal in connection with the development policy of the Government of Peru and the needs of beneficiaries of the Project.
Effectiveness:	Effectiveness whether the Project has actually benefited the target group and whether the Project is effective. It also assesses whether the Project Purpose is being achieved as expected and whether that is in the result of the Project’s

---

<sup>2</sup> Although the contents of current PDM (version 0) has not been revised so far, due to some errors of Spanish descriptions in the Spanish version of PDM version 0, only those descriptive errors have been corrected by the project team. In this report, the corrected version (PDM 0e) was used.

Outputs.

**Efficiency:** Efficiency verifies whether the Project was efficient in terms of effective use of resources. The relationship between Inputs and Outputs is reviewed. In essence, Efficiency examines whether the input cost is appropriate for the degree of achievement on the Outputs and the Project Purpose.

**Impact:** Impact examines direct effects extended by the project in the long run and indirect effects. The analysis also includes the positive and negative impacts that were not expected when the Project was planned.

**Sustainability:** Sustainability of the Project is focused on institutional, financial and technical aspects by examining the current extent to what the achievement of the Project is sustained or expanded.

#### **(4) Recommendations**

The Review Team made the recommendations based on the results of review.

## **2. Outline of the Project**

### **2-1 Background**

The national average rate of access to potable water in Peru is 83% (UNICEF 2007). While the coverage rate of water supply is higher in urban area, as shown in the rate of capital cities such as Lima (89%), it is low in rural area of the country (65%). The access to safe sanitation facilities in rural area is also lower, comparing to urban area.

The Peruvian Government has been placing emphasis particularly on water and sanitation project as a countermeasure against poverty, and formulated “National Plan of Sanitation (2006 – 2015),” which aims to halve the number of population without access to potable water and sanitation by 2015 by means of the extension and the improvement of water supply and sewerage facilities. The current regime commits to implement the plan under the motto “Water for All”.

The Peruvian Government has been prioritizing the construction of water and sanitation facilities, due to the insufficiency of implementation capacities in regional governments, municipalities, and water and sanitation committees. The issues observed include; a weak capacity of regional governments to arrange the installation of water supply facilities, and a weak capacity of municipalities as well as water and sanitation committees in management, operation and maintenance of the water supply facilities.

Thus, this technical cooperation project was formulated to reinforce the capacity of organizations concerned in the implementation of water supply and sanitation projects in the regions of Piura and Lambayeque, where the rate of access to potable water is low. The project plan was approved and the Record of Discussion (R/D) of the Project was signed on February 4th, 2009. Then, the Project was commenced in June 2009.

### **2-2 Summary of the Project**

The outline of the project described in the PDM0 is as follows: <sup>3</sup>

#### **(1) Overall Goal**

Improve the situation of water supply and sanitation of the rural communities and small cities of the regions of Piura and Lambayeque.

#### **(2) Project Purpose**

Improve the capacity of carry out water supply and sanitation projects of the rural communities and small cities of the regions of Piura and Lambayeque.

#### **(3) Outputs**

---

<sup>3</sup> There is no English version of PDM prepared. The summary of the Project is sited from the “Narrative Summary” of the PDM written in the R/D (English version).



- 1) The water supply and sanitation situation of the rural communities and small cities of the regions of Piura and Lambayeque, their capacity to carry out water supply and sanitation projects and its tasks is verified.
- 2) The capacity of the regional governments of Piura and Lambayeque over the arrangement of the water supply installations (construction and large scale reparation) is strengthened.
- 3) The capacity of the municipalities and the water and sanitation committees, object of the pilot projects over administration, operation, maintenance and management of the water supply installations, as well as over the awareness about the sanitation, is strengthened.
- 4) The content of the handbook over the administration, operation, maintenance and management of the water supply installations, as well as over the awareness about the sanitation, is diffused to the municipalities and the water and sanitation committees of the regions of Piura and Lambayeque.

### **2-3 Administration of the Project**

The Project is managed by the following personnel<sup>4</sup>.

#### **1) Project Director**

“Agua para Todos” (Water for All) Program (PAPT) (Executive Director)

#### **2) Administrative Project Manager**

- Administrator Manager of PAPT of the Central Government
- Regional Manager of Social Development and Territorial Settlements of the Regional Government of Piura
- Regional Manager of Social Development of the Regional Government of Lambayeque

#### **3) Technical Project Manager**

- Engineering Director of PAPT of the Central Government
- Regional Director of Housing and Sanitation of the Regional Government of Piura
- Coordinator of North Frontier Project of the Regional Government of Piura
- Regional Director of Housing and Sanitation of the Regional Government of Lambayeque

#### **4) Technical counterpart personnel**

- Personnel assigned by the Director of PAPT of the Central Government
- Personnel assigned by the Regional Director of Housing and Sanitation of the Regional Government of Piura
- Personnel assigned by the North Frontier Project of the Regional Government of Piura

---

<sup>4</sup> This is refereed from R/D of the Project

- Personnel assigned by the Regional Director of Housing and Sanitation of the Regional Government of Lambayeque

### 3. Achievement of the Project

#### 3-1 Actual Input

##### 3-1-1 Input from the Japanese side

Following input has been provided so far by the Japanese side. The details of each input are shown in Appendix 3: Inputs by the Japanese side.

##### (1) Experts

The following experts are allocated as of the end of April 2011.

Fields of expertise	Number of experts	Total MM
Leader/operation and maintenance planning (including water supply planning)	1	9.50
Sub-leader/water supply planning 1/ground water development 1	1	7.00
Water supply planning 2/ground water development 2	1	7.36
Water supply planning 3/ground water development 3	1	9.00
Sanitation promotion planning	1	7.34
Maintenance of Water Treatment plant	1	- <sup>5</sup>
Total	6	40.20

##### (2) Local Consultant

The Project has made contract with Pedro Ruiz Gallo University in Lambayeque and Piura University in Piura, as local consultants for water quality inspection of the pilot projects' sites.

##### (3) Equipment and materials

So far, the equipment; including 4WD vehicles, computers, photocopiers and printers, was purchased in Peru and provided for each Region, which is worth a total of 64,390.00 US dollars. In addition, some equipment including a projector, potable conductivity meters, water level measures, GPS, and turbidity meters, which is worth 841,040 Japanese Yen (approximately 9,312 US dollars<sup>6</sup>), was brought from Japan and has been utilized for the project activities.

##### (4) Counterpart training in Japan and/or third countries

Any counterpart training in Japan and/or third countries has not been realized yet.

##### (5) Local Sub-contract

In the implementation of pilot projects, the Project made contract with 2 private firms so far for the rehabilitation of 2 water supply facilities in Lambayeque and 1 facility in Piura.

<sup>5</sup> It is planned to be assigned from June 2011.

<sup>6</sup> Converted to US dollars using JICA's fixed rate for the month of each expense.

(6) Other schemes

There is no other scheme of Japanese Cooperation which is directly related to the Project done in the target Regions.

(7) Local Cost of the Project

As of March 2011, a total of 47,580,255 Japanese Yen was spent for project activities.

**3-1-2 Input from the Peruvian side**

Following input has been provided so far by the Peruvian side. The details of each input are shown in Appendix 4: Inputs by the Peruvian side.

**[Input from MVCS]**

(1) Allocation of counterpart personnel

At the operational level, 2 professional specialists of PAPT are assigned as coordinators of the Project.

(2) Means of transportation for the counterpart personnel

As of May 2011, a total of S/. 35,557 Nuevos Soles has been disbursed for the trips necessary of its counterpart personnel for the project activities.

(3) Others

MVCS has budgeted S/. 138,323 Nuevos Soles for a contract for the preparation of a manual in the construction and implementation of water supply facilities.

**[Input from Water Supply and Sanitation Sector of Regional Government of Piura and Lambayeque]**

(1) Allocation of project office, furniture, and stationeries

The Project Offices with furniture are allocated in both Regional Housing and Sanitation Authority (DRVS) in Piura and Lambayeque.

(2) Allocation of counterpart personnel

At the operational level, 8 staff members from DRVS of Lambayeque and 11 staff members from DRVS of Piura are allocated as counterpart personnel to the Project at the moment of the Midterm Review.

(3) Means of transportation for the counterpart personnel

As of April 2011, a total of S/. 7,555 Nuevos Soles in Lambayeque, and a total of S/. 6,370 Nuevos Soles in Piura have been spent for the trips of counterpart personnel of each region in the project activities.

(4) Necessary resources for the implementation of pilot projects and other activities

As of April 2011, the Regional Government of Lambayeque spent S/. 74,546 Nuevos Soles in total, and the Regional Government of Piura spent S/. 302,371 Nuevos Soles in total for the implementation of the Project. The costs borne by both Regions have been used for the necessary costs for the project activities, such as stationeries and office equipments, vehicles and transportation, and materials for activities, etc.

### 3-2 Accomplishment of Activities

The pilot projects of PRISAS consist of 3 components as described below, and the planned number of pilot project sites and the actual number are also shown in the following table.

Table: Components and number of sites for the Pilot Projects

Component of Pilot Project	Target Region	Number of sites (planned)	Number of sites (actual)
Component 1: Construction and rehabilitation (large-scale reparation) of water supply facilities	Lambayeque	3	2 construction completed + 1 suspended
	Piura	3	1 construction recently completed +1 under preparation for bidding + 1 cancelled
Component 2: Management, operation and maintenance of the water supply facilities	Lambayeque	5	2 under implementation + 1 suspended + 2 newly selected
	Piura	5	2 partly under implementation + 2 newly selected + 1 to be selected
Component 3: Awareness raising in sanitation	Lambayeque	5	2 under implementation + 1 suspended + 2 newly selected
	Piura	5	2 under implementation + 2 newly selected + 1 to be selected

Note: All components are implemented in the same sites, except that some of the sites do not have component 1.

The baseline survey and the implementation of Component 1 and 2 have been delayed due to the following reasons, and the schedule as a whole has been delayed for about 3 months at the moment of Midterm Review, comparing to the original plan.

- In Piura, at the beginning of the Project, sufficient technical professionals were not been assigned in DRVS to realize project activities.
- In Piura, the counterpart personnel assigned to the Project were not secured their positions

in DRVS and many of them were changed during the project period up to now.

- In both Regions, sufficient transportation was not provided to the project activities, especially in the first year of the Project during the implementation of baseline survey.
- Changes of local governments (in both Regions and 3 out of 4 district municipalities) in January 2011 resulted in changes of personnel involved in the Project.
- In Piura, road to access to pilot project site in San Jorge was damaged during rainy season.

The Component 3 has been progressed as planned in general, although there was certain influence of delays in some activities of Component 1 and 2 which closely interrelated to the activities of Component 3. Also, changes of administrators of Sanitation Service Management Committee (JASS) (2 out of 4 JASS: El Espinal y San Jorge) during the implementation of project activities have affected somehow its activities as well.

The actual progress of pilot projects is as shown in the following table. Those pilot project sites for Component 2 and 3, which have been newly selected (and has been in selection process) will start project activities as soon as they sign the agreement between respective district municipalities and the DRVS.

Table: Progress of the Pilot Projects

	Pilot project site	District Municipality	Progress in each component of the pilot project (as of June 2011)	
<b>Lambayequ</b>				
1	El Espinal	Oyotún	1	• Completed the construction, and in operation since March 2011.
			2	• Training and monitoring on the operation and maintenance of water supply facilities in progress. • Training and monitoring on the management of water supply in progress. • New tariff system has started from May 2011.
			3	• Implemented workshops to improve sanitation related practices for community people.
2	Humedades	Salas	1	• Completed the construction, and in operation since November 2010.
			2	• Training and monitoring on the operation and maintenance of water supply facilities in progress. • Training and monitoring on the management of water supply in progress. • New tariff system has started from January 2011.
			3	• Implemented workshops to improve sanitation related practices for community people.
3	La Ramada	Salas	1	• Preparation of technical profile has been suspended (Because the municipality has elaborated other project in the same sites).
			2	• Not implemented yet
			3	• Not implemented yet
4	Cuculí	Chongoyape	2	• Not implemented yet
			3	• Not implemented yet
5	Villa El Milagro	Eten	2	• Not implemented yet
			3	• Not implemented yet
<b>Piura</b>				

1	San Jorge	Frías	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>Recently completed the construction, and in the process of completion test.</li> </ul>
			2	<ul style="list-style-type: none"> <li>Training on the operation and maintenance of water supply facilities has not implemented yet.</li> <li>Although training on management of water supply had been started, the administrative members of JASS were recently changed in May 2011.</li> </ul>
			3	<ul style="list-style-type: none"> <li>Implemented workshops to improve sanitation related practices for community people (approx. 120 people).</li> <li>Monitoring (visiting houses) has been done for 3 times.</li> <li>Administrative members of JASS were recently changed in May 2011.</li> </ul>
2	Malacasí	Salitral	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>Preparing the documents for bidding to select contractors.</li> </ul>
			2	<ul style="list-style-type: none"> <li>Formats for management were introduced.</li> <li>Setting of water tariff and rest of activities will be introduced after the completion of the construction.</li> </ul>
			3	<ul style="list-style-type: none"> <li>Implemented the workshops to improve sanitation related practices for community people (approx. 200 people)</li> <li>Monitoring (visiting houses) has been done for 3 times.</li> </ul>
3	Macacará	La Huaca	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>Not implemented yet</li> </ul>
			3	<ul style="list-style-type: none"> <li>Not implemented yet</li> </ul>
4	Cumbibira	Catacaos	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>Not implemented yet.</li> </ul>
			3	<ul style="list-style-type: none"> <li>Not implemented yet</li> </ul>
5	---	---	2	In the process of selection.
			3	

The rest of activities will be implemented in accordance with the Plan of Operation (PO) attached in Appendix 2, which has been revised in March 2011.

### 3-3 Achievement of Outputs

The achievement so far of each Output on the basis of their indicators<sup>7</sup> has been identified as followings.

Output 1: The water supply and sanitation situation of the rural communities and small cities of the regions of Piura and Lambayeque, their capacity to carry out water supply and sanitation projects and its tasks is verified.

Indicators:

- 1.1 Baseline of the situations in water supply and sanitation of rural communities and small cities in both regions.
- 1.2 Inventories related to the situations of water supply facilities and their management and maintenance in rural communities and small cities in both regions.
- 1.3 Implementation of interview to JASSS/ water committees.

(1) Indicator 1.1: Baseline of the situations in water supply and sanitation of rural communities and small cities in both regions.

The baseline survey was carried out targeting 20 communities in Lambayeque and 28

<sup>7</sup> The English descriptions of Outputs are sited from Record of Discussion signed in February 2009, and indicators are provisionally translated in English from Japanese PDM ver.0.

communities in Piura, in total 48 communities. These communities were selected by DRVS of each Region, considering the issues and problems existed in water supply in the areas. In these 48 communities, the Project conducted the investigation in actual situation of water supply facilities, and the interview and questionnaire survey in water supply and sanitation, including actual situation of operation and maintenance.

(2) Indicator 1.2: Inventories related to the situations of water supply facilities and their management and maintenance in rural communities and small cities in both regions.

The results of the above mentioned baseline studies with 48 communities were compiled in each region as the inventories.

(3) Indicator 1.3: Implementation of interview to JASSS/water committees.

As it is described above, the interview was carried out as a part of baseline survey. The interview was conducted with water/sanitation committees as well as community people in general.

Output 2: The capacity of the regional governments of Piura and Lambayeque over the arrangement of the water supply installations (construction and large scale reparation) is strengthened.
--

Indicators:
-------------

2.1 Manuals related to the installation (construction and large-scale reparation) of water supply facilities.
---

2.2 Number of staff of regional government who received training.
---

2.3 Implementation of pilot projects in 6 rural communities and small cities.
---

(1) Indicator 2.1: Manuals related to the installation (construction and large-scale reparation) of water supply facilities.

MVCS has contracted a consultant in May 2011 to realize this activity, and it will be completed by August 2011. The contents have been discussed with DRVS in both target regions, and a workshop will be carried out with both DRVS in July 2011 to review the prepared manual. Although it was not clear at beginning where responsibility lies between MVCS and DRVS in both target regions in terms of the preparation of this Manual, after discussion it was decided in August 2010 that MVCS does take in charge of it in accordance with the R/D.

(2) Indicator 2.2: Number of staff of regional government who received training.

The activities related to the construction and rehabilitation (large-scale reparation) of water supply facilities (Component 1) have been carried out mainly by the counterpart personnel of the Working Group 1 (WG1). There are 3 members in the WG1 in each DRVS in Piura and Lambayeque at the moment of Midterm Review. The technical transfer from Japanese experts to the counterpart



personnel has been taken place through OJT for the implementation of pilot projects, mainly in the following contents.

- Preparation and design of a plan (profile and technical documents) which secures a efficient operation of construction.
- Technical capacity to realize the construction of water supply facilities from planning stage.
- Selection of contractors and other service providers through bidding etc.
- Construction management, etc.

DRVS in Piura, as an institution, had no experiences in the preparation of profiles and technical documents, nor in the construction and rehabilitation of water supply facilities before the Project. Therefore, they did not have personnel with such specialties, and had to newly contract personnel with such specialties and find some personnel of the Regional Management of Infrastructure to have them temporary allocated in DRVS in order to carry out this Component 1. DRVS in Lambayeque had experiences in preparation of profiles and technical documents, but they had never engaged in the construction process of water supply facilities.

(3) Indicator 2.3: Implementation of pilot projects in 6 rural communities and small cities.

The pilot projects of the Component 1 were planned to be implemented in 6 sites (3 in each region) in the original design of the Project. However, the actual number of pilot projects has been reduced, due to the following situations caused during the implementation of project.

- Piura: It was difficult to complete 3 construction works by the end of second year as determined in the original plan, mainly because of the insufficiency of technical staff necessary for the preparation of technical documents and construction work. Therefore, in January 2011, it was decided to work only with 2 pilot projects.
- Lambayeque: It was identified that one of 3 pilot project sites which were selected based on the criteria determined by the Project, La Ramada had been also listed in the project of “Agua para Todos”. Although it was necessary to be deleted from the list of any other project/programme in order to be eligible for the pilot project of PRISAS, La Ramada is still listed for “Agua para Todos” at the moment. Therefore, the activities for the preparation of construction in La Ramada have been suspended.

Output 3: The capacity of the municipalities and the water and sanitation committees, object of the pilot projects over administration, operation, maintenance and management of the water supply installations, as well as over the awareness about the sanitation, is strengthened.
---

Indicators:

- 3.1 Manuals related to management, operation and maintenance of water supply facilities and the awareness raising in sanitation.
- 3.2 Number of staff of municipalities and JASSS/water committees who received training.
- 3.3 Implementation of pilot projects in 10 rural communities and small cities.

- (1) Indicator 3.1: Manuals related to management, operation and maintenance of water supply facilities and the awareness raising in sanitation.

**Management, operation and maintenance of water supply systems (Component 2):**

The draft of the Manuals have been prepared by counterpart personnel of Working Group 2 (WG2) in both Lambayeque and Piura, and WG2 of Piura will take main role in the compilation of both drafts into a single manual. Although it was considered that the 2 types manuals would be necessary, one is for the use of DRVS, and the other is for District Municipalities and JASSs, since it was found that the contents would be mostly same for both types, it was decided that they prepare only single type of manual which contains the roles and functions of each actors in each chapter. The main contents of the Manual are activities of JASS which takes in charge of OJTs in the administration, operation, maintenance and management of water supply.

**Awareness raising in sanitation<sup>8</sup> (Component 3) :**

The counterpart personnel of Working Group 3 (WG3) in each region have been working in this component. In this component, WG3 has established a channel of collaboration, “Multi-Sector Team”, with Regional Health Authority (DIRESA), Executive Authority of Environmental Health (DESA), Regional Education Authority (DRE) and the Ministry of Women and Social Development (MINDES) (only in Piura), who have more experiences in the awareness raising in sanitation. The preparation of the Manuals for beneficiaries has been carried out drawing on their experiences and existing manuals, getting their active collaboration. Also, a coordinator of the Project in MVCS has given advices based on his/her expertise. The drafts have been prepared by each region, and WG3 of Lambayeque will compile the 2 drafts into one Manual. The draft manuals are unique in their regional characteristics, although both of them contain same basic information on water and sanitation. The draft manuals have been already used in the workshops at communities, and they will be revised later in the third year of the Project. In addition, a draft of Manual for JASSs and District Municipalities will be prepared by August 2011.

- (2) Indicator 3.2: Number of staff of municipalities and members of JASSs/water committees who

---

<sup>8</sup> The contents of awareness raising in sanitation in this Project include: ideas in potable water, water supply service, saving water, contamination of water, diseases caused by use of contaminated water, chlorine treatment, habit of paying water tariff, adequate hygiene practices, treatment of excrement, cleaning, management of solid waste, treatment discharged water, etc.

received training.

**Management, operation and maintenance of water supply facilities (Component 2):**

The training in this component has 2 different part; 1) operation and maintenance of facilities, and 2) management of water supply system. The strengthening of capacities of District Municipalities and JASSs in 1) is undertaken by the WG1, and 2) is in charge of WG2, under the guidance of Japanese experts.

Regarding the 1), so far On the Job Training (OJT) has started in the pilot projects sites where the construction of water supply facilities has been completed, i.e. El Espinal and Humedades in Lambayeque. In addition to an operator of the facilities, some of the administrative members of JASS, which normally consists of 5-6 members, participate in each OJT. The contents of training up to the moment include; roles and activities of JASS after the completion of construction work, and operation of water supply facility (injection of chlorine, monitoring of chlorine residual, and checkup of facilities) (for more detail, refer to Appendix 5 “List of Training”).

Regarding 2) management of water supply system, the capacity development has been implemented through OJT and class room training. The training has started in El Espinal and Humedades in Lambayeque, and San Jorge and Malacasi in Piura. The participants of the training are personnel of District Municipality and the administrative members of JASS. The contents of training so far include; water supply management in general, establishment of JASS, constitution of JASS, explaining the new management to community people, setting of new tariff<sup>9</sup>, and making contract with water users.

**Awareness raising in sanitation (Component 3):**

The OJT in this component has been realized in 4 pilot project sites, namely El Espinal and Humedades in Lambayeque and San Jorge and Malacasi in Piura. The participants of the training are personnel of district municipalities and the administrative members of JASS, as same as the other components. The contents of training so far include; awareness raising in sanitation in general, preparation of manuals, preparation for awareness raising workshop, realization of awareness raising workshop, and monitoring.

In both Component 2 and 3, the participation of personnel of each district municipality has not been strengthened yet so far in some communities where their local government has changed in January 2011. Also, the participation of administrative members of JASS is limited only to the President and Treasurer in some cases in Lambayeque. In addition, other related personnel, such as a staff member of health center who monitors water quality, also have been participating in some

---

<sup>9</sup> In this Project, “Tariff” refers costs for administration, operation, maintenance, and replacement for water supply system (including cost for sewerage in some sites).

OJTs.

(3) Indicator 3.3: Implementation of pilot projects in 10 rural communities and small cities.

As described above, so far the pilot projects are currently under implementation in 4 sites (El Espinal and Humedades in Lambareque, San Jorge and Malacasí in Piura).

Output 4: The content of the handbook over the administration, operation, maintenance and management of the water supply installations, as well as over the awareness about the sanitation, is diffused to the municipalities and the water and sanitation committees of the regions of Piura and Lambayeque.
---

Indicators:
-------------

4.1 Number of the implementation of training to the Municipalities.
---

4.2 Preparation of training plan for JASSs/water committees.
--

4.3 Implementation of seminars.
---------------------------------

Regarding the Output 4, the activities are planned to be implemented in the final year of the project period, after completing the preparation of manuals and activities of pilot projects. Therefore, there is no progress identified at the moment of Midterm Review.

### 3-4 Prospect of Achieving the Project Purpose

The achievement so far of the Project Purpose on the basis of indicators<sup>10</sup> has been identified as followings.

Project Purpose: Improve the capacity of carry out water supply and sanitation projects of the rural communities and small cities of the regions of Piura and Lambayeque.
---

Indicators:
-------------

1. Number of improved water facilities
--

2. Number of Municipalities and water/sanitation committees which improved their capacities in the management and maintenance of water/sanitation facilities, as well as the awareness raising in sanitation.
---

(1) Indicator 1: Number of improved water facilities

So far the construction of water supply facilities is implemented in 3 sites, namely El Espinal and Humedades in Lambayeque and San Jorge in Piura. Also, the WG1 of Piura has been preparing the tender specification for Malacasí, to be able to start the construction from August 2011.

(2) Indicator 2: Number of District Municipalities and water/sanitation committees which improved

---

<sup>10</sup> The English description of Project Purpose is sited from Record of Discussion signed in February 2009, and indicators are provisionally translated in English from Japanese PDM ver.0.

their capacities in the management and maintenance of water/sanitation facilities, as well as the awareness raising in sanitation.

The number of district municipalities and JASSs which have been implemented pilot projects of the Component 2 and 3 is same 4 sites, as described above as the pilot project sites for Component 1. According to the original plan, the total number of pilot project in the Component 2 and 3 will be 10 in total by the end of project period.

### **3-5 Prospect of Achieving the Overall Goal**

Regarding the Overall Goal, the current situations on each indicator<sup>11</sup> are as described below.

Overall Goal: Improve the situation of water supply and sanitation of the rural communities and small cities of the regions of Piura and Lambayeque.
--

Indicators:
-------------

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. Number of rural communities and small cities which have adequate water supply and sanitation facilities.</li><li>2. Number of rural communities and small cities which maintain and manage water and sanitation facilities appropriately.</li></ol> |
|--|

(1) Indicator 1: Number of rural communities and small cities which have adequate water supply and sanitation facilities.

There is no definition of “adequate water and sanitation facilities” clarified in the PDM. However, in terms of water supply, 530 (44%) out of 1,214 communities (population under 2,000), and 12 (80%) out of 15 small cities (population from 2,001 to 30,000) have water supply in Lambayeque, and 915 (36%) out of 2,548 communities and 94 (67%) out of 140 small cities have water supply in Piura, according to the results of investigation realized by DIGESA in 2006. There is no more recent information available at the moment.

(2) Indicator 2: Number of rural communities and small cities which maintain and manage water and sanitation facilities appropriately.

For this indicator also, it is not clear how to judge the appropriateness of the maintenance and management of water and sanitation facilities.

### **3-6 Project Implementation Process**

(1) Management and operation of the Project

Joint Coordinating Committee (JCC) has held once in March 2010, and Regional-level Steering

---

<sup>11</sup> The English description of Overall Goal is sited from Record of Discussion signed in February 2009, and indicators are provisionally translated in English from Japanese PDM ver.0.

Committee has been realized twice, in February 2010 and October 2010, in order to report progress of the project activities and discuss operation plan and other related issues. Apart from these official occasions, the counterpart personnel of MVCS visits both target regions periodically to monitor the project activities.

The communication among the actors involved in the Project is good in general at the operation level, although in Piura there is a room for improvement in the information sharing among each component in order to manage the Project as a whole. It has improved by setting weekly meeting among the different components at counterpart personnel level.

In both Piura and Lambayeque, the coordination with Regional Government to support securing the smooth execution of necessary costs for project activities and assigning of human resources, as well as to collaborate with other departments and sections of regional government in the water supply projects, has not been sufficiently established after the change of regional governments in January 2011, except to the collaboration of Multi-Sector Team in Component 3 and Department of Infrastructure for the execution of construction in Component 1.

#### (2) Allocation of counterpart personnel

In Piura, at the beginning of the Project, there was no sufficient professional human resource necessary to implement project activities in DRVS, and they were temporary employed or assigned from other department of regional government. Also, since for most of counterpart personnel their positions are not permanent and secured, the changes of personnel have been frequently happened (for the detail of allocation of counterpart, refer to Appendix 4: Inputs by the Peruvian side). Meanwhile in Lambayeque, all counterpart personnel allocated to the Project are permanent employees of DRVS.

#### (3) Participation of district municipalities and communities

The participation of district municipalities and communities has been generally sufficient so far. However, there was a change of government in 3 district municipalities out of 4 in pilot projects, and some personnel involved in the Project were changed. Also the administrative members of JASSs in 2 pilot projects (El Espinal in Lambayeque and San Jorge in Piura) were changed, which requires implementing the training again for new members. Also, in some pilot sites the participation of the administrative members is still limited only to the President and Treasurer. Although the participation of communities are moderate, it has been a time consuming process for all the actors involved at community level to raise their awareness to get them understand the new tariff and other related changes of management system introduced by the Project.

#### (4) Project Management based on the PDM

The PDM has not been revised so far. It is necessary to revise some contents based on the actual

situations, in order to manage the Project in accordance with the PDM.

## **4. Evaluation by Five Criteria**

### **4-1 Relevance**

The Project is high in relevance in terms of needs and priority of Peru, Japanese assistance strategies, as well as suitability as means to contribute to the needs as described below.

#### (1) Needs of Peruvian society and priority for Peruvian Government

The National Sanitation Plan 2006-2015 (Plan Nacional de Saneamiento 2006-2015), which aims at the expansion of service coverage, modernization of administration and management in water supply and sanitation sector, improvement in sustainability and quality of services, and achievement of economical feasibility of service providers, is a valid national plan at the moment, and the Project is highly relevant to this plan. Also, the improvement of water supply is one of the most prioritized issues in the Regional Plan for both Piura and Lambayeque Regions (Plan de Desarrollo Regional Concertado de Lambayeque 2011-2021, and Plan de Desarrollo Regional Concertado de Piura 2007-2021).

#### (2) Japanese Official Development Assistance (ODA) policy

According to the latest assistance policy of JICA, “Country Assistance Policy: Peru” prepared in April 2009, the improvement of water supply and sanitation is considered as one of the prioritized themes under the strategic field of “alleviation of poverty and reduction of disparity”. The Project PRISAS is allocated as one of the component in Water Program of JICA’s assistance in Peru.

#### (3) Suitability as means

The Project has been working in 3 components to solve the issues related to rural water supply and sanitation, combining the construction of water supply facilities and the improvement of management and operation of water supply facilities, as well as the awareness raising in sanitation. It is considered quite appropriate by actors involved in the Project, to contribute to the existing issues in rural water supply, especially where community people merely have an idea of “management of facilities” which implies proper water tariff system and maintenance.

Also, the application of water meters and water tariff based on amount of consumption in the rural communities is a new trial in Peru, and it is considered being adequate by counterpart personnel both in Lambayeque and Piura, based on their experiences in the pilot projects up to the moment.

On the other hand, although the Project is designed to improve technical capacities of DRVS which was considered as a core organization to improve rural water supply and sanitation, at the beginning of the Project their roles and responsibility in these issues were not clearly defined at

regional level in both regions, and the relationship with other related department and/or divisions was not adequately established. Also, sufficient human and financial resources were not allocated to assume main roles in the 3 Components of the Project.

#### (4) Collaboration and demarcation with other water supply and sanitation projects

At regional level, Regional Management (Gerencia) of Infrastructure executes most of construction works of water supply facilities which are financed by the regional government. Also, in Piura some professionals of Northern Frontier Program under Regional Management of Social Development manage regional counterpart portions of “Agua para Todos” Program implemented in the region, which include construction of facilities and training of JASS in the management, operation and maintenance, although the lack of financial resource does not allow them to proceed their activities. These functions exist parallel to the project activities in DRVS, even since before the Project, and it is under the process of re-structuring.

At national level, there are different projects and programs related to water supply and sanitation in rural communities. MVCS implements “Agua para Todos” Program, which consists of components of construction or rehabilitation of water supply facilities and capacity development of water users’ committee such as JASS, directly in rural communities, including Lambayeque and Piura. There are other similar projects financed by different donors such as Luxemburg, Spain and IDB in other regions in Peru. One of such Project is implemented by Swiss Agency for Development and Cooperation (Agencia Suiza para el Desarrollo y la Cooperación: COSUDE). COSUDE has a plan to disseminate their capacity development model to Lambayeque and Piura, and it may overlap with activities of PRISAS.

## **4-2 Effectiveness**

There is moderate effectiveness of the Project so far, considering the actual progress of activities and capacity development in the counterpart personnel of DRVS.

#### (1) Prospect of achieving the Project Purpose

The DRVS in both regions has been strengthening their capacities in the implementation of water supply and sanitation projects in rural communities in the aspects of 3 components introduced by the Project, considering the progress of achievement in Output 1, 2, and 3 (as described in the “4-3 Efficiency”). However, so far the level of achievement in capacity development for the District Municipalities and JASSs differs depending on their situation and progress of activities, and it is difficult to foresee the level of final achievement yet. Meanwhile, in order to measure the level of achievement of the Project Purpose more objectively, it is necessary to reconsider the indicators described in the actual PDM version 0.



## (2) Causal relationship between the Outputs and the Project Purpose

Although some achievement has been observed as mentioned above, in order to measure the level of achievement of the Project Purpose as a result of achieving the Outputs, it is necessary to reconsider the indicators, defining what it should be like after the capacity is improved by the end of project period by achieving the 4 Outputs.

Regarding the important assumptions to achieve the Project Purpose, there is a room for improvement in the relationship of the Project with regional governments, to be fully recognized and supported as a function of regional government to improve rural water supply. As to the other assumptions, “Active participation of target communities and small cities (including the installation of water facilities)”, it is more appropriate to consider it as an assumption to achieve Outputs, and also “Issues pointed out are improved” and “Continue identifying the actual situations” are not clear as important assumption to achieve Project Purpose.

### **4-3 Efficiency**

The Project Teams in both Regions have been making efforts to implement project activities efficiently under their limited conditions, and achieving certain progress in each component of the pilot projects. However, due to some issues including delays in some activities, insufficiency of human resources (in Piura), as well as changes of Governments (Regions and District Municipalities), the efficiency of the Project was not satisfactory in the first half of the project period.

#### (1) Level of achievement of the Outputs

Although it is difficult to know the level of achievement with the actual indicators of outputs which do not interpret the level of achievement in especially Output 2 and 3, the current situations of achievement in Output 1, 2 and 3 were identified as followings. These achievements have been largely affected by the insufficiency and changes of human resource in the case of Piura, and will be affected further if current counterpart personnel are changed during the project period.

##### Output 1:

This Output represents the preparative activities to start activities related to the Output 2 and 3, and therefore the activities of Output 1 were realized at the beginning of the Project in both Regions. All activities to verify the water supply and sanitation situation of the rural communities, as well as their capacity to carry out water supply and sanitation projects and its tasks were realized, as described in the “3-3. Achievement of Outputs”.

##### Output 2:

The counterpart personnel of WG1 of both Regions carried out a series of practical works for

the construction of water supply facilities, from the preparation of profiles up to the completion. The counterpart personnel in both Regions, who are professionals in Engineering or Architecture, consider that they gained good experiences through the pilot projects, although there are more different skills and knowledge to learn depending on the types of water supply systems and geographical characteristics of sites.

### Output 3:

Regarding the personnel of District Municipalities, although they are collaborative to the pilot project, the level of achievement in their capacity development so far differs in both Component 2 and 3 depending on the Municipalities. The main reason of the difference is in their participation and involvement in the project activities. In some municipalities their participation is still limited, mainly due to the following situations;

- Due to the change of administration in January 2011, the staff members in charge of the pilot project were changed in some municipalities (3 out of 4 pilot sites).
- In some municipalities, due to the limitation of human and financial resources, staff in charge of water and sanitation has not been assigned, or the staff member concurrently has other tasks in the municipalities.

Since the activities with District Municipalities will be developed further in the rest of project period, the Project will continue working with them to strengthen their involvement and develop their capacity.

As to the administrative members of JASS, their level of achievement in capacity development in both Component 2 and 3 differs mainly because of the difference in the progress of activities. In the Component 2, the training has been in progress in El Espinal and Humedades, and they have been already working on their daily operation, including the new tariff system<sup>12</sup>. In the case of San Jorge, it is under the training process for operation and maintenance at the moment. In any cases, the monitoring and assistance are important since various concerns about operation and maintenance were mentioned by members of JASS in the interview of the Midterm Review, especially about chlorination. In the Component 3, Malacasi has already started house by house monitoring activities with each member of JASS and other actors concerned. But in other sites, the Project will continue working to strengthen their capacity and initiatives in this theme.

In this Output, although it directly refers capacity development of District Municipalities and

---

<sup>12</sup> Actual situation of the collection of water tariff in each pilot site is as followings; 1) in El Espinal, billing based on the new tariff was started in May 2011, and half of the users have paid as of June 2011. It is still in the process of introduction of new system, and considered that the due for the payment is not clearly understood by users (some of them think it every month, and some of them think every 2 months). 2) in Humedades, billing based on the new tariff was started in March 2011. Out of 59 households, water supply was suspended in 4 households so far, due to the delay in payment, but in all the cases the service was restarted after the payment.

JASSs, it is also important to strengthen capacities of counterpart personnel at regional level so that they can provide orientations necessary to District Municipalities and JASSs. Regarding the Component 2, in Lambayeque training has been in progress in 2 pilot sites and the counterpart personnel have prepared the format necessary and experienced the process of capacity development of JASSs. In Piura, although it is still in process, they also have been development their own capacity to orient JASSs and District Municipalities in this theme. In both Regions they think that they can build enough capacity by the end of the project period, through the activities with additional pilot sites in the rest of project period.

As to the Component 3, most of activities have been implemented as planned so far, and collaborative relationship with other actors at regional level has been developed. The counterpart personnel of WG3 have gained experiences in the preparation of manuals for communities and implementation of workshops. In the latter half of the project period, a manual for JASSs and district municipalities will be prepared, and pilot projects in 3 additional sites will be started, while the monitoring activities are continued and strengthened.

#### (2) Timing, quality and quantity of the Inputs

In terms of the input by Peruvian side, as mentioned in the other section, the quantity of human and financial resources has not been sufficient, especially in professional personnel as technical counterpart of the Project in Piura and budget necessary for the project activities in both Regions.

As to the input provided by Japanese side, the following issues were pointed out by actors involved in the Project.

- The vehicles were not provided in the first year of the Project, when transportation was largely necessary for baseline survey.
- The counterpart training in Japan or third country has not been realized yet.

#### **4-4 Impact**

It is considered too early to analyze the Impact both in the aspects of prospect of achieving the Overall Goal and multiple effects of the Project.

#### (1) Prospect of achieving the Overall Goal and Causal Relationship between the Project Purpose and the Overall Goal

Since it is still at midterm of project period and the attainment goals of Project Purpose are not clearly defined by the indicators yet, it is considered to be too early to analyze the possibility of achieving the Overall Goal.

In terms of the improvement of sanitation situation, the idea of “sanitation” is broadly interpreted in Peru, including water supply as well as sewerage, while the Project has been working only for the awareness raising and does not have a component to work on the sanitation facilities

such as sewerage and toilets. In this sense, the installation of sanitation facility will not be treated as the indicator to measure the impact of the Project.

#### (2) Multiplied effects of the Project

As the improvement of water supply in rural communities can result in various positive impacts such as better health conditions and improved quality of life, in El Espinal and Humedades some of such comments, including the reduction of time and cost to fetch water, better access (hours) to water, better quality of supplied water, etc. were heard in the interview with JASS and users.

### **4-5 Sustainability**

In both Regions of Piura and Lambayeque, the Regional Governments have been undertaking its re-structuring of organizational structure at the moment. In both cases the positioning of DRVS will be changed and it will cause certain effects in its role and function in respective Regions. The sustainability of the Project is largely depending on the results of this re-structuring.

#### (1) Policy and institutional aspects

As the improvement of water supply is one of the highest priority issues at any levels of government in Peru, the political support in this sector will be continued without doubt. However, at the moment it is not clear how MVCS and Regional Governments strengthen the implementation structure to put such prioritized issue into practice.

#### (2) Organizational and financial aspects

The Regional Governments have been in the process of re-structuring to establish more efficient administration structure. At the moment of the Midterm Review, the decision has not been announced officially by both Governments, and it takes more time to see the results. In any cases, it is necessary for DRVS to strengthen their organizational capacity (including human and financial resources) to extend the experiences gained through this Project in all 3 Components. Also its roles and functions in the implementation of activities in the improvement of water supply and sanitation should be determined more clearly.

As to the District Municipalities, which are expected to orient JASS in the management, operation and maintenance of water supply facilities and awareness raising in sanitation, they have been in a serious problem in terms of human and financial resources, comparing to the number of existing small cities and communities in each Municipality. Meanwhile, the District Municipalities have been making efforts to access their own financial resource to cover some necessities, such as an office for JASS, some part of water system which is not included in the pilot project, and sanitation facilities.

Regarding the management of JASS, it has recently started and it is still in the process of introducing new system. The Project will make further effort to promote their sound management to guarantee the sustainability of water supply system.

### (3) Technical aspects

So far changes of counterpart personnel and insufficiency of human resources have affected largely the achievement of capacity development and the sustainability of skills, knowledge and experiences gained through the project activities. It is necessary for DRVS to find measures to accumulated experiences not only at individual level but also at institutional level to secure the sustainability.

Also at pilot projects, since the administrative members of most of JASS are changed every 2 years and District Municipalities are suffering insufficiency of resources, some measures to maintain skills and knowledge even after changes of personnel should be taken into account in the rest of project period.

## **5. Conclusion**

The Project has implemented various activities and produced Output 1, 2 and 3 to some extent, owing to the efforts made by each stakeholder involved in the project activities. The major achievement so far is found in the capacity development of counterpart personnel through the implementation of pilot projects. The Relevance of the Project remains high in needs, priority and some aspects of suitability as means, although the issue regarding the donor coordination is a matter of concern at this moment. There is moderate effectiveness in the Project so far, considering the actual progress of activities and capacity development in the counterpart personnel of DRVS. However, due to some issues including delays in some activities, insufficiency of human resources (in Piura), as well as changes of Governments (Regions and District Municipalities), it is considered that the efficiency of the Project was not satisfactory in the first half of the project period. In terms of the Impact, it is considered too early to analyze it both in the aspects of prospect of achieving the Overall Goal and multiple effects of the Project. The Sustainability of the Project is largely depending on the results of currently undergoing re-structuring in both Regional Government of Piura and Lambayeque, since in both cases the positioning of DRVS will be changed and it will cause certain effects in its role and function in respective Regions. In addition, the donor coordination of MVCS is necessary. Based on these results of the Review, the Midterm Review Team made following recommendations, in order to give shape to the actions necessary for the latter half of the project period.

## **6. Recommendations**

(1) Each Regional Government of Piura and Lambayeque should take necessary measures to secure

the allocation of existing counterpart personnel, and assign sufficient professional personnel in DRVS, considering the sustainability of project activities.

- (2) Each Regional Government should enhance their implementation structure of water supply and sanitation services, by strengthening DRVS.
- (3) In order to maximize the achievement of the Project, MVCS should coordinate international donors' assistance, avoiding duplications.
- (4) MVCS should evaluate the outputs and lessons learned obtained from the Project to consider its application to the revision of regulations and national plan which are related to the water supply and sanitation in rural area.
- (5) Since the involvement of District Municipalities is essential for the achievement of Output of the Project, it is necessary for DRVSs to encourage District Municipalities further to assign staff in charge of water supply and sanitation, and enhance their active involvement in the Project.
- (6) It is essential for the Project to promote installation of water meters at each household in the pilot project sites for sound management of JASSs.
- (7) In order to make JASS' activities sustainable, it is recommendable to establish a constant training system for JASSs in the management, operation and maintenance of water supply system.
- (8) It is expected to strengthen communications and collaboration system between Regional governments and District Municipalities through practical use of manuals prepared by the Project.
- (9) It is recommendable that DRVS strengthens their knowledge management system to accumulate information and know-how in the organization, and utilizes them as the organization, in order to secure the sustainability of skills and know-hows gained through the Project.
- (10) It is expected that the Project consider the coordination with Japan's other cooperation schemes when they disseminate PRISAS Model in other regions.
- (11) It is recommendable to conduct training programs in Japan or third country for counterpart personnel of the Project.

(12)The PDM (ver.0) should be revised in accordance with current situations of the Project. The points of revision as of this moment were proposed by the Midterm Review Team, in order to discuss with Directors and group leaders of WGs in each region. As a result of discussion, the Draft PDM (ver.1) is attached in Appendix 7. It is recommendable to agree on the new PDM (ver.1) among the stakeholders, and implement the rest of project activities based on the new PDM.





**MINUTA DE REUNIÓN  
ENTRE  
EL EQUIPO DE EVALUACIÓN INTERMEDIA DE JICA  
Y  
LAS AUTORIDADES COMPETENTES DEL GOBIERNO DE LA REPÚBLICA DEL PERÚ  
PARA  
EL PROYECTO DE REFORZAMIENTO INSTITUCIONAL DEL SUMINISTRO DE AGUA Y  
SANEAMIENTO EN LA ZONA NORTE DEL PERU**


El Equipo de Evaluación Intermedia (en adelante referido como el “Equipo”) organizado por la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en adelante referida como “JICA”) visitó la República del Perú del 20 de junio al 8 de Julio de 2011. El Equipo llevó a cabo un estudio y análisis intensivo sobre las actividades y los logros del Proyecto de Reforzamiento Institucional del Suministro de Agua y Saneamiento en la Zona Norte del Perú (en adelante referido como el “Proyecto”), y preparó el Informe de Evaluación Intermedia Conjunta (en adelante referido como “Informe”) que se encuentra adjunto al presente documento y se lo presentó al Comité de Coordinación Conjunto celebrado el 8 de julio de 2011.

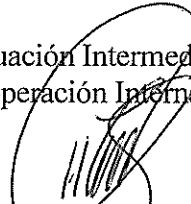
Después de hacer discusiones sobre los temas importantes mencionados en el Informe, la parte peruana y la japonesa (en adelante referidas como “ambas partes”) acordaron los temas descritos en el Informe.


Además de hacer evaluaciones del Proyecto, se discutieron entre ambas partes los temas críticos que afectan la continuidad del Proyecto. El resultado de la discusión está descrito en el documento adjunto 1.

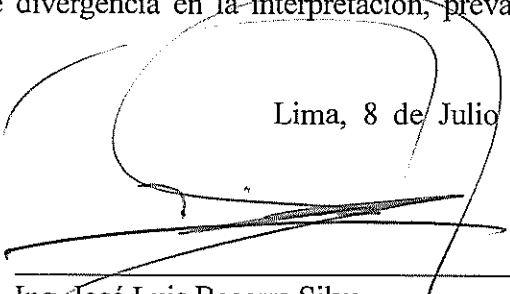
Estos textos fueron elaborados en inglés y en español, con un mismo tenor y para un solo efecto, siendo ambas igualmente auténticas. En caso de divergencia en la interpretación, prevalecerá el texto en inglés.

Lima, 8 de Julio de 2011


  
\_\_\_\_\_  
Ing. Keiko Yamamoto  
Líder  
Equipo de Evaluación Intermedia  
Agencia de Cooperación Internacional del Japón

  
\_\_\_\_\_  
Ing. Humberto Acuña Peralta  
Presidente, Gobierno Regional de Lambayeque

  
\_\_\_\_\_  
Ing. Félix Agapito Acosta  
Director Ejecutivo (e), Programa Agua para Todos, Ministerio de Vivienda, Construcción y Saneamiento

  
\_\_\_\_\_  
Ing. José Luis Becerra Silva  
Director Nacional de Saneamiento, Ministerio de Vivienda, Construcción y Saneamiento

  
\_\_\_\_\_  
Lic. Javier Atkins Lerggios  
Presidente, Gobierno Regional de Piura

  
\_\_\_\_\_  
Eco. Elena Tanaka Torres  
Directora General de la Oficina General de Planificación y Presupuesto, Ministerio de Vivienda, Construcción y Saneamiento

## Recomendaciones

Las recomendaciones dadas por el Equipo son las siguientes:

- (1) Los Gobiernos Regionales de Piura y Lambayeque deben tomar las medidas necesarias para asegurar la asignación del personal de contraparte existente y disponer de suficiente personal profesional en la DRVS, teniendo en cuenta la sostenibilidad de las actividades del Proyecto.
- (2) Cada Gobierno Regional debe consolidar su estructura de ejecución del servicio de suministro de agua y saneamiento, mediante el fortalecimiento de la DRVS.
- (3) Con el fin de maximizar el logro del Proyecto, el MVCS debe coordinar la cooperación internacional de donantes, evitando duplicaciones.
- (4) El MVCS debe evaluar los resultados obtenidos y las lecciones aprendidas del Proyecto para considerar su aplicación en la revisión de las normativas y planes nacionales que estén relacionados con el suministro de agua y saneamiento en el ámbito rural.
- (5) Dado que la participación de las Municipalidades Distritales es esencial para el logro de los Resultados del Proyecto, es necesario que la DRVS impulse a las Municipalidades Distritales para que dispongan del personal a cargo del suministro de agua y saneamiento, e intensifique su participación en el Proyecto.
- (6) Es esencial para el Proyecto promover la instalación de medidores de agua en cada hogar en los sitios de Proyecto Piloto para la administración racional de las JASS.
- (7) Con el fin de realizar las actividades de las JASS de forma sostenible, es recomendable establecer un sistema de capacitación constante para las JASS en la administración, operación y mantenimiento del sistema de abastecimiento de agua.
- (8) Se espera fortalecer el sistema de comunicación y colaboración entre los Gobiernos Regionales y las Municipalidades Distritales a través del uso práctico de los manuales elaborados por el Proyecto.
- (9) Es recomendable que la DRVS fortalezca su sistema de gestión de conocimiento para acumular información y know-how en la organización, y utilizarlos a nivel de organización, con el fin de asegurar la sostenibilidad de las habilidades y know-hows adquiridos a través del Proyecto.
- (10) Se espera que el Proyecto considere la coordinación con otros esquemas de cooperación de Japón, cuando se disemine el modelo PRISAS en otras regiones.

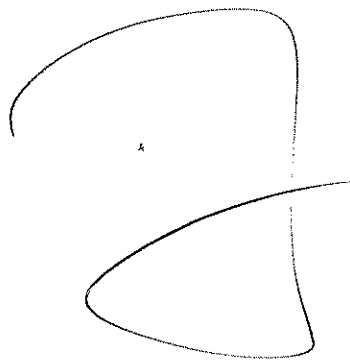
(12) La PDM (ver. 0) debe ser revisada de acuerdo con la situación actual del Proyecto. Los temas revisados fueron propuestos por el Equipo de Evaluación Intermedia para discutir con los directores y líderes del grupo de trabajo (GT) de cada región. Se adjunta el borrador de la PDM (Ver. 1) en el Anexo 7. Es recomendable ponerse de acuerdo sobre el contenido de la nueva versión de PDM (Ver.1) entre las partes interesadas para implementar el resto de las actividades del Proyecto en base a la nueva PDM.

Comentarios del lado Peruano :

(1) El MVCS manifiesta que la propuesta de marco lógico del numeral (12), con indicadores objetivamente verificables, debe ser revisado en el Comité de Dirección de Nivel Regional, quien lo remitirá al Comité Coordinador Conjunto para su aprobación.

Documentos adjuntos:

1. Temas críticos
2. Informe de Evaluación Intermedia Conjunta (versión en inglés y español)



### Temas Críticos

El Equipo de Evaluación expresó su fuerte preocupación sobre (1) la reestructuración institucional de los Gobiernos Regionales, en especial, los efectos a la estructura institucional de la DRVS de los Gobiernos Regionales de Lambayeque y Piura, y (2) el proyecto de COSUDE planificado a ejecutarse en ambas regiones.

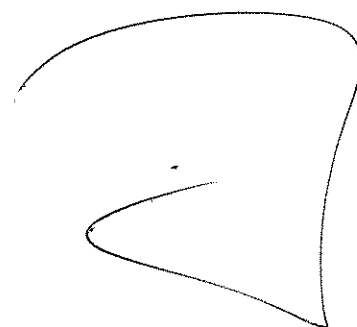
En respuesta a inquietudes manifestadas por el Equipo, la parte peruana comentó lo siguiente:

#### (1) Reestructuración Institucional de DRVS

Ambos Gobiernos Regionales manifestaron que el suministro de agua y saneamiento es el tema más importante y de alta prioridad para sus regiones y las DRVSs están a cargo del desarrollo y mejoramiento del suministro de agua y saneamiento en áreas rurales y sus capacidades deben ser fortalecidas. Con respecto al Proyecto PRISAS de JICA, cada Gobierno Regional ha prometido asignar un suficiente número de personal de contraparte profesional necesario, mediante aumento de nuevos empleados e incrementar el presupuesto para las actividades del Proyecto.

#### (2) Coordinación entre el Proyecto COSUDE y Proyecto PRISAS de JICA

En lo referente al Proyecto COSUDE (a ejecutarse en las ocho (8) Regiones incluyendo las Regiones de Lambayeque y Piura), el MVCS prometió hacer coordinación con COSUDE y JICA para evitar la duplicidad de cooperación entre los dos proyectos a fin de evitar influencias/impactos negativos a los logros y resultados del Proyecto PRISAS JICA.



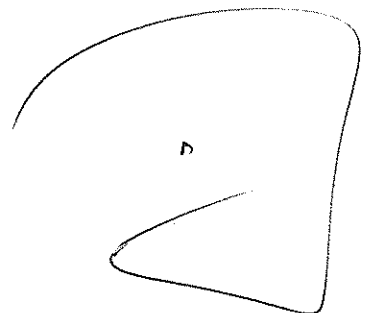
Documento Adjunto 2

**Informe de Evaluación Intermedia Conjunta**  
**sobre**  
**el Proyecto de**  
**Reforzamiento Institucional del Suministro de Agua**  
**y Saneamiento en la Zona Norte del Perú**

República del Perú



8 de Julio de 2011



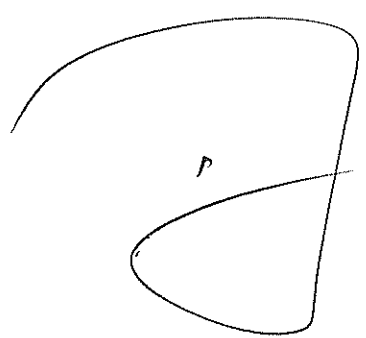
## Lista de Abreviaturas y Siglas Usadas

	In English	En Español
COSUDE	Swiss Agency for Development and Cooperation	Agencia Suiza para el Desarrollo y la Cooperación
DESA	Executive Authority of Environmental Health	Dirección Ejecutiva de Salud Ambiental
DIGESA	Regional Environmental Health Authority	Dirección General de Salud Ambiental
DIRESA	Regional Health Authority	Dirección Regional de Salud
DRE	Regional Education Authority	Dirección Regional de Educación
DRVS	Regional Housing and sanitation Authority	Dirección Regional de Vivienda y Saneamiento
JASS	Sanitation Service Management Committee	Junta Administradora de Servicios de Saneamiento
JCC	Joint Coordinating Committee	Comité de Coordinación Conjunto
JICA	Japan International Cooperation Agency	Agencia de Cooperación Internacional del Japón
MINDES	Ministry of Women and Social Development	Ministerio de la Mujer y Desarrollo Social
MVCS	Ministry of Housing, Construction and Sanitation	Ministerio de Vivienda, Construcción y Saneamiento
ODA	Official Development Assistance	Asistencia Oficial para el Desarrollo
OJT	On the Job Training	Capacitación en el Trabajo
PAPT	"Agua para Todos (Water for all)" Program	Programa Agua para Todos
PDM	Project Design Matrix	Matriz de Diseño de Proyecto
PO	Plan of Operation	Plan de Operación
PRISAS	Project for Institutional Reinforcement of Water Supply and Sanitation in North Area of Peru	Proyecto de Reforzamiento Institucional del Suministro de Agua y Saneamiento en la Zona Norte del Perú
R/D	Record of Discussion	Acta de Discusiones
WG	Working Group	Grupo de Trabajo



868





## Índice

Lista de Abreviaturas y Siglas Usadas.....	2
1. Introducción.....	4
1-1 Objetivos de Evaluación .....	4
1-2 Miembros del Equipo de Evaluación.....	4
1-3 Período de Evaluación .....	5
1-4 Método de Evaluación .....	5
2. Esquema del Proyecto.....	6
2-1 Antecedentes del Proyecto .....	6
2-2 Perfil del Proyecto .....	7
2-3 Administración del Proyecto.....	7
3. Logros del Proyecto.....	8
3-1 Aportes Realizados .....	8
3-2 Cumplimiento de Actividades.....	10
3-3 Logro de los Resultados.....	13
3-4 Perspectiva de Cumplir la Meta del Proyecto.....	18
3-5 Perspectiva de Cumplir la Meta Superior .....	18
3-6 Proceso de Implementación del Proyecto.....	19
4. Evaluación con Cinco Criterios .....	20
4-1 Relevancia.....	20
4-2 Efectividad.....	22
4-3 Eficiencia.....	23
4-4 Impacto .....	25
4-5 Sostenibilidad.....	26
5. Conclusión.....	27
6. Recomendaciones .....	28

### - Anexos -

1. Matriz de Diseño del Proyecto (PDM)
2. Plan de Operación (PO)
3. Aporte de la Parte Japonesa
4. Aporte de la Parte Peruana
5. Lista de Capacitaciones
6. Matriz de Evaluación (en inglés)
7. Revisión de la PDM
8. Agenda de Actividades del Equipo de Evaluación Intermedia

## 1. Introducción

“El Proyecto de Reforzamiento Institucional del Suministro de Agua y Saneamiento en la Zona Norte del Perú (en adelante referido como el “Proyecto”)<sup>1</sup> es un proyecto de cooperación técnica bilateral entre el Gobierno de Japón a través de la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en adelante referida como “JICA”) y el Gobierno del Perú a través del Ministerio de Vivienda, Construcción y Saneamiento (en adelante referido como “MVCS”). El Proyecto comenzó en junio de 2009 con una duración de 4 años. Como la mitad de la duración del Proyecto había pasado, se llevó a cabo una evaluación intermedia conjunta por el Equipo de Evaluación Intermedia que consta de los representantes de ambos gobiernos, de acuerdo con el lineamiento de evaluación de JICA.

### 1-1 Objetivos de Evaluación

Los objetivos de la Evaluación Intermedia del Proyecto son los siguientes:

- (1) Examinar el estado actual del Proyecto basado en los aportes realizados, resultados y objetivos del Proyecto e identificar los problemas a resolver.
- (2) Evaluar el Proyecto de acuerdo con los cinco criterios de evaluación (la relevancia, la efectividad, la eficiencia, el impacto y la sostenibilidad).
- (3) Analizar las acciones necesarias a tomar y hacer recomendaciones para el Proyecto.

### 1-2 Miembros del Equipo de Evaluación

#### 1-2-1 Parte Peruana

Ing. Juan Sánchez Lazo	Coordinador de Obras, Unidad Operativa de Saneamiento Rural, Programa Agua para Todos
Ing. Olinda Martínez	Especialista de Proyectos de Inversión, Oficina de Programaciones e Inversiones, MVCS
Ing. Carlos Saire Pillco	Especialista de Proyectos, Dirección de Planes y Programas, Dirección Nacional de Saneamiento, MVCS

#### 1-2-2 Parte Japonesa

Ing. Keiko Yamamoto	Líder del Equipo de Evaluación/Planificación del Suministro de Agua y Saneamiento/Asesora Superior, JICA
Ing. Hiromu Inoue	Planificación de Evaluación/Director Asistente, Segunda División de Gestión de Desastres, Grupo de Gestión de Recursos de Agua y Desastres, Departamento del Medioambiente Global, JICA
Lic. Yuki Ohashi	Evaluación y Análisis de Datos/Consultora, Tekizaitekisho LLC
Lic. Aki Higuchi	Traducción/Centro de Cooperación Internacional del Japón (JICE)

<sup>1</sup> En este informe, también se refiere como PRISAS (abreviatura del nombre del Proyecto en español) para hacer la distinción entre los proyectos.



### 1-3 Período de Evaluación

Del 20 de junio al 8 de julio de 2011. Una serie de reuniones y discusiones fue sostenida entre las autoridades peruanas y las instituciones relacionadas con la ejecución del Proyecto, el Equipo del Proyecto y el Equipo de Evaluación durante este período.

### 1-4 Método de Evaluación

El Proyecto fue evaluado en base a la Matriz de Diseño del Proyecto (PDM por sus siglas en inglés). La PDM es una tabla y describe el perfil del Proyecto. La evaluación se llevó a cabo conforme con la versión PDM 0<sup>2</sup>.

Los siguientes son los pasos de evaluación.

#### (1) Verificación de Cumplimiento del Proyecto

El grado de cumplimiento del Proyecto en lo referente a los aportes realizados, las actividades, los resultados y los objetivos del Proyecto fue evaluado en base a los indicadores objetivamente comprobables descritos en la versión PDM 0. Los métodos empleados para esta evaluación fueron; cuestionarios, entrevistas, observación in situ y reunión con los actores relevantes.

#### (2) Examen del Proceso de Implementación del Proyecto

El proceso de implementación del Proyecto fue examinado desde diferentes puntos de vista (los detalles están indicados en el Anexo 6: Matriz de Evaluación en inglés).

#### (3) Evaluación con Cinco Criterios

La evaluación fue llevada a cabo de acuerdo con los siguientes cinco criterios.

Relevancia: Se refiere a la validez del Objetivo y la Meta Superior del Proyecto con respecto a la política de desarrollo del Gobierno del Perú y a las necesidades de los beneficiarios del Proyecto.

Efectividad: Mediante la efectividad se evalúa si el Proyecto ha beneficiado realmente al grupo objetivo y si el Proyecto ha sido eficaz. También se evalúa si el Objetivo del Proyecto se ha logrado según lo esperado y el logro del Proyecto ha sido fruto de los resultados del Proyecto.

Eficiencia: Mediante la eficiencia se verifica si el Proyecto ha utilizado eficazmente los recursos. También se analiza la relación entre las inversiones ejecutadas y los resultados obtenidos. Por lo tanto, mediante la eficiencia se examina si el coste de las inversiones es apropiado en comparación con el grado del logro de los resultados y el Objetivo del Proyecto.

<sup>2</sup> Aunque no se ha revisado el contenido de la PDM (versión 0) actual, debido a algunos errores de descripción en español en la PDM versión 0 español, solo los errores descriptivos han sido corregidos por el equipo del Proyecto. En este informe se ha utilizado la versión corregida (PDM 0e).

- Impacto:** Mediante el impacto se examinan los efectos directos e indirectos generados por el Proyecto. Se analizan también los impactos positivos y negativos que no fueron esperados cuando fue planificado el Proyecto.
- Sostenibilidad:** La sostenibilidad del Proyecto está enfocada en los aspectos institucionales, financieros y técnicos. Mediante el análisis de la situación actual, se verifica hasta qué grado los logros del Proyecto son mantenidos o expandidos.

#### (4) Recomendaciones

El Equipo de Evaluación dio recomendaciones como resultado de esta evaluación.

## 2. Esquema del Proyecto

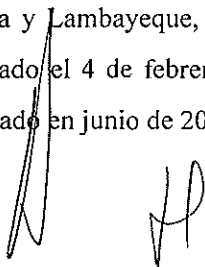
### 2-1 Antecedentes del Proyecto

La proporción de la población con acceso al agua potable en el Perú es del 83% (cifras de UNICEF 2007). Mientras el 89% de la población urbana incluyendo Lima Metropolitana tiene acceso al agua, en las zonas rurales esta tasa baja al 65%, ya que la cobertura de abastecimiento de agua en las áreas rurales es menor que las urbanas. También la población con acceso a saneamiento seguro es menor en las zonas rurales.

El Gobierno del Perú ha puesto especial énfasis en los proyectos de agua y saneamiento como contramedida para reducir la pobreza y ha formulado el "Plan Nacional de Saneamiento (2006 - 2015)". Este plan tiene como objetivo reducir a la mitad el número de población sin acceso a agua potable y saneamiento para el año 2015 mediante la extensión y mejora de instalaciones de abastecimiento de agua y saneamiento. El gobierno actual se compromete a ejecutar este plan bajo el lema de "Agua para Todos".

El Gobierno del Perú ha priorizado la construcción de instalaciones de abastecimiento de agua y saneamiento, ya que no hay suficiente asistencia para fortalecer la capacidad de los gobiernos regionales y municipales, así como comités de agua y saneamiento. Por lo tanto, se observan los siguientes problemas: la falta de capacidad de implementar el sistema de abastecimiento de agua por parte de los gobiernos regionales y la carencia de capacidad de los gobiernos locales y comités de agua y saneamiento en la administración, operación, mantenimiento y control de las instalaciones de abastecimiento de agua.

Por consiguiente, se ha formulado esta cooperación técnica para fortalecer capacidades de las organizaciones relacionadas con la operación de proyectos de agua y saneamiento en las regiones de Piura y Lambayeque, donde el nivel de acceso a agua potable está bajo. El Proyecto fue aprobado y firmado el 4 de febrero de 2009 mediante el Acta de Discusiones (R/D en sus siglas en inglés) y fue iniciado en junio de 2009.



## 2-2 Perfil del Proyecto

El perfil del Proyecto descrito en la versión PDM 0 es como se explica a continuación:<sup>3</sup>

### (1) Meta Superior del Proyecto

Mejora el estado del suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.

### (2) Meta del Proyecto

Mejora la capacidad de las entidades vinculadas al suministro de agua y saneamiento, para ejecutar las operaciones de abastecimiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.

### (3) Resultados

- 1) Se verifica la capacidad de ejecución y los temas por resolver respecto a las operaciones de suministro de agua y saneamiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.
- 2) Se fortalece la capacidad relativa a la implementación de obras de suministro de agua (construcción y reparación a gran escala) de los Gobiernos Regionales de Piura y Lambayeque.
- 3) Se fortalece la capacidad relativa a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y a la sensibilización sobre saneamiento de las Municipalidades, JASS (Junta Administradora de Servicios de Saneamiento) y Comités de Agua objeto de los Proyectos Piloto.
- 4) Se consolida el sistema organizativo para difundir entre las Municipalidades, JASS y Comités de Agua el contenido de los manuales relacionados a la administración, operación y mantenimiento, y a la sensibilización sobre saneamiento en las regiones de Piura y Lambayeque.

## 2-3 Administración del Proyecto

El Proyecto está administrado por las siguientes personas<sup>4</sup>.

### 1) Director del Proyecto

- Programa Agua Para Todos – PAPT (Director Ejecutivo)

### 2) Gerente Administrativo del Proyecto

- Gerente Administrador del PAPT del Gobierno Central

- Gerente Regional de Desarrollo Social y Asentamiento Territorial del Gobierno Regional de Piura

<sup>3</sup> No existe la PDM versión en inglés. El resumen del Proyecto en inglés está basado en las descripciones del "Resumen Narrativo" de la PDM en el R/D (versión en inglés).

- Gerente Regional de Desarrollo Social del Gobierno Regional de Lambayeque

### 3) Gerente Técnico del Proyecto

- Director de Ingeniería de PAT del Gobierno Central
- Director Regional de Vivienda y Saneamiento del Gobierno Regional de Piura
- Coordinador del Proyecto Frontera Norte del Gobierno Regional de Piura
- Director Regional de Vivienda y Saneamiento del Gobierno Regional de Lambayeque

### 4) Personal Técnico Contraparte

- Personal asignado por la Dirección de PAPT del Gobierno Central
- Personal asignado por la Dirección regional de Vivienda y Saneamiento del Gobierno Regional de Piura
- Personal asignado por el Proyecto Frontera Norte del Gobierno Regional de Piura
- Personal asignado por la Dirección Regional de Vivienda y Saneamiento del Gobierno Regional de Lambayeque

## 3. Logros del Proyecto

### 3-1 Aportes Realizados

#### 3-1-1 Aportes de la parte japonesa

Los siguientes aportes han sido proporcionados por la parte japonesa. Los detalles de cada aporte se muestran en el Anexo 3: Aporte de la Parte Japonesa.

#### (1) Expertos

Los siguientes expertos han sido asignados hasta finales de abril de 2011.

Especialidad	Número	Total MM
Director General/planificación de operación y mantenimiento (incluyendo planificación de suministro de agua)	1	9,50
Subdirector/planificación de suministro de agua 1/desarrollo de agua subterránea 1	1	7,00
Planificación general de suministro de agua 2/desarrollo de agua subterránea 2	1	7,36
Planificación general de suministro de agua 3/desarrollo de agua subterránea 3	1	9,00
Planificación de sensibilización en saneamiento	1	7,34
Mantenimiento plantas de tratamiento de agua	1	- <sup>5</sup>
Total	6	40,20

<sup>4</sup> De acuerdo con la R/D del Proyecto.

<sup>5</sup> Su asignación está prevista a partir de julio de 2011.

## **(2) Consultores locales**

El Proyecto ha contratado la Universidad Nacional Pedro Ruiz Gallo en Lambayeque y la Universidad de Piura en Piura como consultores locales para la inspección de la calidad de agua de los sitios de Proyectos Piloto.

## **(3) Equipos y materiales**

Los equipos, incluyendo vehículos de 4x4, computadoras, copiadoras, impresoras, fueron comprados en el Perú y proporcionados a cada Región, y su valor total es de 64.390,00 dólares estadounidenses. Además, los equipos tales como un proyector, medidores de conductividad eléctrica, medidor de nivel de agua, GPS portátil, turbidímetro, que tienen un valor total de 841.040 yenes japoneses (aproximadamente 9,312 dólares EEUU<sup>6</sup>), fueron traídos de Japón y utilizados para las actividades del Proyecto.

## **(4) Capacitación del personal de contraparte**

No se ha realizado todavía la capacitación en Japón y/o terceros países.

## **(5) Contratación local**

Para la implementación de los Proyectos Piloto, el Proyecto ha contratado dos firmas privadas para la construcción de dos instalaciones de suministro de agua en Lambayeque y una instalación en Piura.

## **(6) Otro esquema de cooperación**

No hay otro esquema de cooperación japonesa que esté directamente relacionada con el Proyecto realizado en las Regiones objetivo.

## **(7) Costos locales del Proyecto**

Hasta marzo de 2011, un total de 47.580.255 yenes ha sido desembolsado para las actividades del Proyecto.

### **3-1-2 Aporte de la parte peruana**

Los siguientes aportes han sido proporcionados por la parte peruana. Los detalles de cada aporte se muestran en el Anexo 4: Aporte de la Parte Peruana.

#### **[Aporte por el MVCS]**

##### **(1) Asignación del personal de contraparte**

En el nivel operativo, 2 especialistas de PAPT han sido asignados como coordinadores del

<sup>6</sup> Convertido a dólares EEUU empleando la tasa fija establecida por JICA en el mes de la adquisición.

Proyecto.

**(2) Medios de transporte para el personal de contraparte**

Hasta mayo de 2011, un total de S/. 35.557 Nuevos Soles ha sido desembolsado para los viajes necesarios del personal de contraparte para las actividades del Proyecto.

**(3) Otros**

El MVCS tiene presupuestado S/. 138.323 Nuevos Soles para el contrato de elaborar un manual de construcción e implementación de instalaciones de suministro de agua.

**[Aporte por el Sector de Suministro de Agua y Saneamiento de los Gobiernos Regionales de Piura y Lambayeque]**

**(1) Provisión de la oficina del Proyecto, muebles y papelerías.**

La oficina del Proyecto con muebles ha sido proveída en la Dirección Regional de Vivienda y Saneamiento (DRVS) de Piura y Lambayeque respectivamente.

**(2) Asignación del personal de contraparte**

En el momento de la evaluación intermedia, en el nivel operativo, 8 miembros del personal de la DRVS de Lambayeque y 11 de la DRVS de Piura han sido asignados como personal de contraparte para el Proyecto.

**(3) Medios de transporte para el personal de contraparte**

Hasta abril de 2011, un total de S/. 7.555 Nuevos Soles ha sido desembolsado en Lambayeque y S/. 6.370 Nuevos Soles en Piura para los viajes del personal de contraparte para las actividades del Proyecto en cada Región.

**(4) Recursos necesarios para la implementación de Proyectos Piloto y otras actividades**

Hasta abril de 2011, el Gobierno Regional de Lambayeque ha aportado un total de S/. 74.546 Nuevos Soles y el Gobierno de Piura S/. 302.371 Nuevos Soles para la ejecución del Proyecto. Los costos asumidos por ambos Gobiernos Regionales han sido utilizados para cubrir los gastos necesarios para las actividades del Proyecto, tales como equipos y materiales de oficina, vehículos, transportes, materiales para las actividades relacionadas, etc.

**3-2 Cumplimiento de Actividades**

Como se describe a continuación, los Proyectos Piloto de PRISAS constan de 3 Componentes, y el número planificado e implementado de los sitios del Proyecto Piloto se muestra en la siguiente tabla.

**Tabla: Componentes y número de sitios del Proyecto Piloto**

Componentes del Proyecto Piloto	Región objeto	Número de sitios (planificado)	Número de sitios (actual)
Componente 1: Construcción y rehabilitación (reparación a gran escala) de instalaciones de suministro de agua.	Lambayeque	3	2 obras ejecutadas + 1 suspendida.
	Piura	3	1 obra recientemente ejecutada + 1 en preparación para la licitación + 1 cancelado.
Componente 2: Administración, operación y mantenimiento de instalaciones de suministro de agua.	Lambayeque	5	2 sitios en implementación + 1 suspendido + 2 recién elegidos.
	Piura	5	2 sitios parcialmente en implementación + 2 recién elegidos + 1 a ser elegido.
Componente 3: Sensibilización y educación de saneamiento.	Lambayeque	5	2 en implementación + 1 suspendido + 2 recién elegidos
	Piura	5	2 en implementación + 2 recién elegidos + 1 a ser elegido.

Nota: Todos los Componentes están implementados en el mismo sitio, excepto los sitios que no tienen el Componente 1.

El estudio de línea de base y la implementación de los Componentes 1 y 2 se han retrasado debido a las siguientes razones, y el cronograma de implementación ha sufrido una demora de unos 3 meses en general en el momento de la evaluación intermedia, en comparación con el plan original.

- En Piura, al inicio del Proyecto no se asignó un suficiente número de profesionales técnicos a la DRVS para realizar las actividades del Proyecto.
- En Piura, el personal de contraparte asignado al Proyecto no tiene asegurado su puesto en la DRVS y muchos de ellos fueron reemplazados durante el período del Proyecto.
- En ambas Regiones, no se proporcionó un suficiente medio de transporte para las actividades del Proyecto, en especial durante la ejecución del estudio de línea de base en el primer año del Proyecto.
- El cambio de las autoridades de los gobiernos locales en enero de 2011 (en ambas Regiones y en 3 de las 4 Municipalidades) dio lugar al relevo del personal que participaba en el Proyecto.
- En Piura, la vía de acceso a San Jorge fue dañada durante la época de lluvias.

En general, el Componente 3 se ha avanzado según lo previsto, a pesar de algunos retrasos sufridos en algunas de las actividades de los Componentes 1 y 2 que están estrechamente relacionadas con las actividades de este Componente. También, el cambio de las directivas de la JASS (2 de las 4 JASS: El Espinal y San Jorge) durante la ejecución del Proyecto ha afectado de alguna manera a las actividades.

El progreso real de los Proyectos Piloto se muestra en la siguiente tabla. En los sitios de los Proyectos Piloto para los Componentes 2 y 3, que han sido recientemente seleccionados o están en

proceso de selección, se iniciarán las actividades del Proyecto tan pronto como se firme el acuerdo entre las Municipalidades Distritales respectivas y la DRVS.

**Tabla: Progreso de los Proyectos Piloto**

	Sitio	Municipalidad	Progreso de cada Componente del Proyecto Piloto (Junio de 2011)	
<b>Lambayeque</b>				
1	El Espinal	Oyotún	1	• Instalaciones construidas y en funcionamiento desde marzo de 2011.
			2	• Se están llevando a cabo capacitaciones y monitoreo de la operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua. • Se están llevando a cabo capacitaciones y monitoreo de la administración de suministro de agua. • Nuevo sistema de tarifa iniciado desde mayo de 2011.
			3	• Talleres implementados para mejorar las prácticas relacionadas con el saneamiento de la gente de comunidades rurales.
2	Humedades	Salas	1	• Instalaciones construidas y en funcionamiento desde marzo de 2011.
			2	• Se están llevando a cabo capacitaciones y monitoreo de la operación y mantenimiento de instalaciones de suministro de agua. • Se están llevando a cabo capacitaciones y monitoreo de la administración de suministro de agua. • Nuevo sistema de tarifa iniciado desde mayo de 2011.
			3	• Talleres implementados para mejorar las prácticas relacionadas con el saneamiento de la gente de comunidades rurales.
3	La Ramada	Salas	1	• Elaboración del perfil técnico ha sido suspendida. (Debido a que la municipalidad ha elaborado otro proyecto en el mismo sitio)
			2	• No implementado.
			3	• No implementado.
4	Cuculi	Chongoyape	2	• No implementado.
			3	• No implementado.
5	Villa El Milagro	Eten	2	• No implementado.
			3	• No implementado.
<b>Piura</b>				
1	San Jorge	Frías	1	• Recientemente finalizó la construcción y está en proceso de recepción de obra.
			2	• Capacitación sobre la operación y mantenimiento de instalaciones de suministro de agua no se ha implementado todavía. • Aunque ha iniciado la capacitación sobre la administración y control de suministro de agua, los administradores de la JASS fueron reemplazados en mayo de 2011.
			3	• Talleres implementados para mejorar las prácticas relacionadas con el saneamiento de la gente de comunidades rurales (aprox. 120 personas). • Monitoreos (visitar casas) ejecutados tres veces. • Administradores de la JASS fueron reemplazados en mayo de 2011.
2	Malacasí	Salitral	1	• Se está preparando los documentos de licitación para la selección de contratistas.
			2	• Se han introducido los formatos para la administración. • Establecimiento de tarifas de agua y el resto de las actividades serán ejecutados después de finalizar la construcción.
			3	• Talleres implementados para mejorar las prácticas relacionadas con el saneamiento de la gente de comunidades rurales (aprox. 200 personas). • Monitoreos (visitar casas) ejecutados tres veces.
3	Macacará	La Huaca	2	• No implementado.
			3	• No implementado.
4	Cunbibira	Catacaos	2	• No implementado.
			3	• No implementado.
5	---	---	2	En el proceso de selección.
			3	



Se implementará el resto de las actividades de acuerdo con el Plan de Operación que se encuentra adjunto en el Anexo 2. Este Plan fue revisado en marzo de 2011.

### 3-3 Logro de los Resultados

El logro de cada resultado referente a los indicadores<sup>7</sup> ha sido identificado de la siguiente manera.

Resultado 1: Se verifican la capacidad de ejecución y los temas por resolver respecto a las operaciones de suministro de agua y saneamiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.

Indicadores:

- 1.1 Estudio de línea de base sobre el estado del suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades de ambas regiones.
- 1.2 Inventario relativo al estado de mantenimiento de las instalaciones de las localidades rurales y pequeñas ciudades de ambas regiones.
- 1.3 Entrevistas a las JASS y Comités de Agua.

**(1) Indicador 1.1: Estudio de línea de base sobre el estado del suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades de ambas regiones.**

El estudio de línea de base fue llevado a cabo para 20 localidades en Lambayeque y 28 en Piura, en total 48 localidades. Estas localidades fueron seleccionadas por la DRVS de cada Región, teniendo en cuenta los retos y problemas existentes en el suministro de agua de cada localidad. En estas 48 localidades, el Proyecto realizó la investigación sobre la situación actual de las instalaciones de suministro de agua, entrevistas y estudios por medio de cuestionarios sobre el suministro de agua y saneamiento.

**(2) Indicador 1.2: Inventario relativo al estado de mantenimiento de las instalaciones de las localidades rurales y pequeñas ciudades de ambas regiones.**

Los resultados del estudio de línea de base de las 48 localidades arriba mencionados han sido preparados en cada Región como inventarios.

**(3) Indicador 1.3: Entrevistas a las JASS y Comités de Agua.**

Tal como se describe arriba, se llevó a cabo la entrevista como parte del estudio de línea de base. La entrevista fue realizada con los comités de agua/saneamiento, así como con la gente de las localidades en general.

Resultado 2: Se fortalece la capacidad relativa a la implementación de obras de suministro de agua (construcción y reparación a gran escala) de los Gobiernos Regionales de Piura y Lambayeque.

<sup>7</sup> Las descripciones en inglés de los Resultados están basadas en el Acta de Discusiones (R/D) firmada en febrero de 2009 y los Indicadores han sido traducidos provisionalmente al inglés en base a la versión PDM 0 en japonés.

Indicadores:

- 2.1 Manual de implementación (construcción y reparación a gran escala) de las instalaciones de suministro de agua.
- 2.2 Cantidad de personal del Gobierno Regional que recibe la capacitación.
- 2.3 Ejecución de Proyectos Piloto en 6 localidades rurales y pequeñas ciudades.

**(1) Indicador 2.1: manual de implementación (construcción y reparación a gran escala) de las instalaciones de suministro de agua.**

El MVCS ha contratado una firma consultora en mayo de 2011 para realizar esta actividad que será terminada en agosto de 2011. Los contenidos han sido discutidos con las DRVS de ambas Regiones y se llevará a cabo un taller con ambas DRVS en julio de 2011 a fin de hacer la revisión del manual preparado. En el principio del Proyecto, no estaba clara la responsabilidad del MVCS y la DRVS de ambas Regiones en términos de la preparación de este manual. Después de discusiones, se decidió en agosto de 2010 que el MVCS se hiciera cargo de hacer esta actividad conforme con el R/D.

**(2) Indicador 2.2: Cantidad de personal del Gobierno Regional que recibe la capacitación.**

Las actividades relacionadas con la construcción y rehabilitación (reparación a gran escala) de instalaciones de suministro de agua (Componente 1) se han llevado a cabo principalmente por el personal de contraparte del Grupo de Trabajo 1 (GT1). En el momento de la evaluación intermedia, el GT1 de cada DRVS consta de 3 miembros tanto en Piura como Lambayeque. La transferencia de tecnología de los expertos japoneses para el personal de contraparte se ha realizado a través de la capacitación en el trabajo (OJT) para la implementación de los Proyectos Piloto, principalmente en los siguientes contenidos.

- Preparación y diseño del plan (perfil y expedientes técnicos) que asegure una ejecución eficiente de la construcción.
- Capacidad técnica para realizar la construcción de instalaciones de suministro de agua desde la etapa de planificación.
- Selección de constructores y otros proveedores de servicios a través de la licitación.
- Administración de la construcción y otros.

La DRVS en Piura, como institución, no tenía experiencia en la elaboración de perfiles y expedientes técnicos ni la construcción y rehabilitación de instalaciones de suministro de agua antes de ejecutar el Proyecto. Por lo tanto, no contaba con los recursos humanos con estas especialidades y tenía que contratar personal especializado. En consecuencia, algunos miembros de la Gerencia de Infraestructura fueron asignados temporalmente a la DRVS con el fin de ejecutar el Componente 1. En cambio, la DRVS de Lambayeque tenía experiencias en la preparación de perfiles y expedientes técnicos pero nunca había participado en el proceso de construcción de instalaciones de suministro de agua.

**(3) Indicador 2.3: Ejecución de Proyectos Piloto en 6 localidades rurales y pequeñas ciudades.**

Los Proyectos Piloto del Componente 1 estaban previstos a implementarse en 6 sitios (3 en cada Región) en el diseño original del Proyecto. Sin embargo, el número real de los Proyectos Piloto se ha reducido debido a las siguientes razones causadas durante la ejecución del Proyecto.

- Piura: Era difícil terminar 3 obras de construcción antes de finalizar el segundo año del Proyecto, como estaba definido en el plan original, debido principalmente a la falta del personal técnico necesario para la preparación de perfiles y expedientes técnicos y la ejecución de obras. Por lo tanto, en enero de 2011 se decidió trabajar sólo con dos Proyectos Piloto.
- Lambayeque: Se identificó que uno de los tres sitios piloto del Proyecto que habían sido seleccionados en base a los criterios determinados por el Proyecto, “La Ramada” estaba incluido en el listado del “Programa Agua para Todos”. Para ser elegible al Proyecto Piloto de PRISAS, es necesario no estar incluido en otro proyecto/programa. No obstante, “La Ramada” sigue en el listado del “Programa Agua para Todos”. Por lo tanto, las actividades para la preparación de la construcción en “La Ramada” han sido suspendidas.

Resultado 3: Se fortalece la capacidad relativa a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y a la sensibilización sobre saneamiento de las Municipalidades y JASS (Junta Administradora de Servicios de Saneamiento) y Comités de Agua objeto de los Proyectos Piloto

Indicadores:

- 3.1 Manual relativo a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua, y a la sensibilización.
- 3.2 Cantidad de personal municipal, de las JASS y Comités de Agua que recibe la capacitación.
- 3.3 Ejecución de Proyectos Piloto en 10 localidades rurales y pequeñas ciudades.

**(1) Indicador 3.1: Manual relativo a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua, y a la sensibilización.**

**Administración, operación y mantenimiento del sistema de suministro de agua (Componente 2):**

Los borradores de los manuales han sido preparados por el personal de contraparte del Grupo de Trabajo 2 (GT2) tanto en Lambayeque como en Piura. El GT2 de Piura asumirá el protagonismo en la unificación de los borradores para elaborar solo un manual. Aunque se consideró que sería necesario preparar dos versiones de manuales, una para el uso de la DRVS y la otra para las Municipalidades Distritales y JASS, se decidió elaborar un solo manual, ya que se comprobó que el contenido iba a ser casi el mismo para las dos versiones. En cada capítulo se describirán los roles y funciones de cada actor y el contenido principal de este manual sería la actividad de la JASS que tiene a su cargo la capacitación en el trabajo (OJT) en la administración, operación, mantenimiento y control de suministro de agua.

### Sensibilización sobre saneamiento<sup>8</sup> (Componente 3 :

El personal de contraparte del Grupo de Trabajo 3 (GT3) en cada Región ha trabajado en este Componente y el GT3 ha establecido un canal de colaboración formando un “Equipo Multisectorial” con la Dirección Regional de Salud (DIRESA), Dirección Ejecutiva de Salud Ambiental (DESA), Dirección Regional de Educación (DRE) y Ministerio de la Mujer y Desarrollo Social (MINDES), que tienen más experiencia en materia de la sensibilización en saneamiento. Los manuales han sido preparados en base a sus experiencias, utilizando los materiales existentes y en colaboración activa entre estas instituciones. Además el coordinador del MCVS ha dado asesoramiento basándose a sus conocimientos.

El borrador del manual ha sido preparado por cada Región y el GT3 de Lambayeque hará el trabajo de unificación para preparar un solo manual. Aunque ambos borradores contienen las mismas informaciones básicas sobre el agua y saneamiento, se respetan las características peculiares de cada Región. Los talleres organizados en las comunidades han utilizado los borradores. En el tercer año del Proyecto se revisará el contenido de los manuales. Además, un borrador del manual para las JASS y Municipalidades Distritales será preparado hasta agosto de 2011.

(2) **Indicador 3.2: Cantidad de personal municipal, de las JASS y Comités de Agua que recibe la capacitación.**

### Administración, operación y mantenimiento de instalaciones de suministro de agua (Componente 2):

La capacitación de este Componente tiene dos diferentes partes; (1) operación y mantenimiento de instalaciones y (2) administración del sistema de suministro de agua. El fortalecimiento de capacidades de las Municipales Distritales y la JASS en (1) está a cargo del GT1 y (2) está a cargo del GT2 con el asesoramiento de los expertos japoneses.

En cuanto a (1), la capacitación en el trabajo (OJT) se ha iniciado en los sitios del Proyecto Piloto donde la construcción de las instalaciones de suministro de agua ha terminado, es decir, El Espinal y Humedades en Lambayeque. Además de un operador de las instalaciones, algunos de los miembros administrativos de la JASS, que normalmente consta de 5 ó 6 miembros, han participado en cada sesión de capacitación OJT. El contenido de la capacitación realizada incluye: papeles y actividades de la JASS después de la finalización de las obras de construcción y operación de instalaciones de suministro de agua (inyección de cloro, monitoreo del cloro residual y revisión de las instalaciones). Para más detalle ver el Anexo 5: Lista de Capacitación.

<sup>8</sup> El contenido de sensibilización en saneamiento de este Proyecto: concepto de agua potable, servicio de suministro de agua, ahorro de agua, contaminación de agua, enfermedades de origen hídrico, tratamiento de agua, hábito de pago, prácticas adecuadas de higiene, disposición de excretas, limpieza de hogar, manejo y disposición de residuos sólidos, conducción y tratamiento de aguas servidas, etc.

Con respecto a (2) administración del sistema de suministro de agua, se ha ejecutado la capacitación tanto en el trabajo (OJT) como en aulas para desarrollar capacidades. Los lugares que ya han iniciado la capacitación son El Espinal y Humedades en Lambayeque y San Jorge y Malacasí en Piura. Los participantes de la capacitación son el personal de las Municipalidades distritales y los miembros administrativos de la JASS. Los contenidos de la capacitación realizada hasta la fecha incluyen: administración del suministro de agua en general, establecimiento de la JASS, estatutos de la JASS, explicación de la nueva administración a la comunidad, establecimiento de nuevas tarifas<sup>9</sup> y contacto con los usuarios de agua.

### **Sensibilización sobre saneamiento (Componente 3):**

La capacitación en trabajo (OJT) de este Componente se ha realizado en 4 sitios del Proyecto Piloto, es decir, El Espinal y Humedades en Lambayeque, así como en San Jorge y Malacasí en Piura. Los participantes de la capacitación son, al igual que otros Componentes, el personal de las Municipalidades Distritales y los miembros administrativos de la JASS. Los contenidos de la capacitación realizada hasta la fecha incluyen la sensibilización en saneamiento en general, elaboración de manuales, preparación y organización de talleres de sensibilización y el monitoreo.

En los Componentes 2 y 3, la participación del personal de las Municipalidades Distritales no se ha fortalecido en las localidades donde la autoridad local ha cambiado en enero de 2011. También la participación de los miembros administrativos de la JASS se limita sólo al presidente y al tesorero en algunos casos, en Lambayeque. Otras personas relacionadas, tales como el personal del centro de salud que monitorea la calidad de agua, también han participado en algunas sesiones de capacitación.

### **(3) Indicador 3.3: Ejecución de Proyectos Piloto en 10 localidades rurales y pequeñas ciudades.**

Como se describe anteriormente, los Proyectos Piloto se encuentran en ejecución en cuatro sitios (El Espinal y Humedades en Lambayeque y San Jorge y Malacasí en Piura).

Resultado 4: Se consolida el sistema organizativo para difundir entre las Municipalidades, JASS y Comités de Agua el contenido de los manuales relacionados a la administración, operación y mantenimiento, y a la sensibilización sobre saneamiento en las Regiones de Piura y Lambayeque.

Indicadores:

- 4.1 Cantidad de capacitaciones ejecutadas para las Municipalidades.
- 4.2 Formulación del plan de capacitación de las JASS y Comités de Agua.
- 4.3 Implementation of seminars.

<sup>9</sup> Para efectos del Proyecto, el termino "tarifa" se refiere a los costos de administración, operación, mantenimiento y reposición del sistema de agua (y saneamiento en algunas localidades)

En cuanto al Resultado 4, las actividades están planificadas a implementarse en el último año del período del Proyecto, después de terminar la preparación de manuales y actividades de los Proyectos Piloto. Por lo tanto, no hay avances identificados en el momento de la evaluación intermedia.

### 3-4 Perspectiva de Cumplir la Meta del Proyecto

Los logros hasta la fecha de la Meta del Proyecto referente a los indicadores<sup>10</sup> han sido identificados de la siguiente manera.

Meta del Proyecto: Mejora la capacidad de las entidades vinculadas al suministro de agua y saneamiento, para ejecutar las operaciones de abastecimiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.

Indicadores:

1. Cantidad de instalaciones de suministro de agua implementadas y mejoradas.
2. Cantidad de Municipalidades, JASS y Comités de Agua donde se haya mejorado la capacidad de ejecución de la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua, y de la sensibilización.

#### (1) Indicador 1: Cantidad de instalaciones de suministro de agua implementadas y mejoradas.

Hasta la fecha las obras de instalaciones de suministro de agua se han llevado a cabo en tres sitios, es decir, El Espinal y Humedades en Lambayeque y San Jorge en Piura. También, el GTI de Piura está preparando las especificaciones de licitación para Malacasí para poder iniciar las obras en agosto de 2011.

#### (2) Indicador 2: Cantidad de Municipalidades, JASS y Comités de Agua donde se haya mejorado la capacidad de ejecución de la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua, y de la sensibilización.

El número de Municipalidades Distritales y JASS que han implementado los Proyectos Piloto de los Componentes 2 y 3 es el mismo en los 4 sitios como se describe arriba en los sitios del Proyecto Piloto del Componente 1. De acuerdo con el plan original, el número total de Proyectos Piloto de los Componentes 2 y 3 será 10 en total al final del período del Proyecto.

### 3-5 Perspectiva de Cumplir la Meta Superior

En cuanto a la Meta Superior, la situación actual de cada indicador<sup>11</sup> se describe a continuación.

Meta Superior: Mejora el estado del suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.

<sup>10</sup> Las descripciones en inglés de la Meta del Proyecto están basadas en el Acta de Discusiones (R/D) firmada en febrero de 2009 y los Indicadores han sido traducidos provisionalmente al inglés en base a la versión PDM 0.

<sup>11</sup> Las descripciones en inglés de la Meta Superior están basadas en el Acta de Discusiones (R/D) firmada en febrero de 2009 y los Indicadores han sido traducidos provisionalmente al inglés en base a la versión PDM 0.

Indicadores:

1. Cantidad de localidades rurales y pequeñas ciudades con instalaciones de agua y saneamiento apropiadas.
2. Cantidad de localidades rurales y pequeñas ciudades donde se mantienen y se conservan apropiadamente las instalaciones de agua y saneamiento.

**(1) Indicador 1: Cantidad de localidades rurales y pequeñas ciudades con instalaciones de agua y saneamiento apropiadas.**

No hay una definición clara de “instalaciones de agua y saneamiento apropiadas” en la PDM. Sin embargo, en términos de abastecimiento de agua y de acuerdo con los resultados de la investigación realizada por DIGESA en 2006, en Lambayeque 530 (44%) de 1.214 comunidades (con menos de 2.000 habitantes) y 12 (80%) de 15 ciudades pequeñas (de 2.001 a 30.000 habitantes) tienen suministro de agua, y en Piura 915 (36%) de 2.548 comunidades y 94 (67%) de 140 ciudades pequeñas tienen abastecimiento de agua. No hay información más reciente disponible en este momento.

**(2) Indicador 2: Cantidad de localidades rurales y pequeñas ciudades donde se mantienen y se conservan apropiadamente las instalaciones de agua y saneamiento.**

En cuanto a este indicador, no está claro cómo se juzga la idoneidad del mantenimiento y administración de instalaciones de agua y saneamiento.

### **3-6 Proceso de Implementación del Proyecto**

**(1) Administración y operación del Proyecto**

El Comité de Coordinación Conjunto (CCC) fue celebrado en marzo de 2010 y el Comité de Dirección de Nivel Regional (CDR) fue organizado en dos ocasiones, en febrero y octubre de 2010. Se convocan estos comités a fin de informar el avance de las actividades del Proyecto y de discutir el plan de operación y otros temas relacionados. Aparte de estas reuniones oficiales, el personal de contraparte del MVCS visita periódicamente las dos Regiones para supervisar las actividades del Proyecto.

La comunicación entre los actores involucrados en el Proyecto a nivel de operación es bueno, aunque en Piura hay un margen para mejorar el intercambio de información entre cada Componente (GT) con el fin de administrar el Proyecto en su conjunto. Mediante el establecimiento de reuniones semanales entre los diferentes Componentes (GT) a nivel de personal de contraparte se ha mejorado la comunicación.

Tanto en Piura como en Lambayeque, tras el cambio de las autoridades del Gobierno Regional en enero de 2011, no se ha realizado suficientemente la coordinación con el Gobierno Regional para asegurar una fluida ejecución de los gastos necesarios para las actividades del Proyecto y la asignación de los recursos humanos. Tampoco se ha realizado eficientemente la colaboración con otras gerencias y direcciones del Gobierno Regional en los proyectos de abastecimiento de agua, con excepción de la colaboración del “Equipo Multisectorial” del Componente 3 y la Gerencia de Infraestructura para la

implementación de obras del Componente 1.

## **(2) Asignación del personal de contraparte**

En Piura, en el inicio del Proyecto, la DRVS no tenía suficiente recursos humanos profesionales necesarios para la implementación de las actividades del Proyecto y el personal de la Dirección eran empleados temporales o asignados de otra Gerencia del Gobierno Regional. Además, dado que la mayoría de los puestos del personal de contraparte no eran permanentes ni estables, hubo frecuente cambio del personal (para el detalle ver el Anexo 4-1: Lista de Contrapartes). Mientras tanto en Lambayeque, todo el personal de contraparte asignado al Proyecto son empleados permanentes de la DRVS.

## **(3) Participación de las Municipalidades Distritales y comunidades**

La participación de las Municipalidades Distritales y comunidades ha sido suficiente hasta ahora. Sin embargo hubo cambio de autoridades en las 3 Municipalidades Distritales de los 4 sitios del Proyecto Piloto y algunas personas involucradas en el Proyecto fueron reemplazadas. También los miembros administrativos de la JASS en 2 sitios de Proyecto Piloto (El Espinal en Lambayeque y San Jorge en Piura) fueron cambiados, lo que implicaba la implementación de capacitaciones adicionales para los nuevos miembros. También en algunos sitios de Proyectos Piloto la participación de los miembros administrativos aún está limitada al presidente y al tesorero. Aunque la participación de las comunidades es moderada, todos los actores involucrados en las actividades comunitarias deben abordar un proceso largo para elevar la conciencia comunitaria y conseguir en la comunidad el entendimiento sobre el nuevo sistema tarifario y cambios relacionados con el sistema de gestión establecido por el Proyecto.

## **(4) Gestión del Proyecto basada en la PDM**

No se ha revisado la PDM hasta ahora. Es necesario examinar algunos contenidos de esta matriz en base a las situaciones actuales con el fin de administrar el Proyecto de acuerdo con la PDM.

# **4. Evaluación con Cinco Criterios**

## **4-1 Relevancia**

La relevancia del Proyecto es alta en términos de necesidades y prioridades del Perú, de las estrategias de asistencia japonesa y de la idoneidad como medio para contribuir a las necesidades, tal como se describe a continuación.

### **(1) Necesidades de la sociedad peruana y prioridad para el Gobierno Peruano**

El Plan Nacional de Saneamiento 2006-2015, cuyo objetivo es la expansión de la cobertura de



servicios, la modernización de la administración y gestión del sector de abastecimiento de agua y saneamiento, la mejora de la sostenibilidad y la calidad de los servicios y el logro de la viabilidad económica de los servicios proveídos, es el plan nacional válido actualmente y el Proyecto es altamente relevante para este Plan Nacional. Además, el mejoramiento del suministro de agua es uno de los temas más prioritarios en el Plan Regional de Piura y Lambayeque (Plan de Desarrollo Regional Concertado de Lambayeque 2011-2021 y Plan de Desarrollo Regional Concertado de Piura 2007-2021).

## **(2) Política de la AOD (Asistencia Oficial para el Desarrollo) del Japón**

De acuerdo con la última política de asistencia de JICA, “La Política de Asistencia para el País: Perú” elaborada en abril de 2009, el mejoramiento del abastecimiento de agua y saneamiento es considerado como uno de los temas prioritarios en el campo estratégico de “alivio de la pobreza y reducción de la desigualdad”. El Proyecto PRISAS está asignado como uno de los componentes del Programa Estratégico de Agua de la asistencia de JICA en el Perú.

## **(3) Idoneidad como medio**

El Proyecto ha trabajado con tres componentes para resolver los problemas relacionados con el abastecimiento de agua y saneamiento rural, combinando la construcción de obras de suministro de agua y la mejora de la administración y operación de instalaciones de abastecimiento de agua, así como la sensibilización en materia de saneamiento. Los actores involucrados consideran que este Proyecto es muy apropiado para contribuir a los problemas existentes en el suministro de agua en zonas rurales, especialmente, donde la gente de la comunidad casi no tiene la idea de “administración de instalaciones” implica un sistema adecuado de tarifas de agua y mantenimiento.

Además, la aplicación de medidores y la tarifa de agua basada en la cantidad de consumo en las comunidades rurales es un nuevo intento en el Perú y el personal de contraparte tanto en Lambayeque como en Piura considera que es un sistema adecuado en base a las experiencias hasta el momento con los Proyectos Piloto.

Por otro lado, aunque el Proyecto está diseñado para mejorar la capacidad técnica de la DRVS, la cual fue considerada como una organización central para mejorar el abastecimiento de agua y saneamiento rural, en el inicio del Proyecto su papel y responsabilidad en estos temas no estaban claramente definidos a nivel regional en ambas regiones y la relación con otras direcciones y/o gerencias relacionadas no estaba establecida. Además, no se asignaron suficientes recursos humanos y financieros para asumir los roles principales en los tres Componentes del Proyecto.

## **(4) Colaboración y demarcación con otros proyectos de abastecimiento de agua y saneamiento**

A nivel regional, la Gerencia Regional de Infraestructura ejecuta la mayor parte de las obras de instalaciones de suministro de agua financiadas por el Gobierno Regional. Asimismo, en Piura los

profesionales del Programa Frontera Norte que trabajan en la Gerencia Regional de Desarrollo Social gestionan los recursos regionales de contrapartida provenientes del Programa de Agua para Todos. Este programa en ejecución en Piura incluye la construcción de instalaciones y capacitación de la JASS en los términos de la administración, operación y mantenimiento. No obstante, la falta de recursos financieros no les permite continuar sus actividades. Estas actividades se desarrollan en paralelo a las actividades del Proyecto en la DRVS, incluso desde antes del comienzo del Proyecto existían estas actividades. Esta Dirección está bajo el proceso de reestructuración.

A nivel nacional, existen diferentes proyectos y programas relacionados con el abastecimiento de agua y saneamiento para comunidades rurales. El MVCS implementa el “Programa Agua para Todos”, que consta de componentes de construcción o rehabilitación de instalaciones de suministro de agua y el desarrollo de capacidades de las organizaciones de usuarios de agua, tales como la JASS, directamente en las comunidades rurales, incluyendo Lambayeque y Piura. También existen otros proyectos similares financiados por diferentes donantes, tales como Luxemburgo, España y el BID en otras regiones del Perú. Uno de estos proyectos es implementado por la Agencia Suiza para el Desarrollo y la Cooperación (COSUDE). COSUDE tiene un plan para diseminar su modelo de desarrollo de capacidades en Lambayeque y Piura. Este plan puede coincidir con las actividades de PRISAS.

#### 4-2 Efectividad

El Proyecto ha arrojado una moderada efectividad hasta la fecha, teniendo en cuenta el progreso real de las actividades y el desarrollo de capacidades del personal de contraparte de la DRVS.

##### (1) Perspectiva de cumplir la Meta del Proyecto

Teniendo en cuenta los logros en los resultados 1, 2 y 3 (como se describe en el “4-3 Eficiencia”), la DRVS en ambas regiones ha fortalecido sus capacidades en la ejecución de proyectos de abastecimiento de agua y saneamiento en comunidades rurales en los aspectos de los tres Componentes introducidos por el Proyecto. Sin embargo, hasta ahora el nivel de logro en el desarrollo de capacidades de las Municipalidades Distritales y JASS es diferente según su situación y avance de las actividades, y es difícil prever el nivel de logro final todavía. Mientras tanto, con el fin de medir el nivel de logro de la Meta del Proyecto de manera más objetiva, es necesario revisar los indicadores de la versión de PDM 0.

##### (2) Relación casual entre los Resultados y la Meta del Proyecto

A pesar de que se han observado algunos logros como se menciona anteriormente, con el fin de medir el nivel de logro de la Meta del Proyecto después de lograr los Resultados, es necesario revisar los indicadores, definiendo cómo van a ser los mismos después de mejorar capacidades mediante el logro de los 4 Resultados a finales del período del Proyecto.

En cuanto a las condiciones externas importantes para lograr la Meta del Proyecto, hay un margen de mejora en la relación entre el Proyecto y los Gobiernos Regionales, para que el Proyecto sea

plenamente reconocido y apoyado como una función del Gobierno Regional para mejorar el abastecimiento de agua rural. En cuanto a otros supuestos, “participación activa de las localidades rurales y pequeñas ciudades (incluyendo las obras e instalaciones de suministro de agua)”, es más apropiado considerar este supuesto para lograr los Resultados, y también “se corrigen los problemas identificados” y “hay fluida información para conocer las situaciones” no son claras como condiciones externas importantes para lograr la Meta del Proyecto.

#### **4-3 Eficiencia**

Los equipos del Proyecto de ambas Regiones han hecho esfuerzos para implementar las actividades del Proyecto de manera eficiente con sus condiciones limitadas y han logrado ciertos progresos en cada Componente de los Proyectos Piloto. Sin embargo, debido a algunos problemas como retrasos en algunas actividades, los recursos humanos insuficientes (en Piura), así como el cambio de las autoridades de los Gobiernos (Regionales y Locales), la eficiencia del Proyecto no es satisfactoria en la primera mitad del período del Proyecto.

#### **(1) Nivel de logro de los Resultados**

Aunque es difícil saber el nivel de logro de los Resultados con los indicadores actuales que no interpretan el nivel de alcance, sobre todo, del Resultado 2 y 3, la situación actual de cumplimiento de los Resultados 1, 2 y 3 ha sido identificada como se explica a continuación. En caso de Piura, estos logros han sido afectados, en gran medida, por la insuficiencia y los cambios de los recursos humanos, y se verán afectados aún más si el personal actual de contraparte es reemplazado durante el período del Proyecto.

#### Resultado 1:

Este Resultado representa a las actividades de preparación para iniciar los trabajos relacionados con los Resultados 2 y 3, por lo tanto, se realizaron las actividades del Resultado 1 al inicio del Proyecto en ambas Regiones. Todas las actividades para verificar el suministro de agua y la situación sanitaria de las comunidades rurales, así como su capacidad para llevar a cabo proyectos de agua y saneamiento y las tareas relacionadas se realizaron como se describe en el “3-3: Logro de los Resultados”.

#### Resultado 2:

El personal de contraparte del GT1 de ambas Regiones llevó a cabo una serie de entrenamientos en el trabajo (OJT) para la construcción de instalaciones de suministro de agua, desde la preparación de perfiles hasta la finalización. El personal de contraparte en ambas Regiones, siendo ingenieros o arquitectos, considera que adquirió buenas experiencias a través de los Proyectos Piloto, aunque hay más habilidades y conocimientos por aprender en función de los tipos de sistemas de abastecimiento de agua y las características geográficas de los sitios.

### Resultado 3:

En cuanto al personal de las Municipalidades Distritales, a pesar de que colaboran con los Proyectos Piloto, el nivel de logro en el desarrollo de sus capacidades, tanto en el Componente 2 como el 3, es diferente en cada una de las Municipalidades. La principal razón de esta diferencia se deriva de su participación e implicación en las actividades del Proyecto. En algunas Municipalidades la participación sigue siendo limitada, debido principalmente a las siguientes razones;

- Debido al cambio de administración en enero de 2011, el personal a cargo de los Proyectos Pilotos fue reemplazado en algunas Municipalidades (3 de 4 sitios de Proyecto Piloto).
- En algunas Municipalidades, debido a la limitación de los recursos humanos y financieros, no se ha asignado el personal a cargo de agua y saneamiento, o la misma persona desempeña diferentes tareas.

Dado que las actividades con las Municipalidades Distritales se desarrollarán aún más en el resto del período de cooperación, el Proyecto seguirá trabajando con ellas para fortalecer su participación y desarrollo de su capacidad.

En cuanto a los miembros administrativos de la JASS, su nivel de logro en el desarrollo de capacidades en los Componentes 2 y 3 es variado debido principalmente a la diferencia en el nivel de progreso de sus actividades. En el Componente 2, la capacitación está en ejecución en El Espinal y Humedades y los miembros administrativos ya la han puesto en práctica en su operación diaria, incluyendo el nuevo sistema de tarifas de agua<sup>12</sup>. En caso de San Jorge, la capacitación está en el proceso de implementación para mejorar la operación y mantenimiento. En cualquier caso, el seguimiento y la asistencia son importantes, ya que las diversas preocupaciones acerca de la operación y mantenimiento fueron mencionadas por los miembros de la JASS en la entrevista de la evaluación intermedia, especialmente acerca de la cloración. En el Componente 3, Malacás ya ha empezado las actividades de seguimiento casa por casa con los miembros de la JASS y otros actores relacionados. En otros sitios, el Proyecto seguirá trabajando por fortalecer sus capacidades e iniciativas en este tema.

En cuanto a este Resultado, aunque se refiere directamente al desarrollo de capacidades de las Municipalidades Distritales y la JASS, también es importante fortalecer las capacidades del persona de contraparte a nivel regional para poder proporcionar las orientaciones necesarias a las Municipalidades

<sup>12</sup> Situación actual de cobro de tarifas de agua en cada sitio del proyecto piloto es: 1) En Espinal, la facturación basada en el nuevo sistema de tarifa fue iniciada en mayo de 2011 y la mitad de los usuarios han pagado la factura hasta junio de 2011. Todavía este sistema está en proceso de introducción y entre los usuarios hay diferentes conceptos sobre la fecha límite de pago (algunos piensan que se debe pagar cada mes y otros piensan que se puede pagar cada dos meses). 2) En Humedades, el nuevo sistema tarifario fue iniciado en marzo de 2011. De 59 hogares, el suministro de agua fue suspendido en 4 hogares debido a la demora en el pago. Pero en todos los casos el servicio fue reanudado después de haber pagado la tarifa.

Distritales y la JASS. En cuanto al Componente 2, en Lambayeque la capacitación ha estado en ejecución en dos sitios de Proyecto Piloto y el personal de contraparte ha preparado los formatos necesarios y ha experimentado el proceso de desarrollo de capacidades de la JASS. En Piura, a pesar de que todavía está en proceso, también ha desarrollado su propia capacidad para orientar a la JASS y las Municipalidades Distritales en este tema. En ambas Regiones, las contrapartes piensan que pueden aumentar suficientemente sus capacidades para el final del período del Proyecto, a través de las actividades en los sitios adicionales de Proyecto Piloto en el resto del período del Proyecto.

En cuanto al Componente 3, la mayor parte de las actividades se ha llevado a cabo según lo previsto hasta ahora, y se ha desarrollado la relación de colaboración con otros actores a nivel regional. El personal de contraparte del GT3 ha adquirido experiencia en la preparación de manuales para las comunidades y la implementación de talleres. En la segunda mitad del período del Proyecto, un manual para las JASS y Municipalidades Distritales será preparado y se pondrán en marcha los Proyectos Piloto en tres sitios adicionales, mientras que las actividades de monitoreo seguirán continuadas y fortalecidas.

## **(2) Momento, calidad, cantidad de los aportes**

En cuanto a los aportes por la parte peruana, como se menciona en las páginas anteriores, la cantidad de recursos humanos y financieros no ha sido suficiente, sobre todo, el personal profesional como contraparte técnica del Proyecto en Piura y el presupuesto necesario para las actividades del Proyecto en ambas Regiones. En cuanto a las aportaciones hechas por la parte japonesa, los siguientes temas han sido señalados por los actores involucrados en el Proyecto.

- Los vehículos no fueron proporcionados en el primer año del Proyecto, cuando el medio de transporte fue necesario en gran medida para el estudio de línea de base.
- La capacitación de la contraparte en Japón o en terceros países no se ha realizado todavía.

## **4-4 Impacto**

Se considera demasiado pronto para analizar el impacto tanto en los aspectos de la perspectiva de cumplir la Meta Superior como los múltiples efectos del Proyecto.

### **(1) Perspectiva de cumplir la Meta Superior y la relación causal entre la Meta del Proyecto y la Meta Superior**

Ya que aún se encuentra en la mitad del período del Proyecto, el logro de los objetivos de la Meta del Proyecto no está claramente definido por los indicadores. Por lo tanto, se considera que es demasiado pronto para analizar la posibilidad de lograr la Meta Superior.

En cuanto a la mejora de la situación del saneamiento, la idea de “saneamiento” es interpretada de manera extensiva en el Perú, incluyendo el suministro de agua y alcantarillado, mientras que el Proyecto ha trabajado sólo para la sensibilización y no tiene el componente para tratar las instalaciones sanitarias como el alcantarillado y letrina. En este sentido, las instalaciones de servicio de saneamiento no serán

tratadas como indicador para medir el impacto del Proyecto.

## **(2) Efectos multiplicadores del Proyecto**

La mejora del abastecimiento de agua en las comunidades rurales puede dar lugar a diversos efectos positivos, tales como mejores condiciones de salud y mejor calidad de vida. En la entrevista realizada con la JASS y usuarios en El Espinal y Humedades se escucharon comentarios positivos, tales como la reducción de tiempo y costo para obtener agua, mejor acceso (horas) al agua, mejor calidad del agua suministrada, etc.

## **4-5 Sostenibilidad**

Tanto en Piura como en Lambayeque, los Gobiernos Regionales han venido realizando su reestructuración organizativa institucional. En ambos casos la organización de la DRVS sufrirá algunos cambios, los cuales producirán ciertos efectos en su papel y función en sus respectivos Regiones. La sostenibilidad del Proyecto, en gran medida, depende de los resultados de esta reestructuración.

### **(1) Aspectos políticos e institucionales**

Como la mejora del abastecimiento de agua es uno de los temas de máxima prioridad en cualquier nivel de gobierno en el Perú, el apoyo político en este sector se mantendrá sin lugar a dudas. Sin embargo, en este momento no está claro cómo el MVCS y los Gobiernos Regionales van a fortalecer la estructura de ejecución para poner este tema priorizado en práctica.

### **(2) Aspectos organizativos y financieros**

Los Gobiernos Regionales están en el proceso de reestructuración para establecer la estructura administrativa más eficiente. En este momento de la evaluación intermedia, ambos Gobiernos no han anunciado oficialmente sus decisiones, por lo tanto, se requiere más tiempo para ver los resultados. En cualquier caso, es necesario que la DRVS fortalezca su capacidad de organización (incluyendo los recursos humanos y financieros) para extender las experiencias adquiridas a través de este Proyecto en los 3 Componentes. También se debe determinar con más claridad sus roles y funciones en la ejecución de las actividades en la mejora del abastecimiento de agua y saneamiento.

En cuanto a las Municipalidades Distritales, entidades que se espera asesorar a las JASS en la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de abastecimiento de agua, así como la sensibilización en materia de saneamiento, tienen un serio problema en términos de los recursos humanos y financieros para atender las localidades y comunidades existentes en su municipalidad. Por su parte, las Municipalidades Distritales han hecho esfuerzos para conseguir sus propios recursos financieros a fin de cubrir las necesidades, como por ejemplo, oficina de la JASS, alguna parte del sistema de agua que no está incluida en los Proyectos Piloto y las instalaciones sanitarias.

Con respecto a la JASS, la administración de esta organización fue iniciada recientemente y se

encuentra en el proceso de introducir un nuevo sistema. El Proyecto continuará realizando esfuerzos para promover una sana administración de esta organización para garantizar la sostenibilidad del sistema de suministro de agua.

### (3) Aspectos técnicos

Hasta ahora, los cambios del personal de contraparte y los recursos humanos insuficientes han afectado en gran medida al logro del desarrollo de capacidades y la sostenibilidad de las habilidades, así como experiencias y conocimientos adquiridos a través de las actividades del Proyecto. Es necesario que la DRVS busque medidas para acumular experiencias no sólo a nivel individual sino también a nivel institucional para garantizar la sostenibilidad.

También en los Proyectos Piloto, los miembros administrativos de la mayoría de JASS se cambian cada dos años y las Municipalidades Distritales están sufriendo escasez de recursos, por lo tanto, se deben tener en cuenta algunas medidas para mantener las habilidades y el conocimiento en el resto del período del Proyecto, incluso después de los cambios de personal.

## 5. Conclusión

El Proyecto ha implementado diversas actividades y ha producido los Resultados 1,2 y 3, en cierta medida, gracias a los esfuerzos realizados por cada actor que participa en las actividades del Proyecto. El mayor logro hasta la fecha se encuentra en el desarrollo de capacidades del personal de contraparte a través de la implementación de los Proyectos Piloto. La relevancia del Proyecto sigue siendo alta en las necesidades, prioridades y algunos aspectos de la idoneidad como medios, aunque el problema relacionado a la coordinación de los donantes es un motivo de preocupación en este momento. En la actualidad, la efectividad del Proyecto es moderada, teniendo en cuenta el progreso real de las actividades y el desarrollo de capacidades en el personal de contraparte de la DRVS. Sin embargo, debido a algunos problemas como retrasos en algunas actividades, la insuficiencia de los recursos humanos (en Piura), así como los cambios de los Gobiernos (Regionales y Municipalidades Distritales), se considera que la eficacia del Proyecto no fue satisfactoria en la primera mitad del período del Proyecto. En cuanto al impacto, se considera que es demasiado prematuro para analizar, tanto en los aspectos de la perspectiva de alcanzar la Meta Superior como los múltiples efectos del Proyecto. La sostenibilidad del Proyecto depende en gran medida de los resultados de la reestructuración que actualmente está en proceso tanto en el Gobierno Regional de Piura como en el Lambayeque, ya que en ambos casos, la organización de la DRVS sufrirá algunos cambios, los cuales producirán ciertos efectos en su papel y función en las respectivas Regiones. Además, la coordinación entre los organismos cooperantes del MVCS es necesaria. En base a estos resultados de la evaluación, el equipo de evaluación intermedia ha hecho las siguientes recomendaciones con el fin de materializar las acciones necesarias para la segunda

mitad del período del Proyecto.

## 6. Recomendaciones

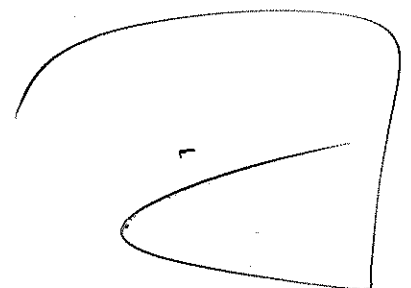
- (1) Los Gobiernos Regionales de Piura y Lambayeque deben tomar las medidas necesarias para asegurar la asignación del personal de contraparte existente y disponer de suficiente personal profesional en la DRVS, teniendo en cuenta la sostenibilidad de las actividades del Proyecto.
- (2) Cada Gobierno Regional debe consolidar su estructura de ejecución del servicio de suministro de agua y saneamiento, mediante el fortalecimiento de la DRVS.
- (3) Con el fin de maximizar el logro del Proyecto, el MVCS debe coordinar la cooperación internacional de donantes, evitando duplicaciones.
- (4) El MVCS debe evaluar los resultados obtenidos y las lecciones aprendidas del Proyecto para considerar su aplicación en la revisión de las normativas y planes nacionales que estén relacionados con el suministro de agua y saneamiento en el ámbito rural.
- (5) Dado que la participación de las Municipalidades Distritales es esencial para el logro de los Resultados del Proyecto, es necesario que la DRVS impulse a las Municipalidades Distritales para que dispongan del personal a cargo del suministro de agua y saneamiento, e intensifique su participación en el Proyecto.
- (6) Es esencial para el Proyecto promover la instalación de medidores de agua en cada hogar en los sitios de Proyecto Piloto para la administración racional de las JASS.
- (7) Con el fin de realizar las actividades de las JASS de forma sostenible, es recomendable establecer un sistema de capacitación constante para las JASS en la administración, operación y mantenimiento del sistema de abastecimiento de agua.
- (8) Se espera fortalecer el sistema de comunicación y colaboración entre los Gobiernos Regionales y las Municipalidades Distritales a través del uso práctico de los manuales elaborados por el Proyecto.
- (9) Es recomendable que la DRVS fortalezca su sistema de gestión de conocimiento para acumular información y know-how en la organización, y utilizarlos a nivel de organización, con el fin de asegurar la sostenibilidad de las habilidades y know-hows adquiridos a través del Proyecto.



- (10) Se espera que el Proyecto considere la coordinación con otros esquemas de cooperación de Japón, cuando se disemine el modelo PRISAS en otras regiones.
- (11) Es recomendable llevar a cabo programas de capacitación en Japón o en terceros países para el personal de contraparte del Proyecto.
- (12) La PDM (ver. 0) debe ser revisada de acuerdo con la situación actual del Proyecto. Los temas revisados fueron propuestos por el Equipo de Evaluación Intermedia para discutir con los directores y líderes del grupo de trabajo (GT) de cada región. Se adjunta el borrador de la PDM (Ver. 1) en el Anexo 7. Es recomendable ponerse de acuerdo sobre el contenido de la nueva versión de PDM (Ver.1) entre las partes interesadas para implementar el resto de las actividades del Proyecto en base a la nueva PDM.



868



## Anexo 1: Matriz de Diseño del Proyecto (PDM<sub>0E</sub>)

(PDM 0E es la versión corregida de PDM 0, debido a algunos errores de descripción en español en la PDM versión 0 español. En PDM 0E no se ha revisado el contenido y solo los errores descriptivos han sido corregidos por el equipo del Proyecto.)

**Nombre del Proyecto:** "Proyecto de Reforzamiento Institucional del Suministro de Agua y Saneamiento en la Zona Norte del Perú"

Ver. 0 E

**Zona objeto:** Perú. **Grupo meta:** MVCS, Región Piura, Región Lambayeque, Gobiernos Locales vinculados a los Proyectos Piloto **Período del Proyecto:** 2009 - 2013 (4 años)

Resumen narrativo del Proyecto	Indicadores	Medios de obtención	Condiciones externas
<p><b>&lt;Meta Superior&gt;</b> Mejora el estado del suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>Cantidad de localidades rurales y pequeñas ciudades con instalaciones de agua y saneamiento apropiadas.</li> <li>Cantidad de localidades rurales y pequeñas ciudades donde se mantienen y se conservan apropiadamente las instalaciones de agua y saneamiento.</li> </ol>	Índices de MVCS, Gobiernos Regionales y Gobiernos Locales.	<ul style="list-style-type: none"> <li>No se deteriora la situación política.</li> <li>Continúa el "Programa Agua para Todos".</li> </ul>
<p><b>&lt;Meta del Proyecto&gt;</b> Mejora la capacidad de las entidades vinculadas al suministro de agua y saneamiento, para ejecutar las operaciones de abastecimiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>Cantidad de instalaciones de suministro de agua implementadas y mejoradas.</li> <li>Cantidad de Municipalidades, JASS y Comités de Agua donde se haya mejorado la capacidad de ejecución de la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua, y de la sensibilización.</li> </ol>	Evaluación de los Proyectos Piloto (informes de proyectos, estudios en el sitio y entrevistas)	<ul style="list-style-type: none"> <li>No varían las políticas a nivel regional.</li> <li>Se ejecutan los demás componentes del "Sub Programa de Suministro de Agua y Saneamiento de la Zona Norte".</li> </ul>
<p><b>&lt;Resultados&gt;</b> 1. Se verifican la capacidad de ejecución y los temas por resolver respecto a las operaciones de suministro de agua y saneamiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 Estudio de línea de base sobre el estado del suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades de ambas regiones.</li> <li>1-2 Inventario relativo al estado de mantenimiento de las instalaciones de las localidades rurales y pequeñas ciudades de ambas regiones.</li> <li>1-3 Entrevistas a las JASS y Comités de Agua.</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 Resultados de estudio de línea de base.</li> <li>1-2 Resultados de inventarios.</li> <li>1-3 Resultados de entrevistas.</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Se mantiene una buena relación entre los organismos relacionados.</li> <li>Hay participación activa de las "localidades rurales" y "pequeñas ciudades" (incluyendo las obras e instalaciones de suministro de agua).</li> </ul>
<p>2. Se fortalece la capacidad relativa a la implementación de obras de suministro de agua (construcción y reparación a gran escala) de los Gobiernos Regionales de Piura y Lambayeque.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>2-1 Manual de implementación (construcción y reparación a gran escala) de las instalaciones de suministro de agua.</li> <li>2-2 Cantidad de personal del Gobierno Regional que recibe la capacitación.</li> <li>2-3 Ejecución de Proyectos Piloto en 6 localidades rurales y pequeñas ciudades.</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>2-1 Informe del Proyecto.</li> <li>2-2 Informe de capacitaciones realizadas.</li> <li>2-3 Informe de monitoreo.</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Se corrigen los problemas identificados.</li> <li>Hay fluida información para conocer las situaciones.</li> </ul>
<p>3. Se fortalece la capacidad relativa a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y a la sensibilización sobre saneamiento de las Municipalidades y JASS (Junta Administradora de Servicios de Saneamiento) y Comités de Agua objeto de los Proyectos Piloto.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>3-1 Manual relativo a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua, y a la sensibilización.</li> <li>3-2 Cantidad de personal municipal, de las JASS y Comités de Agua que recibe la capacitación.</li> <li>3-3 Ejecución de Proyectos Piloto en 10 localidades rurales y pequeñas ciudades.</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>3-1 Informe del Proyecto.</li> <li>3-2 Informe de capacitaciones realizadas.</li> <li>3-3 Informe de monitoreo.</li> </ol>	
<p>4. Se consolida el sistema organizativo para difundir entre las Municipalidades, JASS y Comités de Agua el contenido de los manuales relacionados a la administración, operación y mantenimiento, y a la sensibilización sobre saneamiento en las Regiones de Piura y Lambayeque.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>4-1 Cantidad de capacitaciones ejecutadas para las Municipalidades.</li> <li>4-2 Formulación del plan de capacitación de las JASS y Comités de Agua.</li> <li>4-3 Ejecución de seminarios.</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>4-1 Informe de capacitaciones realizadas.</li> <li>4-2 Informe del Proyecto.</li> <li>4-3 Informe de seminarios.</li> </ol>	

<Actividades>	<Aportes>	
<p>1-1 Estudio de línea de base relativo al suministro de agua y saneamiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades de ambas regiones.</p> <p>1-2 Estudio de los trabajos ejecutados y capacidades de los Gobiernos Regionales sobre: la implementación de obras de suministro de agua (construcción y reparación a gran escala), sistema de asesoramiento a las Municipalidades, actividades realizadas, plan de nuevas obras, estudio/plan/diseño de reparaciones a gran escala, elaboración de especificaciones y trámite de permisos y autorizaciones.</p> <p>1-3 Estudio del sistema de asesoramiento del MVCS a los Gobiernos Regionales sobre operaciones de suministro de agua y saneamiento, estado de las actividades, asignación de presupuestos y capacidades.</p> <p>1-4 Verificación de los temas relacionados con la ejecución de operaciones de suministro de agua y saneamiento en ambas regiones en base a los resultados arriba mencionados.</p> <p>1-5 Modificación de la Matriz de Diseño del Proyecto (PDM), si fuera necesario, basado en los resultados.</p> <p>2-1 El MVCS, en cooperación con los Gobiernos Regionales, elabora el borrador del manual de implementación de obras de suministro de agua (construcción y reparación a gran escala) que ejecutan los Gobiernos Regionales.</p> <p>2-2 El MVCS planifica y ejecuta capacitaciones dirigidas a los Gobiernos Regionales sobre la implementación de obras de suministro de agua (construcción y reparación a gran escala).</p> <p>2-3 Selección de alrededor de 6 sitios como sitio candidato a Proyecto Piloto en las localidades rurales y pequeñas ciudades para implementar las obras de suministro de agua (construcción y reparación a gran escala).</p> <p>2-4 Ejecución por los Gobiernos Regionales de: elaboración del plan de nuevas construcciones, estudio para identificar los lugares que requieran reparaciones de gran escala, formulación del plan de reparación a gran escala, preparación de diseños, elaboración de especificaciones y ejecución de trámites para la autorización de obras en las 6 localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de los Proyectos Piloto.</p> <p>2-5 Ejecución por los Gobiernos Regionales de la construcción y reparación a gran escala de las instalaciones de suministro de agua, utilizando las empresas privadas en las 6 localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de los Proyectos Piloto.</p> <p>2-6 Realización del monitoreo por parte del MCVS de las actividades de los Proyectos Piloto de 2-4 y 2-5 ejecutadas por los Gobiernos Regionales.</p> <p>2-7 Revisión del manual relativo a la implementación de obras de suministro de agua, considerando los resultados de los Proyectos Piloto.</p> <p>3-1 Selección de alrededor de 10 sitios de las localidades rurales y pequeñas ciudades donde las Municipalidades, JASS y Comités de Agua realizan los Proyectos Piloto para la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua, así como para la sensibilización sobre saneamiento. (Incluyendo las 6 localidades rurales y ciudades pequeñas seleccionadas en 2-3).</p> <p>3-2 Los Gobiernos Regionales, en colaboración con las Municipalidades de las localidades objeto de los Proyectos Piloto, elaboran el borrador de los manuales relativos a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua (consolidación organizativa de las Municipalidades, JASS y Comités de Agua, elaboración del plan de administración, operación y mantenimiento, establecimiento y cobranza de tarifas, reparaciones de pequeña escala y método de obtención de los</p>	<p><b>Parte Japonesa</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Expertos.</li> <li>2. Consultores locales.</li> <li>3. Equipos y materiales: Vehículos.</li> <li>4. Envío de becarios: algunos becarios por año.</li> <li>5. Contratación local <ul style="list-style-type: none"> <li>• Estudio: en 2 Regiones.</li> <li>• Alrededor de 5 sitios de Proyecto Piloto en cada región.</li> </ul> </li> <li>6. Otros esquemas: Voluntarios (cooperación relacionada con el mantenimiento y la mejora del nivel de vida en las localidades rurales y pequeñas ciudades), seguimiento (equipos relacionados con la excavación de pozos donados por la cooperación financiera no reembolsable) y cooperación de asistencia a proyectos comunitarios, etc.</li> </ol> <p><b>Parte Peruana</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Ministerio de Vivienda, Construcción y Saneamiento (MCVS) <ul style="list-style-type: none"> <li>• Asignación del personal necesario: 1 Coordinador del Proyecto.</li> <li>• Medios de desplazamiento de la contraparte.</li> </ul> </li> <li>2. Direcciones a cargo del suministro de agua y saneamiento del Gobierno Regional de Piura y de Lambayeque. <ul style="list-style-type: none"> <li>• Aseguramiento de la oficina del Proyecto, así como el suministro de muebles y materiales de oficina.</li> <li>• Asignación de coordinadores con dedicación completa al Proyecto (mínimo 3 personas por cada Gobierno Regional).</li> <li>• Asignación del personal necesario: ingenieros especializados.</li> <li>• Medios de transporte para la contraparte.</li> <li>• Recursos financieros necesarios para la ejecución de los Proyectos Piloto.</li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Se asigna el presupuesto necesario para mejorar el suministro de agua y saneamiento en ambas regiones.</li> <li>• Es posible obtener sin demora las informaciones necesarias para las actividades del Proyecto.</li> <li>• Se dispone de la logística (medios de transporte) para las actividades del Proyecto.</li> <li>• Se ejecutan sin demora los trámites legales en el Perú para la implementación de las operaciones.</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>&lt;Premisas&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Designar apropiadamente los miembros de la contraparte.</li> <li>• Se mantiene la misma política y funciones de los Gobiernos Locales, Regionales y el MVCS.</li> <li>• No cambiar las actividades de las demás entidades donantes.</li> <li>• No se deteriora la seguridad.</li> </ul>

<p>repuestos) y a la sensibilización sobre saneamiento que realizan las Municipalidades, JASS y Comités de Agua.</p> <p>3-3 Los Gobiernos Regionales ejecutan las capacitaciones relacionadas con la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua, así como la sensibilización sobre saneamiento a las Municipalidades, JASS y Comité de Agua que administran las operaciones de suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de los Proyectos Piloto.</p> <p>3-4 Ejecución por las Municipalidades, JASS y Comité de Agua de las localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de los Proyectos Piloto, de consolidación de la organización, elaboración del plan de administración, operación y mantenimiento, actividades de sensibilización, así como el establecimiento, cobranza y administración de tarifas.</p> <p>3-5 Las Municipalidades, JASS y Comités de Agua de las localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de los Proyectos Piloto adquieren los repuestos y realizan reparaciones de pequeña escala, en cooperación con los Gobiernos Regionales.</p> <p>3-6 Los Gobiernos Regionales y el MVCS realizan el monitoreo de las actividades de 3-3 y 3-5.</p> <p>3-7 Se revisa el borrador del manual de administración, operación y mantenimiento y el de la sensibilización de saneamiento, en base a los resultados de los Proyectos Piloto.</p> <p>4-1 Las Municipalidades objeto de los Proyectos Piloto realizan las capacitaciones relativas a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y a la sensibilización, dirigidas a todas las JASS y Comités de Agua de su jurisdicción, utilizando los manuales respectivos.</p> <p>4-2 Los Gobiernos Regionales realizan las capacitaciones relativas a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y a la sensibilización, de todas las Municipalidades, utilizando los manuales respectivos.</p> <p>4-3 Todas las Municipalidades de ambas regiones elaboran los planes de capacitación relativos a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y a la sensibilización, de todas las JASS y Comités de Agua de su jurisdicción.</p> <p>4-4 Los Gobiernos Regionales de Piura y Lambayeque celebran seminarios para compartir los resultados del Proyecto con otras regiones.</p>		
---	--	--





	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado
Ejecución por los gobiernos regionales de la construcción y reparación de gran escala de las instalaciones de suministro de agua utilizando los operadores privados en las 6 localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de las operaciones piloto.	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado
Ejecución de la construcción (Lambayeque: Hualdeates)	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado
Ejecución de la construcción (Pura: San Jorge)	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado
Ejecución de la construcción (Pura: Milacas)	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado
Monitoreo (Lambayeque)	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado
Monitoreo (Piura)	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado
Revisión del manual	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado
Selección de las localidades de Proyectos Piloto (con construcción)	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado
Selección de las localidades de Proyectos Piloto (sin construcción)	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado
Elaboración del borrador del manual relativo a la operación y mantenimiento - componentes no físicos	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado
Elaboración del manual y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua (acondicionamiento de la organización de los municipios y comisiones de agua y saneamiento, elaboración del plan de explotación y mantenimiento, cobranza de las tarifas, reparaciones de pequeña escala, método de obtención de los repuestos) y sensibilización en saneamiento que realicen los municipios y los comités de agua y saneamiento bajo la cooperación de los gobiernos regionales y los municipios objeto de las operaciones piloto.	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado
Ejecución por los gobiernos regionales del entrenamiento relacionado con la adquisición, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua para los municipios y los comités de agua y saneamiento para controlar las operaciones de suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de las operaciones piloto.	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado
Ejecución por los municipios y comisiones de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de las operaciones piloto, del acondicionamiento de la organización, elaboración del plan de explotación y mantenimiento, actividades de saneamiento, fijación de tarifas, cobranza de las tarifas fijadas y control.	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado
Los municipios y los comités de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de las operaciones piloto adquirirán los repuestos y realizarán las reparaciones de pequeña escala en cooperación con el gobierno departamental.	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado	Ejecutado	Planeado

3-6	Los gobiernos regionales y el Ministerio de Vivienda, Construcción y Saneamiento realizarán el monitoreo de las actividades de 3-3 y 3-5.	Planeado Ejecutado	[Bar chart showing activity progress for 3-6]
3-6-1	Actividades de seguimiento (Lambayeque)	Planeado Ejecutado	[Bar chart showing activity progress for 3-6-1]
3-6-2	Actividades de seguimiento (Piura)	Planeado Ejecutado	[Bar chart showing activity progress for 3-6-2]
3-7	Se revisará el borrador del manual relativo a la explotación, conservación y sensibilización en saneamiento considerando los resultados de las operaciones piloto.	Planeado Ejecutado	[Bar chart showing activity progress for 3-7]
3-7-1	Revisión del manual (Operación y mantenimiento - componentes no físicos)	Planeado Ejecutado	[Bar chart showing activity progress for 3-7-1]
3-7-2	Revisión del manual (Operación y mantenimiento - componentes físicos)	Planeado Ejecutado	[Bar chart showing activity progress for 3-7-2]
3-7-3	Revisión del manual (Sensibilización en saneamiento y educación sanitaria)	Planeado Ejecutado	[Bar chart showing activity progress for 3-7-3]
4-1	Los municipios objeto de las operaciones piloto realizarán el entrenamiento relativo a la administración, operación y mantenimiento y sensibilización en saneamiento de las instalaciones de suministro de agua de todos los comités de agua y saneamiento utilizando el manual relativo a la administración, operación y mantenimiento y sensibilización en saneamiento.	Planeado Ejecutado	[Bar chart showing activity progress for 4-1]
4-1-1	Ejecución de la capacitación para todos los comités (Lambayeque)	Planeado Ejecutado	[Bar chart showing activity progress for 4-1-1]
4-1-2	Ejecución de la capacitación para todos los comités (Piura)	Planeado Ejecutado	[Bar chart showing activity progress for 4-1-2]
4-2	Los gobiernos regionales realizarán el entrenamiento relativo a la administración, operación y mantenimiento y sensibilización en saneamiento de las instalaciones de suministro de agua de todos los municipios utilizando el manual relativo a la administración, operación y mantenimiento y sensibilización en saneamiento.	Planeado Ejecutado	[Bar chart showing activity progress for 4-2]
4-2-1	Ejecución de la capacitación para todas las municipalidades (Lambayeque)	Planeado Ejecutado	[Bar chart showing activity progress for 4-2-1]
4-2-2	Ejecución de la capacitación para todas las municipalidades (Piura)	Planeado Ejecutado	[Bar chart showing activity progress for 4-2-2]
4-3	Todos los municipios de ambas regiones elaborarán el plan de entrenamiento relativo a la administración, operación y mantenimiento y sensibilización en saneamiento de las instalaciones de suministro de agua de todos los comités de agua y saneamiento bajo su jurisdicción.	Planeado Ejecutado	[Bar chart showing activity progress for 4-3]
4-3-1	Elaboración del Plan de Capacitación (Lambayeque)	Planeado Ejecutado	[Bar chart showing activity progress for 4-3-1]
4-3-2	Elaboración del Plan de Capacitación (Piura)	Planeado Ejecutado	[Bar chart showing activity progress for 4-3-2]
4-4	Las regiones de Piura y Lambayeque celebrarán los seminarios para compartir los resultados del proyecto con otros regiones.	Planeado Ejecutado	[Bar chart showing activity progress for 4-4]
4-4-1	Desarrollo de los seminarios	Planeado Ejecutado	[Bar chart showing activity progress for 4-4-1]

Nota)

: Actividad a ser realizada en el período específico

: Actividad a ser realizada durante todo el período del Proyecto

: Actividad a ser realizada oportunamente de acuerdo a la ocasión

: Período real de la actividad realizada

Anexo 3: Aporte de la Parte Japonesa  
(1) Expertos

Funciones a cargo	Nombre	Cuarto año (2012)																								Primer Año Campo: Nacional	Segundo Año Campo: Nacional	Tercer Año Campo: Nacional	Cuarto Año Campo: Nacional	Total Campo: Nacional		
		Primer año (2011)		Segundo año		Tercer año		2010		2009		2011		2012		2013																
		1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	3														
1) Dirección General/Planificación de la Explotación y Mantenimiento (Incluyendo la Planificación del Suministro de Agua)	Kentichiro Sugiyama	Plan	50	50	40	40	30	30	30	35	35	30	40	30	30	30	40	30	30	30	40	45	45	30	30	30	30	5.00	7.83	4.67	0.00	17.50
		Actual	50	50	40	40	30	30	30	35	35	30	40	30	30	30	40	30	30	30	30	40	45	45	30	30	30	30	5.00	4.50	0.00	0.00
2) Subdirección general/Planificación General del Suministro de agua (Desarrollo de Aguas Subterráneas 1)	Yusuke Oshika	Plan	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	3.50	3.50	0.00	0.00	7.00
		Actual	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	3.50	3.50	0.00	0.00	7.00
3) Planificación General del Suministro de agua (Desarrollo de Aguas Subterráneas 2)	Masao Uematsu	Plan	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	3.33	8.00	7.50	0.00	18.83	
		Actual	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	3.33	4.03	0.00	0.00	7.36
4) Planificación General del Suministro de agua (Desarrollo de Aguas Subterráneas 3)	Ruben Enzan Sansuy	Plan	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	3.00	9.00	0.00	0.00	12.00	
		Actual	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	3.00	6.00	0.00	0.00	9.00
5) Planificación de la Ilustración del saneamiento	Shigeru Sugawara	Plan	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	3.67	6.33	3.50	0.00	13.50	
		Actual	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	3.67	3.67	0.00	0.00	7.34
6) Operación y Mantenimiento de Instalaciones de Tratamiento	Shunsaku Matsuo	Plan	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	0.00	3.00	2.00	0.00	5.00	
		Actual	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		Plan	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	37.66	17.67	0.00	73.83
		Actual	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	18.50	21.70	0.00	0.00	40.20



(2) Equipos Proveídos para el Proyecto

1) Suministro de Equipo los Gobiernos Regionales de Lambayeque y Piura

Equipo	Cant.	Objetivo del Uso	Disposición	Local de Obtención	Precio Unitario	Importe	Fecha de Entrega
1 Computadora	2	Para trabajos de oficina en las oficinas locales	DRVS de ambas Regiones	Adquisición local por el contratista	814.86 US\$	1,629.72 US\$	1er año fiscal / Ago. 2009
2 Copiadora	2	Para trabajos de oficina en las oficinas locales	DRVS de ambas Regiones	Adquisición local por el contratista	520.31 US\$	1,040.62 US\$	1er año fiscal / Ago. 2009
3 Impresora de Red	2	Para trabajos de oficina en las oficinas locales	DRVS de ambas Regiones	Adquisición local por el contratista	320.00 US\$	640.00 US\$	1er año fiscal / Ago. 2009
4 Vehículo	2	Para actividades del Proyecto	DRVS de ambas Regiones	Adquisición local por JICA	30,540.00 US\$	61,080.00 US\$	1er año fiscal / Mar. 2010
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							

2) Equipos Acompañados al Despacho de Expertos a las Regiones de Lambayeque y Piura

Equipo	Cant.	Objetivo del Uso	Disposición	Local de Obtención	Precio Unitario	Importe	Fecha de Entrega
1 Proyector	1	Para presentaciones	DRVS Región Lambayeque	Adquisición domestica por el contratista	90,000 ¥	90,000 ¥	1er año fiscal / Ago. 2009
2 Medidor de Conductividad Eléctrica y pH	2	Para estudio de base (estudio de la fuente de agua)	DRVS de ambas Regiones	Adquisición domestica por el contratista	129,500 ¥	259,000 ¥	1er año fiscal / Ago. 2009
3 Medidor de Nivel de Agua	2	Para estudio de base (estudio de la fuente de agua)	DRVS de ambas Regiones	Adquisición domestica por el contratista	54,500 ¥	109,000 ¥	1er año fiscal / Ago. 2009
4 GPS portátil	2	Para estudio de base (posicionamiento)	DRVS de ambas Regiones	Adquisición domestica por el contratista	25,520 ¥	51,040 ¥	1er año fiscal / Ago. 2009
5 Turbidímetro	2	Para Proyecto Piloto para la Sensibilización Sanitaria (análisis de agua)	DRVS de ambas Regiones	Adquisición domestica por el contratista	166,000 ¥	332,000 ¥	2do año fiscal / Oct. 2010
6							
7							
8							

(3) Subcontratación en el país

Empresa Subcontratada		Contenido	Fecha de Contrato	Monto de Contrato
1	<p>Contrato de Consultor local Análisis de Agua (Región Lambayeque)</p> <p>Universidad Pedro Ruiz Gallo</p>	<p>Análisis de Calidad de Agua, en las dos localidades de Proyectos Piloto (El Espinal y Humedades) (Parámetros de análisis) Olor, Hierro, Manganeso, Nitratos, Nitritos, DOO, Amoniaco (Número de muestras) El Espinal: 7, Humedades: 6</p> <p>※ La Universidad Pedro Ruiz Gallo sigue en huelgas administrativas intermitentes. Hasta inicios de mayo aún no se han concluido los análisis.</p>	2011/3/11	US\$ 1,924.00- (¥157,249) Tipo de cambio regulado de JICA
2	<p>Contrato de Consultor local Análisis de Agua (Región Piura)</p> <p>Universidad de Piura</p>	<p>Análisis de Calidad de Agua, en las dos localidades de Proyectos Piloto (Malacastí y San Jorge) (Parámetros de análisis) Olor, Hierro, Manganeso, Nitratos, Nitritos, DOO, Amoniaco (Número de muestras) Malacastí: 7, San Jorge: 8→7 (por motivo de cronograma de obras, no se pudo recoger muestras de un punto, quedando en 7 el número de muestras.)</p> <p>Implementación de Instalaciones de Suministro de Agua en las dos localidades de los Proyectos Piloto (El Espinal y Humedades)</p>	2011/3/15	US\$ 1,785.90- (¥145,962) Tipo de cambio regulado de JICA
3	<p>Gastos de Obras Proyectos Piloto (Región Lambayeque)</p> <p>Teknometal Contratas Generales SAC</p>	<p>1) El Espinal El Espinal es un centro poblado de aproximadamente 460 habitantes, ubicado en una zona entre montañas, aproximadamente a 70 km al este de Chiclayo, la capital de la región Lambayeque. Al sur del poblado discurre el río Zaña, de cuyo cauce alto la población recoge el agua fluvial para su vida cotidiana. Las instalaciones de suministro de agua existentes, constaban de captación, desarenador y filtros, sin embargo, al momento de los estudios se vio que éstas no funcionaban, y el agua captada del río era conducida por las tuberías, sin ningún tipo de tratamiento, abasteciendo a parte del centro poblado. En el presente Proyecto Piloto, se realiza la rehabilitación de dichas instalaciones existentes y a la vez, se conectan las tuberías a todas las viviendas, a fin de completar las conexiones domiciliarias que existen sólo en parte del poblado, y se instalan medidores a cada conexión. En este momento no tienen instalados medidores de agua.</p> <p>[Principales obras]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Construcción/rehabilitación de: Captación, Sedimentador, Pre Filtro, Filtro Lento, Cámaras rompe presión</li> <li>• Rehabilitación de tubería de conducción, protección de reservorio, implementación de instalaciones de clorinación, rehabilitación de tuberías de distribución</li> <li>• Instalación de tuberías de conexión domiciliaria (39 viviendas) y micromedidores (127 viviendas)</li> </ul> <p>2) Humedades</p> <p>Humedades es un centro poblado ubicado en una zona llana a 110~120m de altitud, a unos 55 km al este noreste de Chiclayo, con una población de aproximadamente 320 habitantes. En las afueras del poblado hay un pozo para irrigación (90m profundidad), con capacidad de proveer 40 l/seg. y actualmente la población utiliza las aguas subterráneas del pozo, como agua de uso doméstico. Al lado del pozo se ha construido un tanque elevado de distribución, sin embargo las instalaciones de impulsión del agua del pozo hacia el tanque, así como las de distribución, del tanque a cada vivienda, aun no han sido implementadas. Si bien en una oportunidad se formuló un plan de implementación, tras el cambio de autoridades ediles se frustró y el tanque elevado que había sido construido, permaneció abandonado sin uso. El presente Proyecto Piloto instala al lado del pozo de regadío, un reservorio, del cual se impulsa el agua al tanque elevado, y a la vez se implementan las instalaciones de distribución desde el tanque elevado hacia cada vivienda. Naturalmente incluye la rehabilitación del tanque elevado existente. Conjuntamente con la conexión de las tuberías de distribución, se instalan micromedidores.</p> <p>[Principales obras]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Construcción de caseta de bombeo del pozo</li> <li>• Rehabilitación de reservorio, instalación de sistema de clorinación, instalación de tubería de impulsión al tanque elevado.</li> <li>• Rehabilitación de tanque elevado, conexión a red de tuberías de distribución, parcialmente instalación de nuevas tuberías</li> <li>• Instalación de tuberías de conexión domiciliaria y micromedidores (59 viviendas)</li> </ul>	2010/10/6	US\$ 185,361.92- (¥15,509,232) Tipo de cambio regulado de JICA

4	Gastos de Obras Proyectos Piloto (Región Piura)	<p>Implementación de Instalaciones de Suministro de Agua en una localidad de Proyecto Piloto (San Jorge)</p> <p>1) San Jorge  San Jorge se encuentra a unos 80km al este noreste de Piura, la capital de la región Piura, en una zona montañosa a 1,300~1,400m de altitud. El área objetivo del presente Proyecto Piloto es una zona que abarca dos caseríos vecinos, con los que suman aproximadamente 1,160 habitantes. A unos 3km aguas arriba del poblado se captan las aguas superficiales que abastecen a la población. Si bien en el recorrido existen instalaciones como sedimentador y filtro lento, ninguno de ellos está en condiciones operativas. Por ello, el pueblo es abastecido de agua sin tratamiento.</p> <p>En el presente Proyecto Piloto se decidió implementar y rehabilitar dichas instalaciones existentes, y a la vez, instalar tuberías de conexión domiciliaria y micromedidores, en el área objetivo.</p> <p>[Principales obras]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Construcción de dique de captación, sedimentador</li> <li>• Rehabilitación de tubería de conducción, filtro lento</li> <li>• Construcción de reservorio y rehabilitación de tuberías de distribución (parcialmente reemplazo por nuevas tuberías)</li> <li>• Instalación de tuberías de conexión domiciliaria y micromedidores (223 viviendas)</li> </ul>	<p>US\$ 138,425.18-  (¥11,649,863)  Tipo de cambio regulado de JICA</p> <p>2010/12/15</p>
---	---	---	---

**(4) Costo Local del Proyecto**

( Unidad : Yen )

Especificas del Gasto	Primer Ano	Segundo Anc (hasta Marzo de	Suma
(3) Generales y Administrativos (excluyendo entrenamiento	12,957,000	12,183,000	25,140,000
1) Sueldos	8,317,252	7,551,593	15,868,845
2) Mantenimiento de Máquina:	0	0	0
3) Suministro de Consumibles	17,133	240,557	257,690
4) Viajes	1,539,550	1,638,764	3,178,314
5) Comunicación y Transportaciór	0	0	0
6) Preparación de los Materiales Pertinente:	1,130,230	599,241	1,729,471
7) Alquiler de Propiedad	1,953,543	1,467,581	3,421,124
8) Energia Electrica, Agua y Gas	0	0	0
9) Desarrollo y Mantenimiento de Recursos Humanos:	0	0	0
10) Mantenimiento de Propiedad	0	0	0
11) Entrenamiento Local	0	685,643	685,643
12) Actividad Local	0	0	0
13) Outsourcing Local	0	0	0
14) Otros Bienes	0	0	0
(4) Compra de Equipos Financiado:	315,000	0	315,000
(5) Transportacion de Equipos Financiado	0	0	0
(6) Compra de Equipos Portable:	509,000	332,000	841,000
(7) Transportacion de Equipos Portable:	0	0	0
(8) Compra de Otros Equipos	0	0	0
(9) Transportacion de Otros Equipos:	0	0	0
(12) Contratación de Consultores Locales:	0	200,971	200,971
(13) Contratación de ONGs Locales:	0	0	0
(14) Construcción	0	21,083,284	21,083,284
(15) Conferencia	0	0	0
<b>V. Suma</b>	<b>13,781,000</b>	<b>33,799,255</b>	<b>47,580,255</b>

## Anexo 4: Aporte de la Parte Peruana

### (1) Lista de Contrapartes

#### 1) Ministerio de Vivienda, Construcción y Saneamiento

No.	Nombre	Cargo (en la organización)	Cargo (en el Proyecto)	Período asignado al Proyecto
PAPT 1	Ing. Félix Agapito Acosta	Director Ejecutivo	Presidente CDR	2009.6~
PAPT 2	Ing. Vanessa Vereau Ladd	Jefa Unidad Operativa de Saneamiento Rural		2011.5~
PAPT 3	Ing. Juan Carlos Sánchez Lazo	Profesional Especialista (Unidad Operativa de Saneamiento Rural)	Nuevo Coordinador	2011.5~
PAPT 4	Ing. Mercedes Angelina Peña Niño	Profesional Especialista (Unidad Operativa de Saneamiento Rural)	Nueva Coordinadora	2011.5~
(Cambiados)				
PAPT 5	(Ing. Flor Solano de Meza)	Profesional Especialista (Unidad Operativa de Saneamiento Urbano)	Ex Coordinadora	2009.6~2011.5
PAPT 6	(Ing. Bertha Giraldo Fernández)	Profesional Especialista (Unidad Operativa de Saneamiento Urbano)	Ex Coordinadora	2009.6~2011.5

#### 2) Región Lambayeque (Gobierno Regional de Lambayeque)

No.	Nombre	Cargo (en la organización)	Cargo (en el Proyecto)	Período asignado al Proyecto
GOREL 1	Dr. Víctor Torres Anaya	Gerente Regional de Desarrollo Social	Miembro de CDR	2011.1~
DRVS - L 1	Ing. Víctor Eloy de la Cruz Rojas	Director (DRVS)		2010.8~
DRVS - L 2	Ing. Nepton David Ruiz Saavedra	Empleado DRVS (N)	WG1(Líder)	2009.6~
DRVS - L 3	Arq. José López Gálvez	Empleado DRVS (N)	WG1	2009.6~
DRVS - L 4	Ing. Lorenzo Mau Kuzan	Empleado DRVS (N)	WG1	2011.3~
DRVS - L 5	Lic. Sandor Lenin Martínez Jiménez	Empleado DRVS (N)	WG2(Líder)	2009.6~
DRVS - L 6	Arq. Teodoro Custodio Diez	Empleado DRVS (N)	WG2	2009.6~
DRVS - L 7	Arq. Yony Paredes Ángeles	Empleado DRVS (N)	WG3(Líder), Coordinador general	2009.6~
DRVS - L 8	Arq. Fabio Mendoza Yarasca	Empleado DRVS (N)	WG3	2009.6~
(Cambiados)				
GOREL 1	Dr. Luis Castañeda Ponce	Gerente Regional de Desarrollo Social	Miembro de CDR	2009.6~2010.12
DRVS - L 1	Ing. Raúl Cieza Vásquez	Director		2009.6~2010.8
DRVS - L 2	Ing. Giuliana Díaz Reyes	UF	WG1	2009.6~2010.12
DRVS - L 3	Eco. Hugo Flores Oliva	UF	WG1	2009.6~2010.12
DRVS - L 4	Ing. Harold López Osorio	UF	WG1	2009.6~2010.12

3) Región Piura (Gobierno Regional de Piura)

No.	Nombre	Cargo (en la organización)	Cargo (en el Proyecto)	Período asignado al Proyecto
GORE P 1	Econ. Verónica Luy Delgado	Gerente Regional de Desarrollo Social	Miembro de CDR	2011.1~
DRVS - P 1	Arq. Elba del Carmen Merino de Lama	Directora (DRVS)		2009.6~
DRVS - P 2	Ing. Richar Ronald ROMERO Rodríguez	Empleado DRVS (L)	WG1	2010.10~
DRVS - P 3	Ing. Juan GARCÍA Montalvo	Despachado por Gobierno Regional	WG1(Líder), Coordinador general	2009.10~
DRVS - P 4	Sr. Eloy HUACCHILLO Chuquirima	Empleado DRVS (N)	WG1	2009.6~
DRVS - P 5	Sr. Agustín AGUIRRE Silupú	Empleado DRVS (N)	WG2(Líder)	2009.6~
DRVS - P 6	Lic. Patricia SAAVEDRA Córdova	Empleado DRVS (L)	WG2	2010.4~12, 2011.2~
DRVS - P 7	Econ. Elba ZAPATA Pania	Empleado DRVS (L)	WG2	2009.12~
DRVS - P 8	Sra. Ángela CALLE de Córdova	Empleado DRVS (N)	WG2	2009.6~
DRVS - P 9	Lic. Aída PALACIOS Lazo	Empleado DRVS (L)	WG3(Líder)	2010.1~7, 2011.4~*
DRVS - P 10	Ing. Jesús BALBÍN Archi	Empleado DRVS (L)	WG3	2011.3~
DRVS - P 11	Sr. Wilfredo RUJEL Mogollón	Empleado DRVS (N)	WG3	2009.6~
(Cambiados)				
GORE P 1	Dr. Luis Alberto Ortiz Granda	Gerente Regional de Desarrollo Social	Miembro de CDR	2009.6~2010.12
DRVS - P 1	Arq. Melissa CORREA Girón	Empleado DRVS (C)	WG1	2009.6~2010.12
DRVS - P 2	Ing. Roberto AGUIRRE Sánchez	Empleado DRVS (C)	WG1	2009.6~2010.12
DRVS - P 3	Sra. Karla M. CRUZ Ordínola de López	Empleado DRVS (C)	WG2	2009.6~2010.12
DRVS - P 4	Sr. Carlos W. AQUINO Silva	Empleado DRVS (C)	WG2	2009.6~2010.12
DRVS - P 5	Sr. Cruz Henry ROSILLO Gonzáles	Empleado DRVS (L)	WG2	2009.6~2010.12
DRVS - P 6	Sra. Shirley LOMBARDI Lizano	Empleado DRVS (C)	WG3	2009.6~2010.12

(\* contratada por UNICO > 2010.10 ~ 2011.3)

(Nota) N --- Nombrado, C --- Contrato Administrativo de Servicios, L --- Locación de Servicios

**(2) Monto de Gastos (aporte económico) de la parte Peruana, para PRISAS Actualizado a mayo 2011**

MINISTERIO DE VIVIENDA Oficina General de Planificación y Presupuesto(OGPP) - Unidad de Cooperación Internacional	Comisionado	N° de Viajes	Año(s)	Pasajes Aéreos	Imp. Corpac	Alojamiento	Alimentación	Otros (Transp.Terrest e, Mov. Interna, etc.)	TOTAL (Soles)
	Lic. Ricardo Gálvez	5	2008-2010	6,750	150	770	840	630	9,140
Programa Agua para Todos (PAPT), Unidad Operativa de Saneamiento Rural (UOSR)	Ing° Flor Solano	6	2008-2011	8,100	180	2355	2250	630	13,515
Programa Agua para Todos (PAPT), Unidad Operativa de Saneamiento Rural (UOSR)	Lic. Bertha Giraldo	4	2009-2011	5,400	120	1570	1500	420	9,010
Programa Agua para Todos (PAPT), Unidad Operativa de Saneamiento Rural (UOSR)	Ing° Juan Carlos Sanchez Lazo	1	2011	1,350	30	250	250	66	1,946
Programa Agua para Todos (PAPT), Unidad Operativa de Saneamiento Rural (UOSR)	Lic. Mercedes Peña Niño	1	2011	1,350	30	250	250	66	1,946
									35,557

\* El PAPT tiene presupuestado para este periodo la ejecución del 100% del "Manual de Implementación de Instalaciones de Agua - PRISAS - UOSR" S/. 138,323

\*\* Dicho Manual esta siendo elaborado por el Consultor "GRUPO GEA" quienes a la fecha han presentado su segundo informe de avance

**(3) Costo del Proyecto Aportado por Gobierno Regional de Lambayeque**

(EN NUEVOS SOLES)

Pliego : GOBIERNO REGIONAL LAMBAYEQUE  
 Unidad Ejecutora : SEDE CENTRAL DEL GOBIERNO REGIONAL LAMBAYEQUE  
 Dirección Regional de Vivienda y Saneamiento - Lambayeque

1.2.3 Bienes y Servicios		Julio /Diciembre 2009	Ejercicio 2010	Enero /Abril 2011
Específicas del Gasto		20,490	41,161	12,895
<b>1.2.3.1</b>	<b>COMPRA DE BIENES</b>	<b>9,624</b>	<b>14,250</b>	<b>10,990</b>
1.2.3.1.1	ALIMENTOS Y BEBIDAS	250	700	-
1.2.3.1.1.1	ALIMENTOS Y BEBIDAS	250	700	-
1.2.3.1.1.1.1	ALIMENTOS Y BEBIDAS PARA CONSUMO HUMANO	250	700	-
1.2.3.1.2	VESTUARIO Y TEXTILES	-	750	-
1.2.3.1.2.1	VESTUARIO, ZAPATERIA Y ACCESORIOS, TALABARERIA Y MATERIALES TEXTILES	-	750	-
1.2.3.1.2.1.1	VESTUARIO, ACCESORIOS Y PRENDAS DIVERSAS	-	750	-
1.2.3.1.3	COMBUSTIBLES, CARBURANTES, LUBRICANTES Y AFINES	820	5,040	3,620
1.2.3.1.3.1	COMBUSTIBLES, CARBURANTES, LUBRICANTES Y AFINES	820	5,040	3,620
1.2.3.1.3.1.1	COMBUSTIBLES Y CARBURANTES	680	4,560	3,200
1.2.3.1.3.1.3	LUBRICANTES, GRASAS Y AFINES	140	480	420
1.2.3.1.5	MATERIALES Y UTILES	800	1,500	170
1.2.3.1.5.1	DE OFICINA	600	1,200	120
1.2.3.1.5.1.1	REPUESTOS Y ACCESORIOS	220	450	-
1.2.3.1.5.1.2	PAPELERIA EN GENERAL UTILES Y MAT. DE OFICINA	380	750	120
1.2.3.1.5.3	ACEO, LIMPIEZA Y COCINA	200	300	50
1.2.3.1.5.3.1	ASEO LIMPIEZA Y TOCADOR	200	300	50
1.2.3.1.6	REPUESTOS Y ACCESORIOS	3,254	4,760	3,600
1.2.3.1.6.1	REPUESTOS Y ACCESORIOS	3,254	4,760	3,600
1.2.3.1.6.1.1	MANTENIMIENTO DE VEHICULO	204	4,200	3,600
1.2.3.1.6.1.3	DE CONSTRUCCION Y MAQUINAS	3,050	560	-
1.2.3.1.99	COMPRA DE OTROS BIENES	4,500	1,500	3,600
1.2.3.1.99.1	COMPRA DE OTROS BIENES	4,500	1,500	3,600
1.2.3.1.99.1.99	OTROS BIENES	4,500	1,500	3,600
<b>1.2.3.2</b>	<b>CONTRATACIONES DE SERVICIOS</b>	<b>10,866</b>	<b>26,911</b>	<b>1,905</b>
1.2.3.2.1	VIAJES	2,880	3,250	1,425
1.2.3.2.1.2	VIAJES DOMESTICOS	2,880	3,250	1,425
1.2.3.2.1.2.1	PASAJES Y GASTOS DE TRANSPORTE	700	650	-
1.2.3.2.1.2.2	VIATICOS Y ASIGNACIONES POR COMISION DE SEVICIOS	2,000	2,200	1,370
1.2.3.2.1.2.99	OTROS GASTOS	180	400	55
1.2.3.2.2	SERVICIOS BASICOS, COMUNICACIONES, PUBLICIDAD Y DIFUSION	1,950	2,870	220
1.2.3.2.2.1	SERVICIOS DE ENRGIA ELECTRICA, AGUA Y GAS	725	1,070	-
1.2.3.2.2.1.1	SERVICIO DE SUMINISTRO DE ENERGIA ELECTRICA	590	820	-
1.2.3.2.2.1.2	SERVICIO DE AGUA Y DESAGUE	135	250	-
1.2.3.2.2.2	SERVICIOS DE TELEFONIA E INTERNET	625	850	-
1.2.3.2.2.2.2	SERVICIO DE TELEFONIA FIJA	625	850	-
1.2.3.2.2.3	SERVICIOS DE MENSAJERIA, TELECOMUNICACIONES Y OTROS AFINES	300	600	220
1.2.3.2.2.3.1	CORREOS Y SERVICIO DE MENSAJERIA	300	600	220
1.2.3.2.2.4	SERVICIO DE PUBLICIDAD, IMPRESIONES, DIFUSION Y IMAGEN INSTITUCIONAL	300	350	-
1.2.3.2.2.4.3	SERVICIO DE IMAGEN INSTITUCIONAL	300	350	-
1.2.3.2.2.4.4	SERVICIO DE IMPRESIONES, ENCUADERNACION Y EMPASTADO	-	-	-
1.2.3.2.6	SERVICIOS ADMINISTRATIVOS, FINANCIEROS Y DE SEGUROS	-	5,791	260
1.2.3.2.6.3	SEGUROS	-	5,791	260
1.2.3.2.6.3.1	SOAT	-	260	260
1.2.3.2.6.3.2	SEGURO DE VEHICULOS	-	5,531	-
1.2.3.2.7	SERVICIOS PERSONALES Y TECNICOS	6,036	15,000	-
1.2.3.2.7.2	SERVICIOS DE CONSULTORIAS, ASESORIAS Y SIMILARES DESARROLLADOS POR PERSONAS NATURALES	6,036	15,000	-
1.2.3.2.7.2.4	PERFILES DE INVERSION	1,836	7,000	-
1.2.3.2.7.11.99	SERVICIOS DIVERSOS	4,200	8,000	-



**(4) Costo del Proyecto Aportado por Gobierno Regional de Piura**

(EN NUEVOS SOLES)

Pliego : GOBIERNO REGIONAL PIURA

Unidad Ejecutora : SEDE CENTRAL DEL GOBIERNO REGIONAL PIURA

Dirección Regional de Vivienda, Construcción y Saneamiento - Piura

1.2.3 BIENES Y SERVICIOS		Julio /Diciembre 2009	Ejercicio 2010	Enero /Abril 2011
Específicas del Gasto		42,730	190,254	69,387
1.2.3.1	COMPRA DE BIENES	3,225	12,583	2,653
1.2.3.1.1	ALIMENTOS Y BEBIDAS	646	2,571	303
1.2.3.1.1.1	ALIMENTOS Y BEBIDAS	646	2,571	303
1.2.3.1.1.1.1	ALIMENTOS Y BEBIDAS PARA CONSUMO HUMANO	646	2,571	303
1.2.3.1.2	VESTUARIO Y TEXTILES	-	-	-
1.2.3.1.2.1	VESTUARIO, ZAPATERIA Y ACCESORIOS, MAT. TEXTILES	-	-	-
1.2.3.1.2.1.1	VESTUARIO, ACCESORIOS Y PRENDAS DIVERSAS	-	-	-
1.2.3.1.2.1.3	CALZADO	-	-	-
1.2.3.1.3	COMBUSTIBLES, CARBURANTES, LUBRICANTES Y AFINES	135	4,086	2,218
1.2.3.1.3.1	COMBUSTIBLES, CARBURANTES, LUBRICANTES Y AFINES	135	4,086	2,218
1.2.3.1.3.1.1	COMBUSTIBLES Y CARBURANTES	135	4,086	2,218
1.2.3.1.3.1.3	LUBRICANTES, GRASAS Y AFINES	-	-	-
1.2.3.1.5	MATERIALES Y UTILES	380	4,700	-
1.2.3.1.5.1	DE OFICINA	32	4,433	-
1.2.3.1.5.1.1	REPUESTOS Y ACCESORIOS	-	-	-
1.2.3.1.5.1.2	PAPELERIA EN GENERAL, UTILES Y MAT. DE OFICINA	32	4,433	-
1.2.3.1.5.3	ACEO, LIMPIEZA Y COCINA	348	266	-
1.2.3.1.5.3.1	ASEO LIMPIEZA Y TOCADOR	348	266	-
1.2.3.1.6	REPUESTOS Y ACCESORIOS	56	1,226	133
1.2.3.1.6.1	REPUESTOS Y ACCESORIOS	56	1,226	133
1.2.3.1.6.1.1	MANTENIMIENTO DE VEHICULO	-	72	133
1.2.3.1.6.1.3	DE CONSTRUCCION Y MAQUINAS	-	-	-
1.2.3.1.6.1.99	OTROS ACCESORIOS Y REPUESTOS	56	1,154	-
1.2.3.1.99	COMPRA DE OTROS BIENES	2,008	-	-
1.2.3.1.99.1	COMPRA DE OTROS BIENES	2,008	-	-
1.2.3.1.99.1.99	OTROS BIENES	2,008	-	-
1.2.3.2	CONTRATAIONES DE SERVICIOS	39,506	177,671	66,734
1.2.3.2.1	VIAJES	1,536	3,126	1,709
1.2.3.2.1.2	VIAJES DOMESTICOS	1,536	3,126	1,709
1.2.3.2.1.2.1	PASAJES Y GASTOS DE TRANSPORTE	-	278	177
1.2.3.2.1.2.2	VIATICOS Y ASIGNACIONES POR COMISION DE SEVICIOS	1,536	1,725	1,532
1.2.3.2.1.2.99	OTROS GASTOS	-	1,122	-
1.2.3.2.2	SERVICIOS BASICOS, COMUNICACIONES, PUBLICIDAD Y DIFUSION	851	4,714	1,263
1.2.3.2.2.1	SERVICIOS DE ENRGIA ELECTRICA, AGUA Y GAS	40	661	563
1.2.3.2.2.1.1	SERVICIO DE SUMINISTRO DE ENERGIA ELECTRICA	40	402	117
1.2.3.2.2.1.2	SERVICIO DE AGUA Y DESAGUE	-	259	447
1.2.3.2.2.2	SERVICIOS DE TELEFONIA E INTERNET	396	2,214	699
1.2.3.2.2.2.1	SERVICIO DE TELEFONIA MOVIL	-	-	226
1.2.3.2.2.2.2	SERVICIO DE TELEFONIA FIJA	-	663	-
1.2.3.2.2.2.2	SERVICIO DE INTERNET	396	1,552	473
1.2.3.2.2.3	SERVICIOS DE MENSAJERIA, TELECOMUNICACIONES Y OTROS AFINES	50	-	-
1.2.3.2.2.3.1	CORREOS Y SERVICIO DE MENSAJERIA	50	-	-
1.2.3.2.2.4	SERVICIO DE PUBLICIDAD, IMPRESIONES, DIFUSION Y IMAGEN INSTITUCIONAL	365	1,839	-
1.2.3.2.2.4.4	SERVICIO DE IMPRESIONES, ENCUADERNACION Y EMPASTADO	365	1,839	-
1.2.3.2.3	SERVICIOS DE LIMPIEZA, SEGURIDAD Y VIGILANCIA	12,000	18,000	-
1.2.3.2.3.1	SERVICIOS DE LIMPIEZA, SEGURIDAD Y VIGILANCIA	12,000	18,000	-
1.2.3.2.3.1.2	SERVICIOS DE SERGURIDAD Y VIGILANCIA	12,000	18,000	-
1.2.3.2.4	SERVICIO DE MANTENIMIENTO ACONDICIONAMIENTO Y REPARACIONES	4,092	357	340
1.2.3.2.4.1	SERVICIO DE MANTENIMIENTO ACONDICIONAMIENTO Y REPARACIONES	4,092	357	340
1.2.3.2.4.1.1	DE EDIFICACIONES, OFICINAS Y ESTRUCTURAS	3,464	-	-
1.2.3.2.4.1.3	DE VEHICULOS	-	290	340
1.2.3.2.4.1.5	DE MAQUINARIA Y EQUIPOS	227	67	-
1.2.3.2.4.1.99	DE OTROS BIENES Y ACTIVOS	400	-	-
1.2.3.2.5	ALQUILERES DE MUEBLES E INMUEBLES	525	580	1,525
1.2.3.2.5.1	ALQUILERES DE MUEBLES E INMUEBLES	525	580	1,525
1.2.3.2.5.1.1	DE EDIFICIOS Y ESTRUCTURAS	525	-	1,525
1.2.3.2.5.1.2	DE VEHICULOS	-	580	-
1.2.3.2.6	SERVICIOS ADMINISTRATIVOS, FINANCIEROS Y DE SEGUROS	-	9,533	7,328
1.2.3.2.6.3	SEGUROS	-	9,533	7,328
1.2.3.2.6.1.2	GASTOS NOTARIALES	-	298	-
1.2.3.2.6.3.2	SEGURO DE VEHICULOS	-	8,921	7,048
1.2.3.2.6.3.3	SOAT	-	315	280.00
1.2.3.2.7	SERVICIOS PERSONALES Y TECNICOS	20,502	141,361	54,569.40
1.2.3.2.7.2	SERVICIOS DE CONSULT., ASESORIA Y SIMILARES DESARR. POR PERS. NAT.	20,502	141,361	54,569.40
1.2.3.2.7.2.2	ASESORIAS	3,550	9,863	-
1.2.3.2.7.2.99	OTROS SERVICIOS SIMILARES	3,000	-	-
1.2.3.2.7.3.1	REALIZADO POR PERSONAS JURIDICAS	8,840	-	-
1.2.3.2.7.11.99	DIVERSOS SERVICIOS	5,112	131,499	54,569

Nota : El servicio de Seguridad y Vigilancia se esta considerando en la partida del Gastos 2.3.2.7.11.99, por estar a la espera de la Adjudicación Directa Selectiva.

## Anexo 5: Lista de Capacitaciones

(1) Resultado 2: Fortalecimiento de capacidades relativas a Implementación de Instalaciones de Suministro de Agua (Construcción, rehabilitaciones de gran escala)

### 【Región Lambayeque】

	Contenido de Capacitación	Forma de Capacitación	Responsable	Objetivo	Número de personas objetivo	Fecha (período)	Ejecutado • en ejecución • por ejecutar
1	Sobre la elaboración de Perfiles (reunir información necesaria para solicitud, forma de obtenerla, elaboración de documentos, etc.)	Charlas (a través de reuniones)	Equipo de Proyecto	DRVS (GTI)	6	2010.01.14 (1 día) en DRVS (Ejecutado)	Ejecutado
2	Sobre la elaboración de Perfiles (verificar los estudios necesarios, a través de visitas de campo, y determinación del contenido de las obras)	OJT	Equipo de Proyecto	DRVS (GTI)	4	2010.01.21-22 (2 días) en El Espinal, Humedades (Ejecutado)	Ejecutado
3	Sobre la elaboración de los Perfiles (verificación del contenido de los Perfiles en elaboración, otros)	Charlas (a través de reuniones)	Equipo de Proyecto	DRVS (GTI)	6	2010.03.02 (1 día) en DRVS (Ejecutado)	Ejecutado
4	Sobre la elaboración de Expedientes Técnicos (verificación de los contenidos, otros)	Charlas (a través de reuniones)	Equipo de Proyecto	DRVS (GTI)	4	2010. 06.28, 30 (2 días) en DRVS (Ejecutado)	Ejecutado
5	Sobre las tareas de la licitación en general (modalidad de ejecución, verificación de documentación necesaria, cronogramas, elaboración de las bases de la licitación, otros)	Charlas (a través de reuniones)	Equipo de Proyecto	DRVS (GTI)	6	2010.07.01 (1 día) en DRVS (Ejecutado)	Ejecutado
6	Sobre la elaboración de Expedientes Técnicos (verificación de los contenidos, otros)	Charlas (a través de reuniones)	Equipo de Proyecto	DRVS (GTI)	5	2010.08.06 (1 día) en DRVS (Ejecutado)	Ejecutado
7	Sobre las tareas de la licitación en general(modalidad de ejecución, verificación de documentación necesaria, cronogramas, elaboración de las bases de la licitación, otros)	Charlas (a través de reuniones)	Equipo de Proyecto	DRVS (GTI)	5	2010.08.17 (1 día) en DRVS (Ejecutado)	Ejecutado
8	Ejecución de las tareas de licitación (realización de la licitación para las obras de El Espinal y Humedades): todo el proceso, desde la invitación a las empresas contratistas hasta la contratación	OJT	Equipo de Proyecto	DRVS (GTI)	5	2010.09.07~10.06 en DRVS (Ejecutado)	Ejecutado
9	Supervisión de las obras (verificación de la situación de obras en Humedades: tomar conocimiento de los problemas y ver forma de solucionarlos)	OJT	Equipo de Proyecto	DRVS (GTI)	3	2010.10.21 (1 día) en Humedades (Ejecutado)	Ejecutado
10	Supervisión de las obras (verificación de la situación de obras en El Espinal: tomar conocimiento de los problemas y ver forma de solucionarlos)	OJT	Equipo de Proyecto	DRVS (GTI)	3	2010.10.22 (1 día) en El Espinal (Ejecutado)	Ejecutado
11	Supervisión de las obras (Inspección final)	OJT	Equipo de Proyecto	DRVS (GTI) JASS	5	2011.01.18 (1 día) en Humedades (Ejecutado)	Ejecutado
12	Supervisión de las obras (Inspección final)	OJT	Equipo de Proyecto	DRVS (GTI) JASS	6	2011.01.22 (1 día) en El Espinal (Ejecutado)	Ejecutado

### 【Región Piura】

	Contenido de Capacitación (temas, tópicos)	Forma de Capacitación (charla-práctica • OJT, etc)	Responsable (Instructor)	Objetivo	Número de personas objetivo	Fecha (período), lugar	Ejecutado • en ejecución • por ejecutar
1	Sobre la elaboración de Perfiles (reunir información necesaria para solicitud, forma de obtenerla, elaboración de documentos, etc.)	Charlas (a través de reuniones)	Equipo de Proyecto	DRVS (GTI)	5	2010.01.19 (1 día) en DRVS (Ejecutado)	Ejecutado

2	Sobre la elaboración de Perfiles (verificar los estudios necesarios, a través de visitas de campo, y determinación del contenido de las obras)	OJT (San Jorge, Malacasi)	Equipo de Proyecto	DRVS (GT1)	4	2010.01.27-28 (2 días) en San Jorge, Malacasi (Ejecutado)	Ejecutado
3	Sobre la elaboración de los Perfiles (verificación del contenido de los Perfiles en elaboración)	Charlas (a través de reuniones)	Equipo de Proyecto	DRVS (GT1)	6	2010.03.09 (1 día) en DRVS (Ejecutado)	Ejecutado
4	Sobre la elaboración de Perfil+Expediente Técnico (verificación de contenido de Perfil en elaboración, otros)	Charlas (a través de reuniones)	Equipo de Proyecto	DRVS (GT1)	4	2010. 06.24 (1 día) en DRVS (Ejecutado)	Ejecutado
5	Sobre la elaboración de Perfiles (verificación final previa a presentación)	Charlas (a través de reuniones)	Equipo de Proyecto	DRVS (GT1)	4	2010. 08.09 (1 día) en DRVS (Ejecutado)	Ejecutado
6	Sobre las tareas de la licitación en general (modalidad de ejecución, verificación de documentación necesaria, cronogramas, elaboración de las bases de la licitación, otros)	Charlas (a través de reuniones)	Equipo de Proyecto	DRVS (GT1)	4	2010.10.12 (1 día) en DRVS (Ejecutado)	Ejecutado
7	Sobre la elaboración de Expedientes Técnicos (verificación final previa a presentación)	Charlas (a través de reuniones)	Equipo de Proyecto	DRVS (GT1)	3	2010.10.21 (1 día) en DRVS (Ejecutado)	Ejecutado
8	Sobre las tareas de la licitación en general (modalidad de ejecución, verificación de documentación necesaria, cronogramas, elaboración de las bases de la licitación, otros)	Charlas (a través de reuniones)	Equipo de Proyecto	DRVS (GT1)	4	2010.10.26 (1 día) en DRVS (Ejecutado)	Ejecutado
9	Ejecución de las tareas de licitación (realización de la licitación para las obras de San Jorge): todo el proceso, desde la invitación a las empresas contratistas hasta la contratación	OJT	Equipo de Proyecto	DRVS (GT1)	4	2010.10.27~12.15 en DRVS (Ejecutado)	Ejecutado
10	Supervisión de las obras (verificación de la situación de obras en San Jorge: tomar conocimiento de los problemas y ver forma de solucionarlos)	OJT	Equipo de Proyecto	DRVS (GT1)	3	2010.12.28 en DRVS (Ejecutado)	Ejecutado
11	Sobre la elaboración de Expedientes Técnicos (verificación de los contenidos, a través de visitas de campo)	Ejecutado	DRSV	Municipalidad Salitral, JASS	3	2011.02.01 en Malacasi (Ejecutado)	Ejecutado
12	Supervisión de las obras (Inspección final)	OJT	Equipo de Proyecto	DRVS (GT1) JASS	6	2011.06 mediados de mes, en El Espinal (Ejecutado)	No ejecutado
13	Sobre las tareas de la licitación en general (modalidad de ejecución, verificación de documentación necesaria, cronogramas, elaboración de las bases de la licitación, otros)	Charlas (a través de reuniones)	Equipo de Proyecto	DRVS (GT1)	4	2011.06 desde fines de mes, en DRVS (Ejecutado)	No ejecutado

(2) Resultado 3: Fortalecimiento de capacidades relativas a Administración, Operación y Mantenimiento de las instalaciones de Suministro de Agua (Administración, Operación y Mantenimiento, Aspecto constructivo)

**【Región Lambayeque】**

	Contenido de Capacitación	Forma de Capacitación	Responsable	Objetivo	Número de personas objetivo	Fecha (período)	Ejecutado • en ejecución • por ejecutar
1	Taller para las JASS (sobre los roles y actividades de la JASS tras la culminación de las obras del sistema)	Charlas	DRVS (GT1,2,3)	JASS de El Espinal y de Humedades, encargados de Oyotún y de Salas	10	2011.01.21 (1 día) en DRVS (Ejecutado)	Ejecutado
2	Operación y Mantenimiento de las instalaciones (forma de operar las instalaciones: acerca de la cloración)	OJT	Equipo de Proyecto, DRVS	JASS Puesto de Salud de Salas	6	2011•03•18 (1 día) en Humedades (Ejecutado)	Ejecutado
3	Operación y Mantenimiento de las instalaciones (forma de operar las instalaciones: acerca de la cloración)	OJT	Equipo de Proyecto, DRVS	JASS Puesto de Salud de Oyotún	3	2011.03.22 (1 día) en El Espinal (Ejecutado)	Ejecutado
4	Operación y Mantenimiento de las instalaciones (forma de operar las instalaciones: acerca de la cloración, cómo monitorear el cloro residual, forma de inspeccionar las instalaciones)	OJT	Equipo de Proyecto, DRVS	JASS Puesto de Salud de Humedades	4	2011.05.17 (1 día) en Humedades (Ejecutado)	Ejecutado

5	Operación y Mantenimiento de las instalaciones (forma de operar las instalaciones: acerca de la cloración, cómo monitorear el cloro residual, forma de inspeccionar las instalaciones)	OJT	Equipo Proyecto, DRVS	JASS Puesto de Salud de El Espinal	4	2011.05.19 (1 día) en El Espinal (Ejecutado)	Ejecutado
6	Operación y Mantenimiento de las instalaciones (Operación del sistema, revisión, método de mantenimiento, otros)	OJT (incluye monitoreo del estado de operación y mantenimiento)	Equipo Proyecto, DRVS	JASS	2~4	2011.06~12 (1 vez/mes, 1 día) en El Espinal (Programado)	No ejecutado
7	Operación y Mantenimiento de las instalaciones (Operación del sistema, revisión, método de mantenimiento, otros)	OJT (incluye monitoreo del estado de operación y mantenimiento)	Equipo Proyecto, DRVS	JASS	2~4	2011.06~12 (1 vez/mes, 1 día) en El Espinal (Programado)	No ejecutado

### 【Región Piura】

	Contenido de Capacitación	Forma de Capacitación	Responsable	Objetivo	Número de personas objetivo	Fecha (período)	Ejecutado •en ejecución •por ejecutar
1	Operación y Mantenimiento de las instalaciones (Operación del sistema, inspecciones, método de mantenimiento, otros)	OJT (incluye monitoreo del estado de operación y mantenimiento)	Equipo Proyecto, DRVS	JASS de Proyecto, DRVS	2~4	2011.06~12 (1 vez/mes, 1 día) en San Jorge (Programado)	No ejecutado
2	Operación y Mantenimiento de las instalaciones (Operación del sistema, inspecciones, método de mantenimiento, otros)	OJT (incluye monitoreo del estado de operación y mantenimiento)	Equipo Proyecto, DRVS	JASS de Proyecto, DRVS	2~4	2011.09~12 (1 vez/mes, 1 día) en Malacasí (Programado)	No ejecutado

### (3) Resultado 3 Fortalecimiento de capacidades relativas a la Administración, Operación y Mantenimiento de Instalaciones de Agua y Saneamiento, y a Sensibilización y Educación Sanitaria (Administración, O&M (aspecto no constructivo))

#### (DRVS GT2.: DRVS Grupo de Trabajo 2, Administración, Operación y Mantenimiento)

#### Región Lambayeque

	Contenido de Capacitación	Forma de Capacitación	Responsable	Objetivo	Número de personas objetivo	Fecha y lugar	Ejecutado •en ejecución •por ejecutar
1	Administración del sistema de agua en general, creación de JASS	charla	DRVS GT2, Sugiya	Municipalidad Distrital de Salas, JASS de Humedades: Alcalde, 2 funcionarios de Municipalidad, Presidente, Vice presidente, Secretario y Tesorero de JASS.	7	2010/7/1 Municipalidad	Ejecutado
2	Administración del sistema de agua en general	charla	DRVS GT2, Sugiya	Municipalidad Distrital de Oyotún, JASS de El Espinal: Alcalde, 1 funcionario de Municipalidad, Presidente, Secretario, Tesorero y Vocal JASS.	6	2010/7/2 Municipalidad	Ejecutado
3	Analizar lo referente a los Estatutos de las JASS y normas vinculadas	charla	DRVS GT2, Sugiya	Municipalidad Distrital de Salas, JASS de Humedades: Un funcionario de municipalidad, Presidente, Vicepresidente, Tesorero, Secretario de JASS	5	2010/7/12 Municipalidad	Ejecutado
4	Analizar lo referente a los Estatutos de las JASS y normas vinculadas	charla	DRVS GT2, Sugiya	Municipalidad Distrital de Oyotún, JASS de El Espinal: 2 funcionarios de Municipalidad, Presidente, Secretario, Tesorero 2 Vocales de JASS.	7	2010/7/14 Municipalidad	Ejecutado
5	Analizar lo referente a los Estatutos de las JASS y normas vinculadas, explicación del Proyecto a los pobladores	charla	DRVS GT2, Sugiya	JASS de Humedades: Presidente, Tesorero y Secretario de JASS	3	2010/8/3 Humedades	Ejecutado

6	Analizar el establecimiento de las tarifas de agua y lo referente a los Estatutos de la JASS	charla	DRVS GT2, Sugiya	JASS de Humedades: Presidente, Tesorero y Secretario de JASS	3	2010/9/28 Humedades	Ejecutado
7	Analizar el establecimiento de las tarifas de agua y lo referente a los Estatutos de la JASS	charla	DRVS GT2, Sugiya	Municipalidad Distrital de Oyotún, JASS de El Espinal: Funcionario de Municipalidad, Presidente, Secretario, Tesorero y Vocal JASS.	5	2010/10/1 Municipalidad	Ejecutado
8	Acompañamiento en establecimiento de tarifas, y de los contratos (entre JASS y usuarios)	Charla y OJT	DRVS GT2, Sugiya	JASS de El Espinal: Presidente, Secretario, Tesorero y 2 Vocales de JASS.	5	2010/12/11 El Espinal	Ejecutado
9	Asesoramiento sobre las labores rutinarias (cobro de recibos, elaboración de informe contable, etc.)	OJT	DRVS GT2, Sugiya	Municipalidad Distrital de Oyotún, JASS de El Espinal: Funcionarios de Municipalidad, Presidente, Secretario, Tesorero y Vocal JASS.	6-7	2011/6~ Municipalidad, El Espinal (varias fechas)	Por ejecutar
10	Asesoramiento sobre las labores rutinarias (cobro de recibos, elaboración de informe contable, etc.)	OJT	DRVS GT2, Sugiya	Municipalidad Distrital de Salas, JASS de Humedades: Funcionarios de Municipalidad, Presidente, Secretario, Tesorero y Vocal JASS.	6-7	2011/6~ Municipalidad, Humedades (varias fechas)	Por ejecutar
11	Construcción del esquema de monitoreo de la municipalidad	OJT	DRVS GT2, Sugiya	Municipalidad Distrital de Oyotún: Funcionarios de Municipalidad, Presidente y Tesorero de JASS.	2-3	2011/6~ Municipalidad (varias fechas)	Por ejecutar
12	Construcción del esquema de monitoreo de la municipalidad	OJT	DRVS GT2, Sugiya	Municipalidad Distrital de Salas: Funcionarios de Municipalidad, Presidente y Tesorero de JASS.	2-3	2011/6~ Municipalidad (varias fechas)	Por ejecutar

### Región Piura

	Contenido de Capacitación	Forma de Capacitación	Responsable	Objetivo	Número de personas objetivo	Fecha	Ejecutado • en ejecución • por ejecutar
1	Administración del sistema de agua en general	Charla	DRVS GT2, Sugiya	Municipalidad Distrital de Frías, JASS de San Jorge: Alcalde, 1 funcionario de Municipalidad, Presidente, Tesorero y Secretario de JASS	5	2010/7/6 San Jorge	Ejecutado
2	Administración del sistema de agua en general	Charla	DRVS GT2, Sugiya	Municipalidad Distrital de Salitral, JASS de Malacasi: Alcalde, 1 funcionario de Municipalidad, Presidente, Secretario y Vocal de JASS	5	Municipalidad	Ejecutado
3	Analizar lo referente a los Estatutos de las JASS y normas vinculadas	Charla	DRVS GT2, Sugiya	Municipalidad Distrital de Salitral, JASS de Malacasi: Alcalde, 2 funcionarios de Municipalidad, Presidente, Secretario y Vocal de JASS	6	2010/7/19 Municipalidad	Ejecutado
4	Analizar lo referente a los Estatutos de las JASS y normas vinculadas	Charla	DRVS GT2, Sugiya	Municipalidad Distrital de Frías, JASS de San Jorge: 2 funcionarios de Municipalidad, Presidente, Tesorero, Secretario, 2 Vocales de JASS	7	2010/7/20 San Jorge	Ejecutado
5	Analizar lo referente a Estatutos de las JASS y normas vinculadas	Charla	DRVS GT2, Sugiya	JASS de San Jorge: Presidente, Tesorero, Secretario y Vocal de JASS	4	2010/7/26 San Jorge	Ejecutado
6	Analizar el establecimiento de las tarifas de agua y lo vinculado a los Estatutos de la JASS	Charla	DRVS GT2, Sugiya	Municipalidad Distrital de Salitral, JASS de Malacasi: 1 funcionario de Municipalidad, Presidente, Tesorero, Secretario y Vocal de JASS	4	2010/10/4 Municipalidad	Ejecutado
7	Analizar el establecimiento de las tarifas de agua y lo relacionado a los Estatutos de la JASS	Charla	DRVS GT2, Sugiya	JASS de Malacasi: Presidente, Tesorero, Secretario, 2 Vocales y Fiscal de JASS	6	2010/12/17 Malacasi	Ejecutado
8	Acompañamiento en establecimiento de tarifas, y tema de los contratos	OJT	DRVS GT2, Sugiya	JASS de San Jorge: Representante municipal, Presidente, Tesorero, Secretario, 2 Vocales y Fiscal de JASS	7	2011/3/30 San Jorge	Ejecutado

9	Asesoramiento sobre las labores rutinarias (cobro de recibos, elaboración de informe contable, etc.)	OJT	DRVS GT2, Sugiya	Municipalidad Distrital de Frías, JASS de San Jorge: funcionarios de Municipalidad, Presidente, Tesorero, Secretario y Vocal de JASS	6-7	2011/6~ Municipalidad San Jorge (varias fechas)	Por ejecutar
10	Asesoramiento sobre las labores rutinarias (cobro de recibos, elaboración de informe contable, etc.)	OJT	DRVS GT2, Sugiya	Municipalidad Distrital de Salitral, JASS de Malacasi: funcionarios de Municipalidad, Presidente, Tesorero, Secretario y Vocal de JASS	6-7	2011/6~ Municipalidad Malacasi (varias fechas)	Por ejecutar
11	Construcción del esquema de monitoreo de la municipalidad	OJT	DRVS GT2, Sugiya	Municipalidad Distrital de Frías: funcionarios de Municipalidad, Presidente, Tesorero de JASS	2-3	2011/6~ Municipalidad (varias fechas)	Por ejecutar
12	Construcción del esquema de monitoreo de la municipalidad	OJT	DRVS GT2, Sugiya	Municipalidad Distrital de Salitral: funcionarios de Municipalidad, Presidente, Tesorero de JASS	2-3	2011/6~ Municipalidad (varias fechas)	Por ejecutar

(4) Resultado 3 Fortalecimiento de capacidades relativas a la Administración, Operación y Mantenimiento de Instalaciones de Agua y Saneamiento, y a Sensibilización y Educación Sanitaria (Sensibilización en Saneamiento)

**Región Lambayeque**

	Contenido de Capacitación	Forma de Capacitación	Responsable	Objetivo	Número de personas objetivo	Fecha, lugar	Ejecutado •en ejecución •por ejecutar
1	Sensibilización en Saneamiento en general: respecto a la elaboración del manual de capacitación en sensibilización	Charla (a través de reuniones)	DRVS GT3, Experto	Municipalidad Distrital de Salas, JASS de Humedades: En Municipalidad: Alcalde, 3 funcionarios municipales, Presidente, Tesorero de JASS En Humedades: Teniente Gobernador, Presidente, Tesorero, Secretario de JASS	5	2010/8/10 Municipalidad, Humedades	Ejecutado
2	Sensibilización en Saneamiento en general: respecto a la elaboración del manual de capacitación en sensibilización	Charla (a través de reuniones)	DRVS GT3, Experto	Municipalidad Distrital de Oyotún, JASS de El Espinal: En Municipalidad: Alcalde, 1 Regido, Presidente, Tesorero y Secretario de JASS En El Espinal: Teniente Gobernador, Agente Municipal, Presidente, Tesorero y Secretario de la JASS	7	2010/8/11 Municipalidad, El Espinal	Ejecutado
3	Sensibilización en Saneamiento en general: análisis para llevar a cabo la capacitación en sensibilización, dirigida a la población	Charla (a través de reuniones)	DRVS GT3, Experto	JASS de El Espinal: Presidente de JASS, otros	2	2010/11/3 El Espinal	Ejecutado
4	Sensibilización en Saneamiento en general: análisis para llevar a cabo la capacitación en sensibilización, dirigida a la población	Charla (a través de reuniones)	DRVS GT3, Experto	Municipalidad de Salas, JASS de Humedades	3	2010/11/4 Municipalidad, Humedades	Ejecutado
5	Dentro de la sensibilización en saneamiento en general, la parte correspondiente a agua y saneamiento (incluye práctica de lavado de manos): ejecución de capacitación en sensibilización, dirigida a la población	OJT	DRVS GT3, Equipo Multisectorial (MST), Experto	Municipalidad de Salas, JASS de Humedades: Representante de Municipalidad, Presidente de JASS, otros	5	2010/11/20 (1 día) Humedades	Ejecutado
6	Dentro de la sensibilización en saneamiento en general, la parte correspondiente a residuos sólidos (incluye práctica de desinfección con cloro): ejecución de capacitación en sensibilización,	OJT	DRVS GT3, MST	Municipalidad de Salas, JASS de Humedades: Regidor (Representante de Municipalidad), Presidente de JASS, otros	5	2010/11/27 (1 día) Humedades	Ejecutado

	dirigida a la población									
7	Dentro de la sensibilización en saneamiento en general, la parte correspondiente a agua y saneamiento (incluye práctica de lavado de manos): ejecución de capacitación en sensibilización, dirigida a la población	OJT	DRVS MST	GT3,	Municipalidad Distrital de Oyotún, JASS de El Espinal: Representante de Municipalidad, Presidente de JASS, otros	4	2010/12/11 (1 día) El Espinal	Ejecutado		
8	Dentro de la sensibilización en saneamiento en general, la parte correspondiente a residuos sólidos (incluye práctica de desinfección con cloro): ejecución de capacitación en sensibilización, dirigida a la población	OJT	DRVS MST	GT3,	Municipalidad Distrital de Oyotún: Presidente de JASS, otros	4	2010/12/18 (1 día) El Espinal	Ejecutado		
9	Sensibilización en Saneamiento en general: análisis para llevar a cabo el monitoreo (para pasar a las actividades dirigidas por la JASS)	Charla (a través de reuniones)	DRVS MST	GT3,	Municipalidad de Salas, JASS de Humedades. Municipalidad de Oyotún, JASS de El Espinal		2011/5~6 mediodía en cada lugar (programado)	No ejecutado		
10	Sensibilización en Saneamiento en general: ejecución del monitoreo	OJT	DRVS MST	GT3,	Municipalidad de Salas, JASS de Humedades. Municipalidad de Oyotún, JASS de El Espinal		2011/5~ 1 día en cada lugar (programado)	No ejecutado		
11	Sensibilización en Saneamiento en general: análisis para llevar a cabo la capacitación en sensibilización, dirigida a la población	Charla (a través de reuniones)	DRVS MST	GT3,	Municipalidad y encargados de JASS, de las nuevas localidades		2011/5~6 mediodía en cada lugar (programado)	No ejecutado		
12	Sensibilización en Saneamiento en general: ejecución de la capacitación en sensibilización, dirigida a la población	OJT	DRVS MST	GT3,	Municipalidad y encargados de JASS, de las nuevas localidades		2011/6~8 2 días en cada lugar (programado)	No ejecutado		
13	Sensibilización en Saneamiento en general: análisis para llevar a cabo el monitoreo (para pasar a las actividades dirigidas por la JASS)	Charla (a través de reuniones)	DRVS MST	GT3,	Municipalidad y encargados de JASS, de las nuevas localidades		2011/9 mediodía en cada lugar (programado)	No ejecutado		
14	Sensibilización en Saneamiento en general: ejecución del monitoreo	OJT	DRVS MST	GT3 , MST	Municipalidad y encargados de JASS, de las nuevas localidades		2011/9~ 1 día en cada lugar (programado)	No ejecutado		

### **Región Piura**

	Contenido de Capacitación	Forma de Capacitación	Responsable (Instructor)	Objetivo	Número de personas objetivo	Fecha, lugar	Ejecutado •en ejecución •por ejecutar
1	Sensibilización en Saneamiento en general: respecto a la elaboración del manual de capacitación en sensibilización	Charla (a través de reuniones)	DRVS GT3, Experto	Municipalidad de Salitral, JASS de Malacasi: Alcalde, Gerente Técnico, Regidor, Alcalde de Centro Poblado, Presidente de JASS	4	2010/8/3 Municipalidad	Ejecutado
2	Sensibilización en Saneamiento en general: respecto a la elaboración del manual de capacitación en sensibilización	Charla (a través de reuniones)	DRVS GT3, Experto	Municipalidad de Frías, JASS de San Jorge: Alcalde, Encargado de Agua de municipalidad, Alcalde del Centro Poblado, Presidente, Tesorero y Secretario de JASS	5	2010/8/5 Municipalidad	Ejecutado
3	Sensibilización en Saneamiento en general: análisis para llevar a cabo la capacitación en sensibilización, dirigida a la población	Charla (a través de reuniones)	DRVS GT3	Municipalidad de Salitral, JASS de Malacasi: @ Municipalidad: Alcalde @ Malacasi: Alcalde de Centro Poblado, Presidente de JASS	3	2010/11/15 Municipalidad Malacasi	Ejecutado
4	Sensibilización en Saneamiento en general: análisis para llevar a cabo la capacitación en sensibilización, dirigida a la población	Charla (a través de reuniones)	DRVS GT3	Municipalidad de Frías, JASS de San Jorge: Gerente social, Coordinador de Proyecto, Alcalde, Alcalde del Centro Poblado, Presidente, Secretario, Vocal y Fiscal de JASS, asistió 1 miembro del comité del pueblo	8	2010/11/17 San Jorge	Ejecutado

5	Sensibilización en Saneamiento en general: (incluye práctica de lavado de manos y de desinfección por cloro): ejecución de la capacitación en sensibilización, dirigida a la población	OJT	DRVS GT3, MST, Experto	Municipalidad de Salitral, JASS de Malacasi: Alcalde, Alcalde de Centro Poblado, Presidente, Tesorero, Secretario y Operador de JASS	6	2010/11/25 (1 día) Malacasi	Ejecutado
6	Sensibilización en Saneamiento en general: (incluye práctica de lavado de manos y de desinfección por cloro): ejecución de la capacitación en sensibilización, dirigida a la población	OJT	DRVS GT3, MST	Municipalidad de Salitral, JASS de Malacasi: Alcalde, Alcalde de Centro Poblado, Presidente, Tesorero, Secretario y Operador de JASS	6	2010/11/26 (1 día) Malacasi	Ejecutado
7	Sensibilización en Saneamiento en general: (incluye práctica de lavado de manos y de desinfección por cloro): ejecución de la capacitación en sensibilización, dirigida a la población	OJT	DRVS GT3, MST, Experto	Municipalidad de Frías, JASS de San Jorge: Coordinador de Proyectos de la Municipalidad, Alcalde del Centro Poblado, Presidente de JASS, otros	6	2010/12/1 (1 día) San Jorge	Ejecutado
8	Sensibilización en Saneamiento en general: (incluye práctica de lavado de manos y de desinfección por cloro): ejecución de la capacitación en sensibilización, dirigida a la población	OJT	DRVS GT3, MST	Municipalidad de Frías, JASS de San Jorge: Coordinador de Proyectos de la Municipalidad, Alcalde del Centro Poblado, Presidente de JASS, otros	5	2010/12/2 (1 día) San Jorge	Ejecutado
9	Sensibilización en Saneamiento en general: análisis para llevar a cabo el monitoreo (para pasar a las actividades dirigidas por la JASS)	Charla (a través de reuniones)	DRVS GT3, MST	Municipalidad de Salitral, JASS de Malacasi: Alcalde de Centro Poblado, Presidente de JASS, Promotora de Salud	3	2010/12/1 (mediodía) Malacasi	Ejecutado
10	Sensibilización en Saneamiento en general: análisis para llevar a cabo el monitoreo (para pasar a las actividades dirigidas por la JASS)	Charla (a través de reuniones)	DRVS GT3, MST	Municipalidad de Frías, JASS de San Jorge: Encargado de Proyectos de Municipalidad, Alcalde del Centro Poblado, Secretaria de Centro Poblado, Director y Enfermera de Puesto de Salud, Presidente, Tesorero, Secretario y directivo de JASS	9	2010/12/15 (mediodía) San Jorge	Ejecutado
11	Sensibilización en Saneamiento en general: ejecución del monitoreo, 1er día.	OJT	DRVS GT3, MST	Municipalidad de Salitral, JASS de Malacasi: Presidente de JASS, 2 funcionarios de la Municipalidad	3	2011/1/14 (mediodía) Malacasi	Ejecutado
12	Sensibilización en Saneamiento en general: mini capacitación a cargo de la JAS, 1er día.	OJT	DRVS GT3, MST	Municipalidad de Salitral, JASS de Malacasi: Alcalde de Centro Poblado, Regidor, Miembro de Puesto de Salud, Presidente de JASS	4	2011/1/14 (mediodía) Malacasi	Ejecutado
13	Sensibilización en Saneamiento en general: ejecución del monitoreo, 1er día.	OJT	DRVS GT3, MST	Municipalidad de Frías, JASS de San Jorge: Alcalde del Centro Poblado, Director del Puesto de Salud, Promotora de Salud, Encargado de Proyectos de la Municipalidad, 3 funcionarios de la municipalidad (no pudieron participar los de la JASS por estar muy ocupados en el trabajo)	7	2011/1/21 (mediodía) San Jorge	Ejecutado
14	Sensibilización en Saneamiento en general: mini capacitación a cargo de la JAS, 1er día.	OJT	DRVS GT3, MST	Municipalidad de Frías, JASS de San Jorge: Alcalde del Centro Poblado, Director del Puesto de Salud, Promotora de Salud, Encargado de Proyectos de la Municipalidad, 3 funcionarios de la municipalidad, Presidente de JASS	8	2011/1/21 (mediodía) San Jorge	Ejecutado
15	Sensibilización en Saneamiento en general: ejecución del monitoreo, 2da vez (incluye ejecución de la capacitación a cargo de la JASS)	OJT	DRVS GT3, MST	Municipalidad de Salitral, JASS de Malacasi: Teniente Alcalde, 2 Regidores, Alcalde de Centro Poblado, Presidente, Vicepresidente, Tesorero de JASS, 2 funcionarios de municipalidad local	9	2011/3/7 (mediodía) Malacasi	Ejecutado
16	Sensibilización en Saneamiento en general: mini capacitación a cargo de la Municipalidad distrital y del centro poblado y la JASS, 1er día.	OJT	DRVS GT3, MST, Experto	Municipalidad de Salitral, JASS de Malacasi: Teniente Alcalde, 2 Regidores, Alcalde de Centro Poblado, Presidente, Vicepresidente, Tesorero de JASS, 2 funcionarios de municipalidad local	9	2011/3/7 (mediodía) Malacasi	Ejecutado
17	Sensibilización en Saneamiento en general: ejecución del monitoreo, 2da vez (incluye ejecución de la capacitación a cargo de la JASS)	OJT	DRVS GT3, MST	Municipalidad de Frías, JASS de San Jorge: Encargado de Proyectos de la Municipalidad, Alcalde del Centro Poblado, Teniente Gobernador, Policía del Centro Poblado,	9	2011/3/10 (mediodía) San Jorge	Ejecutado



18	Sensibilización en Saneamiento en general: mini capacitación a cargo de la Municipalidad distrital y del centro poblado y la JASS, 1er día.	OJT	DRVS GT3, MST	Director del Puesto de Salud, Presidente de la comunidad agrícola, Presidente, secretario y tesorero de JASS	5	2011/3/10 (mediodía) San Jorge	Ejecutado
19	Sensibilización en Saneamiento en general: ejecución del monitoreo (incluye mini capacitación a cargo de la Municipalidad distrital, del centro poblado y la JASS)	OJT	DRVS GT3, MST	Municipalidad de Frías, JASS de San Jorge: Encargado de Proyectos de la Municipalidad, Alcalde del Centro Poblado, Teniente Gobernador, Director del Puesto de Salud, Presidente de la JASS		2011/5~ 1 día en cada lugar (programado)	No ejecutado
20	Sensibilización en Saneamiento en general: análisis para llevar a cabo la capacitación en sensibilización, dirigida a la población	Charla (a través de reuniones)	DRVS GT3, MST	Municipalidad y encargados de JASS, de las nuevas localidades		2011/5~6 Mediodía en cada lugar (programado)	No ejecutado
21	Sensibilización en Saneamiento en general: análisis para llevar a cabo la capacitación en sensibilización, dirigida a la población	OJT	DRVS GT3, MST	Municipalidad y encargados de JASS, de las nuevas localidades		2011/6~8 Dos días en cada lugar (programado)	No ejecutado
22	Sensibilización en Saneamiento en general: análisis para llevar a cabo el monitoreo (para pasar a las actividades dirigidas por la JASS)	Charla (a través de reuniones)	DRVS GT3, MST	Municipalidad y encargados de JASS, de las nuevas localidades		2011/9 Mediodía en cada lugar (programado)	No ejecutado
23	Sensibilización en Saneamiento en general: ejecución del monitoreo (incluye mini capacitación a cargo de la Municipalidad distrital, del centro poblado y la JASS)	OJT	DRVS GT3, MST	Municipalidad y encargados de JASS, de las nuevas localidades		2011/9~ 1 día en cada lugar (programado)	No ejecutado

## Anexo 6: Matriz de Evaluación (en inglés)

### 1. Verification of Performance

Evaluation Questions		Necessary Information and Data (Indicators)	Results of Investigation
Topics	Details		
Prospects to achieve Overall Goal	Improve the situation of water supply and sanitation of the rural communities and small cities of the regions of Piura and Lambayeque.	<p>1. Number of rural villages and small cities which have adequate water and sanitation facilities.</p> <p>2. Number of rural villages and small cities which maintain and manage water and sanitation facilities appropriately.</p> <p>1. Number of improved water facilities</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>According to the results of investigation realized by DIGESA in 2006, 530 (44%) out of 1,214 villages (population under 2,000), and 12 (80%) out of 15 small cities have any types of water supply in Lambayeque, and 94 (67%) out of 140 small cities have any types of water supply in Piura.</li> <li>There is no definition of “adequate water and sanitation facilities” clarified in the PDM, and also no comprehensive data and information available for both Piura and Lambayeque to know the actual situation of the water and sanitation facilities in rural villages and small cities.</li> <li>For this indicator, there is also no information available, and it is necessary to clarify how to judge the appropriateness of the maintenance and management of water and sanitation facilities.</li> </ul>
	Prospects to achieve Project Purpose	Improve the capacity of carry out water supply and sanitation projects of the rural communities and small cities of the regions of Piura and Lambayeque.	<p>1. Number of Municipalities and water/sanitation committees which improved their capacities in the management and maintenance of water/sanitation facilities, as well as the awareness raising in sanitation.</p>
Achievement of Outputs	Output 1: The water supply and sanitation situation of the rural communities and small cities of the regions of Piura and Lambayeque, their capacity to carry out water supply and sanitation projects and its tasks is verified.	<p>1.1 Baseline of the situations in water supply and sanitation of rural villages and small cities in both regions.</p> <p>1.2 Inventories related to the situations of water supply facilities and their management and maintenance in rural villages and small cities in both regions.</p> <p>1.3 Implementation of interview to the water/sanitation committees.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>The baseline survey was carried out targeting 20 villages in Lambayeque and 28 villages in Piura, in total 48 villages. These villages were selected by DRVS of each Region, considering the issues and problems existed in water supply in the areas. In these 48 villages, the Project conducted the investigation in actual situation of water supply facilities, interview in water supply and sanitation, and questionnaire in water supply and sanitation.</li> <li>In Lambayeque, a study on situations of water supply in all villages and cities in the Region was realized in 2007 with financial assistance of World Bank. The target sites of the baseline survey of the Project was selected based on the information existed from this study. Both in Lambayeque and Piura, there is a plan of implementing same kind of study targeting all villages and cities in the Regions.</li> <li>As to the site investigation, counterpart members and Japanese experts visited each communities and identified the current situations, and also realized interview with administrators of water facilities (such as JASS, district municipality, etc.)</li> <li>Interview sessions were carried out utilizing the community meetings. The counterpart personnel facilitated in the meetings, and explained the about the baseline survey activities.</li> <li>Questionnaire survey was realized in 43 questions taking a sample of 10% out of the total number of household. The National University of Pedro Ruiz Gallo which has enough experiences in socio-economic survey was contracted to implement the survey in Lambayeque, and National University of Piura was contracted in Piura.</li> <li>The results of the above mentioned baseline studies with 48 villages were compiled in each region as the inventories.</li> </ul>
	Output 2: The capacity of the regional governments of	2.1 Manuals related to the installation (construction and large-scale reparation) of water supply facilities.	<p>1.3 Implementation of interview to the water/sanitation committees.</p> <p>2.1 Manuals related to the installation (construction and large-scale reparation) of water supply facilities.</p>

<p>Piura and Lambayeque over the arrangement of the water supply installations (construction and large scale reparation) is strengthened.</p>	<p>2.2 Number of staff of regional government who received training.</p>	<p>target regions, and a workshop will be carried out with both DRVS in July 2011 to review the contents.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The activities related to the construction and rehabilitation (large-scale reparation) of water supply facilities (Component 1) have been carried out mainly by the counterpart personnel of the Working Group 1 (WG1). There are 3 members in the WG1 in each DRVS in Piura and Lambayeque at the moment of Midterm Review. The technical transfer from Japanese experts to the counterpart personnel has been taken place through the practical works for the implementation of pilot projects, mainly in the following contents. <ul style="list-style-type: none"> <li>Preparation and design of a plan (profile and technical documents) which secures a stable operation of construction.</li> <li>Technical capacity to realize the construction of water supply facilities from planning stage.</li> <li>Selection of constructors and other service providers through bidding etc.</li> <li>Construction management, etc.</li> </ul> </li> <li>DRVS in Piura, as an institution, had no experiences in the preparation of profiles and technical documents, nor in the construction and rehabilitation of water supply facilities before the Project. Therefore, they did not have personnel with such specialties, and had to newly contract personnel with such specialties and find some personnel of the Regional Management of Infrastructure to have them temporary allocated in DRVS in order to carry out this Component 1. DRVS in Lambayeque had experiences in preparation of profiles and technical documents, but they had never engaged in the construction process of water supply facilities.</li> <li>The pilot projects in the construction of water supply facilities were planned to be implemented in 6 sites (3 in each region) in the original design of the Project. However, the actual number of pilot projects has been reduced, due to the following situations caused during the implementation of project. <ul style="list-style-type: none"> <li>Piura: Due to the nonfulfillment of the agreement by the Regional Government of Piura, the number of technical staff necessary to implement 3 construction works of water supply facilities during the project period was insufficient. Therefore, in January 2011, it was decided to work only with 2 pilot projects.</li> <li>Lambayeque: It was identified that one of 3 pilot project sites which were selected based on the criteria determined by the Project, La Ramada has been also listed in the project of "Agua para Todos". Although it was necessary to be deleted from the list of any other project/program in order to be eligible for the pilot project of PRISAS, La Ramada is still listed for "Agua para Todos" at the moment. Therefore, the activities for the preparation of construction in La Ramada have been suspended at the moment.</li> </ul> </li> </ul>
<p>Output 3: The capacity of the municipalities and the water and sanitation committees, object of the pilot projects over administration, operation, maintenance and management of the water supply installations, as well as over the awareness about the sanitation, is strengthened.</p>	<p>3.1 Manuals related to the administration, operation, maintenance and management of water supply installations and the awareness raising in sanitation.</p>	<p><b>Administration, operation, maintenance and management of water supply installations (Component 2):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The draft of the Manuals have been prepared by counterpart personnel of Working Group 2 (WG2) in both Lambayeque and Piura, and WG2 of Piura will take main role in the compilation of both drafts into a single manual. Although it was considered that the 2 types manuals would be necessary, one is for the use of DRVS, and the other is for Municipalities and JASS, since it was found that the contents would be mostly same for both types, it was decided that they prepare only single type of manual which contains the roles and functions of each actors in each chapter. The main contents of the Manual is activities of JASS which takes in charge of practical works in the administration, operation, maintenance and management of water supply.</li> </ul> <p><b>Awareness raising in sanitation (Component 3):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The counterpart personnel of Working Group 3 (WG3) in each region have been working in this component. In this component, WG3 has established a channel of collaboration, "Multi-Sector Team", with Regional Health Authority (DIRESA), Executive Authority of Environmental Health (DESA), Regional Education Authority (DRE) and Ministry of Women and Social Development (MINDES), who have more experiences in the awareness raising in sanitation. The preparation of the Manuals has been carried out drawing on their experiences and existed manuals, getting their active collaboration. Also, a coordinator of the Project in MCVS has given advices based on his/her expertise. The drafts have been prepared by each region, and WG3 of Lambayeque will compile the drafts into a single Manual. The draft manuals are unique in their regional characteristics, although both of them contain same basic information on water and sanitation. The draft manuals have been already used in the workshops at communities, and they will be revised later in the third year of the Project.</li> </ul>
	<p>3.2 Number of staff of municipalities and members of water/sanitation committees who received training.</p>	<p><b>Administration, operation, maintenance and management of water supply installations (Component 2):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The training in this component has 2 different part; 1) operation, maintenance and management of facilities, and 2) management of JASS for water supply. The strengthening of capacities of district municipalities and JASS in 1) is undertaken by the WG1, and 2) is in charge of WG2, under the guidance of Japanese experts.</li> <li>Regarding the 1), so far the training has started in the pilot projects sites where the construction of water supply facilities has been completed, i.e. El Espinal and Humedades in Lambayeque. In addition to an operator of the facilities, some of the administrative members of JASS, which normally consists of 5-6 members, participate in each training session. The contents of training up to the moment include; roles and activities of JASS after the completion of construction work, and operation of water supply facility (injection of chlorine, monitoring of chlorine residual, and checkup of facilities) (for more detail, refer to Appendix 5 "List of Training").</li> <li>Regarding to 2), the training has started in El Espinal and Humedades in Lambayeque, and San Jorge and Malacasi in Piura. The participants of the training are personnel of district municipalities and the administrative members of JASS. The contents of training so far include; water supply management in general, establishment of JASS, constitution of JASS, explaining the new management to village people, setting of new tariff, and making</li> </ul>

			<p>contract with water users.</p> <p><b>Awareness raising in sanitation (Component 3):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The training in this component has been realized in 4 pilot project sites, namely El Espinal and Humedades in Lambayeque and San Jorge and Malacasi in Piura. The participants of the training are personnel of district municipalities and the administrative members of JASS, as same as the other components. The contents of training so far include; awareness raising in sanitation in general, preparation of manuals, preparation for awareness raising workshop, realization of awareness raising workshop, and monitoring.</li> <li>In both Component 2 and 3, the participation of personnel of each district municipality has not been strengthened yet so far, in some villages where their local government has changed in January 2011. Also, the participation of administrative members of JASS is limited only to the President and Treasurer in some cases. In addition, other related personnel, such as a staff member of health center who monitors water quality, also have been participating in some sessions of the training.</li> <li>As described above, so far the pilot projects are currently under implementation in 4 sites (El Espinal and Humedades in Lambareque, San Jorge and Malacasi in Piura).</li> <li>The activities are planned to be implemented in the last year of the project period, after completing the preparation of manuals and activities of pilot projects. Therefore, there is no progress identified at the moment of Midterm Review.</li> <li>The activities are planned to be implemented in the last year of the project period, after completing the preparation of manuals and activities of pilot projects. Therefore, there is no progress identified at the moment of Midterm Review.</li> <li>The activities are planned to be implemented in the last year of the project period, after completing the preparation of manuals and activities of pilot projects. Therefore, there is no progress identified at the moment of Midterm Review.</li> </ul>
	<p>Output 4: The content of the handbook over the administration, operation, maintenance and management of the water supply installations, as well as over the awareness about the sanitation, is diffused to the municipalities and the water and sanitation committees of the regions of Piura and Lambayeque.</p>	<p>3.3 Implementation of pilot projects in 10 rural villages and small cities.</p> <p>4.1 Number of the implementation of training to the Municipalities.</p> <p>4.2 Preparation of training plan for water/sanitation committees.</p> <p>4.3 Implementation of seminars.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>At the operational level, 2 professional specialists of PAPT are assigned as coordinators of the Project.</li> <li>A total of 35,557 soles has been disbursed for the trips necessary of its counterpart personnel (including the personnel of PAPT) for the project activities.</li> <li>The Project Offices with furniture are allocated in both DRVS in Piura and Lambayeque.</li> <li>At the operational level, 8 staff members from DRVS of Lambayeque and 11 staff members from DRVS of Piura are allocated as counterpart personnel to the Project at the moment of the Midterm Review.</li> <li>Since DRVS has various tasks apart from the Project, the current counterpart personnel are not exclusively for the Project.</li> <li>A total of 7,555 soles in Lambayeque, and a total of 6,370 soles in Piura have been spent for the trips of counterpart personnel of each region in the project activities.</li> <li>As of April 2011, the Regional Government of Lambayeque spent 74,546 soles in total, and the Regional Government of Piura spent 302,371 soles in total for the implementation of the Project. The costs borne by both Regions have been used for the necessary costs for the project activities, such as stationeries and office equipments, vehicles and transportation, and materials for activities, etc.</li> </ul>
<p>Input from Peruvian side</p>	<p>1. MVCS</p> <p>2. Divisions in charge of water supply and sanitation in the Regional Government of Piura and Lambayeque</p>	<p>Allocation of counterpart personnel: 1 project coordinator</p> <p>Means of transportation for the counterpart personnel</p> <p>Allocation of project office, furniture, and stationeries</p> <p>Allocation of coordinator exclusively for the Project (at least 3 persons in each Region)</p> <p>Allocation of necessary personnel: specialized engineers</p> <p>Means of transportation for the counterpart personnel</p> <p>Necessary resources for the implementation of pilot projects</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>The following experts are allocated as of the end of April 2011. <ul style="list-style-type: none"> <li>Leader/operation and maintenance planning (including water supply planning), 12.83MM</li> <li>Sub-leader/water supply planning 1/ground water development 1, 7.00MM</li> <li>Water supply planning 2/ground water development 2, 11.33MM</li> <li>Water supply planning 3/ground water development 3, 12.00MM</li> <li>Sanitation promotion planning, 10.00MM</li> <li>Maintenance of Water Treatment plant, to be assigned from June 2011.</li> </ul> </li> </ul>
<p>Input from Japanese side</p>	<p>1. Experts</p> <p>Leader</p> <p>Planning of Drinking Water Supply</p> <p>Planning of Operation and Maintenance</p> <p>Others whose necessity is mutually agreed</p>		

2. Local Consultant	Project cost borne by Japanese side	<ul style="list-style-type: none"> <li>The Project has made contract with Pedro Ruiz Gallo University in Lambayeque and Piura University in Piura, as local consultants for water quality inspection of the pilot projects' sites.</li> </ul>
3. Equipment and materials	Vehicle etc.	<ul style="list-style-type: none"> <li>So far, the equipment; including 4WD vehicles, computers, photocopyers and printers, was purchased in Peru and provided for each Region, which is worth a total of 64,390.00 US dollars. In addition, some equipment including a projector, potable conductivity meters, water level measures, GPS, and turbidity meters, which is worth 841,040 Japanese Yen (approximately 9,312 US dollars ), was brought from Japan and has been utilized for the project activities.</li> </ul>
4. Counterpart training	Some persons per year	<ul style="list-style-type: none"> <li>Any counterpart training in Japan and/or third countries has not been realized yet.</li> </ul>
5. Local Sub-contract	Investigations in 2 Regions 5 pilot projects in 2 Regions	<ul style="list-style-type: none"> <li>Investigations in 2 Regions were carried out by local consultants described above.</li> <li>In the implementation of pilot projects, the Project made contract with 2 private firms so far for the rehabilitation of 2 water supply facilities in Lambayeque and 1 facility in Piura.</li> </ul>
6. Other schemes	Volunteers (cooperation related to the maintenance, and livelihood improvement in rural villages and small cities), follow-up (equipment and materials for boring provided by the grant aid), Grassroots Grant Aid, etc.	<ul style="list-style-type: none"> <li>There is no other scheme of Japanese Cooperation which is directly related to the Project done in the target Regions.</li> </ul>

## 2. Implementation Process

Topics	Evaluation Questions		Results of Investigation
	Details	Necessary Information	
Progress of Activities	Are activities implemented as planned?	<p>Period of realization, level of progress, performance, issues, etc.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>The baseline survey and the implementation of Component 1 and 2 have been delayed due to the following reasons, and the schedule as a whole has been delayed for about 3 months at the moment of Midterm Review, comparing to the original plan. <ul style="list-style-type: none"> <li>In Piura, sufficient professionals have not been assigned in DRVS to realize project activities.</li> <li>In Piura, the counterpart personnel assigned to the Project is not secured their positions in DRVS and many of them have been changed during the project period up to now.</li> <li>In both Regions, sufficient transportation was not provided to the project activities, especially in the first year of the Project during the implementation of baseline survey. <ul style="list-style-type: none"> <li>Changes of local governments (in both Regions and 3 out of 4 district municipalities) in January 2011 resulted in changes of personnel involved in the Project.</li> <li>In Piura, some road to access to pilot project sites was damaged during rainy season.</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>The Component 3 has been progressed as planned in general, although delays in some activities of Component 1 and 2 which closely interrelated to the activities of Component 3 and changes of administrators of JASS (2 out of 4 JASS) during the implementation of project activities have affected somehow its activities as well.</li> <li>The rest of activities will be implemented in accordance to the Plan of Operation, which has been revised in March 2011.</li> <li>Joint Coordinating Committee (JCC) has held once in March 2010, and Regional-level Steering Committee has been realized twice, in February 2010 and October 2010, in order to report progress of the project activities and discuss operation plan and other related issues.</li> </ul>
Management and Operation Structure	Is the management system functioning adequately?  Is communication among actors involved maintained sufficiently?	<p>Means of decision making (Dose it include actors necessary? Is the timing adequate? etc.), system/flow to pass on the decisions.</p> <p>Means and frequency of information sharing/communication (records of meetings, such as CCC, reporting of progress, discussion related to the operation, etc.), amount of shared information.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>The communication among the actors involved in the Project is good in general at the operation level.</li> <li>In Piura there is a room for improvement in the information sharing among each component in order to manage the Project as a whole. It has improved by setting weekly meeting among the different components at counterpart personnel level.</li> <li>In Lambayeque, the communication among the project team is ad-hoc, but sufficient coordination has been maintained.</li> <li>There was no issue found in the communication with District Municipalities and JASSs at pilot project sites.</li> <li>In both Piura and Lambayeque, the coordination with Regional Government to support securing the smooth execution of necessary costs for project activities and assigning of human resources, as well as to collaborate with other departments and sections of regional government in the water supply projects, has not been sufficiently established after the change of regional governments in January 2011, except to the collaboration of Multi-Sector Team in Component 3 and Department of Infrastructure for the execution of construction in Component 1.</li> </ul>

	<p>Is ownership of the implementing organizations and C/P personnel toward the Project sufficient?</p> <p>Is monitoring of project activities functioning adequately?</p> <p>Are the goals, objectives, and methodologies of technical transfer clearly defined? Are there no problems in the method for technical transfer?</p>	<p>Level of participation of implementing agency and C/P personnel, record of realized input, performance on the measures to be taken by Peruvian side.</p> <p>Means and frequency of monitoring Are the results of monitoring shared among the stakeholders and reflected in the future activities?</p> <p>Goals, methods, progress, level of satisfaction and issues on the technical transfer to staff members of DRVS</p> <p>Goals, methods, progress, level of satisfaction and issues on the technical transfer to staff members of target municipalities</p> <p>Goals, methods, progress, level of satisfaction and issues on the technical transfer to the members of JASS</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The level of participation of counterpart personnel at both regions has been sufficient to implement project activities.</li> <li>• The involvement of Regional Government of both regions is not developed sufficiently so far, after the change of government in January 2011.</li> <li>• The counterpart personnel of MVCS visits both target regions periodically to monitor the project activities.</li> <li>• The technical transfer to the counterpart personnel of DRVS has been carried out through practical work of project activities for all 3 Components of the Project. There is no issue found in this method.</li> <li>• The technical transfer to the staff members of target municipalities has been carried out through practical work of pilot project activities at target communities. Although there is no issue found in this method, their participation in such activities is limited in some municipalities yet.</li> <li>• The technical transfer to the members of JASS has been carried out through practical work of pilot project activities at target communities. There is no issue found in this method.</li> </ul>
<p>Technical Transfer</p>	<p>Are Japanese experts adequate for the Project and working on the activities sufficiently?</p> <p>Are C/P members adequate for the Project and working on the activities sufficiently?</p>	<p>Adequacy of specialty of experts, means and frequency of participation in the project activities, division of roles among experts</p> <p>Adequacy of specialty and positions of C/P personnel, means and frequency of participation in the project activities</p> <p>Means and frequency of participation in the project activities, record of participation</p> <p>Meanings of indicators, attainment goals, logics, is there common understanding about the contents of PDM among stakeholders</p> <p>Adequacy of the contents of actual PDM</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• There is no issue found in the contribution of Japanese experts.</li> <li>• In Piura, at the beginning of the Project, there was no sufficient professional human resource necessary to implement project activities in DRVS, and they were temporary employed or assigned from other department of regional government.</li> <li>• Since for most of counterpart personnel their positions are not permanent and secured in Piura, the changes of personnel have been frequently happened.</li> <li>• In Lambayeque, all counterpart personnel allocated to the Project are permanent employees of DRVS.</li> <li>• The participation of district municipalities and communities has been generally sufficient so far.</li> <li>• There was a change of government in 3 district municipalities out of 4, and some personnel involved in the Project were changed.</li> <li>• The administrative members of JASSs in 2 pilot projects (El Espinal in Lambayeque and San Jorge in Piura) were changed, which requires implementing the training again for new members.</li> <li>• In some pilot sites the participation of the administrative members is still limited only to the President and Treasurer.</li> <li>• Although the participation of communities are moderate, it has been a time consuming process for all the actors involved at community level to raise their awareness to get them understand the new tariff and other related changes of management system.</li> <li>• In order to measure the level of achievement of the Project Purpose more objectively, it is necessary to reconsider the indicators described in the actual PDM version 0.</li> <li>• It is difficult to know the level of achievement with the actual indicators of outputs which do not interpret the level of achievement in especially Output 2 and 3.</li> </ul>
<p>Allocation of human resources</p>	<p>Are the indicators adequate to indicate the level of achievements for the Project Purpose and Outputs?</p> <p>Have the contents of PDM reviewed adequately considering the original objectives and actual situations?</p>	<p>What kind of changes were occurred, what kind of influences are there, tendencies and prospects in the future</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The PDM has not been revised so far. It is necessary to revise some contents based on the actual situations, in order to manage the Project in accordance with the PDM.</li> <li>• There was a change of government in 3 district municipalities out of 4 in pilot projects, and some personnel involved in the Project were changed.</li> <li>• There was a change of both regional governments in January 2011, which resulted in changes of personnel involved in the Project.</li> <li>• In MVCS, due to the change of operational manual of PAPT, the division in charge of the Project was changed from urban sanitation division to rural sanitation division. Therefore, the coordinators of the Project were changed.</li> </ul>
<p>Participation and recognition of the target groups and related actors</p> <p>Revision of PDM</p> <p>Other issues occurred during the implementation process and</p>			

<p>factors which influence the performance of the Project</p>	<p>Are there any issues which occurred during the implementation till the Midterm Review? How dose the Project deal with such issues?</p>	<p>Progress of activities, actual situations of the issues of the Project, actions taken to solve the issues, prospects in the second half of the project period</p>
---	---	--

- COSUDE has a plan to disseminate their capacity development model to Lambayeque and Piura, and it may overlap with activities of PRISAS.

### 3. Evaluation by Five (5) Criteria

#### (1) Relevance

Evaluation Questions		Necessary Information	Results of Investigation
Topics	Details		
Necessity	<p>Is the Project relevant with the needs of Peruvian society and target groups?</p> <p>Is there any change in the situation of "needs" identified in the ex-ante evaluation study?</p>	<p>Needs of target regions on the strengthening of capacities in administration, operation, and maintenance of water facilities and the improvement of sanitation, Actual situation of issues and problems related to the needs</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The improvement of water supply is one of the most prioritized issues in the Regional Plan for both Piura and Lambayeque Regions (Plan de Desarrollo Regional Concertado de Lambayeque 2011-2021, and Plan de Desarrollo Regional Concertado de Piura 2007-2021).</li> </ul>
Priority	<p>Is the Project consistent with the development policy of the Peruvian Government?</p> <p>Is the Project consistent with the Japanese aid policy?</p>	<p>Priority in the actual national development plan of Peruvian Government, current trend in the water supply and sanitation sectors, consistency with the national action plan in water supply and sanitation</p> <p>Conformity with Country Assistance Program and JICA's Country Assistance Plan for Peru</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The National Sanitation Plan 2006-2015 (Plan Nacional de Saneamiento 2006-2015), which aims at the expansion of service coverage, modernization of administration and management in water supply and sanitation sector, improvement in sustainability and quality of services, and achievement of economical feasibility of service providers, is a valid national plan at the moment, and the Project is highly relevant to this plan.</li> <li>• According to the latest assistance policy of JICA, "Country Assistance Policy: Peru" prepared in April 2009, the improvement of water supply and sanitation is considered as one of the prioritized themes under the strategic field of "alleviation of poverty and reduction of disparity". The Project PRISAS is allocated as one of the component in Water Program of JICA's assistance in Peru.</li> </ul>
Suitability as means	<p>Are the contents, design and approaches of the Project adequate to contribute effectively to the issues in the water supply and sanitation?</p> <p>Was the selection of target areas/groups of pilot projects adequate and sufficient?</p> <p>Is there any aspect of superiority in the Japanese technologies/capacities to provide assistances in this theme?</p>	<p>Suitability of the contents/design/approaches of the Project, if there is any change in the initial plan (adequacy of the changes), results of verification of performance</p> <p>Actual situation of the participation of target groups, progress of activities, changes of plan, results of the verification of performance</p> <p>Experience and knowledge accumulated in the Japanese technologies/capacities, Japanese experience applicable to the target of the assistances</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The Project has been working in an integrated approach to solve the issues related to rural water supply and sanitation, combining the 3 components. Actors involved in the Project consider it quite appropriate to contribute to the existing issues in rural water supply, especially where community people merely have an idea of "management of facilities", proper water tariff system and maintenance.</li> <li>• The application of water meters and water tariff based on amount of consumption in the rural communities is a new trial in Peru, and it is considered being adequate by counterpart personnel both in Lambayeque and Piura, based on their experiences in the pilot projects.</li> <li>• Although the Project is designed to improve technical capacities of DRVS which was considered as a core organization to improve rural water supply and sanitation, at the beginning of the Project their roles and responsibility in these issues were not clearly defined at regional level in both regions, and the relationship with other related department and/or divisions was not adequately established. Also, sufficient human and financial resources were not allocated to assume main roles in the 3 Components of the Project.</li> <li>• The selection criteria were established for the selection, and the target communities for baseline survey and pilot project sites were selected based on the criteria.</li> <li>• JICA has been implementing projects for capacity development related to water and sanitation in various countries of the world, including South and Central American countries. Therefore, it is possible to execute assistance activities utilizing the experiences accumulated through such different projects.</li> </ul>
Others	<p>Are the collaboration and/or demarcation with other</p>	<p>Contents of related projects by the government, other donors, and JICA,</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• At regional level, Regional Management (Gerencia) of Infrastructure executes most of construction works of water supply facilities which are financed by the regional government. Also, in Piura some professionals of Northern Frontier Program under Regional Management of Social Development</li> </ul>

	<p>projects/programme of the government, donors and other JICA's projects defined clearly? Is there any synergy effect of the collaboration?</p>	<p>relationships with such other projects, actual situation of collaboration with such projects</p>	<p>manage regional counterpart portions of "Agua para Todos" Program implemented in the region, which include construction of facilities and training of JASS in the management, operation and maintenance, although the lack of financial resource does not allow them to proceed their activities. These functions exist parallel to the project activities in DRVS, even since before the Project, and it is under the process of re-structuring.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>At national level, there are different projects and programs related to water supply and sanitation in rural communities. MVCS implements "Agua para Todos" Program, which consists of components of construction or rehabilitation of water supply facilities and capacity development of water users' committee such as JASS, directly in rural communities, including Lambayeque and Piura. There are other similar projects financed by different donors such as Luxembourg, Spain and IDB in other regions in Peru. One of such Project is implemented by COSUDE. COSUDE has a plan to disseminate their capacity development model to Lambayeque and Piura, and it may overlap with activities of PRISAS.</li> </ul>
--	--	---	--

## (2) Effectiveness

Evaluation Questions		Results of Investigation	
Topics	Details	Necessary Information	
Prospect of achieving the Project Purpose	<p>Dose the Project Purpose have good prospects of accomplishing by the end of project period?</p> <p>Are there any factors which contribute to the achievement of the Project Purpose?</p> <p>Are there any constraints in the achievement of the Project Purpose?</p> <p>Are there sufficient Outputs designed to achieve the Project Purpose?</p> <p>Are the Important Assumptions to achieve the Project Purpose still adequate? What kind of influences can be possibly seen?</p>	<p>Results of the verification of performance</p> <p>Results of the verification of performance, opinions of stakeholders</p> <p>Results of the verification of performance, opinions of stakeholders</p> <p>Results of the verification of performance</p> <p>If good relationship among related organizations/institutions has been maintained or not</p> <p>If the participation (including the installation of water facilities) of target "villagers" and "small cities" is active enough or not</p> <p>If the issues pointed out have been improved or not</p> <p>If the actual situations have been identified or not</p> <p>New important assumptions</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>The DRVS in both regions has been strengthening their capacities in the implementation of water supply and sanitation projects in rural communities in the aspects of 3 components introduced by the Project, considering the progress of achievement in Output 1, 2, and 3 (as described in the "4-3 Efficiency"). However, so far the level of achievement in capacity development for the District Municipalities and JASSs differs depending on their situation and progress of activities, and it is difficult to foresee the level of final achievement yet.</li> <li>In order to measure the level of achievement of the Project Purpose more objectively, it is necessary to reconsider the indicators described in the actual PDM version 0.</li> <li>Refer to the factors which contributed to the achievement of Outputs.</li> <li>Refer to the constraints in the achievement of Outputs.</li> <li>Although some achievement has been observed as mentioned above, in order to measure the level of achievement of the Project Purpose as a result of achieving the Outputs, it is necessary to reconsider the indicators, defining what it should be like after the capacity is improved by the end of project period by achieving the 4 Outputs.</li> <li>There is a room for improvement in the relationship of the Project with regional governments, to be fully recognized and supported as a function of regional government to improve rural water supply.</li> <li>As to the other assumptions, "Active participation of target communities and small cities (including the installation of water facilities)", it is more appropriate to consider it as an assumption to achieve Outputs.</li> <li>"Issues pointed out are improved" and "Continue identifying the actual situations" are not clear as important assumption to achieve Project Purpose.</li> <li>"No natural disasters affecting the project outputs" should be an important assumption.</li> </ul>
Causality between the Outputs and the Project Purpose	<p>Are there any new important Assumptions to achieve the Project Purpose?</p>	<p>New important assumptions</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>"No natural disasters affecting the project outputs" should be an important assumption.</li> </ul>

## (3) Efficiency

Evaluation Questions		Results of Investigation	
Topics	Details	Necessary Information	



<p>Is the level of achievement of each Output satisfactory so far?</p>	<p>Results of the verification of performance</p>	<p>The achievements of Outputs have been largely affected by the insufficiency and changes of human resource in the case of Piura, and will be affected further if current counterpart personnel are changed during the project period.</p> <p><b>Output 1:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>This Output represents the preparative activities related to the Output 2 and 3, and therefore the activities of Output 1 were realized at the beginning of the Project in both Regions.</li> <li>All activities to verify the water supply and sanitation situation of the rural communities, as well as their capacity to carry out water supply and sanitation projects and its tasks were realized.</li> </ul> <p><b>Output 2:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The counterpart personnel of WG1 of both Regions carried out a series of practical works for the construction of water supply facilities, from the preparation of profiles up to the completion.</li> <li>The counterpart personnel in both Regions, who are professionals in Engineering or Architecture, consider that they gained good experiences through the pilot projects, although there are more different skills and knowledge to learn depending on the types of water supply systems and geographical characteristics of sites.</li> </ul> <p><b>Output 3:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Regarding the personnel of District Municipalities, although they are collaborative to the pilot project, the level of achievement in their capacity development so far differs in both Component 2 and 3 depending on the Municipalities. The main reason of the difference is in their participation and involvement in the project activities. In some municipalities their participation is still limited, mainly because: <ul style="list-style-type: none"> <li>Due to the change of administration in January 2011, the staff members in charge of the pilot project were changed in some municipalities (3 out of 4 pilot sites).</li> <li>In some municipalities, due to the limitation of human and financial resources, staff in charge of water and sanitation has not been assigned, or the staff member concurrently has other tasks in the municipalities.</li> </ul> </li> <li>Since the activities with District Municipalities will be developed further in the rest of project period, the Project will continue working with them to strengthen their involvement and develop their capacity.</li> <li>As to the administrative members of JASS, their level of achievement in capacity development in both Component 2 and 3 differs mainly because of the difference in the progress of activities. In the Component 2, the training has been in progress in El Espinal and Humedades, and they have been already working on their daily operation, including the new tariff system. In the case of San Jorge, it is under the training process for operation and maintenance at the moment. In any cases, the monitoring and assistance are important since various concerns about operation and maintenance were mentioned by members of JASS in the interview of the Midterm Review, especially about chlorination. In the Component 3, Malacasi has already started house by house monitoring activities with each member of JASS and other actors concerned. But in other sites, the Project will continue working to strengthen their capacity and initiatives.</li> <li>In the Output 3, it is also important to strengthen capacities of counterpart personnel at regional level so that they can provide orientations necessary to District Municipalities and JASSs. Regarding the Component 2, in Lambayeque training has been in progress in 2 pilot sites and the counterpart personnel have prepared the format necessary and experienced the process of capacity development of JASSs. In Piura, although it is still in process, they also have been development their own capacity to orient JASSs and District Municipalities in this theme. In both Regions they think that they can build enough capacity by the end of the project period, through the activities with additional pilot sites in the rest of project period.</li> <li>As to the Component 3, most of activities have been implemented as planned so far, and collaborative relationship with other actors at regional level has been developed. The counterpart personnel of WG3 have gained experiences in the preparation of manuals for communities and implementation of workshops. In the latter half of the project period, a manual for JASSs and district municipalities will be prepared, and pilot projects in 3 additional sites will be started, while the monitoring activities are continued and strengthened.</li> </ul>
<p>Level of achievement of the Outputs</p>	<p>Results of the verification of performance, opinions of stakeholders</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>In spite of the limitation in human and financial resources, members of counterpart personnel both in Piura and Lambayeque have devoted a lot of time to the project activities.</li> <li>The administrative members of JASS in general are making effort to understand the new skills and knowledge introduced by the Project and to carry out their activities, assuming their responsibility.</li> <li>In general, other actors involved at the pilot project sites, such as District Municipalities, Village Representatives (Alcalde de Centro Poblado), and Health Center, are also collaborative.</li> <li>The members of Multi-Sector Team have been collaborative in the implementation of Component 3 in both regions.</li> <li>Department of infrastructure in the Regional Government of Piura has been collaborating in the implementation of Component 1, in the supervision of construction and the provision of human resource and transportation to the project activities.</li> <li>Efforts of District Municipalities to access their own financial resource to cover some necessities, such as an office for JASS, some part of water system which is not included in the pilot project, and sanitation facilities.</li> </ul>
<p>Are there any factors which contributed to the achievement of Outputs?</p>		

	Are there any constraints in the achievement of Outputs?	Results of the verification of performance, opinions of stakeholders	<ul style="list-style-type: none"> <li>The issues of human resources in Piura (lack of professional personnel, delays in employing personnel, and changes of personnel)</li> <li>Insufficiency of budget of regional government for project activities in both Regions, including means of transportation to the pilot project sites, per diem of counterpart personnel, stationeries, etc.</li> <li>Some delays caused by bureaucratic procedures of Regional Government in the application of necessary budget for project activities.</li> <li>Damages of road to access to the pilot project sites during rainy season in Piura.</li> <li>Changes of some personnel in charge of the pilot project at District Municipality level after the election.</li> <li>Changes of members of JASS in El Espinal, Lambayeque and San Jorge, Piura.</li> <li>Dissatisfaction of some community members about the water supply facilities constructed by the Project, in some portions of facilities which were not included in the Project (some part of water pipe, fence and cover of reservoir, etc. in San Jorge).</li> </ul>
	Are the activities sufficient for producing the Outputs of the Project?	Results of the verification of performance and implementation process	<ul style="list-style-type: none"> <li>Necessary activities are included the plan of project activities.</li> <li>The rest of activities will be implemented in accordance with the Plan of Operation (PO).</li> </ul>
Causality between the activities and the Outputs	Are the Important Assumptions to achieve the Outputs still adequate? Is there any influence of the assumptions?	If the budget necessary for the improvement of water supply and sanitation is allocated in both regions or not. If the information necessary for the project activities is available without any delay or not. If the logistics (transportation) necessary for the project activities is provided or not. The legal procedures necessary in Peru for the implementation of the Project are realized without any delay or not.	<ul style="list-style-type: none"> <li>In terms of the input by Peruvian side, as mentioned in the other section, the quantity of human and financial resources has not been sufficient, especially in professional personnel as technical counterpart of the Project in Piura and budget necessary for the project activities in both Regions.</li> <li>Although there are some difficulties in gathering necessary information for the project activities, there is no specific influence of delays in obtaining information.</li> <li>It was not clear among the project team members what this assumption implies.</li> <li>Due to the insufficiency of budget of regional governments, some transportation necessary for the project activities was not provided or the provision was delayed.</li> <li>There is no influence of any delays related to the legal procedures.</li> </ul>
	Are there any new important Assumptions to achieve the Outputs?	New important assumptions	<ul style="list-style-type: none"> <li>It is considered that “Good relationship among related organizations is maintained” and “Rural communities and small cities actively participate in project activities” are important assumptions at this level.</li> <li>It is considered that “There is no change in other donor’s activities” can be an assumption at this level.</li> </ul>
Timing, quality and quantity of the Inputs	Are timing, quality and quantity of input adequate in order to carry out the activities as they are planned?	Results of input, performance and implementation process, influences in excess and deficiency of input and timing of provision.	<ul style="list-style-type: none"> <li>As to the input by Peruvian side, the quantity of human and financial resources has not been sufficient, especially in professional personnel as technical counterpart of the Project in Piura and budget necessary for the project activities in both Regions.</li> <li>As to the input provided by Japanese side, the following issues were pointed out by actors involved in the Project. <ul style="list-style-type: none"> <li>The vehicles were not provided in the first year of the Project, when transportation was largely necessary for baseline survey.</li> <li>The counterpart training in Japan or third country has not been realized yet.</li> </ul> </li> </ul>

**(4) Impact**

Topics	Evaluation Questions	Necessary Information	Results of Investigation
	Details		
Prospect of achieving the Overall Goal	Will the Overall Goal be achieved as an effect of the Project?	Results of the verification of performance	<ul style="list-style-type: none"> <li>Since it is still at midterm of project period and the attainment goals of Project Purpose are not clearly defined by the indicators yet, it is considered to be too early to analyze the possibility of achieving the Overall Goal.</li> </ul>
	Will the indicators of Overall Goal be available at the moment of ex-post evaluation?	Possibility to obtain information/data of the defined indicators	<ul style="list-style-type: none"> <li>The indicators of Overall Goal also should be reconsidered to measure the achievement more clearly and objectively.</li> </ul>
	Is there any constraint in the achievement of the Overall Goal?	Possible constraints of the Overall Goal	<ul style="list-style-type: none"> <li>Financial and human resources necessary for the implementation of water and sanitation projects are limited.</li> <li>The implementation structure of Regional Governments is under re-structuring.</li> </ul>

Causality between the Project Purpose and the Overall Goal	Is there any deviation in the causality between the Overall Goal and the Project Purpose? Are the Important Assumptions to achieve the Overall Goal adequate? Is there any influence of the assumptions? Are there any important assumptions to achieve the Overall Goal?	Results of the verification of performance If there is any change in the policies at regional level or not. If the other components of "Sub-programme of water supply and sanitation in northern region" are implemented or will be implemented. New possible important assumptions	<ul style="list-style-type: none"> <li>• In terms of the improvement of sanitation situation, the idea of "sanitation" is broadly interpreted in Peru, including water supply as well as sewerage, and toilets. In this sense, the installation of sanitation facility will not be treated as the indicator to measure the impact of the Project.</li> <li>• There is no change of policies at regional level so far.</li> <li>• "Sub-program of water supply and sanitation in northern region" of JICA is not existed at this moment. It is necessary to consider a measure to collaborate with other schemes to supplement this sub-program.</li> <li>• "Agua para Todos Program continues" should be an assumption at this level.</li> <li>• "Budget of Regional Governments in water and sanitation projects is increased." can be an assumption at this level.</li> <li>• "Budget of District Municipalities in water and sanitation projects is increased and human resource is assigned." can be an assumption at this level.</li> </ul>
Multiplied effects	Are there any possible positive and negative impacts apart from the Overall Goal?	Effects on the establishment of policies/institutions/regulations Effects on the gender, human right, poverty, social and cultural issues etc. Other effects on the target groups	<ul style="list-style-type: none"> <li>• As the improvement of water supply in rural communities can result in various positive impacts such as better health conditions and improved quality of life, in El Espinal and Humedades some of such comments, including the reduction of time and cost to fetch water, better access (hours) to water, better quality of supplied water, etc. were heard in the interview with JASS and users.</li> <li>• There is no negative impact observed yet at the moment of Midterm Review.</li> </ul>

### (5) Sustainability

Evaluation Questions		Necessary Information		Results of Investigation	
Topics	Details				
Policy and institutional aspects	Will the governmental support in terms of policies continue after the Project? Are the regulations and laws to apply the contents of manuals related to the installation, administration, operation and maintenance of water supply facilities and awareness raising in sanitation prepared?	Current trend of development plans and policies of national and regional governments related to water supply and sanitation. Situations of the establishment of laws and regulations necessary Are there any actions guaranteed to diffuse the manuals of the Project in the other areas?		<ul style="list-style-type: none"> <li>• As the improvement of water supply is one of the highest priority issues at any levels of government in Peru, the political support in this sector will be continued without doubt.</li> <li>• All contents of project activities were developed based on the existing laws and regulations.</li> <li>• In both Regions of Piura and Lambayeque, the Regional Governments have been undertaking its re-structuring of organizational structure at the moment. In both cases the positioning of DRVS will be changed and it will cause certain effects in its role and function in respective Regions.</li> <li>• At the moment it is not clear how MVCS and Regional Governments strengthen the implementation structure to strengthen the execution of water and sanitation related projects.</li> </ul>	
Organizational and financial aspects	Does each related organization have sufficient organizational capacity to continue the Project's activities after the Project?	Organizational capacity of MVCS, regional governments, and target municipalities, such as allocation of human resources		<ul style="list-style-type: none"> <li>• The Regional Governments have been in the process of re-structuring to establish more efficient administration structure. At the moment of the Midterm Review, the decision has not been announced officially by both Governments, and it takes more time to see the results. In any cases, it is necessary for DRVS to strengthen their organizational capacity (including human and financial resources) to extend the experiences gained through this Project in all 3 Components. Also its roles and functions in the implementation of activities in the improvement of water supply and sanitation should be determined more clearly.</li> <li>• As to the District Municipalities, which are expected to orient JASS in the management, operation and maintenance of water supply facilities and awareness raising in sanitation, they have been in a serious problem in terms of human and financial resources, comparing to the number of existing small cities and communities in each Municipality.</li> </ul>	
	To what degree do the organizations involved in the project have a sense of ownership of the Project? To what degree is budget secured to continue activities?	Policies and operational plans of MVCS, regional governments, and target municipalities in the project activities Current situations of budget allocation, regional governments and target		<ul style="list-style-type: none"> <li>• The participation and contribution of DRVS in both regions have been sufficient, although the limitation of resources and capacities exists.</li> <li>• The involvement of Regional Governments has not been sufficient, considering their support to the Project.</li> <li>• The budget of DRVS in both regions is 60,000 to 70,000 soles per year. Most of the budget is used for human resources and related costs, and costs for activities are quite limited.</li> </ul>	

	Is the expense increased due to the implementation of the Project?	municipalities, expenses for the Project, and situations of budget planning if there is increase of the costs	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The target District Municipalities have been making efforts to access their own financial resource to cover some necessities, such as an office for JASS, some part of water system which is not included in the pilot project, and sanitation facilities.</li> </ul>
Technical aspects	<p>Are the skills and/or techniques transferred by the Project accepted?</p> <p>Is the mechanism of diffusion and maintenance of the technologies included in the Project?</p>	<p>Issues in technical level, social and conventional factors, and actual situations of utilization of skills</p> <p>Is a system/structure to diffuse technologies established?</p> <p>Are measures to maintain and update technologies considered?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Skills and knowledge introduced by the Project are accepted so far by counterpart personnel, district municipalities, and members of JASS.</li> <li>• The activities to diffuse the project activities and contents of manuals prepared by the Project are planned in the final year of the project period.</li> <li>• So far changes of counterpart personnel and insufficiency of human resources have affected largely the achievement of capacity development and the sustainability of skills, knowledge and experiences gained through the project activities. It is necessary for DRVS to find measures to accumulated experiences not only at individual level but also at institutional level to secure sustainability.</li> <li>• Since the administrative members of most of JASS are changed every 2 years and District Municipalities are suffering insufficiency of resources, some measures to maintain skills and knowledge even after changes of personnel should be considered.</li> <li>• There is no promoting and hindering factor identified.</li> </ul>
Social, cultural, and environmental aspects	Is there any possibility for the Project to hinder the sustainability of the activities due to the lack of consideration toward gender, poverty, vulnerable groups, and environment?	Factors to promote or hinder the sustainable effects of the Project	

Matriz de Diseño del Proyecto (PDM 1)

Nombre del Proyecto: "Proyecto de Reforzamiento Institucional del Suministro de Agua y Saneamiento en la Zona Norte del Perú"

Zona objeto: Región de Lambayeque y Región de Piura (Perú)

Organización objeto: MVCS, Gobierno Regional de Lambayeque y Gobierno Regional de Piura

Grupo meta: DRVS Lambayeque, DRVS Piura, Municipalidades Distritales, JASS/Comité de Agua y población objeto del Proyecto

Período del Proyecto: Junio de 2009 – Marzo de 2013

Resumen narrativo del Proyecto	Indicadores	Medios de obtención	Condiciones externas
<p>&lt;Meta Superior&gt; Mejora el estado del suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.</p>	<p>1. Incrementa el número de localidades rurales y pequeñas ciudades que cuentan con el suministro de agua potable adecuado cuantitativa y cualitativamente (se especificará más adelante).</p> <p>2. Disminuye la morbilidad de enfermedades transmitidas por agua.</p>	<p>1. Informe del Gobierno Regional</p> <p>2. Informe del Ministerio de Salud.</p>	
<p>&lt;Meta del Proyecto&gt; Mejora la capacidad para implementar el servicio de suministro de agua y saneamiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades<sup>1</sup> de las regiones de Piura y Lambayeque</p>	<p>1. Continúa el asesoramiento de la DRVS a 25% de las Municipalidades Distritales basado en los manuales elaborados por el Proyecto.</p> <p>2. Por lo menos las 10 JASS objeto de proyectos piloto ofrecen el servicio de suministro de agua mejorado con el sistema de tarifa adecuado.</p>	<p>1-1. Informe bimensual y anual de DRVS</p> <p>1-2 Convenio de cooperación mutua entre DRVS y Municipalidades Distritales</p> <p>2-1 Informe de monitoreo de las Municipalidades Distritales</p> <p>2-2 Informe del Proyecto.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Continúa el Programa de "Agua para Todos."</li> <li>• Aumenta el presupuesto para el suministro de agua y saneamiento de las Municipalidades Distritales.</li> <li>• Aumenta el presupuesto para el suministro de agua y saneamiento de las Municipalidades Distritales y se aseguran los recursos humanos.</li> <li>• No hay cambio en la política del Gobierno Regional.</li> </ul>
<p>&lt;Resultados&gt;</p> <p>1. Se verifican la capacidad de ejecución y los retos por resolver respecto al servicio de suministro de agua y saneamiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.</p>	<p>1-1 Se consolidan los resultados del Estudio de línea de base sobre el estado del suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades de ambas regiones.</p> <p>1-2 Se consolida el inventario de las instalaciones de suministro de agua .</p>	<p>1-1 Informe del Proyecto de primer año</p> <p>1-2 Informe del Proyecto de primer año</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• No hay desastres naturales.</li> </ul>
<p>2. Se fortalece la capacidad de DRVS de Piura y Lambayeque referente a la implementación de obras, el mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y al asesoramiento para el servicio de suministro de agua y saneamiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades.</p>	<p>2-1 Se ejecutan las obras desde la pre-inversión (elaboración de perfil y expedientes técnicos), licitación de contratistas, supervisión, hasta su recepción en las 4 localidades de Proyecto Piloto.</p> <p>2-2 Se ejecutan los Proyectos Pilotos en 10 localidades en base al manual de administración, operación y mantenimiento.</p> <p>2-3 Se ejecutan los 10 Proyectos Pilotos en base al manual de sensibilización en saneamiento.</p>	<p>2-1 Informe del Proyecto.</p> <p>2-2 Informe del Proyecto.</p> <p>2-3 Informe del Proyecto.</p>	
<p>3. Se fortalece la capacidad de administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y saneamiento en las Municipalidades Distritales y las JASS objeto al Proyecto</p>	<p>3-1 JASS presenta a la Municipalidad Distrital el informe mensual de administración, operación y mantenimiento de las instalaciones en base al manual de administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro</p>	<p>3-1 Informe mensual de JASS.</p> <p>3-2 Informe de monitoreo de Municipalidades Distritales.</p> <p>3-3 Informe de monitoreo de la sensibilización en</p>	

<sup>1</sup> Para efectos del Proyecto, "pequeñas ciudades" se refiere a aquellas con servicios administrados por organizaciones basadas en la comunidad o directamente por la municipalidad distrital.

Piloto.	de agua. 3-2 Las Municipalidades Distritales en las localidades del Proyecto Piloto incrementan la frecuencia de hacer asesoramiento a las JASS en base al manual de administración, operación y mantenimiento de las instalaciones. 3-3 Aumenta % de habitantes que llevan vida higiénica como consecuencia de las actividades de sensibilización.	saneamiento.	
4. Se consolida un sistema para difundir el contenido de los manuales de administración, operación y mantenimiento y de la sensibilización en saneamiento entre las Municipalidades Distritales y JASS / Comité de Agua que están fuera del área del Proyecto Piloto.	4-1. El 60% de las Municipalidades Distritales ubicadas en las áreas de Proyectos Piloto asesoran a las JASS / Comités de Agua que no son objeto de Proyecto Piloto, en base a los manuales. 4-2 Se ejecuta la capacitación sobre la administración, operación y mantenimiento del servicio de agua, así como sobre la sensibilización al 70% de las otras Municipalidades Distritales de la región de Lambayeque y Piura. 4-3 El 70% de las otras Municipalidades Distritales que han recibido la capacitación elaboran el plan de capacitación para las JASS /Comités de Agua.	4-1 Informe del Proyecto. 4-2 Informe de capacitaciones. 4-3 Plan de capacitación de Municipalidades Distritales.	
<b>&lt;Actividades&gt;</b>		<b>&lt;Aportes&gt;</b>	
1-1 Estudio de línea de base relativo al suministro de agua y saneamiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades de ambas regiones. 1-2 Estudio sobre los Gobiernos Regionales referente a: sistema de asesoramiento para la implementación de obras de suministro de agua, supervisión y asesoramiento a las Municipalidades Distritales, actividades realizadas, plan de nuevas obras, estudios realizados sobre la reparación, capacidad de ejecutar estudios, plan de estudio para la reparación, capacidad de diseñar, diseños ejecutados, especificaciones elaboradas y trámites de permisos y autorizaciones. 1-3 Estudio del sistema de asesoramiento del MVCS a los Gobiernos Regionales sobre operaciones de suministro de agua y saneamiento, estado de las actividades, asignación de presupuestos y capacidades. 1-4 Verificación de los temas relacionados con la ejecución de operaciones de suministro de agua y saneamiento en ambas regiones en base a los resultados arriba mencionados. 1-5 Modificación de la Matriz de Diseño del Proyecto (PDM), si fuera necesario, basado en los resultados. 2-1 El MVCS, en cooperación con los Gobiernos Regionales, elabora el borrador del manual de implementación de obras de suministro de agua que ejecutan los Gobiernos Regionales. 2-2 El MVCS planifica y ejecuta capacitaciones dirigidas a los Gobiernos Regionales sobre la implementación de obras de suministro de agua. 2-3 Selección de alrededor de 4 sitios como sitio candidato a Proyecto Piloto en las localidades rurales y pequeñas ciudades para implementar las obras de suministro de agua. 2-4 Ejecución por los Gobiernos Regionales en las 4 localidades rurales y pequeñas ciudades sujeto a los Proyectos Piloto las siguientes actividades: elaboración del plan de nuevas construcciones, estudio para identificar los lugares que requieran reparaciones, formulación del plan de reparación, preparación de diseños, elaboración de especificaciones y ejecución de trámites para la autorización de obras. 2-5 Ejecución por los Gobiernos Regionales de la implementación de obras	<b>Parte Japonesa</b> 1. Expertos. 2. Consultores locales. 3. Equipos y materiales: Vehículos. 4. Envío de becarios: algunos becarios por año. 5. Contratación local • Estudio: en 2 Regiones. • Alrededor de 5 sitios de Proyecto Piloto en cada región. 6. Gastos locales.  <b>Parte Peruana</b> 1. Ministerio de Vivienda, Construcción y Saneamiento (MCVS) • Asignación del personal necesario: 1 Coordinador del Proyecto. • Medios de desplazamiento de la contraparte. 2. Direcciones a cargo del suministro de agua y saneamiento del Gobierno Regional de Piura y de Lambayeque.  • Aseguramiento de la oficina del Proyecto, así como el suministro de muebles y materiales de oficina. • Asignación de coordinadores con dedicación completa al Proyecto (mínimo 3 personas por cada Gobierno Regional). • Asignación del personal necesario: ingenieros especializados. • Medios de transporte para la contraparte. • Recursos financieros necesarios para la ejecución de los Proyectos Piloto.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Se mantiene una buena relación entre los organismos relacionados.</li> <li>• Hay participación activa de las localidades rurales y pequeñas ciudades (incluyendo las obras e instalaciones de suministro de agua).</li> <li>• Se ejecutan sin demora los trámites legales en el Perú para la implementación de las operaciones.</li> <li>• Otros organismos donantes no cambian sus actividades.</li> </ul>	
		<b>&lt;Premisas&gt;</b>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• No se deteriora la seguridad.</li> </ul>	

<p>de suministro de agua, utilizando las empresas privadas en las 4 localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de los Proyectos Piloto.</p> <p>2-6 Realización del monitoreo por parte del MCVS de las actividades de los Proyectos Piloto de 2-4 y 2-5 ejecutadas por los Gobiernos Regionales.</p> <p>2-7 Revisión de manuales de implementación de obras de suministro de agua, considerando los resultados de los Proyectos Piloto.</p> <p>2-8 Selección de alrededor de 10 sitios de las localidades rurales y pequeñas ciudades donde las Municipalidades Distritales, JASS / Comités de Agua realizan los Proyectos Piloto para la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua, así como para la sensibilización sobre saneamiento. (Incluyendo las 4 localidades rurales y ciudades pequeñas seleccionadas en 2-3).</p> <p>2-9 Los Gobiernos Regionales, en colaboración con las Municipalidades Distritales de las localidades objeto de los Proyectos Piloto, elaboran el borrador de manuales para la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua (consolidación organizativa de las Municipalidades Distritales y JASS / Comités de Agua, elaboración del plan de administración, operación y mantenimiento, establecimiento y cobranza de tarifas, reparaciones de pequeña escala y método de obtención de los repuestos) y para la sensibilización en saneamiento que realizan las Municipalidades Distritales y JASS / Comités de Agua.</p> <p>2-10 Los Gobiernos Regionales ejecutan las capacitaciones relacionadas con la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua, así como la sensibilización sobre saneamiento a las Municipalidades Distritales y JASS / Comité de Agua que administran las operaciones de suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de los Proyectos Piloto.</p> <p>3-1 Ejecución por las Municipalidades Distritales y JASS / Comité de Agua de las localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de los Proyectos Piloto, de consolidación de la organización, elaboración del plan de administración, operación y mantenimiento, actividades de sensibilización, así como el establecimiento, cobranza y administración de tarifas.</p> <p>3-2 Las Municipalidades Distritales y JASS / Comités de Agua de las localidades rurales y pequeñas ciudades objeto de los Proyectos Piloto adquieren los repuestos y realizan reparaciones de pequeña escala, en cooperación con los Gobiernos Regionales.</p> <p>3-3 Los Gobiernos Regionales y el MVCS realizan el monitoreo de las actividades de 3-1 y 3-2.</p> <p>3-4 Se revisa el borrador del manual de administración, operación y mantenimiento y el de la sensibilización en saneamiento, en base a los resultados de los Proyectos Piloto.</p>		
<p>4-1 Las Municipalidades Distritales objeto de los Proyectos Piloto realizan las capacitaciones relativas a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y a la sensibilización, dirigidas a todas las JASS / Comités de Agua de su jurisdicción, utilizando los manuales respectivos.</p> <p>4-2 Los Gobiernos Regionales realizan las capacitaciones relativas a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y a la sensibilización, de todas las Municipalidades Distritales, utilizando los manuales respectivos.</p> <p>4-3 Todas las Municipalidades Distritales de ambas regiones elaboran los planes de capacitación relativos a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y a la</p>		

<p>sensibilización, de todas las JASS y Comités de Agua de su jurisdicción.</p> <p>4-4 Los Gobiernos Regionales de Piura y Lambayeque celebran seminarios para compartir los resultados del Proyecto con otras regiones.</p>		
--	--	--



## Anexo 8: Agenda de Actividades del Equipo de Evaluación Intermedia

			JICA	Consultoría
			Líder (Ing. Yamamoto) Planificación de Evaluación (Ing. Inoue) Intérprete (Lic. Higuchi)	Evaluación y Análisis de Datos (Lic. Ohashi)
1	19-Jun	Dom		NARITA (15.55) → Houston (13.50) (CO006)
2	20-Jun	Lun.		Houston (15.50) → Lima (22.25) (CO6975)
3	21-Jun	Mar.		Lima (11:20) → Piura (13:00) Reunión con expertos Reunión con el Grupo de Trabajo 1
4	22-Jun	Mié.		Reunión con expertos Reunión con el Grupo de Trabajo 2 Reunión con el Grupo de Trabajo 3
5	23-Jun	Jue.		Visita Sitio de Proyecto - San Jorge Entrevista con JASS, usuarios y PIC Oficina Frías
6	24-Jun	Vie.		Visita Sitio de Proyecto - Malacasí Entrevista con JASS y usuarios Visita Oficina Salitral
7	25-Jun	Sáb.		Análisis de Datos Piura → Lambayeque
8	26-Jun	Dom.	NARITA (15.55) → Houston (13.50) (CO006) Houston (15.50) → Lima (22.25) (CO6975)	Análisis de Datos
9	27-Jun	Lun.	Reunión interna Reunión con evaluadores peruanos y contraparte de MVCS (11:00) Visita de Cortesía a MVCS (14:30) Lima (20.10) → Lambayeque (21.35) (LA2278)	
10	28-Jun	Mar.	Reunión con DRVS (AM) Reunión con el Gobierno Regional (PM)	Reunión con DRVS (9:00) Reunión con el Gobierno Regional (11:00) Reunión con el Grupo de Trabajo 1 (14:30)
11	29-Jun	Mié.	Visita Sitio de Proyecto - El Espinal Entrevista con JASS y usuarios Visita Oficina Oyotún Lambayeque → Piura	Visita Sitio de Proyecto - El Espinal Entrevista con JASS y usuarios Visita Oficina Oyotún
12	30-Jun	Jue.	Reunión con DRVS (AM) Reunión con el Gobierno Regional (PM) Piura (18.30) → Lima (20.00) (LA2309)	Reunión con el Grupo de Trabajo 2 (9:00) Reunión con el Grupo de Trabajo 3 (14:30)
13	1-Jul	Vie.	Reunión con JICA (9:00) Reunión con COSUDE (11:00) Reunión con MVCS (15:00) Lima (20.00) → Lambayeque (21.35) (LA2278)	Visita Sitio de Proyecto - Humedades Entrevista con JASS y usuarios Visita Oficina Salas
14	2-Jul	Sáb.	Análisis de Datos y Preparación del Informe de Evaluación Intermedia	
15	3-Jul	Dom.	Análisis de Datos y Preparación del Informe de Evaluación Intermedia	
16	4-Jul	Lun.	Análisis de Datos y Preparación del Informe de Evaluación Intermedia <b>Reunión Interna</b> <b>Reunión con DRVS (Piura &amp; Lambayeque)</b>	
17	5-Jul	Mar.	<b>Reunión con DRVS (Piura &amp; Lambayeque)</b> <b>Comité de Dirección de Nivel Regional (CRD) (14:00-16:00)</b> Lambayeque (18.25) → Lima (19.40) (LA2277)	
18	6-Jul	Mié.	Reunión con JICA Reunión con la Embajada del Japón	
19	7-Jul	Jue.	<b>Reunión con MVCS</b>	
20	8-Jul	Vie.	<b>Comité Coordinador Conjunto (CCC) (10:00 - 12:00)</b> Lima (22:30) → (CO1591)	
21	9-Jul	Sáb.	→ Nueva York (07.27) Nueva York (11.05) → (CO1591)	
22	10-Jul	Dom.	→ NARITA (13.55)	

Nota:

La reunión que requiere la participación de los miembros de evaluación de la parte peruana se escribe en negrita.

**Documento Adjunto 2**

**Informe de Evaluación Intermedia Conjunta**  
**sobre**  
**el Proyecto de**  
**Reforzamiento Institucional del Suministro de Agua**  
**y Saneamiento en la Zona Norte del Perú**

**República del Perú**

8 de Julio de 2011

## Lista de Abreviaturas y Siglas Usadas

	In English	En Español
COSUDE	Swiss Agency for Development and Cooperation	Agencia Suiza para el Desarrollo y la Cooperación
DESA	Executive Authority of Environmental Health	Dirección Ejecutiva de Salud Ambiental
DIGESA	Regional Environmental Health Authority	Dirección General de Salud Ambiental
DIRESA	Regional Health Authority	Dirección Regional de Salud
DRE	Regional Education Authority	Dirección Regional de Educación
DRVS	Regional Housing and sanitation Authority	Dirección Regional de Vivienda y Saneamiento
JASS	Sanitation Service Management Committee	Junta Administradora de Servicios de Saneamiento
JCC	Joint Coordinating Committee	Comité de Coordinación Conjunto
JICA	Japan International Cooperation Agency	Agencia de Cooperación Internacional del Japón
MINDES	Ministry of Women and Social Development	Ministerio de la Mujer y Desarrollo Social
MVCS	Ministry of Housing, Construction and Sanitation	Ministerio de Vivienda, Construcción y Saneamiento
ODA	Official Development Assistance	Asistencia Oficial para el Desarrollo
OJT	On the Job Training	Capacitación en el Trabajo
PAPT	"Agua para Todos (Water for all)" Program	Programa Agua para Todos
PDM	Project Design Matrix	Matriz de Diseño de Proyecto
PO	Plan of Operation	Plan de Operación
PRISAS	Project for Institutional Reinforcement of Water Supply and Sanitation in North Area of Peru	Proyecto de Reforzamiento Institucional del Suministro de Agua y Saneamiento en la Zona Norte del Perú
R/D	Record of Discussion	Acta de Discusiones
WG	Working Group	Grupo de Trabajo

## Índice

Lista de Abreviaturas y Siglas Usadas .....	2
1. Introducción .....	4
1-1 Objetivos de Evaluación.....	4
1-2 Miembros del Equipo de Evaluación .....	4
1-3 Período de Evaluación.....	5
1-4 Método de Evaluación.....	5
2. Esquema del Proyecto .....	6
2-1 Antecedentes del Proyecto.....	6
2-2 Perfil del Proyecto .....	7
2-3 Administración del Proyecto .....	7
3. Logros del Proyecto .....	8
3-1 Aportes Realizados.....	8
3-2 Cumplimiento de Actividades .....	10
3-3 Logro de los Resultados .....	13
3-4 Perspectiva de Cumplir la Meta del Proyecto .....	18
3-5 Perspectiva de Cumplir la Meta Superior.....	18
3-6 Proceso de Implementación del Proyecto.....	19
4. Evaluación con Cinco Criterios.....	20
4-1 Relevancia .....	20
4-2 Efectividad .....	22
4-3 Eficiencia.....	23
4-4 Impacto.....	25
4-5 Sostenibilidad.....	26
5. Conclusión.....	27
6. Recomendaciones.....	28

### - Anexos -

1. Matriz de Diseño del Proyecto (PDM)
2. Plan de Operación (PO)
3. Aporte de la Parte Japonesa
4. Aporte de la Parte Peruana
5. Lista de Capacitaciones
6. Matriz de Evaluación (en inglés)
7. Revisión de la PDM
8. Agenda de Actividades del Equipo de Evaluación Intermedia

## 1. Introducción

“El Proyecto de Reforzamiento Institucional del Suministro de Agua y Saneamiento en la Zona Norte del Perú (en adelante referido como el “Proyecto”)<sup>1</sup> es un proyecto de cooperación técnica bilateral entre el Gobierno de Japón a través de la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en adelante referida como “JICA”) y el Gobierno del Perú a través del Ministerio de Vivienda, Construcción y Saneamiento (en adelante referido como “MVCS”). El Proyecto comenzó en junio de 2009 con una duración de 4 años. Como la mitad de la duración del Proyecto había pasado, se llevó a cabo una evaluación intermedia conjunta por el Equipo de Evaluación Intermedia que consta de los representantes de ambos gobiernos, de acuerdo con el lineamiento de evaluación de JICA.

### 1-1 Objetivos de Evaluación

Los objetivos de la Evaluación Intermedia del Proyecto son los siguientes:

- (1) Examinar el estado actual del Proyecto basado en los aportes realizados, resultados y objetivos del Proyecto e identificar los problemas a resolver.
- (2) Evaluar el Proyecto de acuerdo con los cinco criterios de evaluación (la relevancia, la efectividad, la eficiencia, el impacto y la sostenibilidad).
- (3) Analizar las acciones necesarias a tomar y hacer recomendaciones para el Proyecto.

### 1-2 Miembros del Equipo de Evaluación

#### 1-2-1 Parte Peruana

Ing. Juan Sánchez Lazo	Coordinador de Obras, Unidad Operativa de Saneamiento Rural, Programa Agua para Todos
Ing. Olinda Martínez	Especialista de Proyectos de Inversión, Oficina de Programaciones e Inversiones, MVCS
Ing. Carlos Saire Pillco	Especialista de Proyectos, Dirección de Planes y Programas, Dirección Nacional de Saneamiento, MVCS

#### 1-2-2 Parte Japonesa

Ing. Keiko Yamamoto	Líder del Equipo de Evaluación/Planificación del Suministro de Agua y Saneamiento/Asesora Superior, JICA
Ing. Hiromu Inoue	Planificación de Evaluación/Director Asistente, Segunda División de Gestión de Desastres, Grupo de Gestión de Recursos de Agua y Desastres, Departamento del Medioambiente Global, JICA
Lic. Yuki Ohashi	Evaluación y Análisis de Datos/Consultora, Tekizaitekisho LLC
Lic. Aki Higuchi	Traducción/Centro de Cooperación Internacional del Japón (JICE)

---

<sup>1</sup> En este informe, también se refiere como PRISAS (abreviatura del nombre del Proyecto en español) para hacer la distinción entre los proyectos.

### **1-3 Período de Evaluación**

Del 20 de junio al 8 de julio de 2011. Una serie de reuniones y discusiones fue sostenida entre las autoridades peruanas y las instituciones relacionadas con la ejecución del Proyecto, el Equipo del Proyecto y el Equipo de Evaluación durante este período.

### **1-4 Método de Evaluación**

El Proyecto fue evaluado en base a la Matriz de Diseño del Proyecto (PDM por sus siglas en inglés). La PDM es una tabla y describe el perfil del Proyecto. La evaluación se llevó a cabo conforme con la versión PDM 0<sup>2</sup>.

Los siguientes son los pasos de evaluación.

#### **(1) Verificación de Cumplimiento del Proyecto**

El grado de cumplimiento del Proyecto en lo referente a los aportes realizados, las actividades, los resultados y los objetivos del Proyecto fue evaluado en base a los indicadores objetivamente comprobables descritos en la versión PDM 0. Los métodos empleados para esta evaluación fueron; cuestionarios, entrevistas, observación in situ y reunión con los actores relevantes.

#### **(2) Examen del Proceso de Implementación del Proyecto**

El proceso de implementación del Proyecto fue examinado desde diferentes puntos de vista (los detalles están indicados en el Anexo 6: Matriz de Evaluación en inglés).

#### **(3) Evaluación con Cinco Criterios**

La evaluación fue llevada a cabo de acuerdo con los siguientes cinco criterios.

Relevancia:	Se refiere a la validez del Objetivo y la Meta Superior del Proyecto con respecto a la política de desarrollo del Gobierno del Perú y a las necesidades de los beneficiarios del Proyecto.
Efectividad:	Mediante la efectividad se evalúa si el Proyecto ha beneficiado realmente al grupo objetivo y si el Proyecto ha sido eficaz. También se evalúa si el Objetivo del Proyecto se ha logrado según lo esperado y el logro del Proyecto ha sido fruto de los resultados del Proyecto.
Eficiencia:	Mediante la eficiencia se verifica si el Proyecto ha utilizado eficazmente los recursos. También se analiza la relación entre las inversiones ejecutadas y los resultados obtenidos. Por lo tanto, mediante la eficiencia se examina si el coste de las inversiones es apropiado en comparación con el grado del logro de los resultados y el Objetivo del Proyecto.

---

<sup>2</sup> Aunque no se ha revisado el contenido de la PDM (versión 0) actual, debido a algunos errores de descripción en español en la PDM versión 0 español, solo los errores descriptivos han sido corregidos por el equipo del Proyecto. En este informe se ha utilizado la versión corregida (PDM 0e).

- Impacto:** Mediante el impacto se examinan los efectos directos e indirectos generados por el Proyecto. Se analizan también los impactos positivos y negativos que no fueron esperados cuando fue planificado el Proyecto.
- Sostenibilidad:** La sostenibilidad del Proyecto está enfocada en los aspectos institucionales, financieros y técnicos. Mediante el análisis de la situación actual, se verifica hasta qué grado los logros del Proyecto son mantenidos o expandidos.

#### **(4) Recomendaciones**

El Equipo de Evaluación dio recomendaciones como resultado de esta evaluación.

## **2. Esquema del Proyecto**

### **2-1 Antecedentes del Proyecto**

La proporción de la población con acceso al agua potable en el Perú es del 83% (cifras de UNICEF 2007). Mientras el 89% de la población urbana incluyendo Lima Metropolitana tiene acceso al agua, en las zonas rurales esta tasa baja al 65%, ya que la cobertura de abastecimiento de agua en las áreas rurales es menor que las urbanas. También la población con acceso a saneamiento seguro es menor en las zonas rurales.

El Gobierno del Perú ha puesto especial énfasis en los proyectos de agua y saneamiento como contramedida para reducir la pobreza y ha formulado el "Plan Nacional de Saneamiento (2006 - 2015)". Este plan tiene como objetivo reducir a la mitad el número de población sin acceso a agua potable y saneamiento para el año 2015 mediante la extensión y mejora de instalaciones de abastecimiento de agua y saneamiento. El gobierno actual se compromete a ejecutar este plan bajo el lema de "Agua para Todos".

El Gobierno del Perú ha priorizado la construcción de instalaciones de abastecimiento de agua y saneamiento, ya que no hay suficiente asistencia para fortalecer la capacidad de los gobiernos regionales y municipales, así como comités de agua y saneamiento. Por lo tanto, se observan los siguientes problemas: la falta de capacidad de implementar el sistema de abastecimiento de agua por parte de los gobiernos regionales y la carencia de capacidad de los gobiernos locales y comités de agua y saneamiento en la administración, operación, mantenimiento y control de las instalaciones de abastecimiento de agua.

Por consiguiente, se ha formulado esta cooperación técnica para fortalecer capacidades de las organizaciones relacionadas con la operación de proyectos de agua y saneamiento en las regiones de Piura y Lambayeque, donde el nivel de acceso a agua potable está bajo. El Proyecto fue aprobado y firmado el 4 de febrero de 2009 mediante el Acta de Discusiones (R/D en sus siglas en inglés) y fue iniciado en junio de 2009.

## **2-2 Perfil del Proyecto**

El perfil del Proyecto descrito en la versión PDM 0 es como se explica a continuación:<sup>3</sup>

### **(1) Meta Superior del Proyecto**

Mejora el estado del suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.

### **(2) Meta del Proyecto**

Mejora la capacidad de las entidades vinculadas al suministro de agua y saneamiento, para ejecutar las operaciones de abastecimiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.

### **(3) Resultados**

- 1) Se verifica la capacidad de ejecución y los temas por resolver respecto a las operaciones de suministro de agua y saneamiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.
- 2) Se fortalece la capacidad relativa a la implementación de obras de suministro de agua (construcción y reparación a gran escala) de los Gobiernos Regionales de Piura y Lambayeque.
- 3) Se fortalece la capacidad relativa a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y a la sensibilización sobre saneamiento de las Municipalidades, JASS (Junta Administradora de Servicios de Saneamiento) y Comités de Agua objeto de los Proyectos Piloto.
- 4) Se consolida el sistema organizativo para difundir entre las Municipalidades, JASS y Comités de Agua el contenido de los manuales relacionados a la administración, operación y mantenimiento, y a la sensibilización sobre saneamiento en las regiones de Piura y Lambayeque.

## **2-3 Administración del Proyecto**

El Proyecto está administrado por las siguientes personas<sup>4</sup>.

### **1) Director del Proyecto**

- Programa Agua Para Todos – PAPT (Director Ejecutivo)

### **2) Gerente Administrativo del Proyecto**

- Gerente Administrador del PAPT del Gobierno Central

- Gerente Regional de Desarrollo Social y Asentamiento Territorial del Gobierno Regional de Piura

---

<sup>3</sup> No existe la PDM versión en inglés. El resumen del Proyecto en inglés está basado en las descripciones del “Resumen Narrativo” de la PDM en el R/D (versión en inglés).



- Gerente Regional de Desarrollo Social del Gobierno Regional de Lambayeque

### 3) Gerente Técnico del Proyecto

- Director de Ingeniería de PAT del Gobierno Central
- Director Regional de Vivienda y Saneamiento del Gobierno Regional de Piura
- Coordinador del Proyecto Frontera Norte del Gobierno Regional de Piura
- Director Regional de Vivienda y Saneamiento del Gobierno Regional de Lambayeque

### 4) Personal Técnico Contraparte

- Personal asignado por la Dirección de PAPT del Gobierno Central
- Personal asignado por la Dirección regional de Vivienda y Saneamiento del Gobierno Regional de Piura
- Personal asignado por el Proyecto Frontera Norte del Gobierno Regional de Piura
- Personal asignado por la Dirección Regional de Vivienda y Saneamiento del Gobierno Regional de Lambayeque

## 3. Logros del Proyecto

### 3-1 Aportes Realizados

#### 3-1-1 Aportes de la parte japonesa

Los siguientes aportes han sido proporcionados por la parte japonesa. Los detalles de cada aporte se muestran en el Anexo 3: Aporte de la Parte Japonesa.

#### (1) Expertos

Los siguientes expertos han sido asignados hasta finales de abril de 2011.

Especialidad	Número	Total MM
Director General/planificación de operación y mantenimiento (incluyendo planificación de suministro de agua)	1	9,50
Subdirector/planificación de suministro de agua 1/desarrollo de agua subterránea 1	1	7,00
Planificación general de suministro de agua 2/desarrollo de agua subterránea 2	1	7,36
Planificación general de suministro de agua 3/desarrollo de agua subterránea 3	1	9,00
Planificación de sensibilización en saneamiento	1	7,34
Mantenimiento plantas de tratamiento de agua	1	- <sup>5</sup>
Total	6	40,20

<sup>4</sup> De acuerdo con la R/D del Proyecto.

<sup>5</sup> Su asignación está prevista a partir de julio de 2011.

## **(2) Consultores locales**

El Proyecto ha contratado la Universidad Nacional Pedro Ruiz Gallo en Lambayeque y la Universidad de Piura en Piura como consultores locales para la inspección de la calidad de agua de los sitios de Proyectos Piloto.

## **(3) Equipos y materiales**

Los equipos, incluyendo vehículos de 4x4, computadoras, copiadoras, impresoras, fueron comprados en el Perú y proporcionados a cada Región, y su valor total es de 64.390,00 dólares estadounidenses. Además, los equipos tales como un proyector, medidores de conductividad eléctrica, medidor de nivel de agua, GPS portátil, turbidímetro, que tienen un valor total de 841.040 yenes japoneses (aproximadamente 9,312 dólares EEUU<sup>6</sup>), fueron traídos de Japón y utilizados para las actividades del Proyecto.

## **(4) Capacitación del personal de contraparte**

No se ha realizado todavía la capacitación en Japón y/o terceros países.

## **(5) Contratación local**

Para la implementación de los Proyectos Piloto, el Proyecto ha contratado dos firmas privadas para la construcción de dos instalaciones de suministro de agua en Lambayeque y una instalación en Piura.

## **(6) Otro esquema de cooperación**

No hay otro esquema de cooperación japonesa que esté directamente relacionada con el Proyecto realizado en las Regiones objetivo.

## **(7) Costos locales del Proyecto**

Hasta marzo de 2011, un total de 47.580.255 yenes ha sido desembolsado para las actividades del Proyecto.

### **3-1-2 Aporte de la parte peruana**

Los siguientes aportes han sido proporcionados por la parte peruana. Los detalles de cada aporte se muestran en el Anexo 4: Aporte de la Parte Peruana.

#### **[Aporte por el MVCS]**

##### **(1) Asignación del personal de contraparte**

En el nivel operativo, 2 especialistas de PAPT han sido asignados como coordinadores del

---

<sup>6</sup> Convertido a dólares EEUU empleando la tasa fija establecida por JICA en el mes de la adquisición.

Proyecto.

### **(2) Medios de transporte para el personal de contraparte**

Hasta mayo de 2011, un total de S/. 35.557 Nuevos Soles ha sido desembolsado para los viajes necesarios del personal de contraparte para las actividades del Proyecto.

### **(3) Otros**

El MVCS tiene presupuestado S/. 138.323 Nuevos Soles para el contrato de elaborar un manual de construcción e implementación de instalaciones de suministro de agua.

## **[Aporte por el Sector de Suministro de Agua y Saneamiento de los Gobiernos Regionales de Piura y Lambayeque]**

### **(1) Provisión de la oficina del Proyecto, muebles y papelerías**

La oficina del Proyecto con muebles ha sido proveída en la Dirección Regional de Vivienda y Saneamiento (DRVS) de Piura y Lambayeque respectivamente.

### **(2) Asignación del personal de contraparte**

En el momento de la evaluación intermedia, en el nivel operativo, 8 miembros del personal de la DRVS de Lambayeque y 11 de la DRVS de Piura han sido asignados como personal de contraparte para el Proyecto.

### **(3) Medios de transporte para el personal de contraparte**

Hasta abril de 2011, un total de S/. 7.555 Nuevos Soles ha sido desembolsado en Lambayeque y S/. 6.370 Nuevos Soles en Piura para los viajes del personal de contraparte para las actividades del Proyecto en cada Región.

### **(4) Recursos necesarios para la implementación de Proyectos Piloto y otras actividades**

Hasta abril de 2011, el Gobierno Regional de Lambayeque ha aportado un total de S/. 74.546 Nuevos Soles y el Gobierno de Piura S/. 302.371 Nuevos Soles para la ejecución del Proyecto. Los costos asumidos por ambos Gobiernos Regionales han sido utilizados para cubrir los gastos necesarios para las actividades del Proyecto, tales como equipos y materiales de oficina, vehículos, transportes, materiales para las actividades relacionadas, etc.

## **3-2 Cumplimiento de Actividades**

Como se describe a continuación, los Proyectos Piloto de PRISAS constan de 3 Componentes, y el número planificado e implementado de los sitios del Proyecto Piloto se muestra en la siguiente tabla.

**Tabla: Componentes y número de sitios del Proyecto Piloto**

Componentes del Proyecto Piloto	Región objeto	Número de sitios (planificado)	Número de sitios (actual)
Componente 1: Construcción y rehabilitación (reparación a gran escala) de instalaciones de suministro de agua.	Lambayeque	3	2 obras ejecutadas + 1 suspendida.
	Piura	3	1 obra recientemente ejecutada + 1 en preparación para la licitación + 1 cancelado.
Componente 2: Administración, operación y mantenimiento de instalaciones de suministro de agua.	Lambayeque	5	2 sitios en implementación + 1 suspendido + 2 recién elegidos.
	Piura	5	2 sitios parcialmente en implementación + 2 recién elegidos + 1 a ser elegido.
Componente 3: Sensibilización y educación de saneamiento.	Lambayeque	5	2 en implementación + 1 suspendido + 2 recién elegidos
	Piura	5	2 en implementación + 2 recién elegidos + 1 a ser elegido.

Nota: Todos los Componentes están implementados en el mismo sitio, excepto los sitios que no tienen el Componente 1.

El estudio de línea de base y la implementación de los Componentes 1 y 2 se han retrasado debido a las siguientes razones, y el cronograma de implementación ha sufrido una demora de unos 3 meses en general en el momento de la evaluación intermedia, en comparación con el plan original.

- En Piura, al inicio del Proyecto no se asignó un suficiente número de profesionales técnicos a la DRVS para realizar las actividades del Proyecto.
- En Piura, el personal de contraparte asignado al Proyecto no tiene asegurado su puesto en la DRVS y muchos de ellos fueron reemplazados durante el período del Proyecto.
- En ambas Regiones, no se proporcionó un suficiente medio de transporte para las actividades del Proyecto, en especial durante la ejecución del estudio de línea de base en el primer año del Proyecto.
- El cambio de las autoridades de los gobiernos locales en enero de 2011 (en ambas Regiones y en 3 de las 4 Municipalidades) dio lugar al relevo del personal que participaba en el Proyecto.
- En Piura, la vía de acceso a San Jorge fue dañada durante la época de lluvias.

En general, el Componente 3 se ha avanzado según lo previsto, a pesar de algunos retrasos sufridos en algunas de las actividades de los Componentes 1 y 2 que están estrechamente relacionadas con las actividades de este Componente. También, el cambio de las directivas de la JASS (2 de las 4 JASS: El Espinal y San Jorge) durante la ejecución del Proyecto ha afectado de alguna manera a las actividades.

El progreso real de los Proyectos Piloto se muestra en la siguiente tabla. En los sitios de los Proyectos Piloto para los Componentes 2 y 3, que han sido recientemente seleccionados o están en

proceso de selección, se iniciarán las actividades del Proyecto tan pronto como se firme el acuerdo entre las Municipalidades Distritales respectivas y la DRVS.

**Tabla: Progreso de los Proyectos Piloto**

Sitio	Municipalidad	Progreso de cada Componente del Proyecto Piloto (Junio de 2011)		
<b>Lambayeque</b>				
1	El Espinal	Oyotún	1	• Instalaciones construidas y en funcionamiento desde marzo de 2011.
			2	• Se están llevando a cabo capacitaciones y monitoreo de la operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua. • Se están llevando a cabo capacitaciones y monitoreo de la administración de suministro de agua. • Nuevo sistema de tarifa iniciado desde mayo de 2011.
			3	• Talleres implementados para mejorar las prácticas relacionadas con el saneamiento de la gente de comunidades rurales.
2	Humedades	Salas	1	• Instalaciones construidas y en funcionamiento desde marzo de 2011.
			2	• Se están llevando a cabo capacitaciones y monitoreo de la operación y mantenimiento de instalaciones de suministro de agua. • Se están llevando a cabo capacitaciones y monitoreo de la administración de suministro de agua. • Nuevo sistema de tarifa iniciado desde mayo de 2011.
			3	• Talleres implementados para mejorar las prácticas relacionadas con el saneamiento de la gente de comunidades rurales.
3	La Ramada	Salas	1	• Elaboración del perfil técnico ha sido suspendida. (Debido a que la municipalidad ha elaborado otro proyecto en el mismo sitio)
			2	• No implementado.
			3	• No implementado.
4	Cuculi	Chongoyape	2	• No implementado.
			3	• No implementado.
5	Villa El Milagro	Eten	2	• No implementado.
			3	• No implementado.
<b>Piura</b>				
1	San Jorge	Frías	1	• Recientemente finalizó la construcción y está en proceso de recepción de obra.
			2	• Capacitación sobre la operación y mantenimiento de instalaciones de suministro de agua no se ha implementado todavía. • Aunque ha iniciado la capacitación sobre la administración y control de suministro de agua, los administradores de la JASS fueron reemplazados en mayo de 2011.
			3	• Talleres implementados para mejorar las prácticas relacionadas con el saneamiento de la gente de comunidades rurales (aprox. 120 personas). • Monitoreos (visitar casas) ejecutados tres veces. • Administradores de la JASS fueron reemplazados en mayo de 2011.
2	Malacasí	Salitral	1	• Se está preparando los documentos de licitación para la selección de contratistas.
			2	• Se han introducido los formatos para la administración. • Establecimiento de tarifas de agua y el resto de las actividades serán ejecutados después de finalizar la construcción.
			3	• Talleres implementados para mejorar las prácticas relacionadas con el saneamiento de la gente de comunidades rurales (aprox. 200 personas). • Monitoreos (visitar casas) ejecutados tres veces.
3	Macacará	La Huaca	2	• No implementado.
			3	• No implementado.
4	Cunbibira	Catacaos	2	• No implementado.
			3	• No implementado.
5	---	---	2	En el proceso de selección.
			3	

Se implementará el resto de las actividades de acuerdo con el Plan de Operación que se encuentra adjunto en el Anexo 2. Este Plan fue revisado en marzo de 2011.

### 3-3 Logro de los Resultados

El logro de cada resultado referente a los indicadores<sup>7</sup> ha sido identificado de la siguiente manera.

Resultado 1: Se verifican la capacidad de ejecución y los temas por resolver respecto a las operaciones de suministro de agua y saneamiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.

Indicadores:

- 1.1 Estudio de línea de base sobre el estado del suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades de ambas regiones.
- 1.2 Inventario relativo al estado de mantenimiento de las instalaciones de las localidades rurales y pequeñas ciudades de ambas regiones.
- 1.3 Entrevistas a las JASS y Comités de Agua.

#### (1) **Indicador 1.1: Estudio de línea de base sobre el estado del suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades de ambas regiones.**

El estudio de línea de base fue llevado a cabo para 20 localidades en Lambayeque y 28 en Piura, en total 48 localidades. Estas localidades fueron seleccionadas por la DRVS de cada Región, teniendo en cuenta los retos y problemas existentes en el suministro de agua de cada localidad. En estas 48 localidades, el Proyecto realizó la investigación sobre la situación actual de las instalaciones de suministro de agua, entrevistas y estudios por medio de cuestionarios sobre el suministro de agua y saneamiento.

#### (2) **Indicador 1.2: Inventario relativo al estado de mantenimiento de las instalaciones de las localidades rurales y pequeñas ciudades de ambas regiones.**

Los resultados del estudio de línea de base de las 48 localidades arriba mencionados han sido preparados en cada Región como inventarios.

#### (3) **Indicador 1.3: Entrevistas a las JASS y Comités de Agua.**

Tal como se describe arriba, se llevó a cabo la entrevista como parte del estudio de línea de base. La entrevista fue realizada con los comités de agua/saneamiento, así como con la gente de las localidades en general.

Resultado 2: Se fortalece la capacidad relativa a la implementación de obras de suministro de agua (construcción y reparación a gran escala) de los Gobiernos Regionales de Piura y Lambayeque.

<sup>7</sup> Las descripciones en inglés de los Resultados están basadas en el Acta de Discusiones (R/D) firmada en febrero de 2009 y los Indicadores han sido traducidos provisionalmente al inglés en base a la versión PDM 0 en japonés.

Indicadores:

- 2.1 Manual de implementación (construcción y reparación a gran escala) de las instalaciones de suministro de agua.
- 2.2 Cantidad de personal del Gobierno Regional que recibe la capacitación.
- 2.3 Ejecución de Proyectos Piloto en 6 localidades rurales y pequeñas ciudades.

**(1) Indicador 2.1: manual de implementación (construcción y reparación a gran escala) de las instalaciones de suministro de agua.**

El MVCS ha contratado una firma consultora en mayo de 2011 para realizar esta actividad que será terminada en agosto de 2011. Los contenidos han sido discutidos con las DRVS de ambas Regiones y se llevará a cabo un taller con ambas DRVS en julio de 2011 a fin de hacer la revisión del manual preparado. En el principio del Proyecto, no estaba clara la responsabilidad del MVCS y la DRVS de ambas Regiones en términos de la preparación de este manual. Después de discusiones, se decidió en agosto de 2010 que el MVCS se hiciera cargo de hacer esta actividad conforme con el R/D.

**(2) Indicador 2.2: Cantidad de personal del Gobierno Regional que recibe la capacitación.**

Las actividades relacionadas con la construcción y rehabilitación (reparación a gran escala) de instalaciones de suministro de agua (Componente 1) se han llevado a cabo principalmente por el personal de contraparte del Grupo de Trabajo 1 (GT1). En el momento de la evaluación intermedia, el GT1 de cada DRVS consta de 3 miembros tanto en Piura como Lambayeque. La transferencia de tecnología de los expertos japoneses para el personal de contraparte se ha realizado a través de la capacitación en el trabajo (OJT) para la implementación de los Proyectos Piloto, principalmente en los siguientes contenidos.

- Preparación y diseño del plan (perfil y expedientes técnicos) que asegure una ejecución eficiente de la construcción.
- Capacidad técnica para realizar la construcción de instalaciones de suministro de agua desde la etapa de planificación.
- Selección de constructores y otros proveedores de servicios a través de la licitación.
- Administración de la construcción y otros.

La DRVS en Piura, como institución, no tenía experiencia en la elaboración de perfiles y expedientes técnicos ni la construcción y rehabilitación de instalaciones de suministro de agua antes de ejecutar el Proyecto. Por lo tanto, no contaba con los recursos humanos con estas especialidades y tenía que contratar personal especializado. En consecuencia, algunos miembros de la Gerencia de Infraestructura fueron asignados temporalmente a la DRVS con el fin de ejecutar el Componente 1. En cambio, la DRVS de Lambayeque tenía experiencias en la preparación de perfiles y expedientes técnicos pero nunca había participado en el proceso de construcción de instalaciones de suministro de agua.

### **(3) Indicador 2.3: Ejecución de Proyectos Piloto en 6 localidades rurales y pequeñas ciudades.**

Los Proyectos Piloto del Componente 1 estaban previstos a implementarse en 6 sitios (3 en cada Región) en el diseño original del Proyecto. Sin embargo, el número real de los Proyectos Piloto se ha reducido debido a las siguientes razones causadas durante la ejecución del Proyecto.

- Piura: Era difícil terminar 3 obras de construcción antes de finalizar el segundo año del Proyecto, como estaba definido en el plan original, debido principalmente a la falta del personal técnico necesario para la preparación de perfiles y expedientes técnicos y la ejecución de obras. Por lo tanto, en enero de 2011 se decidió trabajar sólo con dos Proyectos Piloto.
- Lambayeque: Se identificó que uno de los tres sitios piloto del Proyecto que habían sido seleccionados en base a los criterios determinados por el Proyecto, “La Ramada” estaba incluido en el listado del “Programa Agua para Todos”. Para ser elegible al Proyecto Piloto de PRISAS, es necesario no estar incluido en otro proyecto/programa. No obstante, “La Ramada” sigue en el listado del “Programa Agua para Todos”. Por lo tanto, las actividades para la preparación de la construcción en “La Ramada” han sido suspendidas.

Resultado 3: Se fortalece la capacidad relativa a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua y a la sensibilización sobre saneamiento de las Municipalidades y JASS (Junta Administradora de Servicios de Saneamiento) y Comités de Agua objeto de los Proyectos Piloto

Indicadores:

- 3.1 Manual relativo a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua, y a la sensibilización.
- 3.2 Cantidad de personal municipal, de las JASS y Comités de Agua que recibe la capacitación.
- 3.3 Ejecución de Proyectos Piloto en 10 localidades rurales y pequeñas ciudades.

### **(1) Indicador 3.1: Manual relativo a la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua, y a la sensibilización.**

#### **Administración, operación y mantenimiento del sistema de suministro de agua (Componente 2):**

Los borradores de los manuales han sido preparados por el personal de contraparte del Grupo de Trabajo 2 (GT2) tanto en Lambayeque como en Piura. El GT2 de Piura asumirá el protagonismo en la unificación de los borradores para elaborar solo un manual. Aunque se consideró que sería necesario preparar dos versiones de manuales, una para el uso de la DRVS y la otra para las Municipalidades Distritales y JASS, se decidió elaborar un solo manual, ya que se comprobó que el contenido iba a ser casi el mismo para las dos versiones. En cada capítulo se describirán los roles y funciones de cada actor y el contenido principal de este manual sería la actividad de la JASS que tiene a su cargo la capacitación en el trabajo (OJT) en la administración, operación, mantenimiento y control de suministro de agua.



### **Sensibilización sobre saneamiento<sup>8</sup> (Componente 3 :**

El personal de contraparte del Grupo de Trabajo 3 (GT3) en cada Región ha trabajado en este Componente y el GT3 ha establecido un canal de colaboración formando un “Equipo Multisectorial” con la Dirección Regional de Salud (DIRESA), Dirección Ejecutiva de Salud Ambiental (DESA), Dirección Regional de Educación (DRE) y Ministerio de la Mujer y Desarrollo Social (MINDES), que tienen más experiencia en materia de la sensibilización en saneamiento. Los manuales han sido preparados en base a sus experiencias, utilizando los materiales existentes y en colaboración activa entre estas instituciones. Además el coordinador del MCVS ha dado asesoramiento basándose a sus conocimientos.

El borrador del manual ha sido preparado por cada Región y el GT3 de Lambayeque hará el trabajo de unificación para preparar un solo manual. Aunque ambos borradores contienen las mismas informaciones básicas sobre el agua y saneamiento, se respetan las características peculiares de cada Región. Los talleres organizados en las comunidades han utilizado los borradores. En el tercer año del Proyecto se revisará el contenido de los manuales. Además, un borrador del manual para las JASS y Municipalidades Distritales será preparado hasta agosto de 2011.

**(2) Indicador 3.2: Cantidad de personal municipal, de las JASS y Comités de Agua que recibe la capacitación.**

### **Administración, operación y mantenimiento de instalaciones de suministro de agua (Componente 2):**

La capacitación de este Componente tiene dos diferentes partes; (1) operación y mantenimiento de instalaciones y (2) administración del sistema de suministro de agua. El fortalecimiento de capacidades de las Municipales Distritales y la JASS en (1) está a cargo del GT1 y (2) está a cargo del GT2 con el asesoramiento de los expertos japoneses.

En cuanto a (1), la capacitación en el trabajo (OJT) se ha iniciado en los sitios del Proyecto Piloto donde la construcción de las instalaciones de suministro de agua ha terminado, es decir, El Espinal y Humedades en Lambayeque. Además de un operador de las instalaciones, algunos de los miembros administrativos de la JASS, que normalmente consta de 5 ó 6 miembros, han participado en cada sesión de capacitación OJT. El contenido de la capacitación realizada incluye: papeles y actividades de la JASS después de la finalización de las obras de construcción y operación de instalaciones de suministro de agua (inyección de cloro, monitoreo del cloro residual y revisión de las instalaciones). Para más detalle ver el Anexo 5: Lista de Capacitación.

---

<sup>8</sup> El contenido de sensibilización en saneamiento de este Proyecto: concepto de agua potable, servicio de suministro de agua, ahorro de agua, contaminación de agua, enfermedades de origen hídrico, tratamiento de agua, hábito de pago, prácticas adecuadas de higiene, disposición de excretas, limpieza de hogar, manejo y disposición de residuos sólidos, conducción y tratamiento de aguas servidas, etc.

Con respecto a (2) administración del sistema de suministro de agua, se ha ejecutado la capacitación tanto en el trabajo (OJT) como en aulas para desarrollar capacidades. Los lugares que ya han iniciado la capacitación son El Espinal y Humedades en Lambayeque y San Jorge y Malacasí en Piura. Los participantes de la capacitación son el personal de las Municipalidades distritales y los miembros administrativos de la JASS. Los contenidos de la capacitación realizada hasta la fecha incluyen: administración del suministro de agua en general, establecimiento de la JASS, estatutos de la JASS, explicación de la nueva administración a la comunidad, establecimiento de nuevas tarifas<sup>9</sup> y contacto con los usuarios de agua.

### **Sensibilización sobre saneamiento (Componente 3):**

La capacitación en trabajo (OJT) de este Componente se ha realizado en 4 sitios del Proyecto Piloto, es decir, El Espinal y Humedades en Lambayeque, así como en San Jorge y Malacasí en Piura. Los participantes de la capacitación son, al igual que otros Componentes, el personal de las Municipalidades Distritales y los miembros administrativos de la JASS. Los contenidos de la capacitación realizada hasta la fecha incluyen la sensibilización en saneamiento en general, elaboración de manuales, preparación y organización de talleres de sensibilización y el monitoreo.

En los Componentes 2 y 3, la participación del personal de las Municipalidades Distritales no se ha fortalecido en las localidades donde la autoridad local ha cambiado en enero de 2011. También la participación de los miembros administrativos de la JASS se limita sólo al presidente y al tesorero en algunos casos, en Lambayeque. Otras personas relacionadas, tales como el personal del centro de salud que monitorea la calidad de agua, también han participado en algunas sesiones de capacitación.

### **(3) Indicador 3.3: Ejecución de Proyectos Piloto en 10 localidades rurales y pequeñas ciudades.**

Como se describe anteriormente, los Proyectos Piloto se encuentran en ejecución en cuatro sitios (El Espinal y Humedades en Lambayeque y San Jorge y Malacasí en Piura).

Resultado 4: Se consolida el sistema organizativo para difundir entre las Municipalidades, JASS y Comités de Agua el contenido de los manuales relacionados a la administración, operación y mantenimiento, y a la sensibilización sobre saneamiento en las Regiones de Piura y Lambayeque.

Indicadores:

- 4.1 Cantidad de capacitaciones ejecutadas para las Municipalidades.
- 4.2 Formulación del plan de capacitación de las JASS y Comités de Agua.
- 4.3 Implementation of seminars.

<sup>9</sup> Para efectos del Proyecto, el termino “tarifa” se refiere a los costos de administración, operación, mantenimiento y reposición del sistema de agua (y saneamiento en algunas localidades)

En cuanto al Resultado 4, las actividades están planificadas a implementarse en el último año del período del Proyecto, después de terminar la preparación de manuales y actividades de los Proyectos Piloto. Por lo tanto, no hay avances identificados en el momento de la evaluación intermedia.

### **3-4 Perspectiva de Cumplir la Meta del Proyecto**

Los logros hasta la fecha de la Meta del Proyecto referente a los indicadores<sup>10</sup> han sido identificados de la siguiente manera.

Meta del Proyecto: Mejora la capacidad de las entidades vinculadas al suministro de agua y saneamiento, para ejecutar las operaciones de abastecimiento en las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.

Indicadores:

1. Cantidad de instalaciones de suministro de agua implementadas y mejoradas.
2. Cantidad de Municipalidades, JASS y Comités de Agua donde se haya mejorado la capacidad de ejecución de la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua, y de la sensibilización.

#### **(1) Indicador 1: Cantidad de instalaciones de suministro de agua implementadas y mejoradas.**

Hasta la fecha las obras de instalaciones de suministro de agua se han llevado a cabo en tres sitios, es decir, El Espinal y Humedades en Lambayeque y San Jorge en Piura. También, el GT1 de Piura está preparando las especificaciones de licitación para Malacasí para poder iniciar las obras en agosto de 2011.

#### **(2) Indicador 2: Cantidad de Municipalidades, JASS y Comités de Agua donde se haya mejorado la capacidad de ejecución de la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de suministro de agua, y de la sensibilización.**

El número de Municipalidades Distritales y JASS que han implementado los Proyectos Piloto de los Componentes 2 y 3 es el mismo en los 4 sitios como se describe arriba en los sitios del Proyecto Piloto del Componente 1. De acuerdo con el plan original, el número total de Proyectos Piloto de los Componentes 2 y 3 será 10 en total al final del período del Proyecto.

### **3-5 Perspectiva de Cumplir la Meta Superior**

En cuanto a la Meta Superior, la situación actual de cada indicador<sup>11</sup> se describe a continuación.

Meta Superior: Mejora el estado del suministro de agua y saneamiento de las localidades rurales y pequeñas ciudades de las regiones de Piura y Lambayeque.

<sup>10</sup> Las descripciones en inglés de la Meta del Proyecto están basadas en el Acta de Discusiones (R/D) firmada en febrero de 2009 y los Indicadores han sido traducidos provisionalmente al inglés en base a la versión PDM 0.

<sup>11</sup> Las descripciones en inglés de la Meta Superior están basadas en el Acta de Discusiones (R/D) firmada en febrero de 2009 y los Indicadores han sido traducidos provisionalmente al inglés en base a la versión PDM 0.

**Indicadores:**

1. Cantidad de localidades rurales y pequeñas ciudades con instalaciones de agua y saneamiento apropiadas.
2. Cantidad de localidades rurales y pequeñas ciudades donde se mantienen y se conservan apropiadamente las instalaciones de agua y saneamiento.

**(1) Indicador 1: Cantidad de localidades rurales y pequeñas ciudades con instalaciones de agua y saneamiento apropiadas.**

No hay una definición clara de “instalaciones de agua y saneamiento apropiadas” en la PDM. Sin embargo, en términos de abastecimiento de agua y de acuerdo con los resultados de la investigación realizada por DIGESA en 2006, en Lambayeque 530 (44%) de 1.214 comunidades (con menos de 2.000 habitantes) y 12 (80%) de 15 ciudades pequeñas (de 2.001 a 30.000 habitantes) tienen suministro de agua, y en Piura 915 (36%) de 2.548 comunidades y 94 (67%) de 140 ciudades pequeñas tienen abastecimiento de agua. No hay información más reciente disponible en este momento.

**(2) Indicador 2: Cantidad de localidades rurales y pequeñas ciudades donde se mantienen y se conservan apropiadamente las instalaciones de agua y saneamiento.**

En cuanto a este indicador, no está claro cómo se juzga la idoneidad del mantenimiento y administración de instalaciones de agua y saneamiento.

### **3-6 Proceso de Implementación del Proyecto**

**(1) Administración y operación del Proyecto**

El Comité de Coordinación Conjunto (CCC) fue celebrado en marzo de 2010 y el Comité de Dirección de Nivel Regional (CDR) fue organizado en dos ocasiones, en febrero y octubre de 2010. Se convocan estos comités a fin de informar el avance de las actividades del Proyecto y de discutir el plan de operación y otros temas relacionados. Aparte de estas reuniones oficiales, el personal de contraparte del MVCS visita periódicamente las dos Regiones para supervisar las actividades del Proyecto.

La comunicación entre los actores involucrados en el Proyecto a nivel de operación es bueno, aunque en Piura hay un margen para mejorar el intercambio de información entre cada Componente (GT) con el fin de administrar el Proyecto en su conjunto. Mediante el establecimiento de reuniones semanales entre los diferentes Componentes (GT) a nivel de personal de contraparte se ha mejorado la comunicación.

Tanto en Piura como en Lambayeque, tras el cambio de las autoridades del Gobierno Regional en enero de 2011, no se ha realizado suficientemente la coordinación con el Gobierno Regional para asegurar una fluida ejecución de los gastos necesarios para las actividades del Proyecto y la asignación de los recursos humanos. Tampoco se ha realizado eficientemente la colaboración con otras gerencias y direcciones del Gobierno Regional en los proyectos de abastecimiento de agua, con excepción de la colaboración del “Equipo Multisectorial” del Componente 3 y la Gerencia de Infraestructura para la

implementación de obras del Componente 1.

## **(2) Asignación del personal de contraparte**

En Piura, en el inicio del Proyecto, la DRVS no tenía suficientes recursos humanos profesionales necesarios para la implementación de las actividades del Proyecto y el personal de la Dirección eran empleados temporales o asignados de otra Gerencia del Gobierno Regional. Además, dado que la mayoría de los puestos del personal de contraparte no eran permanentes ni estables, hubo frecuente cambio del personal (para el detalle ver el Anexo 4-1: Lista de Contrapartes). Mientras tanto en Lambayeque, todo el personal de contraparte asignado al Proyecto son empleados permanentes de la DRVS.

## **(3) Participación de las Municipalidades Distritales y comunidades**

La participación de las Municipalidades Distritales y comunidades ha sido suficiente hasta ahora. Sin embargo hubo cambio de autoridades en las 3 Municipalidades Distritales de los 4 sitios del Proyecto Piloto y algunas personas involucradas en el Proyecto fueron reemplazadas. También los miembros administrativos de la JASS en 2 sitios de Proyecto Piloto (El Espinal en Lambayeque y San Jorge en Piura) fueron cambiados, lo que implicaba la implementación de capacitaciones adicionales para los nuevos miembros. También en algunos sitios de Proyectos Piloto la participación de los miembros administrativos aún está limitada al presidente y al tesorero. Aunque la participación de las comunidades es moderada, todos los actores involucrados en las actividades comunitarias deben abordar un proceso largo para elevar la conciencia comunitaria y conseguir en la comunidad el entendimiento sobre el nuevo sistema tarifario y cambios relacionados con el sistema de gestión establecido por el Proyecto.

## **(4) Gestión del Proyecto basada en la PDM**

No se ha revisado la PDM hasta ahora. Es necesario examinar algunos contenidos de esta matriz en base a las situaciones actuales con el fin de administrar el Proyecto de acuerdo con la PDM.

# **4. Evaluación con Cinco Criterios**

## **4-1 Relevancia**

La relevancia del Proyecto es alta en términos de necesidades y prioridades del Perú, de las estrategias de asistencia japonesa y de la idoneidad como medio para contribuir a las necesidades, tal como se describe a continuación.

### **(1) Necesidades de la sociedad peruana y prioridad para el Gobierno Peruano**

El Plan Nacional de Saneamiento 2006-2015, cuyo objetivo es la expansión de la cobertura de

servicios, la modernización de la administración y gestión del sector de abastecimiento de agua y saneamiento, la mejora de la sostenibilidad y la calidad de los servicios y el logro de la viabilidad económica de los servicios proveídos, es el plan nacional válido actualmente y el Proyecto es altamente relevante para este Plan Nacional. Además, el mejoramiento del suministro de agua es uno de los temas más prioritarios en el Plan Regional de Piura y Lambayeque (Plan de Desarrollo Regional Concertado de Lambayeque 2011-2021 y Plan de Desarrollo Regional Concertado de Piura 2007-2021).

## **(2) Política de la AOD (Asistencia Oficial para el Desarrollo) del Japón**

De acuerdo con la última política de asistencia de JICA, “La Política de Asistencia para el País: Perú” elaborada en abril de 2009, el mejoramiento del abastecimiento de agua y saneamiento es considerado como uno de los temas prioritarios en el campo estratégico de “alivio de la pobreza y reducción de la desigualdad”. El Proyecto PRISAS está asignado como uno de los componentes del Programa Estratégico de Agua de la asistencia de JICA en el Perú.

## **(3) Idoneidad como medio**

El Proyecto ha trabajado con tres componentes para resolver los problemas relacionados con el abastecimiento de agua y saneamiento rural, combinando la construcción de obras de suministro de agua y la mejora de la administración y operación de instalaciones de abastecimiento de agua, así como la sensibilización en materia de saneamiento. Los actores involucrados consideran que este Proyecto es muy apropiado para contribuir a los problemas existentes en el suministro de agua en zonas rurales, especialmente, donde la gente de la comunidad casi no tiene la idea de “administración de instalaciones” implica un sistema adecuado de tarifas de agua y mantenimiento.

Además, la aplicación de medidores y la tarifa de agua basada en la cantidad de consumo en las comunidades rurales es un nuevo intento en el Perú y el personal de contraparte tanto en Lambayeque como en Piura considera que es un sistema adecuado en base a las experiencias hasta el momento con los Proyectos Piloto.

Por otro lado, aunque el Proyecto está diseñado para mejorar la capacidad técnica de la DRVS, la cual fue considerada como una organización central para mejorar el abastecimiento de agua y saneamiento rural, en el inicio del Proyecto su papel y responsabilidad en estos temas no estaban claramente definidos a nivel regional en ambas regiones y la relación con otras direcciones y/o gerencias relacionadas no estaba establecida. Además, no se asignaron suficientes recursos humanos y financieros para asumir los roles principales en los tres Componentes del Proyecto.

## **(4) Colaboración y demarcación con otros proyectos de abastecimiento de agua y saneamiento**

A nivel regional, la Gerencia Regional de Infraestructura ejecuta la mayor parte de las obras de instalaciones de suministro de agua financiadas por el Gobierno Regional. Asimismo, en Piura los

profesionales del Programa Frontera Norte que trabajan en la Gerencia Regional de Desarrollo Social gestionan los recursos regionales de contrapartida provenientes del Programa de Agua para Todos. Este programa en ejecución en Piura incluye la construcción de instalaciones y capacitación de la JASS en los términos de la administración, operación y mantenimiento. No obstante, la falta de recursos financieros no les permite continuar sus actividades. Estas actividades se desarrollan en paralelo a las actividades del Proyecto en la DRVS, incluso desde antes del comienzo del Proyecto existían estas actividades. Esta Dirección está bajo el proceso de reestructuración.

A nivel nacional, existen diferentes proyectos y programas relacionados con el abastecimiento de agua y saneamiento para comunidades rurales. El MVCS implementa el “Programa Agua para Todos”, que consta de componentes de construcción o rehabilitación de instalaciones de suministro de agua y el desarrollo de capacidades de las organizaciones de usuarios de agua, tales como la JASS, directamente en las comunidades rurales, incluyendo Lambayeque y Piura. También existen otros proyectos similares financiados por diferentes donantes, tales como Luxemburgo, España y el BID en otras regiones del Perú. Uno de estos proyectos es implementado por la Agencia Suiza para el Desarrollo y la Cooperación (COSUDE). COSUDE tiene un plan para diseminar su modelo de desarrollo de capacidades en Lambayeque y Piura. Este plan puede coincidir con las actividades de PRISAS.

#### **4-2 Efectividad**

El Proyecto ha arrojado una moderada efectividad hasta la fecha, teniendo en cuenta el progreso real de las actividades y el desarrollo de capacidades del personal de contraparte de la DRVS.

##### **(1) Perspectiva de cumplir la Meta del Proyecto**

Teniendo en cuenta los logros en los resultados 1, 2 y 3 (como se describe en el “4-3 Eficiencia”), la DRVS en ambas regiones ha fortalecido sus capacidades en la ejecución de proyectos de abastecimiento de agua y saneamiento en comunidades rurales en los aspectos de los tres Componentes introducidos por el Proyecto. Sin embargo, hasta ahora el nivel de logro en el desarrollo de capacidades de las Municipalidades Distritales y JASS es diferente según su situación y avance de las actividades, y es difícil prever el nivel de logro final todavía. Mientras tanto, con el fin de medir el nivel de logro de la Meta del Proyecto de manera más objetiva, es necesario revisar los indicadores de la versión de PDM 0.

##### **(2) Relación casual entre los Resultados y la Meta del Proyecto**

A pesar de que se han observado algunos logros como se menciona anteriormente, con el fin de medir el nivel de logro de la Meta del Proyecto después de lograr los Resultados, es necesario revisar los indicadores, definiendo cómo van a ser los mismos después de mejorar capacidades mediante el logro de los 4 Resultados a finales del período del Proyecto.

En cuanto a las condiciones externas importantes para lograr la Meta del Proyecto, hay un margen de mejora en la relación entre el Proyecto y los Gobiernos Regionales, para que el Proyecto sea

plenamente reconocido y apoyado como una función del Gobierno Regional para mejorar el abastecimiento de agua rural. En cuanto a otros supuestos, “participación activa de las localidades rurales y pequeñas ciudades (incluyendo las obras e instalaciones de suministro de agua)”, es más apropiado considerar este supuesto para lograr los Resultados, y también “se corrigen los problemas identificados” y “hay fluida información para conocer las situaciones” no son claras como condiciones externas importantes para lograr la Meta del Proyecto.

#### **4-3 Eficiencia**

Los equipos del Proyecto de ambas Regiones han hecho esfuerzos para implementar las actividades del Proyecto de manera eficiente con sus condiciones limitadas y han logrado ciertos progresos en cada Componente de los Proyectos Piloto. Sin embargo, debido a algunos problemas como retrasos en algunas actividades, los recursos humanos insuficientes (en Piura), así como el cambio de las autoridades de los Gobiernos (Regionales y Locales), la eficiencia del Proyecto no es satisfactoria en la primera mitad del período del Proyecto.

##### **(1) Nivel de logro de los Resultados**

Aunque es difícil saber el nivel de logro de los Resultados con los indicadores actuales que no interpretan el nivel de alcance, sobre todo, del Resultado 2 y 3, la situación actual de cumplimiento de los Resultados 1, 2 y 3 ha sido identificada como se explica a continuación. En caso de Piura, estos logros han sido afectados, en gran medida, por la insuficiencia y los cambios de los recursos humanos, y se verán afectados aún más si el personal actual de contraparte es reemplazado durante el período del Proyecto.

##### Resultado 1:

Este Resultado representa a las actividades de preparación para iniciar los trabajos relacionados con los Resultados 2 y 3, por lo tanto, se realizaron las actividades del Resultado 1 al inicio del Proyecto en ambas Regiones. Todas las actividades para verificar el suministro de agua y la situación sanitaria de las comunidades rurales, así como su capacidad para llevar a cabo proyectos de agua y saneamiento y las tareas relacionadas se realizaron como se describe en el “3-3: Logro de los Resultados”.

##### Resultado 2:

El personal de contraparte del GT1 de ambas Regiones llevó a cabo una serie de entrenamientos en el trabajo (OJT) para la construcción de instalaciones de suministro de agua, desde la preparación de perfiles hasta la finalización. El personal de contraparte en ambas Regiones, siendo ingenieros o arquitectos, considera que adquirió buenas experiencias a través de los Proyectos Piloto, aunque hay más habilidades y conocimientos por aprender en función de los tipos de sistemas de abastecimiento de agua y las características geográficas de los sitios.



### Resultado 3:

En cuanto al personal de las Municipalidades Distritales, a pesar de que colaboran con los Proyectos Piloto, el nivel de logro en el desarrollo de sus capacidades, tanto en el Componente 2 como el 3, es diferente en cada una de las Municipalidades. La principal razón de esta diferencia se deriva de su participación e implicación en las actividades del Proyecto. En algunas Municipalidades la participación sigue siendo limitada, debido principalmente a las siguientes razones;

- Debido al cambio de administración en enero de 2011, el personal a cargo de los Proyectos Pilotos fue reemplazado en algunas Municipalidades (3 de 4 sitios de Proyecto Piloto).
- En algunas Municipalidades, debido a la limitación de los recursos humanos y financieros, no se ha asignado el personal a cargo de agua y saneamiento, o la misma persona desempeña diferentes tareas.

Dado que las actividades con las Municipalidades Distritales se desarrollarán aún más en el resto del período de cooperación, el Proyecto seguirá trabajando con ellas para fortalecer su participación y desarrollo de su capacidad.

En cuanto a los miembros administrativos de la JASS, su nivel de logro en el desarrollo de capacidades en los Componentes 2 y 3 es variado debido principalmente a la diferencia en el nivel de progreso de sus actividades. En el Componente 2, la capacitación está en ejecución en El Espinal y Humedades y los miembros administrativos ya la han puesto en práctica en su operación diaria, incluyendo el nuevo sistema de tarifas de agua<sup>12</sup>. En caso de San Jorge, la capacitación está en el proceso de implementación para mejorar la operación y mantenimiento. En cualquier caso, el seguimiento y la asistencia son importantes, ya que las diversas preocupaciones acerca de la operación y mantenimiento fueron mencionadas por los miembros de la JASS en la entrevista de la evaluación intermedia, especialmente acerca de la cloración. En el Componente 3, Malacasí ya ha empezado las actividades de seguimiento casa por casa con los miembros de la JASS y otros actores relacionados. En otros sitios, el Proyecto seguirá trabajando por fortalecer sus capacidades e iniciativas en este tema.

En cuanto a este Resultado, aunque se refiere directamente al desarrollo de capacidades de las Municipalidades Distritales y la JASS, también es importante fortalecer las capacidades del persona de contraparte a nivel regional para poder proporcionar las orientaciones necesarias a las Municipalidades

---

<sup>12</sup> Situación actual de cobro de tarifas de agua en cada sitio del proyecto piloto es: 1) En Espinal, la facturación basada en el nuevo sistema de tarifa fue iniciada en mayo de 2011 y la mitad de los usuarios han pagado la factura hasta junio de 2011. Todavía este sistema está en proceso de introducción y entre los usuarios hay diferentes conceptos sobre la fecha límite de pago (algunos piensan que se debe pagar cada mes y otros piensan que se puede pagar cada dos meses). 2) En Humedades, el nuevo sistema tarifario fue iniciado en marzo de 2011. De 59 hogares, el suministro de agua fue suspendido en 4 hogares debido a la demora en el pago. Pero en todos los casos el servicio fue reanudado después de haber pagado la tarifa.

Distritales y la JASS. En cuanto al Componente 2, en Lambayeque la capacitación ha estado en ejecución en dos sitios de Proyecto Piloto y el personal de contraparte ha preparado los formatos necesarios y ha experimentado el proceso de desarrollo de capacidades de la JASS. En Piura, a pesar de que todavía está en proceso, también ha desarrollado su propia capacidad para orientar a la JASS y las Municipalidades Distritales en este tema. En ambas Regiones, las contrapartes piensan que pueden aumentar suficientemente sus capacidades para el final del período del Proyecto, a través de las actividades en los sitios adicionales de Proyecto Piloto en el resto del período del Proyecto.

En cuanto al Componente 3, la mayor parte de las actividades se ha llevado a cabo según lo previsto hasta ahora, y se ha desarrollado la relación de colaboración con otros actores a nivel regional. El personal de contraparte del GT3 ha adquirido experiencia en la preparación de manuales para las comunidades y la implementación de talleres. En la segunda mitad del período del Proyecto, un manual para las JASS y Municipalidades Distritales será preparado y se pondrán en marcha los Proyectos Piloto en tres sitios adicionales, mientras que las actividades de monitoreo seguirán continuadas y fortalecidas.

## **(2) Momento, calidad, cantidad de los aportes**

En cuanto a los aportes por la parte peruana, como se menciona en las páginas anteriores, la cantidad de recursos humanos y financieros no ha sido suficiente, sobre todo, el personal profesional como contraparte técnica del Proyecto en Piura y el presupuesto necesario para las actividades del Proyecto en ambas Regiones. En cuanto a las aportaciones hechas por la parte japonesa, los siguientes temas han sido señalados por los actores involucrados en el Proyecto.

- Los vehículos no fueron proporcionados en el primer año del Proyecto, cuando el medio de transporte fue necesario en gran medida para el estudio de línea de base.
- La capacitación de la contraparte en Japón o en terceros países no se ha realizado todavía.

## **4-4 Impacto**

Se considera demasiado pronto para analizar el impacto tanto en los aspectos de la perspectiva de cumplir la Meta Superior como los múltiples efectos del Proyecto.

### **(1) Perspectiva de cumplir la Meta Superior y la relación causal entre la Meta del Proyecto y la Meta Superior**

Ya que aún se encuentra en la mitad del período del Proyecto, el logro de los objetivos de la Meta del Proyecto no está claramente definido por los indicadores. Por lo tanto, se considera que es demasiado pronto para analizar la posibilidad de lograr la Meta Superior.

En cuanto a la mejora de la situación del saneamiento, la idea de “saneamiento” es interpretada de manera extensiva en el Perú, incluyendo el suministro de agua y alcantarillado, mientras que el Proyecto ha trabajado sólo para la sensibilización y no tiene el componente para tratar las instalaciones sanitarias como el alcantarillado y letrina. En este sentido, las instalaciones de servicio de saneamiento no serán

tratadas como indicador para medir el impacto del Proyecto.

## **(2) Efectos multiplicadores del Proyecto**

La mejora del abastecimiento de agua en las comunidades rurales puede dar lugar a diversos efectos positivos, tales como mejores condiciones de salud y mejor calidad de vida. En la entrevista realizada con la JASS y usuarios en El Espinal y Humedades se escucharon comentarios positivos, tales como la reducción de tiempo y costo para obtener agua, mejor acceso (horas) al agua, mejor calidad del agua suministrada, etc.

## **4-5 Sostenibilidad**

Tanto en Piura como en Lambayeque, los Gobiernos Regionales han venido realizando su reestructuración organizativa institucional. En ambos casos la organización de la DRVS sufrirá algunos cambios, los cuales producirán ciertos efectos en su papel y función en sus respectivos Regiones. La sostenibilidad del Proyecto, en gran medida, depende de los resultados de esta reestructuración.

### **(1) Aspectos políticos e institucionales**

Como la mejora del abastecimiento de agua es uno de los temas de máxima prioridad en cualquier nivel de gobierno en el Perú, el apoyo político en este sector se mantendrá sin lugar a dudas. Sin embargo, en este momento no está claro cómo el MVCS y los Gobiernos Regionales van a fortalecer la estructura de ejecución para poner este tema priorizado en práctica.

### **(2) Aspectos organizativos y financieros**

Los Gobiernos Regionales están en el proceso de reestructuración para establecer la estructura administrativa más eficiente. En este momento de la evaluación intermedia, ambos Gobiernos no han anunciado oficialmente sus decisiones, por lo tanto, se requiere más tiempo para ver los resultados. En cualquier caso, es necesario que la DRVS fortalezca su capacidad de organización (incluyendo los recursos humanos y financieros) para extender las experiencias adquiridas a través de este Proyecto en los 3 Componentes. También se debe determinar con más claridad sus roles y funciones en la ejecución de las actividades en la mejora del abastecimiento de agua y saneamiento.

En cuanto a las Municipalidades Distritales, entidades que se espera asesorar a las JASS en la administración, operación y mantenimiento de las instalaciones de abastecimiento de agua, así como la sensibilización en materia de saneamiento, tienen un serio problema en términos de los recursos humanos y financieros para atender las localidades y comunidades existentes en su municipalidad. Por su parte, las Municipalidades Distritales han hecho esfuerzos para conseguir sus propios recursos financieros a fin de cubrir las necesidades, como por ejemplo, oficina de la JASS, alguna parte del sistema de agua que no está incluida en los Proyectos Piloto y las instalaciones sanitarias.

Con respecto a la JASS, la administración de esta organización fue iniciada recientemente y se

encuentra en el proceso de introducir un nuevo sistema. El Proyecto continuará realizando esfuerzos para promover una sana administración de esta organización para garantizar la sostenibilidad del sistema de suministro de agua.

### **(3) Aspectos técnicos**

Hasta ahora, los cambios del personal de contraparte y los recursos humanos insuficientes han afectado en gran medida al logro del desarrollo de capacidades y la sostenibilidad de las habilidades, así como experiencias y conocimientos adquiridos a través de las actividades del Proyecto. Es necesario que la DRVS busque medidas para acumular experiencias no sólo a nivel individual sino también a nivel institucional para garantizar la sostenibilidad.

También en los Proyectos Piloto, los miembros administrativos de la mayoría de JASS se cambian cada dos años y las Municipalidades Distritales están sufriendo escasez de recursos, por lo tanto, se deben tener en cuenta algunas medidas para mantener las habilidades y el conocimiento en el resto del período del Proyecto, incluso después de los cambios de personal.

## **5. Conclusión**

El Proyecto ha implementado diversas actividades y ha producido los Resultados 1,2 y 3, en cierta medida, gracias a los esfuerzos realizados por cada actor que participa en las actividades del Proyecto. El mayor logro hasta la fecha se encuentra en el desarrollo de capacidades del personal de contraparte a través de la implementación de los Proyectos Piloto. La relevancia del Proyecto sigue siendo alta en las necesidades, prioridades y algunos aspectos de la idoneidad como medios, aunque el problema relacionado a la coordinación de los donantes es un motivo de preocupación en este momento. En la actualidad, la efectividad del Proyecto es moderada, teniendo en cuenta el progreso real de las actividades y el desarrollo de capacidades en el personal de contraparte de la DRVS. Sin embargo, debido a algunos problemas como retrasos en algunas actividades, la insuficiencia de los recursos humanos (en Piura), así como los cambios de los Gobiernos (Regionales y Municipalidades Distritales), se considera que la eficacia del Proyecto no fue satisfactoria en la primera mitad del período del Proyecto. En cuanto al impacto, se considera que es demasiado prematuro para analizar, tanto en los aspectos de la perspectiva de alcanzar la Meta Superior como los múltiples efectos del Proyecto. La sostenibilidad del Proyecto depende en gran medida de los resultados de la reestructuración que actualmente está en proceso tanto en el Gobierno Regional de Piura como en el Lambayeque, ya que en ambos casos, la organización de la DRVS sufrirá algunos cambios, los cuales producirán ciertos efectos en su papel y función en las respectivas Regiones. Además, la coordinación entre los organismos cooperantes del MVCS es necesaria. En base a estos resultados de la evaluación, el equipo de evaluación intermedia ha hecho las siguientes recomendaciones con el fin de materializar las acciones necesarias para la segunda

mitad del período del Proyecto.

## **6. Recomendaciones**

- (1) Los Gobiernos Regionales de Piura y Lambayeque deben tomar las medidas necesarias para asegurar la asignación del personal de contraparte existente y disponer de suficiente personal profesional en la DRVS, teniendo en cuenta la sostenibilidad de las actividades del Proyecto.
- (2) Cada Gobierno Regional debe consolidar su estructura de ejecución del servicio de suministro de agua y saneamiento, mediante el fortalecimiento de la DRVS.
- (3) Con el fin de maximizar el logro del Proyecto, el MVCS debe coordinar la cooperación internacional de donantes, evitando duplicaciones.
- (4) El MVCS debe evaluar los resultados obtenidos y las lecciones aprendidas del Proyecto para considerar su aplicación en la revisión de las normativas y planes nacionales que estén relacionados con el suministro de agua y saneamiento en el ámbito rural.
- (5) Dado que la participación de las Municipalidades Distritales es esencial para el logro de los Resultados del Proyecto, es necesario que la DRVS impulse a las Municipalidades Distritales para que dispongan del personal a cargo del suministro de agua y saneamiento, e intensifique su participación en el Proyecto.
- (6) Es esencial para el Proyecto promover la instalación de medidores de agua en cada hogar en los sitios de Proyecto Piloto para la administración racional de las JASS.
- (7) Con el fin de realizar las actividades de las JASS de forma sostenible, es recomendable establecer un sistema de capacitación constante para las JASS en la administración, operación y mantenimiento del sistema de abastecimiento de agua.
- (8) Se espera fortalecer el sistema de comunicación y colaboración entre los Gobiernos Regionales y las Municipalidades Distritales a través del uso práctico de los manuales elaborados por el Proyecto.
- (9) Es recomendable que la DRVS fortalezca su sistema de gestión de conocimiento para acumular información y know-how en la organización, y utilizarlos a nivel de organización, con el fin de asegurar la sostenibilidad de las habilidades y know-hows adquiridos a través del Proyecto.

- (10) Se espera que el Proyecto considere la coordinación con otros esquemas de cooperación de Japón, cuando se disemine el modelo PRISAS en otras regiones.
- (11) Es recomendable llevar a cabo programas de capacitación en Japón o en terceros países para el personal de contraparte del Proyecto.
- (12) La PDM (ver. 0) debe ser revisada de acuerdo con la situación actual del Proyecto. Los temas revisados fueron propuestos por el Equipo de Evaluación Intermedia para discutir con los directores y líderes del grupo de trabajo (GT) de cada región. Se adjunta el borrador de la PDM (Ver. 1) en el Anexo 7. Es recomendable ponerse de acuerdo sobre el contenido de la nueva versión de PDM (Ver.1) entre las partes interesadas para implementar el resto de las actividades del Proyecto en base a la nueva PDM.

## 付属資料 3

### 主要面談者リスト

#### 住宅建設衛生省 MVCS

José Luis Becerra Silva	衛生局長
Vanessa Verau Ladd	衛生局 農村部衛生事業部長代理
Juan Carlos Sánchez Lazo	衛生局 農村部衛生事業部 スペシャリスト (PRISAS コーディネーター) (評価委員)
Mercedes Peña Niño	衛生局 農村部衛生事業部 社会スペシャリスト (PRISAS コーディネーター)
Bertha Giraldo Fernández	衛生局 都市部衛生事業部 社会スペシャリスト
Geraldine Canales Grande	衛生局 計画予算部 衛生スペシャリスト
Olinda Martínez Mejía	衛生局 計画予算部 プロジェクト投資 スペシャリスト (評価委員)
Carlos Saire Pillco	衛生局 計画予算部 プロジェクトスペシャリスト (評価委員)
Elena Tanaka Torres	計画予算事務局長
Filomena Dávila	計画予算事務局 国際協力事業部長
Ricardo Gálvez	計画予算事務局 国際協力 スペシャリスト

#### ランバイエケ州政府

Juan Pablo Horna Santa Cruz	州副知事
Luis Alberto Santo Ayala	計画予算局
Víctor Eloy de la Cruz Rojas	住宅衛生 (DRVS) 部長
Nepton David Ruiz Saavedra	住宅衛生部 (DRVS) (PRISAS WG1 リーダー)
Yony Ángeles Paredes	住宅衛生部 (DRVS) (PRISAS WG3 リーダー)
José López Gálvez	住宅衛生部 (DRVS) (PRISAS WG1)
Sandor Lenin Martínez Jiménez	住宅衛生部 (DRVS) (PRISAS WG2 リーダー)
Teodoro Custodio Diez	住宅衛生部 (DRVS) (PRISAS WG2)
Fabio Mendoza Yarasca	住宅衛生部 (DRVS) (PRISAS WG3)

#### ピウラ州政府

Javier Atkins Lerggios	州知事
Eugenio D' Medina Lora	ピウラ州衛生サービス公社 (EPS GRAU) 社長
Carlo Bertini Hurtado	州総局長
Verónica Luy Delgado	社会開発局長
Elba del Carmen Merino de Lama	住宅建設衛生 (DRVS) 部長
Juan García Montalvo	住宅建設衛生部 (DRVS) (PRISAS WG1 リーダー)
Patricia Saavedra Córdova	住宅建設衛生部 (DRVS) (PRISAS WG2)
Elba Zapata Panta	住宅建設衛生部 (DRVS) (PRISAS WG2)
Aída Palacios Lazo	住宅建設衛生部 (DRVS) (PRISAS WG3 リーダー)
Richar Ronald Romero Rodríguez	住宅建設衛生部 (DRVS) (PRISAS WG1)
Eloy Huacchillo Chuquirima	住宅建設衛生部 (DRVS) (PRISAS WG1)

Agustín Aguirre Silupú	住宅建設衛生部 (DRVS) (PRISAS WG2 リーダー)
Ángela Calle de Córdoba	住宅建設衛生部 (DRVS) (PRISAS WG2)
Wilfredo Rujel Mogollón	住宅建設衛生部 (DRVS) (PRISAS WG3)
Carolina Díaz Maldonado	リマ事務所コーディネーター

#### ランバリエケ州パイロット事業サイト

Yris Kariba Valderrama	オヨトゥン区議員
Lorenzo Ramírez	オヨトゥン区議員
Orlando Villegas Burga	エル・エスピナル JASS 会長
Yovani Yulisa Torres Dávila	エル・エスピナル JASS 経理
Agapito Balcazar terrones	エル・エスピナル JASS 理事
Emilio Rodrigues Carlos	サラス区役所管理部長
José Luis Ruiz Flores	サラス区役所職員（給水・衛生担当）
Santos Segundo Juárez Uriarte	ウメダデス JASS 会長
Aída Salazar Terrones	ウメダデス JASS 経理

#### ピウラ州パイロット事業サイト

Eduardo Calderon Remaycuna	フリラス区役所職員（パイロット事業担当）
Kreimer Gordon	フリラス区議員
Juan José Guerrero L.	サン・ホルヘ JASS 会長
Celia Dennon Rematcuna G.	サン・ホルヘ JASS 秘書
Eufemine Godos García	サン・ホルヘ JASS 経理
Lucrecia Guerrero M.	サン・ホルヘ JASS 会計
Hermes Marchena A.	サン・ホルヘ JASS オペレーター
Rosalina Chumacera Torrico	サン・ホルヘ村長
Ameli Fiestas Viera	サリトラル区役所職員（パイロット事業担当）
Cristóbal Chapa	マラカシ JASS 会長
Alocides Ato Correa	マラカシ村長
Deisi E. Chunga Becerra	マラカシ村秘書

#### スイス開発協力庁 COSUDE

Philippe Zahner	所長
Cesarina Quintana	ナショナルプログラムオフィサー
José Ney Díaz Fernández	CARE Perú
Percy Suarez Alvarado	CARE Perú
Lourdes Mindreau Zegarra	CARE Perú

#### プロジェクト専門家

杉谷 健一郎	総括/運営・維持管理計画（給水計画含）
植松 政郎	給水計画 2/地下水開発 2



菅原 繁

衛生啓発計画

**在ペルー日本大使館**

藤原 慎哉

二等書記官（経済・経済協力担当）

**JICA ペルー事務所**

中尾 誠

所長

赤嶺 剣悟

所員

木村 麗夏

所員





イ. 機材供与

1) ランバイエケ州およびピウラ州への供与機材

機材名	数量	用途	配置	調達	単価	金額	納入時期
1 パソコン	2	プロジェクト事務所での使用	両州のDRVS	受注者現地調達	814.86 US\$	1,629.72 US\$	第1年次/2009年8月
2 コピー機	2	プロジェクト事務所での使用	両州のDRVS	受注者現地調達	520.31 US\$	1,040.62 US\$	第1年次/2009年8月
3 ネットワークプリンター	2	プロジェクト事務所での使用	両州のDRVS	受注者現地調達	320.00 US\$	640.00 US\$	第1年次/2009年8月
4 車輛	2	プロジェクト活動での使用	両州のDRVS	JICA現地調達	30,540.00 US\$	61,080.00 US\$	第1年次/2010年3月
5							
6							

2) ランバイエケ州およびピウラ州への携行機材

機材名	数量	用途	配置	調達	単価	金額	納入時期
1 プロジェクター	1	プレゼンテーションでの使用	ランバイエケ州DRVS	受注者本邦調達	90,000 円	90,000 円	第1年次/2009年8月
2 ポータブル電気伝導率計	2	ベースライン調査(水源調査)	両州のDRVS	受注者本邦調達	129,500 円	259,000 円	第1年次/2009年8月
3 ミリオンロープ水位計	2	ベースライン調査(水源調査)	両州のDRVS	受注者本邦調達	54,500 円	109,000 円	第1年次/2009年8月
4 ハンディGPS	2	ベースライン調査(位置調査)	両州のDRVS	受注者本邦調達	25,520 円	51,040 円	第1年次/2009年8月
5 濁度計	2	衛生啓発パイロット事業	両州のDRVS	受注者本邦調達	166,000 円	332,000 円	第2年次/2010年10月
6							

ウ. 現地再委託概要

年次	再委託先	内容	契約日	契約金額
第1年次				
1	ローカル コンサルタ ント契約 水質検査 (ランバイ ヶケ州)	パイロット事業サイト2か所 (El Espinal 及び Humedades) における水質検査 (検査項目) Odor, Iron, Manganese, Nitrate, Nitrite, COD, Ammonia (サンプル数) El Espinal: 7, Humedades: 6 ※ Pero Luiz Callo 大学では断続的に職員等のスタッフが続き、5月上旬現在検査は完了していない。	2011年 3月11日	US\$ 1,924.00- (157,249 円) JICA 統制レート
2	ローカル コンサルタ ント契約 水質検査 (ピウラ 州)	パイロット事業サイト2か所 (Malacasi 及び San Jorge) における水質検査 (検査項目) Odor, Iron, Manganese, Nitrate, Nitrite, COD, Ammonia (サンプル数) Malacasi: 7, San Jorge: 8→7(工事スケジュールの都合で1か所取水出来ず7か所になる)	2011年 3月15日	US\$ 1,785.90- (145,962 円) JICA 統制レート
第2年次	3 工事費パ イロット事 業(ランバ イエケ州)	パイロット事業2か所 (El Espinal 及び Humedades) の給水施設整備。 1) El Espinal エル・エスピナルは、ランバイエケ州の州都チクラヨから東へおよそ 70km の山間部に位置する人 口 460 人ほどの村である。村の南側には Zana 川が流れており、その上流部から河川水を取水し、村の生活用 水として使っている。既存の上水道施設として、取水施設、沈砂槽、濾過槽などが建設されていたが、調査時 点では、それらはまったく機能しておらず、河川から取水された水は、なんらの処理もされないまま、ただ管路を 経由して、村の一部の家へ供給されているという状態であった。本パイロット事業では、それらの既存施設の改 修整備を行うとともに、現在、一部の世帯へしか接続されていない各戸給水のための配水管を、すべての家庭 へ接続し、そのそれぞれに水道メーターを設置することとした。現時点では、水道メーターは取り付けられてい ない。 [主な工事内容]・取水口・沈砂槽・一次濾過槽・緩速濾過槽・調整池の建設・改修・導水管改修・貯水 槽保護・消毒剤注入施設設置・配水管の改修・各戸給水管取付(39 戸)・メータ設置(127 戸) 2) Umedades ウマダデスは、チクラヨの東北東、およそ 55km、標高 110～120m の平坦部に位置している人口 320 人ほどの村である。村のほぼすべてに毎秒 40 リットルを揚水可能な灌漑用の井戸(深度 90m)があり、現在、住 民はそこから汲み上げられた地下水を生活用水として利用している。井戸の脇には配水用の高架タンクが建設 されているが、その高架タンクへの井戸からの送水施設、高架タンクからの各家庭への配水施設は未整備のま まである。整備計画は一度は立案されたものの、その後、区長の交代などで頓挫し、建設された高架タンクは、	2010年 10月6日	US\$ 185,361.92- (15,509,232 円) JICA 統制レート

	4	<p>工事費 パイロット 事業 (ピウラ 州)</p>	<p>TRONCOSC Construccio nes S.R.L.</p>	<p>利用されないまま放置された状態となっていた。本パイロット事業では、灌漑用井戸の脇に貯水槽を設置し、その貯水槽から既存の高架タンクへ送水するとともに、高架タンクから先の配水施設を各家庭まで整備することとした。既存の高架タンクの改修も当然含まれる。配水管の接続とともに水道メーターも設置する。 [主な工事内容]・井戸ポンプ小屋建設、・貯水槽改修、・消毒剤注入施設設置、・高架水塔への送水管取付、 ・高架水塔改修、・配水管網への接続、・一部配水管の新設、・各戸給水管及びメーター取付 (59 戸) パイロット事業 1 か所 (San Jorge) における給水施設整備。</p> <p>1) San Jorge サン・ホルヘは、ピウラ州の州都ピウラの東北東約 80km、標高 1,300~1,400m の山間部に位置している。周辺の 2 つの小集落とあわせて人口 1,160 人ほどの地区が本パイロット事業の対象地域となっている。村の上流 3km ほどの地点で表流水を取水し、村へ給水している。途中、沈砂槽、濾過槽などが設置されているものはいずれもまったく機能していない状態である。その為、村へは未処理の水がそのまま給水されている。 本パイロット事業では、それらの既存施設の改修整備を行うとともに、対象地区への各戸給水接続及び水道メーターの取付を行う。</p> <p>[主な工事内容] ・取水堰、沈砂槽の建設 ・導水管、緩速濾過槽の改修 ・貯水槽の建設と配水管の改修 (一部新設) ・各戸給水管及び水道メーター取付 (223 戸)</p>	<p>2010 年 12 月 15 日</p>	<p>US\$ 138,425,18- (11,649,863 円) JICA 統制レート</p>
--	---	---	--	---	-----------------------------	---

エ. 現地プロジェクト経費

費 目	第1年次	第2年次 (2011年3月まで)	合 計
(3) 一般業務費(研修・管理以外)	12,957,000	12,183,000	25,140,000
① 傭人費	8,317,252	7,551,593	15,868,845
② 機材保守・管理費	0	0	0
③ 消耗品費	17,133	240,557	257,690
④ 旅費・交通費	1,539,550	1,638,764	3,178,314
⑤ 通信運搬費	0	0	0
⑥ 資料等作成費	1,130,230	599,241	1,729,471
⑦ 借料損料	1,953,543	1,467,581	3,421,124
⑧ 光熱水料	0	0	0
⑨ 人材養成確保費	0	0	0
⑩ 施設・設備維持管理費	0	0	0
⑪ 現地研修費	0	685,643	685,643
⑫ 国内活動費	0	0	0
⑬ 国内再委託費	0	0	0
⑭ 雑費	0	0	0
(4) 供与機材購入費	315,000	0	315,000
(5) 供与機材輸送費	0	0	0
(6) 携行機材購入費	509,000	332,000	841,000
(7) 携行機材輸送費	0	0	0
(8) その他の機材購入費	0	0	0
(9) その他の機材輸送費	0	0	0
(12) ローカルコンサルタント契約	0	200,971	200,971
(13) ローカルNGO契約	0	0	0
(14) 工事費	0	21,083,284	21,083,284
(15) 会議費	0	0	0
<b>V. 合計額</b>	<b>13,781,000</b>	<b>33,799,255</b>	<b>47,580,255</b>

## (2) ペルー側の投入実績

## ア. カウンターパートの配置

## 【住宅建設衛生省】

No.	氏名	役職(組織内)	役職(プロジェクト内)	プロジェクト配置期間
PAPT 1	Ing. Félix Agapito Acosta	局長	CDR 議長	2009.6～
PAPT 2	Ing. Vanessa Vereau Ladd	農村部衛生事業部長		2011.5～
PAPT 3	Ing. Juan Carlos Sánchez Lazo	農村部衛生事業部職員	新コーディネーター	2011.5～
PAPT 4	Ing. Mercedes Angelina Peña Niño	農村部衛生事業部職員	新コーディネーター	2011.5～
(異動)				
PAPT 5	(Ing. Flor Solano de Meza)	都市衛生事業部職員	旧コーディネーター	2009.6～2011.5
PAPT 6	(Ing. Bertha Giraldo Fernández)	都市衛生事業部職員	旧コーディネーター	2009.6～2011.5

## 【ランバイエケ州】

No.	氏名	役職(組織内)	役職(プロジェクト内)	プロジェクト配置期間
L州政府 1	Dr. Víctor Torres Anaya	社会開発部長	CDR メンバー	2011.1～
L州 DRVS 1	Ing. Víctor Eloy de la Cruz Rojas	DRVS 局長		2010.8～
L州 DRVS 2	Ing. Nepton David Ruiz Saavedra	DRVS 職員 (N)	WG1(Lider)	2009.6～
L州 DRVS 3	Arq. José López Gálvez	DRVS 職員 (N)	WG1	2009.6～
L州 DRVS 4	Ing. Lorenzo Mau Kuzan	DRVS 職員 (N)	WG1	2011.3～
L州 DRVS 5	Sr. Sandor Lenin Martínez Jiménez	DRVS 職員 (N)	WG2(Lider)	2009.6～
L州 DRVS 6	Arq. Teodoro Custodio Diez	DRVS 職員 (N)	WG2	2009.6～
L州 DRVS 7	Arq. Yony Paredes Ángeles	DRVS 職員 (N)	WG3(Lider)、全体コーディネーター	2009.6～
L州 DRVS 8	Arq. Fabio Mendoza Yarasca	DRVS 職員 (N)	WG3	2009.6～
(退職者)				
L州政府 1	Dr. Luiz Castañeda Ponce	社会開発部長	CDR メンバー	2009.6～2010.12
L州 DRVS 1	Ing. Raúl Cieza Vásquez	DRVS 局長		2009.6～2010.8
L州 DRVS 2	Ing. Giuliana Díaz Reyes	UF	WG1	2009.6～2010.12
L州 DRVS 3	Eco. Hugo Flores Oliva	UF	WG1	2009.6～2010.12
L州 DRVS 4	Ing. Harold López Osorio	UF	WG1	2009.6～2010.12



【ピウラ州】

No.	氏名	役職(組織内)	役職(プロジェクト内)	プロジェクト配置期間
P州政府 1	Econ. Verónica Luy Delgado	社会開発部長	CDR メンバー	2011.1～
P州 DRVS 1	Arq. Elba del Carmen Merino de Lama	DRVS 局長	Directora (DRVS)	2009.6～
P州 DRVS 2	Ing. Richar Ronald ROMERO Rodriguez	DRVS 職員 (L)	WG1	2010.10～
P州 DRVS 3	Ing. Juan GARCÍA Montalvo	州政府からの出向	WG1(Lider)、全体コーディネーター	2009.10～
P州 DRVS 4	Sr. Eloy HUACCHILLO Chuquirima	DRVS 職員 (N)	WG1	2009.6～
P州 DRVS 5	Sr. Agustín AGUIRRE Silupú	DRVS 職員 (N)	WG2(Lider)	2009.6～
P州 DRVS 6	Lic. Patricia SAAVEDRA Córdova	DRVS 職員 (L)	WG2	2010.4～12、2011.2～
P州 DRVS 7	Econ. Elba ZAPATA Panta	DRVS 職員 (L)	WG2	2009.12～
P州 DRVS 8	Sra. Ángela CALLE de Córdova	DRVS 職員 (N)	WG2	2009.6～
P州 DRVS 9	Lic. Aida PALACIOS Lazo	DRVS 職員 (L)	WG3(Lider)	2010.1～7、2011.4～
P州 DRVS 10	Ing. Jesús BALBÍN Archi	DRVS 職員 (L)	WG3	2011.3～
P州 DRVS 11	Sr. Wilfredo RUJEL Mogollón	DRVS 職員 (N)	WG3	2009.6～
(退職者)				
P州政府 1	Dr. Luiz Alberto Ortiz Granda	社会開発部長	CDR メンバー	2009.6～2010.12
P州 DRVS 1	Arq. Melissa CORREA Girón	DRVS 職員 (C)	WG1	2009.6～2010.12
P州 DRVS 2	Ing. Roberto AGUIRRE Sánchez	DRVS 職員 (C)	WG1	2009.6～2010.12
P州 DRVS 3	Sra. Karla M. CRUZ Ordinola de López	DRVS 職員 (C)	WG2	2009.6～2010.12
P州 DRVS 4	Sr. Carlos W. AQUINO Silva	DRVS 職員 (C)	WG2	2009.6～2010.12
P州 DRVS 5	Cruz Henry ROSILLO Gonzáles	DRVS 職員 (L)	WG2	2009.6～2010.12
P州 DRVS 6	Sra. Shirley LOMBARDI Lizano	DRVS 職員 (C)	WG3	2009.6～2010.12

イ. プロジェクト経費

【住宅建設衛生省】

PRISASにおけるペルー側の投入額 (2011年5月現在まで)										
MVCS	出張者名	出張回数	期間	航空運賃	空港税	宿泊費	食費	その他(移動費、市内交通費等)	合計 (Soles)	
企画予算部(OGPP) 国際協力室	Lic. Ricardo Gálvez	5	2008-2010	6,750	150	770	840	630	9,140	
Programa Agua para Todos (PAPT), 農村部衛生事業ユニット(UOSR)	Ing° Flor Solano	6	2008-2011	8,100	180	2355	2250	630	13,515	
Programa Agua para Todos (PAPT), 農村部衛生事業ユニット(UOSR)	Lic. Bertha Giraldo	4	2009-2011	5,400	120	1570	1500	420	9,010	
Programa Agua para Todos (PAPT), 農村部衛生事業ユニット(UOSR)	Ing° Juan Carlos Sanchez Lazo	1	2011	1,350	30	250	250	66	1,946	
Programa Agua para Todos (PAPT), 農村部衛生事業ユニット(UOSR)	Lic. Mercedes Peña Niño	1	2011	1,350	30	250	250	66	1,946	
									35,557	

\* PAPT は今年度中に“PRISAS-UOSR 給水施設整備マニュアル”を完成する予定。そのために S/138,323を予算化している。

\*\* 当マニュアルは“GRUPO GEA” コンサルタント会社が作成中。現時点では第2進捗報告書を提出済みである。

【ランバイエケ州】

1.2.3 資財・サービス		2009年7~12月	2010年度	2011年1~4月
出費項目		20,490	41,161	12,895
<b>1.2.3.1</b>	<b>資財購入</b>	<b>9,624</b>	<b>14,250</b>	<b>10,990</b>
1.2.3.1.1	食糧、飲料水	250	700	-
1.2.3.1.1.1	食糧、飲料水	250	700	-
1.2.3.1.1.1.1	人間食用食糧、飲料水	250	700	-
1.2.3.1.2	衣類、繊維類	-	750	-
1.2.3.1.2.1	衣類、靴類と付属品、革製品、繊維素材等	-	750	-
1.2.3.1.2.1.1	衣類、付属品、縫製品各種	-	750	-
1.2.3.1.3	燃料類、潤滑油等	820	5,040	3,620
1.2.3.1.3.1	燃料類、潤滑油等	820	5,040	3,620
1.2.3.1.3.1.1	燃料類	680	4,560	3,200
1.2.3.1.3.1.3	潤滑油、グリース等	140	480	420
1.2.3.1.5	事務用品、消耗品類	800	1,500	170
1.2.3.1.5.1	事務用品、消耗品類	600	1,200	120
1.2.3.1.5.1.1	部品及び付属品	220	450	-
1.2.3.1.5.1.2	紙類、文具、事務用品	380	750	120
1.2.3.1.5.3	洗面用具、清掃用品、台所用品	200	300	50
1.2.3.1.5.3.1	洗面用具、清掃用品、トイレ用品	200	300	50
1.2.3.1.6	部品、付属品類	3,254	4,760	3,600
1.2.3.1.6.1	部品、付属品類	3,254	4,760	3,600
1.2.3.1.6.1.1	車両メンテナンス	204	4,200	3,600
1.2.3.1.6.1.3	建設関係、機械類	3,050	560	-
1.2.3.1.99	その他の資財購入	4,500	1,500	3,600
1.2.3.1.99.1	その他の資財購入	4,500	1,500	3,600
1.2.3.1.99.1.99	資財その他	4,500	1,500	3,600
<b>1.2.3.2</b>	<b>各種サービス採用</b>	<b>10,866</b>	<b>26,911</b>	<b>1,905</b>
1.2.3.2.1	出張費	2,880	3,250	1,425
1.2.3.2.1.2	国内出張	2,880	3,250	1,425
1.2.3.2.1.2.1	交通費、運搬費	700	650	-
1.2.3.2.1.2.2	出張日当、手当等	2,000	2,200	1,370
1.2.3.2.1.2.99	その他の出費	180	400	55
1.2.3.2.2	基本サービス、通信費、広報活動費	1,950	2,870	220
1.2.3.2.2.1	光熱費、水道料金、ガス代等	725	1,070	-
1.2.3.2.2.1.1	光熱費	590	820	-
1.2.3.2.2.1.2	水道、下水料金	135	250	-
1.2.3.2.2.2	電話、インターネット費等	625	850	-
1.2.3.2.2.2.2	固定電話	625	850	-
1.2.3.2.2.3	宅急便、電話通信類	300	600	220
1.2.3.2.2.3.1	郵便、宅急便	300	600	220
1.2.3.2.2.4	広報サービス、印刷費、宣伝、組織広報等	300	350	-
1.2.3.2.2.4.3	組織広報サービス	300	350	-
1.2.3.2.2.4.4	印刷、製本費	-	-	-
1.2.3.2.6	事務・財務サービス、保険類	-	5,791	260
1.2.3.2.6.3	保険類	-	5,791	260
1.2.3.2.6.3.1	SOAT(車両の第三者損害義務保険)	-	260	260
1.2.3.2.6.3.2	車両保険	-	5,531	-
1.2.3.2.7	人的サービス採用、技術的業務等	6,036	15,000	-
1.2.3.2.7.2	個人によるコンサルティングサービス、指導、その他	6,036	15,000	-
1.2.3.2.7.2.4	PERFIL調査	1,836	7,000	-
1.2.3.2.7.11.99	サービス各種	4,200	8,000	-

【ピウラ州】

1.2.3 資財・サービス		2009年7～12月	2010年度	2011年1～4月
出費項目		42,730	190,254	69,387
1.2.3.1	資財購入	3,225	12,583	2,653
1.2.3.1.1	食糧、飲料水	646	2,571	303
1.2.3.1.1.1	食糧、飲料水	646	2,571	303
1.2.3.1.1.1.1	人間食用食糧、飲料水	646	2,571	303
1.2.3.1.2	衣類、繊維類	-	-	-
1.2.3.1.2.1	衣類、靴類と付属品、革製品、繊維素材等	-	-	-
1.2.3.1.2.1.1	衣類、付属品、縫製品各種	-	-	-
1.2.3.1.2.1.3	靴類	-	-	-
1.2.3.1.3	燃料類、潤滑油等	135	4,086	2,218
1.2.3.1.3.1	燃料類、潤滑油等	135	4,086	2,218
1.2.3.1.3.1.1	燃料類	135	4,086	2,218
1.2.3.1.3.1.3	潤滑油、グリース等	-	-	-
1.2.3.1.5	事務用品、消耗品類	380	4,700	-
1.2.3.1.5.1	事務用品	32	4,433	-
1.2.3.1.5.1.1	部品及び付属品	-	-	-
1.2.3.1.5.1.2	紙類、文具、事務用品	32	4,433	-
1.2.3.1.5.3	洗面用具、清掃用品、台所用品	348	266	-
1.2.3.1.5.3.1	洗面用具、清掃用品、トイレ用品	348	266	-
1.2.3.1.6	部品、付属品類	56	1,226	133
1.2.3.1.6.1	部品、付属品類	56	1,226	133
1.2.3.1.6.1.1	車両メンテナンス	-	72	133
1.2.3.1.6.1.3	建設関係、機械類	-	-	-
1.2.3.1.6.1.99	その他の部品、付属品	56	1,154	-
1.2.3.1.99	その他の資財購入	2,008	-	-
1.2.3.1.99.1	その他の資財購入	2,008	-	-
1.2.3.1.99.1.99	資財その他	2,008	-	-
1.2.3.2	各種サービス採用	39,506	177,671	66,734
1.2.3.2.1	出張費	1,536	3,126	1,709
1.2.3.2.1.2	国内出張	1,536	3,126	1,709
1.2.3.2.1.2.1	交通費、運搬費	-	278	177
1.2.3.2.1.2.2	出張日当、手当等	1,536	1,725	1,532
1.2.3.2.1.2.99	その他の出費	-	1,122	-
1.2.3.2.2	基本サービス、通信、広報活動等	851	4,714	1,263
1.2.3.2.2.1	光熱費、水道料金、ガス代等	40	661	563
1.2.3.2.2.1.1	光熱費	40	402	117
1.2.3.2.2.1.2	水道、下水料金	-	259	447
1.2.3.2.2.2	電話、インターネット費等	396	2,214	699
1.2.3.2.2.2.1	モバイル電話	-	-	226
1.2.3.2.2.2.2	固定電話	-	663	-
1.2.3.2.2.2.2	インターネット接続	396	1,552	473
1.2.3.2.2.3	通信関連	50	-	-
1.2.3.2.2.3.1	郵便、宅急便	50	-	-
1.2.3.2.2.4	広報サービス、印刷費、宣伝、組織広報等	365	1,839	-
1.2.3.2.2.4.4	印刷、製本費	365	1,839	-
1.2.3.2.3	清掃、守衛、警備費など	12,000	18,000	-
1.2.3.2.3.1	清掃、守衛、警備費など	12,000	18,000	-
1.2.3.2.3.1.2	警備、監視サービス	12,000	18,000	-
1.2.3.2.4	メンテナンス・修理・整備費	4,092	357	340
1.2.3.2.4.1	メンテナンス・修理・整備費	4,092	357	340
1.2.3.2.4.1.1	建物、事務所、建築物類	3,464	-	-
1.2.3.2.4.1.3	車両類	-	290	340
1.2.3.2.4.1.5	機械、機材類	227	67	-
1.2.3.2.4.1.99	その他の資財	400	-	-
1.2.3.2.5	不動産・動産の賃貸	525	580	1,525
1.2.3.2.5.1	不動産・動産の賃貸	525	580	1,525
1.2.3.2.5.1.1	建物、建築物の賃貸	525	-	1,525
1.2.3.2.5.1.2	車両賃貸	-	580	-
1.2.3.2.6	事務・財務サービス、保険類	-	9,533	7,328
1.2.3.2.6.3	保険類	-	9,533	7,328
1.2.3.2.6.1.2	公証人費用	-	298	-
1.2.3.2.6.3.2	車両保険	-	8,921	7,048
1.2.3.2.6.3.3	SOAT(車両の第三者損害儀)無保険)	-	315	280.00
1.2.3.2.7	人的サービス採用、技術的業務等	20,502	141,361	54,569.40
1.2.3.2.7.2	個人によるコンサルティングサービス、指導、その他	20,502	141,361	54,569.40
1.2.3.2.7.2.2	指導・相談料	3,550	9,863	-
1.2.3.2.7.2.99	その他の同類サービス	3,000	-	-
1.2.3.2.7.3.1	法人によるコンサルティングサービス、指導、その他	8,840	-	-
1.2.3.2.7.11.99	サービス各種	5,112	131,499	54,569

注：警備・監視サービスに関する費用は業者選定プロセスの結果待ちであるため、暫定的に出費項目1.2.3.2.7.11.99に計上した。

(3) 研修実績

ア. アウトプット2:給水施設の整備(建設・大規模修繕)に関する能力強化

【ランバイエケ州】

	研修内容(テーマ・トピックなど)	研修方法	指導担当	対象者	対象人数	実施日(期間)	済・実施中・未実施
1	Perfil 作成について(申請に必要な情報集、入手方法、書類作成他)	座学(打合わせを通じて)	専門家	DRVS (WG1)	6	2010.01.14 (1日) @DRVS	済
2	Perfil 作成について(現地視察による必要調査の確認と工事内容の決定)	OJT	専門家	DRVS (WG1)	4	2010.01.21-22 (2日) @エル・エスピナル、ウメダグデス	済
3	Perfil 作成について(作成中の Perfil の内容確認他)	座学(打合わせを通じて)	専門家	DRVS (WG1)	6	2010.03.02 (1日) @DRVS	済
4	技術資料作成について(内容確認他)	座学(打合わせを通じて)	専門家	DRVS (WG1)	4	2010.06.28, 30 (2日) @DRVS	済
5	入札業務全般について(実施方法、必要書類の確認、スケジュール、入札図書作成他)	座学(打合わせを通じて)	専門家	DRVS (WG1)	6	2010.07.01 (1日) @DRVS	済
6	技術資料作成について(内容確認他)	座学(打合わせを通じて)	専門家	DRVS (WG1)	5	2010.08.06 (1日) @DRVS	済
7	入札業務全般について(実施方法、必要書類の確認、スケジュール、入札図書作成他)	座学(打合わせを通じて)	専門家	DRVS (WG1)	5	2010.08.17 (1日) @DRVS	済
8	入札業務の実施(エル・エスピナル、ウメダグデスの工事に関する入札を実施:業者指名～契約までの一連のプロセス)	OJT	専門家	DRVS (WG1)	5	2010.09.07～10.06 @DRVS	済
9	施工管理(ウメダグデスー施工状況確認:問題点の把握とその対処法)	OJT	専門家	DRVS (WG1)	3	2010.10.21 (1日) @ウメダグデス	済
10	施工管理(エル・エスピナルー施工状況確認:問題点の把握とその対処法)	OJT	専門家	DRVS (WG1)	3	2010.10.22 (1日) @エル・エスピナル	済
11	施工管理(完了検査)	OJT	専門家	DRVS (WG1) JASS	5	2011.01.18 (1日) @ウメダグデス	済
12	施工管理(完了検査)	OJT	専門家	DRVS (WG1) JASS	6	2011.01.22 (1日) @エル・エスピナル	済

【ピウラ州】

	研修内容(テーマ・トピックなど)	研修方法	指導担当	対象者	対象人数	実施日(期間)	済・実施中・未実施
1	Perfil 作成について(申請に必要な情報集、入手方法、書類作成他)	座学(打合わせを通じて)	専門家	DRVS (WG1)	5	2010.01.19 (1日) @DRVS	済
2	Perfil 作成について(現地視察による必要調査の確認と工事内容の決定)	OJT (San Jorge, Malacasi)	専門家	DRVS (WG1)	4	2010.01.27-28 (2日) @サン・ホルヘ、マラカシ	済
3	Perfil 作成について(作成中の Perfil の内容確認)	座学(打合わせを通じて)	専門家	DRVS (WG1)	6	2010.03.09 (1日) @DRVS	済

4	Perfil・技術資料作成について(作成中の Perfil の内容確認他)	座学(打合わせを通じて)	専門家	DRVS (WG1)	4	2010.06.24(1日) @DRVS	済
5	Perfil 作成について(提出前の最終確認)	座学(打合わせを通じて)	専門家	DRVS (WG1)	4	2010.08.09(1日) @DRVS	済
6	入札業務全般について(実施方法、必要書類の確認、スケジュール、入札図書作成他)	座学(打合わせを通じて)	専門家	DRVS (WG1)	4	2010.10.12(1日) @DRVS	済
7	技術資料作成について(提出前の最終確認)	座学(打合わせを通じて)	専門家	DRVS (WG1)	3	2010.10.21(1日) @DRVS	済
8	入札業務全般について(実施方法、必要書類の確認、スケジュール、入札図書作成他)	座学(打合わせを通じて)	専門家	DRVS (WG1)	4	2010.10.26(1日) @DRVS	済
9	入札業務の実施(サン・ホルへの工事に関する入札を実施):業者指名～契約までの一連のプロセス	OJT	専門家	DRVS (WG1)	4	2010.10.27～12.15 @DRVS	済
10	施工管理(サン・ホルへー施工状況確認:問題点の把握とその対処法)	OJT	専門家	DRVS (WG1)	3	2010.12.28 @DRVS	済
11	技術資料作成について(現地視察による内容確認)	実地	DRSV	Salitral 区役所、 JASS	3	2011.02.01 @マラカシ	済
12	施工管理(完了検査)	OJT	専門家	DRVS (WG1) JASS	6	2011.06 中旬 @エル・エスピナル	未実施
13	入札業務全般について(実施方法、必要書類の確認、スケジュール、入札図書作成他)	座学(打合わせを通じて)	専門家	DRVS (WG1)	4	2011.06 下旬～ @DRVS	未実施

イ. アウトプット3: 給水施設運営維持管理及び衛生啓発に関する能力強化(運営維持管理-ハード面)

【ランババイエケ州】

	研修内容(テーマ・トピックなど)	研修方法	指導担当	対象者	対象人数	実施日	済・実施中・未実施
1	JASS 対象ワークショップ(施設の工事終了からの JASS の役割と活動について)	座学	DRVS (WG1,2,3)	エル・エスピナル、ウメダデス JASS、Salas、Oyotun 担当者	10	2011.01.21(1日) @DRVS	済
2	施設維持管理(給水施設運転方法:塩素注入について)	OJT	専門家、DRVS	JASS Salas 保健所	6	2011.03.18(1日) @ウメダデス	済
3	施設維持管理(給水施設運転方法:塩素注入について)	OJT	専門家、DRVS	JASS Oyotun 保健所	3	2011.03.22(1日) @エル・エスピナル	済
4	施設維持管理(給水施設運転方法:塩素注入について、残留塩素モニタリング方法、施設点検方法)	OJT	専門家、DRVS	JASS ウメダデス保健所	4	2011.05.17(1日) @ウメダデス	済
5	施設維持管理(給水施設運転方法:塩素注入について、残留塩素モニタリング方法、施設点検方法)	OJT	専門家、DRVS	JASS エル・エスピナル保健所	4	2011.05.19(1日) @エル・エスピナル	済
6	施設維持管理(施設運転、点検、メンテナンス方法他)	OJT(施設運転状況モニタリングも含む)	専門家、DRVS	JASS	2～4	2011.06～12(月1回、1日) @エル・エスピナル	未実施
7	施設維持管理(施設運転、点検、メンテナンス方法他)	OJT(施設運転状況モニタリングも含む)	専門家、DRVS	JASS	2～4	2011.06～12(月1回、1日) @エル・エスピナル	未実施

【ピウラ州】

	研修内容(テーマ・トピックなど)	研修方法	指導担当	対象者	対象人数	実施日	済・実施中・未実施
1	施設維持管理(施設運転、点検、メンテナンス方法他)	OJT(施設運転状況モニタリングも含む)	専門家、DRVS	JASS	2~4	2011.06~12(月1回、1日) @サン・ホールへ	未実施
2	施設維持管理(施設運転、点検、メンテナンス方法他)	OJT(施設運転状況モニタリングも含む)	専門家、DRVS	JASS	2~4	2011.09~12(月1回、1日) @マラカシ	未実施

ウ. アウトプット3 給水施設運営維持管理及び衛生啓発に関する能力強化(運営維持管理-ソフト面)

【ランバイエケ州】

	研修内容(テーマ・トピックなど)	研修方法	指導担当	対象者	対象人数	実施日	済・実施中・未実施
1	水道経営全般、JASSの設立	座学	DRVS WG2, 杉谷	Salas 区役所、ウマダテス JASS 対象: 区長、区職員 2 名、JASS 会長、JASS 副会長、JASS 会計、JASS 秘書	7	2010 年 7 月 1 日 @ 区役所	済
2	水道経営全般、	座学	DRVS WG2, 杉谷	Oyotun 区役所、エル・エスピナル JASS 対象: 区長、区職員 1 名、JASS 会長、JASS 秘書、JASS 補助員	6	2010 年 7 月 2 日 @ 区役所	済
3	JASS 定款等法規関連の検討	座学	DRVS WG2, 杉谷	Salas 区役所、ウマダテス JASS 対象: 区職員 1 名、JASS 会長、JASS 副会長、JASS 会計、JASS 秘書	5	2010 年 7 月 12 日 @ 区役所	済
4	JASS 定款等法規関連の検討	座学	DRVS WG2, 杉谷	Oyotun 区役所、エル・エスピナル JASS 対象: 区職員 2 名、JASS 会長、JASS 会計、JASS 秘書、JASS 補助員 2 名	7	2010 年 7 月 14 日 @ 区役所	済
5	JA JASS 定款等法規関連の検討、村落住民に対するプロジェクト説明	座学	DRVS WG2, 杉谷	ウマダテス JASS 対象: JASS 会長、JASS 会計、JASS 秘書	3	2010 年 8 月 3 日 @ウマダテス	済
6	水道料金設定及び JASS 定款関連の検討	座学	DRVS WG2, 杉谷	ウマダテス JASS 対象: JASS 会長、JASS 会計、JASS 秘書	3	2010 年 9 月 28 日 @ウマダテス	済
7	水道料金設定及び JASS 定款関連の検討	座学	DRVS WG2, 杉谷	Oyotun 区役所、エル・エスピナル JASS 対象: 区職員、JASS 会長、JASS 会計、JASS 秘書、JASS 補助員	5	2010 年 10 月 1 日 @ 区役所	済
8	水道料金設定及び(JASS とユーザ間の)契約補助	座学と OJT	DRVS WG2, 杉谷	エル・エスピナル JASS 対象: JASS 会長、JASS 会計、JASS 秘書、JASS 補助員 2 名	5	2010 年 12 月 11 日 @エル・エスピナル	済
9	Routine 業務の指導(料金徴収、会計報告書の作成等)	OJT	DRVS WG2, 杉谷	Oyotun 区役所、エル・エスピナル JASS 対象: 区職員、JASS 会長、JASS 会計、JASS 秘書、JASS 補助員	6-7	2011 年 6 月 ~ @ 区役所、エル・エスピナル(数回)	未実施
10	Routine 業務の指導(料金徴収、会計報告書の作成等)	OJT	DRVS WG2, 杉谷	Salas 区役所、ウマダテス JASS 対象: 区職員、JASS 会長、JASS 会計、JASS 秘書、JASS 補助員	6-7	2011 年 6 月 ~ @ 区役所、ウマダテス(数回)	未実施
11	区役所のモニタリング体制の構築	OJT	DRVS WG2, 杉谷	Oyotun 区役所: 区職員、JASS 会長、JASS 会計	2-3	2011 年 6 月 ~ @ 区役所(数回)	未実施
12	区役所のモニタリング体制の構築	OJT	DRVS WG2, 杉谷	Salas 区役所: 区職員、JASS 会長、JASS 会計	2-3	2011 年 6 月 ~ @ 区役所(数回)	未実施

【ピウラ州】

研修内容(テーマ・トピックなど)	研修方法	指導担当	対象者	対象人数	実施日	済・実施中・未実施
水道経営全般	座学(打合せを通じた)	DRVS WG2, 杉谷	Frias 区役所、サン・ホルヘ JASS 対象: 区長、区職員1名、JASS 会長、JASS 会計、JASS 秘書	5	2010年7月6日@サン・ホルヘ	済
水道経営全般	座学(打合せを通じた)	DRVS WG2, 杉谷	Saritral 区役所、マラカシ JASS 対象: 区長、区職員1名、JASS 会長、JASS 秘書、JASS 補助員	5	2010年7月2日@区役所	済
JASS 定款等法規関連の検討	座学(打合せを通じた)	DRVS WG2, 杉谷	Saritral 区役所、マラカシ JASS 対象: 区長、区職員2名、JASS 会長、JASS 秘書、JASS 補助員	6	2010年7月19日@区役所	済
JASS 定款等法規関連の検討	座学(打合せを通じた)	DRVS WG2, 杉谷	Frias 区役所、サン・ホルヘ JASS 対象: 区職員2名、JASS 会長、JASS 会計、JASS 秘書、JASS 補助員2名	7	2010年7月20日@サン・ホルヘ	済
JASS 定款等法規関連の検討	座学(打合せを通じた)	DRVS WG2, 杉谷	サン・ホルヘ JASS 対象: JASS 会長、JASS 会計、JASS 秘書、JASS 補助員	4	2010年7月26日@サン・ホルヘ	済
水道料金設定及び JASS 定款関連の検討	座学(打合せを通じた)	DRVS WG2, 杉谷	Saritral 区役所、マラカシ JASS 対象: 区職員1名、JASS 会長、JASS 秘書、JASS 会計、JASS 補助員	4	2010年10月4日@区役所	済
水道料金設定及び JASS 定款関連の検討	座学(打合せを通じた)	DRVS WG2, 杉谷	マラカシ JASS 対象: JASS 会長、JASS 会計、JASS 秘書、JASS 補助員2名、監査員	6	2010年12月17日@マラカシ	済
水道料金設定及び契約補助	OJT	DRVS WG2, 杉谷	サンホルヘ JASS 対象: 区役所地域代表、JASS 会長、JASS 会計、JASS 秘書、JASS 補助員2名、監査員	7	2011年3月30日@サン・ホルヘ	済
Routine 業務の指導(料金徴収、会計報告書の作成等)	OJT	DRVS WG2, 杉谷	Frias 区役所、サン・ホルヘ JASS 対象: 区職員、JASS 会長、JASS 会計、JASS 秘書、JASS 補助員	6-7	2011年6月~@区役所、サン・ホルヘ(数回)	未実施
Routine 業務の指導(料金徴収、会計報告書の作成等)	OJT	DRVS WG2, 杉谷	Saritral 区役所、マラカシ JASS 対象: 区職員、JASS 会長、JASS 会計、JASS 秘書、JASS 補助員	6-7	2011年6月~@区役所、マラカシ(数回)	未実施
区役所のモニタリング体制の構築	OJT	DRVS WG2, 杉谷	Frias 区役所: 区職員、JASS 会長、JASS 会計	2-3	2011年6月~@区役所(数回)	未実施
区役所のモニタリング体制の構築	OJT	DRVS WG2, 杉谷	Saritral 区役所: 区職員、JASS 会長、JASS 会計	2-3	2011年6月~@区役所(数回)	未実施

エ. アウトプット 3: 給水施設運営維持管理及び衛生啓発に関する能力強化(衛生啓発)

【ランバイエケ州】

研修内容(テーマ・トピックなど)	研修方法	指導担当	対象者	対象人数	実施日	済・実施中・未実施
衛生啓発全般: 衛生啓発研修マニュアルの作成について	座学(打合せを通じた)	DRVS WG3, 専門家	Salas 区役所、ウマダテス JASS 対象: @区役所: 区長、区職員3名、区会議員2名、JASS 会長、JASS 経理 @ウマダテス: Teniente Gobernador、JASS 会長、JASS 経理、JASS 会計、JASS 秘書	5	2010年8月10日@区役所 @ウマダテス	済
衛生啓発全般: 衛生啓発研修マニュアルの作成について	座学(打合せを通じた)	DRVS WG3, 専門家	Oyotun 区役所、エル・エスピナル JASS 対象: @区役所: 区長、区会議員1名、JASS 会長、JASS 経理、JASS 秘書 @エスピナル: Teniente Gobernador、Agente Municipal、JASS 会長、JASS 経理、JASS 秘書	7	2010年8月11日@区役所 @エスピナル	済



3	衛生啓発全般：住民対象の衛生啓発研修実施のに向けた検討	座学(打合せを通じた)	DRVS WG3、専門家	エル・エスピナル JASS 対象：JASS 会長他	2	2010 年 11 月 3 日 @ エスピナル	済
4	衛生啓発全般：住民対象の衛生啓発研修実施のに向けた検討	座学(打合せを通じた)	DRVS WG3、専門家	Salas 区役所、ウマガデス JASS 対象：事業部長、Teniente Gobernadora、JASS 経理	3	2010 年 11 月 4 日 @ 区役所 @ウマガデス	済
5	衛生啓発全般のうち水と衛生活い実習含む；住民対象の衛生啓発研修実施	OJT	DRVS WG3、MST、専門家	Salas 区役所、ウマガデス JASS 対象：区役所代表、JASS 会長他	5	2010 年 11 月 20 日(1日) @ウマガデス	済
6	衛生啓発のうち固形廃棄物(塩素消毒の実習含む)；住民対象の衛生啓発研修実施	OJT	DRVS WG3、MST	Salas 区役所、ウマガデス JASS 対象：区会議員(区役所代表)、JASS 会長他	5	2010 年 11 月 27 日(1日) @ウマガデス	済
7	衛生啓発全般のうち水と衛生活い実習含む；住民対象の衛生啓発研修実施	OJT	DRVS WG3、MST	Oyotun 区役所、エル・エスピナル JASS 対象：区役所代表、JASS 会長他	4	2010 年 12 月 11 日(1日) @エル・エスピナル	済
8	衛生啓発のうち固形廃棄物(塩素消毒の実習含む)；住民対象の衛生啓発研修実施	OJT	DRVS WG3、MST	Oyotun 区役所、エル・エスピナル JASS 対象：JASS 会長他	4	2010 年 12 月 18 日(1日) @エル・エスピナル	済
9	衛生啓発全般：モニタリングの実施について(JASS 主動での活動への移行に向けて)	座学(打合せを通じた)	DRVS WG3、MST	Salas 区役所、ウマガデス JASS 対象 Oyotun 区役所、エル・エスピナル JASS 対象		2011 年 5 月～6 月に各サイト半日(予定)	未実施
10	衛生啓発全般：モニタリング実施	OJT	DRVS WG3、MST	Salas 区役所、ウマガデス JASS 対象 Oyotun 区役所、エル・エスピナル JASS 対象		2011 年 5 月以降、各サイト月に1日(予定)	未実施
11	衛生啓発全般：住民対象の衛生啓発研修実施のに向けた検討	座学(打合せを通じた)	DRVS WG3、MST	新規サイトの区役所と JASS 担当者		2011 年 5 月～6 月に各サイト半日(予定)	未実施
12	衛生啓発全般：住民対象の衛生啓発研修実施	OJT	DRVS WG3、MST	新規サイトの区役所と JASS 担当者		2011 年 6 月～8 月に各サイト2日(予定)	未実施
13	衛生啓発全般：モニタリングの実施について(JASS 主動での活動への移行に向けて)	座学(打合せを通じた)	DRVS WG3、MST	新規サイトの区役所と JASS 担当者		2011 年 9 月に各サイト半日(予定)	未実施
14	衛生啓発全般：モニタリング実施	OJT	DRVS WG3、MST	新規サイトの区役所と JASS 担当者		2011 年 9 月以降、各サイト月に1日(予定)	未実施

### 【ピウラ州】

	研修内容(テーマ・トピックなど)	研修方法	指導担当	対象者	対象人数	実施日	済・実施中・未実施
1	衛生啓発全般：衛生啓発研修マニュアルの作成について	座学(打合せを通じた)	DRVS WG3、専門家	Salitral 区役所、マラカシ JASS 対象：区長、区技術部長、区会議員1名、村長、JASS 会長	4	2010 年 8 月 3 日 @ 区役所	済
2	衛生啓発全般：衛生啓発研修マニュアルの作成について	座学(打合せを通じた)	DRVS WG3、専門家	Frias 区役所、サン・ホルヘ JASS 対象：区長、区衛生担当者、村長、JASS 会長、JASS 会計、JASS 秘書	5	2010 年 8 月 5 日 @ 区役所	済
3	衛生啓発全般：住民対象の衛生啓発研修実施に向けた検討	座学(打合せを通じた)	DRVS WG3	Salitral 区役所、マラカシ JASS 対象：@ 区役所：区長 @マラカシ：マラカシ村長、JASS 会長	3	2010 年 11 月 15 日 @ 区役所 @マラカシ	済

4	衛生啓発全般：住民対象の衛生啓発研修実施に向けた検討	座学(打合せを通じた)	DRVS WG3	Frias 区役所、サン・ホルヘ JASS 対象： 区社会部長、区プロジェクト・コーディネーター、村長、JASS 会長、JASS 会計(Fiscal)、JASS 秘書、JASS 役員(vocal)、村委員1名同席	8	2010年11月17日@サン・ホルヘ	済
5	衛生啓発全般(手洗い、塩素消毒実習含む)：住民対象の衛生啓発研修実施	OJT	DRVS WG3, MST、専門家	Salitral 区役所、マラカシ JASS 対象： 区長、マラカシ村長、JASS 会長、JASS 経理、JASS 秘書、JASS オペレーター	6	2010年11月25日(1日)@マラカシ	済
6	衛生啓発全般(手洗い、塩素消毒実習含む)：住民対象の衛生啓発研修実施	OJT	DRVS WG3, MST	Salitral 区役所、マラカシ JASS 対象： 区長、マラカシ村長、JASS 会長、JASS 経理、JASS 秘書、JASS オペレーター	6	2010年11月26日(1日)@マラカシ	済
7	衛生啓発全般(手洗い、塩素消毒実習含む)：住民対象の衛生啓発研修実施	OJT	DRVS WG3, MST、専門家	Frias 区役所、サン・ホルヘ JASS 対象： 区プロジェクト・コーディネーター、村長、JASS 会長他	6	2010年12月1日(1日)@サン・ホルヘ	済
8	衛生啓発全般(手洗い、塩素消毒実習含む)：住民対象の衛生啓発研修実施	OJT	DRVS WG3, MST	Frias 区役所、サン・ホルヘ JASS 対象： 区プロジェクト・コーディネーター、村長、JASS 会長他	5	2010年12月2日(1日)@サン・ホルヘ	済
9	衛生啓発全般：モニタリングの実施について(JASS 主動での活動への移行に向けて)	座学(打合せを通じた)	DRVS WG3, MST	Salitral 区役所、マラカシ JASS 対象： 村長、JASS 会長、ヘルスプロモーター	3	2010年12月13日(半日)@マラカシ	済
10	衛生啓発全般：モニタリングの実施について(JASS 主動での活動への移行に向けて)	座学(打合せを通じた)	DRVS WG3, MST	Frias 区役所、サン・ホルヘ JASS 対象： 区プロジェクト担当者、村長、村役場秘書、村保健所長、村保健所看護士、JASS 会長、JASS 経理、JASS 会計、JASS 役員	9	2010年12月15日(半日)@サン・ホルヘ	済
11	衛生啓発全般：モニタリング実施1回目	OJT	DRVS WG3, MST	Salitral 区役所、マラカシ JASS 対象： JASS 会長、村役場職員2名	3	2011年1月14日(半日)@マラカシ	済
12	衛生啓発全般：JASS によるミニ研修1回目	OJT	DRVS WG3, MST	Salitral 区役所、マラカシ JASS 対象： 村長、区議会委員、区保健所員、JASS 会長	4	2011年1月14日(半日)@マラカシ	済
13	衛生啓発全般：モニタリング実施1回目	OJT	DRVS WG3, MST	Frias 区役所、サン・ホルヘ JASS 対象： 村長、村保健所長、村ヘルスプロモーター、区プロジェクト担当者、区役所職員3名、JASS 不在(仕事繁忙につき参加できず)	7	2011年1月21日(半日)@サン・ホルヘ	済
14	衛生啓発全般：JASS によるミニ研修1回目	OJT	DRVS WG3, MST	Frias 区役所、サン・ホルヘ JASS 対象： 村長、村保健所長、村ヘルスプロモーター、区プロジェクト担当者、区役所職員3名、JASS 会長	8	2011年1月21日(半日)@サン・ホルヘ	済
15	衛生啓発全般：モニタリング実施(2回目)(JASS 主動による研修実施含む)	OJT	DRVS WG3, MST	Salitral 区役所、マラカシ JASS 対象： 副区長(Teniente Alcalde)、区会議員2名、村長、JASS 会長、JASS 副会長、JASS 秘書、村役場職員2名	9	2011年3月7日(半日)@マラカシ	済
16	衛生啓発全般：区役所・村役場とJASSによるミニ研修1回目	OJT	DRVS WG3, MST、専門家	Salitral 区役所、マラカシ JASS 対象： 副区長(Teniente Alcalde)、区会議員2名、村長、JASS 会長、JASS 副会長、JASS 秘書、村役場職員2名	9	2011年3月7日(半日)@マラカシ	済
17	衛生啓発全般：モニタリング実施(2回目)(JASS 主動による研修実施含む)	OJT	DRVS WG3, MST	Frias 区役所、サン・ホルヘ JASS 対象： 区プロジェクト担当者、村長、Teniente Gobernador、村警察署、村保健所長、村農民共同体会長、JASS 会長、JASS 経理、JASS 秘書	9	2011年3月10日(半日)@サン・ホルヘ	済
18	衛生啓発全般：区役所・村役場とJASSによるミニ研修1回目	OJT	DRVS WG3, MST	Frias 区役所、サン・ホルヘ JASS 対象： 区プロジェクト担当者、村長、Teniente Gobernador、村保健所長、JASS 会長	5	2011年3月10日(半日)@サン・ホルヘ	済

19	衛生啓発全般：モニタリング実施 (区役所・村役場と JASS によるミニ 研修含む)	OJT	DRVS WG3、 MST	Salitral 区役所、マラカシ JASS 対象 Frias 区役所、サン・ホルヘ JASS 対象		2011 年 5 月以降、各サイト月に1 日(予定)	未実施
20	衛生啓発全般：住民対象の衛生 啓発研修実施に向けた検討	座学(打合せを 通じた)	DRVS WG3、 MST	新規サイトの区役所と JASS 担当者		2011 年 5 月～6 月に各サイト半日 (予定)	未実施
21	衛生啓発全般：住民対象の衛生 啓発研修実施	OJT	DRVS WG3、 MST	新規サイトの区役所と JASS 担当者		2011 年 6 月～8 月に各サイト2日 (予定)	未実施
22	衛生啓発全般：モニタリングの実 施について(JASS 主動での活動 への移行に向けて)	座学(打合せを 通じた)	DRVS WG3、 MST	新規サイトの区役所と JASS 担当者		2011 年 9 月に各サイト半日(予 定)	未実施
23	衛生啓発全般：モニタリング実施 (区役所・村役場と JASS によるミニ 研修含む)	OJT	DRVS WG3、 MST	新規サイトの区役所と JASS 担当者		2011 年 9 月以降、各サイト月に1 日(予定)	未実施



付属資料5 評価グリッド

(1) 実績の検証

評価項目	評価設問		必要な情報・データ(指標)	情報源・指標の入手法	データ収集方法
	大項目	小項目			
実績の検証	上位目標達成の見込み	ピウラ州・ランバイエケ州の農村・小都市における給水・衛生状態が改善する	1. 適切な給水施設が存在する農村・小都市の数 2. 給水・衛生施設が適切に維持管理されている農村・小都市の数	MVCSの指標、地方政府、地方自治体	資料レビュー・聞き取り調査 資料レビュー・聞き取り調査
		ピウラ州・ランバイエケ州において、農村・小都市の給水・衛生事業実施能力が向上する	1. 整備・改善がされた給水施設の数 2. 給水施設の運営維持管理及び衛生啓発の実施能力が改善した区役所、水・衛生委員会の数	パイロット事業の評価(プロジェクト記録、現地調査、ヒアリング)	資料レビュー・聞き取り調査 資料レビュー・聞き取り調査
	アウトプットの達成状況	1. ピウラ州・ランバイエケ州の農村・小都市における給水・衛生事業実施能力及び課題が確認される	1-1 両州の農村・小都市の給水・衛生状況のベースライン 1-2 両州の農村・小都市の施設及び維持管理状況に関するイベントリ 1-3 水・衛生委員会に対するヒアリングの実施	1-1 ベースライン結果 1-2 イベントリ結果 1-3 ヒアリング結果	資料レビュー・聞き取り調査 資料レビュー・聞き取り調査 資料レビュー・聞き取り調査
		2. ピウラ州・ランバイエケ州政府の給水施設の整備(建設・大規模修繕)に関する能力が強化される	2-1 給水施設整備(建設・大規模修繕)に関するマニュアル 2-2 研修を受けた州政府職員の数 2-3 6 農村・小都市でのパイロット事業の実施	2-1 プロジェクト記録 2-2 研修実施記録 2-3 モニタリング記録	資料レビュー・聞き取り調査 資料レビュー・聞き取り調査 資料レビュー・聞き取り調査
ペル側への投入実績	1. 住宅建設衛生省	3. パイロット事業の対象区役所及び対象水・衛生委員会の給水施設運営維持管理及び衛生啓発に関する能力が強化される	3-1 給水施設運営維持管理及び衛生啓発に関するマニュアル 3-2 研修を受けた区役所職員及び水・衛生委員会の人数 3-3 10 農村・小都市でのパイロット事業の実施	3-1 プロジェクト記録 3-2 研修実施記録 3-3 モニタリング記録	資料レビュー・聞き取り調査 資料レビュー・聞き取り調査 資料レビュー・聞き取り調査
		4. ピウラ州・ランバイエケ州において、運営維持管理及び衛生啓発に関するマニュアルの内容が区役所及び水・衛生委員会に普及される体制が整備される	4-1 区役所に対する研修の実施教数 4-2 水・衛生委員会に対する研修計画の策定 4-3 セミナーの実施	4-1 研修実施記録 4-2 プロジェクト記録 4-3 セミナー実施記録	資料レビュー・聞き取り調査 資料レビュー・聞き取り調査 資料レビュー・聞き取り調査
		必要人員の配置: 住宅建設衛生省側のプロジェクトコーディネーター1名 カウンタートーナメントの移動手段		事業進捗報告書、専門家、C/P	資料レビュー・聞き取り調査

日本側の投入実績	2. ビウラ州・ランバエケ州政府の給水・衛生担当部署	プロジェクトオフィスの確保、家具・文房具類の供与	事業進捗報告書、専門家、 C/P	資料レビュー・ 聞き取り調査
		本技術協力プロジェクト専任のコーディネーターの配置(各州:最低3名)		
		必要人員の配置:専門性を備えた技師の配置		
		カウンタートパートの移動手段		
		パイロット事業実施に必要な資金		
		総括		
		給水計画		
		運営・維持管理計画		
		その他必要性が合意された専門家		
		1. 専門家		
2. ローカルコンサルタント	事業進捗報告書、専門家、 C/P	資料レビュー・ 聞き取り調査		
3. 機材	車両等機材の供与実績、及び活用状況	事業進捗報告書、専門家、 C/P	資料レビュー・ 聞き取り調査	
4. 研修受入	年間教人程度	事業進捗報告書、専門家、 C/P	資料レビュー・ 聞き取り調査	
5. 現地再委託	調査業務:2州 パイロット事業5カ所 X2州程度	事業進捗報告書、専門家、 C/P	資料レビュー・ 聞き取り調査	
6. 他のスキーム	ポランテティア(維持管理・農村・小都市の生計向上に係る協力)、フォローアップ(無償の井戸掘削関連機材)、草の根無償など	事業進捗報告書、専門家、 C/P	資料レビュー・ 聞き取り調査	

(2) 実施プロセス

評価項目	評価設問		必要な情報・データ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目			
実施プロセス	活動実施状況	活動は計画通りに実施されたか	実施時期、達成度、進捗状況、進捗に影響を与えた問題等	事業進捗報告書、PO、専門家、MVCS、DRVS、その他活動進捗管理ツール	資料レビュー・聞き取り調査・質問票
	プロジェクトの実施体制	マネジメント体制は適切に機能しているか	意思決定の方法(必要な関係者が含まれているか、適切なタイミングで行われているか等)、指示系統が機能しているか	実施体制図、専門家、MVCS、PAPT、対象州政府、DRVS、対象区、JICA 事務所、CCC/CDR の協議記録	資料レビュー・聞き取り調査・質問票
		関係者間のコミュニケーションは適切にとられているか	情報交換/コミュニケーションの方法・頻度(JCC、進捗報告、オペレーション会議等各種会合の開催実績)、共有されている情報量	事業進捗報告書、専門家、MVCS、PAPT、対象州政府、DRVS、対象区、JICA 事務所	資料レビュー・聞き取り調査・質問票
		実施機関やC/Pのオーナーシップは十分か	実施機関やC/Pの参加度、投入実績、ペルレー側担当事項の実施状況	事業進捗報告書、専門家、MVCS、PAPT、対象州政府、DRVS、JICA 事務所	資料レビュー・聞き取り調査・質問票
	技術移転の方法	プロジェクトの進捗モニタリングは適切に行われているか	モニタリングの方法・頻度、モニタリング結果が関係者間で共有され次の活動に活かされているか	モニタリング記録、事業進捗報告書、専門家、MVCS、PAPT、対象州政府、DRVS、JICA 事務所	資料レビュー・聞き取り調査・質問票
		技術移転の達成目標・手法が明確か、方法に問題はないか	DRVS 職員に対する技術移転の達成目標、手法、達成状況、満足度、問題点	事業進捗報告書、専門家、対象州政府、DRVS	資料レビュー・聞き取り調査・質問票
	人材の配置状況	技術移転の達成目標・手法が明確か、方法に問題はないか	対象区役所職員に対する技術移転の達成目標、手法、達成状況、満足度、問題点	事業進捗報告書、専門家、DRVS、対象区	資料レビュー・聞き取り調査・質問票
		配置されている専門家は適切な人材か、十分に活動に従事しているか	JASS に対する技術移転の達成目標、手法、達成状況、満足度、問題点	事業進捗報告書、専門家、DRVS、対象区、JASS	資料レビュー・聞き取り調査・質問票
	ターゲットグループや関係組織の参加度・認識	配置されている専門家は適切な人材か、十分に活動に従事しているか	配置されているC/Pは適切な人材か、十分に活動に従事しているか	専門家、MVCS、DRVS、JICA 事務所	資料レビュー・聞き取り調査・質問票
		その他の関係者、パイロット事業サイトの住民はプロジェクトの活動に十分に参加しているか	C/P人材の職制(所属先、専門性等)の適切性、プロジェクト活動への参加方法・頻度	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象区、DRVS、JICA 事務所	資料レビュー・聞き取り調査・質問票
PDMの改訂	目標と成果の達成度合いを適切に表現できる指標が設定されているか	各関係者の活動への参加方法・頻度、参加実績	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象区、DRVS、JICA 事務所	資料レビュー・聞き取り調査・質問票	
その他、実施過程で生じている問題、効果発現に影響を与えた要因等	当初の目的や現状に鑑みた適切な内容の修正がなされているか	指標の内容、目標値、ロジック、PDM 内容について関係者の共通理解が醸成されているか	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象区、DRVS、JICA 事務所	資料レビュー・聞き取り調査・質問票	
	MVCS、対象区、対象区役所等の組織体制の変化	現行の PDM の各項目が現時点でも適切か	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象区、DRVS、JICA 事務所	資料レビュー・聞き取り調査・質問票	
その他、実施過程で生じている問題、効果発現に影響を与えた要因等	その他、中間レビュー時点までに何らかの課題が生じているか、生じた課題に対してどのような対応しているか	どのような変化が生じているか、どのような影響が生じたか、今後の動向	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象区、DRVS、JICA 事務所	資料レビュー・聞き取り調査・質問票	
	PDM 各項目の活動の実施状況、課題の現状、課題への対処状況、今後の見直し	PDM 各項目の活動の実施状況、課題の現状、課題への対処状況、今後の見直し	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象区、DRVS、JICA 事務所	資料レビュー・聞き取り調査・質問票	

(3) 評価 5 項目による評価

評価項目	評価設問		必要な情報・データ	情報源	データ収集方法	
	大項目	小項目				
妥当性	必要性	プロジェクトはペルールの社会やターゲットグループのニーズに合致しているか、事前評価で確認された必要性の状況に変更はないか	対象 2 州の給水施設整備・運営・維持管理の技術強化に対するニーズ、課題・問題点の現状	事前調査報告書、事業進捗報告書、州政府開発計画、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区、対象 JASS	資料レビュー・聞き取り調査・質問票	
		ペルールの開発政策との整合性はあるか	ペルールの現行の国家開発計画における優先度、給水・衛生分野の動向、給水事業の実施計画との整合性	現行の国家計画、給水事業計画、それらの関連報告書、MVCS、専門家	資料レビュー・聞き取り調査・質問票	
	優先度	日本の ODA 政策との整合性はあるか	日本の援助政策、国別援助計画との整合性	現行の対ペルー国別援助計画、JICA 事務所	資料レビュー・聞き取り調査	
		プロジェクトの内容・デザイン・アプローチは開発課題に効果を生む手段として現時点でも適切か	プロジェクトの内容・デザイン・アプローチの適切性、当初計画からの変更の有無(変更があればその適切性)、実績の検証結果	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区	資料レビュー・聞き取り調査・質問票	
		パイロット事業の選定は適切かつ十分であったか	パイロット事業の対象地域関係者の参加状況、活動の展開状況、当初計画からの変更の有無、実績の検証結果	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区	資料レビュー・聞き取り調査	
		日本の技術の優位性はあるか	日本に対象技術のノウハウは蓄積されているか、日本の経験を活かせるか	専門家、JICA 事務所	聞き取り調査	
	その他	政府による関連事業、他ドナーによるプロジェクト、他の JICA 事業等との連携・デマケは明確に示されているか、相乗効果が生じているか	該当する政府・他ドナー・JICA 事業の内容、各事業の関連性、他事業との連携による活動の実施状況	事業進捗報告書、該当する政府・他ドナー・JICA 事業の関連文書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区	資料レビュー・聞き取り調査・質問票	
		プロジェクト開始後、プロジェクトを取り巻く環境(制度・政策面、社会・経済動向等)の変化はないか	MVCS や対象州の組織変革、プロジェクトの位置付けの変化、他ドナーによる類似プロジェクトの開始の有無、社会・経済状況の変化等	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区	資料レビュー・聞き取り調査	
	有効性	プロジェクト目標の達成見込み	プロジェクト目標は達成が見込まれるか	実績の検証結果	実績の検証結果	資料レビュー・聞き取り調査・質問票
			プロジェクト目標達成の貢献要因は何か	実績の検証結果、関係者所感	事業進捗報告書、専門家、C/P、MVCS、対象州、DRVS、対象区	資料レビュー・聞き取り調査・質問票
プロジェクト目標達成を阻害する要因は何か			実績の検証結果、関係者所感	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区	資料レビュー・聞き取り調査・質問票	
アウトプットはプロジェクト目標を達成するために十分か			実績の検証結果	実績の検証結果	資料レビュー・聞き取り調査・質問票	
アウトプットとプロジェクト目標達成の因果関係		アウトプットからプロジェクト目標に至るまでの外部条件は現時点においても正しいか、外部条件の影響はあったか	関係組織間で良好な関係が維持されているか 「農村」「小都市」の活発な参加(給水施設設置含む)が得られているか 指摘された問題点が改善されているか、状況把握が維持される	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区	聞き取り調査	
		プロジェクト目標達成のための新たな外部条件があるか	新たな外部条件の有無	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区	聞き取り調査	
		アウトプットの産出状況は適切か	実績の検証結果	実績の検証結果	聞き取り調査	
		アウトプットの	実績の検証結果	実績の検証結果	聞き取り調査	



産出	アウトプットの算出に貢献した要因は何か	実績の検証結果、関係者所感	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区、対象 JASS	資料レビュー・聞き取り調査・質問票	
	アウトプットの算出を阻害した要因は何か	実績の検証結果、関係者所感	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区、対象 JASS	資料レビュー・聞き取り調査・質問票	
	アウトプットを産出するために十分な活動であったか	実績の検証及び実施プロセスの分析結果	実績の検証及び実施プロセスの分析結果		
	活動とアウトプット産出の因果関係	両州で給水・衛生改善に必要な予算が配分されているか	両州で給水・衛生改善に必要な予算が配分されているか	事業進捗報告書、専門家、対象州、DRVS、対象区	聞き取り調査
		プロジェクト活動に至るまでの外部条件は現時点において正しかったか	プロジェクト活動に必要な情報が遅滞なく入ってきているか	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区	
		プロジェクト活動のためのロジスティクス(交通手段)が準備されているか	プロジェクト活動のためのロジスティクス(交通手段)が準備されているか	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区	
		事業を進めるにあたってペルレー内の法的手続きが遅滞なく実施されているか	事業を進めるにあたってペルレー内の法的手続きが遅滞なく実施されているか	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区	
	アウトプット達成のための新たな外部条件があるか	新たな外部条件の有無	新たな外部条件の有無	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区	聞き取り調査
	投入のタイミング・質・量	活動を行うために過不足ない量・質の投入が、タイミングよく実施されたか	投入の実績及び実施プロセスの分析結果、投入の過不足やタイミングによる活動への影響	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区	資料レビュー・聞き取り調査・質問票
	インパクト	上位目標達成の見込み	プロジェクトの効果として上位目標の発現が見込まれるか	実績の検証結果	
上位目標とプロジェクト目標の因果関係		入手可能な適切な指標が設置されているか	指標の情報入手可能性	MVCS、対象州、専門家、DRVS	
		上位目標の達成を阻害する要因があるか	上位目標の達成を阻害する要因の有無	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区	資料レビュー・聞き取り調査・質問票
		上位目標とプロジェクト目標は乖離していないか	実績の検証結果	実績の検証結果	
波及効果	上位目標から上位目標に至るまでの外部条件は現時点においても正しいか、外部条件の影響はあったか	州レベルの政策に変化が見込まれるか	事業進捗報告書、専門家、対象州、DRVS	聞き取り調査	
	上位目標達成に至るまでの外部条件が新たに想定されるか	「北部地域給水衛生サブプログラム」の他のコンポーネントが実施されているか、または実施の予定があるか	事業進捗報告書、専門家、対象州、DRVS、JICA 事務所		
自立発展性	上位目標以外の正負のインパクトが見込まれるか	新たな外部条件の有無	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区	資料レビュー・聞き取り調査	
	プロジェクト終了後も政策支援が継続するか	政策の策定と法律・制度・基準などの整備への影響の有無 ジェンダー、人権、貧富など社会・文化的側面への影響の有無 ターゲットグループへのその他の影響の有無	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区	資料レビュー・聞き取り調査・質問票	
政策・制度面		ペルレー国・対象州の給水衛生事業実施計画・方針	給水衛生に関する事業実施計画、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区	資料レビュー・聞き取り調査・質問票	

	整備・運営維持管理及び衛生啓発に関するマニュアルの内容を他地域で活用するための関連規制、法制度は整備されているか	必要な法制度の整備状況 マニュアルを普及させるための取り組みが担保されているか	対象州政府、専門家、MVCS、DRVS、対象区	聞き取り調査
組織・財政面	関連各機関は、協力終了後も活動を継続するための組織能力はあるか	MVCS、対象州、対象区役所の組織体制、人員配置等	MVCS、対象州、専門家、DRVS、対象区	聞き取り調査
	実施機関のプロジェクトに対するオーナーシップは十分か	MVCS、対象州、対象区役所のプロジェクトに対する方針、実施計画	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区、対象JASS	資料レビュー・聞き取り調査・質問票
技術面	活動継続のための予算がどの程度確保されているか、プロジェクトにより経費が増加するか(増加分は確保されているか)	MVCS、対象州、対象区役所の予算配置状況、プロジェクト経費の支出状況、増加分があればそれを考慮した予算計画の策定状況	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区	資料レビュー・聞き取り調査・質問票
	移転された技術は受け入れられているか	技術レベル・社会的・慣習的要因などの問題、技術の活用状況	事業進捗報告書、専門家、対象州、DRVS、対象区、対象JASS	資料レビュー・聞き取り調査・質問票
	技術普及・維持のメカニズムはプロジェクトに取り込まれているか	技術普及の体制が構築されているか	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区	聞き取り調査
社会・文化・環境面	女性、貧困層、社会的弱者、環境への配慮不足により持続的効果を妨げる可能性はないか	技術の維持・アップデートの仕組みが検討されているか 持続的効果の発現の促進要因と阻害要因	事業進捗報告書、専門家、MVCS、対象州、DRVS、対象区	聞き取り調査